一般国道
10 号 線　椎田道路関係埋蔵文化財調査報告　第８集

中 村 石 丸 遺 跡

福岡県豊前市大字中村字石丸所在縄紋時代遺跡の調査

下 巻

付　黒峰尾10号墳

1 9 9 6

福岡県教育委員会

中村石丸遺跡

福岡県豊前市大字中村字石丸所在縄紋時代遺跡の調査

下巻

付　黒峰尾10号墳

序

福岡県教育委員会では建設省九州地方建設局の受託を受けて、昭和61(1986)年度から一般国道10号線椎田道路の建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施してまいりました。調査は平成2年度に終了し、平成4年12月25日に椎田道路は全線開通しました。

この報告書は、昭和63（1988）年度に発掘調査を実施した豊前市大字中村所在の中村石丸遺跡の記録です。周防灘沿岸地域は瀬戸内海の西端部に位置し、九州と近畿・瀬戸内地域とを結ぶ九州の玄関口として、歴史的にも常に注目されてきました。従来、当該地域における縄紋時代の実態は不明な点が少なくありませんでしたが、今回、他に例を見ないほど多量の遺物を出土した縄紋時代後期の集落跡が確認され、当時の交流の復原にとって大変意義のある成果を得ることができました。

本書が、縄紋時代における地域間交流の研究や文化財保護思想の普及と活用の一助となれば幸甚に存します。

発掘調査および整理作業や報告書の作成にあたって、ご協力いただいた多くの方々に対しまして深甚の謝意を表します。

平成8年3月31日

福岡県教育委員会

教育長　光安　常喜

例　言

1　この報告書は、昭和63（1988）年度に福岡県教育委員会が建設省九州地方建設局の受託を受けて実施した一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告の第８集である。

2　本書に記録した中村石丸遺跡・中村石丸Ａ遺跡・黒峰尾10号墳はいずれも豊前市内に所在する。本来、中村石丸遺跡は町道を挟んで北側を中村石丸Ａ遺跡、南側を中村石丸Ｂ遺跡として調査を進めたが、本報告書刊行以降は縄紋時代後期の単純集落跡である中村石丸Ｂ遺跡をもって「中村石丸遺跡」とする。

3　本書に掲載した遺構図は、柳田康雄・飛野博文・緒方　泉・水ノ江和同・犬塚カヲル・荒巻朋子が作成した。

4　本書に掲載した遺構写真は柳田・緒方・水ノ江が、遺物写真については巻頭図版を九州歴史資料館石丸洋が、その他を水ノ江と北岡伸一が撮影した。なお、空中写真については空中写真企画に委託した。

5　出土遺物は九州歴史資料館において岩瀬正信の指導で整理・復原作業を行ない、実測作業は福岡県文化課太宰府事務所において平田春美の、図面浄書作業は豊福弥生・原カヨ子・関久江・土山真弓美の協力を得て実施した。

6　中村石丸遺跡の５号土坑および１号甕棺墓より採集された土壌の残在脂肪酸分析は（株）ズコーシャに、９～12号竪穴住居跡炉跡で実施した熱残留地磁気分析は島根大学伊藤晴明先生（現島根職業能力開発短期大学校）・時枝克安先生に、９～12号竪穴住居跡の復原家屋の設計図は九州大学工学部山本輝雄先生に、その模型を（株）日精にそれぞれ委託した。

7　使用した方位はすべて真北である。

8　出土遺物・写真・図面等については、すべて九州歴史資料館および福岡県文化課太宰府事務所において保管している。

9　本書の執筆については委託した分析等の原稿を除いて、中村石丸遺跡は第Ⅱ章第３節の弥生土器を柳田が、他はすべて水ノ江が、中村石丸Ａ遺跡を柳田が、黒峰尾10号墳は緒方が行なった。

10　本書の編集は、中村石丸遺跡・中村石丸Ａ遺跡は水ノ江が、黒峰尾10号墳は緒方がそれぞれ行なった。

本 文 目 次

Ⅰ．はじめに
1．調査の経緯と組織 …… 1
2．位置と環境 …… 4
Ⅱ．発掘調査の記録
1．調査の概要 …… 8
2．縄紋時代の遺構と遺物 …… 9
(1) 竪穴住居跡　(2) 土坑　(3) 甕棺墓
(4) 炉跡　(5) 溝　(6) ピット
(7) ピット・包含層出土の遺物　(8) 表採の遺物　(9) 土製円盤
3．弥生時代の遺構と遺物 ……300
(1) 土坑　(2) 土壙墓　(3) ピット・包含層出土の遺物
Ⅲ．中村石丸Ａ遺跡
1．はじめに ……306
2．遺物 ……306
Ⅳ．分析と復原
1．５号土坑および１号甕棺墓における残在脂肪酸分析について ……313
2．２号（９～12号）竪穴住居跡炉跡と周辺焼土の熱残留磁気測定 ……322
3．２号（９～12号）竪穴住居跡の復原について ……329
Ⅴ．まとめ
1．中村石丸遺跡の概要 ……332
2．中村石丸遺跡出土の縄紋土器について ……333
3．中村石丸遺跡出土の石器について ……339
4．中村石丸遺跡出土の土製円盤について ……341
5．中村石丸遺跡の竪穴住居跡について ……342
6．おわりに ……343

付．黒峰尾10号墳
1．はじめに ……379
2．遺構と遺物 ……380
3．おわりに ……387

巻頭図版目次

巻頭図版1　(1)　中村石丸遺跡全景．1（南西から）　(2)　中村石丸遺跡全景．2（北東から）
巻頭図版2　(1)　中村石丸遺跡出土異形土器　(2)　中村石丸遺跡出土玦状耳飾

図版目次

〔中村石丸遺跡〕

図版1　(1)　中村石丸遺跡全景．1（南東から）　(2)　中村石丸遺跡全景．2（南西から）
図版2　(1)　中村石丸遺跡全景．3（北東から）　(2)　中村石丸遺跡全景．4（真上から）
図版3　(1)　1号竪穴住居跡．1（東から）　(2)　1号竪穴住居跡．2（北西から）
図版4　(1)　3号竪穴住居跡．1（南東から）　(2)　3号竪穴住居跡炉跡（北から）
図版5　(1)　4号竪穴住居跡遺物出土状態（東から）　(2)　4号竪穴住居跡完掘状態（東から）
図版6　(1)　5号竪穴住居跡遺物出土状態（北から）　(2)　5号竪穴住居跡完掘状態（北から）
図版7　(1)　5号竪穴住居跡炉跡．1（北から）　(2)　5号竪穴住居跡炉跡．2（南西から）
図版8　(1)　6号竪穴住居跡（北東から）　(2)　6号竪穴住居跡炉跡（西から）
図版9　(1)　7号竪穴住居跡遺物出土状態（北西から）　(2)　7号竪穴住居跡完掘状態（南西から）
図版10　(1)　7号竪穴住居跡完掘状態（北から）　(2)　8号竪穴住居跡（北西から）
図版11　(1)　9～12号竪穴住居跡．1（北西から）　(2)　9～12号竪穴住居跡．2（北西から）
図版12　(1)　9～12号竪穴住居跡．3（北西から）　(2)　9～12号竪穴住居跡完掘状態（北西から）
図版13　(1)　9号竪穴住居跡炉跡（南西から）　(2)　10号竪穴住居跡炉跡（南東から）
図版14　(1)　12号竪穴住居跡炉跡（西から）　(2)　11・12号竪穴住居跡炉跡完掘状態（南東から）
図版15　(1)　10号竪穴住居跡遺物出土状態．1(北西から)　(2)　10号竪穴住居跡遺物出土状態．2(東から)
図版16　(1)　10号竪穴住居跡遺物出土状態．3(北西から)　(2)　10号竪穴住居跡遺物出土状態．4(南から)
図版17　(1)　1・6号土坑遺物出土状態(西から)　(2)　1・6号土坑完掘状態(北東から)
図版18　(1)　2号土坑（北西から）　(2)　3号土坑（北東から）
図版19　(1)　5号土坑．1（南東から）　(2)　5号土坑．2（北東から）
図版20　(1)　1号甕棺墓．1（南東から）　(2)　1号甕棺墓．2（東から）
図版21　(1)　2号甕棺墓（南東から）　(2)　3号甕棺墓（南から）
図版22　(1)　4号甕棺墓（北東から）　(2)　1号溝遺物出土状態（北から）
図版23　(1)　1号炉跡（南東から）　(2)　2号炉跡（北から）
図版24　(1)　ピット356（南西から）　(2)　ピット714（南西から）

図版25 (1) 7号土坑（北西から） (2) 8号土坑（南東から）
図版26 (1) 1号土壙墓（北東から） (2) 2号土壙墓（北西から）
図版27 (1) 3号土壙墓（北東から） (2) 発掘調査風景（北から）
図版28 1・3・4号竪穴住居跡出土土器
図版29 4・5号竪穴住居跡出土土器
図版30 5号竪穴住居跡出土土器. 1
図版31 5号竪穴住居跡出土土器. 2
図版32 5号竪穴住居跡出土土器. 3
図版33 5・6号竪穴住居跡出土土器
図版34 7号竪穴住居跡出土土器
図版35 10号竪穴住居跡出土土器
図版36 10・12号竪穴住居跡および1～4号土坑出土土器
図版37 4・6号土坑および1号溝・1号甕棺墓出土土器
図版38 ピット356出土異形高坏
図版39 ピット・包含層出土土器および各種文様. 1
図版40 各種文様. 2
図版41 (1) 1号竪穴住居跡出土石器 (2) 4号竪穴住居跡出土石器. 1
(3) 4号竪穴住居跡出土石器. 2
図版42 (1) 5号竪穴住居跡出土石器. 1 (2) 5号竪穴住居跡出土石器. 2
(3) 5号竪穴住居跡出土石器. 3
図版43 (1) 5号竪穴住居跡出土石器. 4 (2) 5号竪穴住居跡出土石器. 5
(3) 6号竪穴住居跡出土石器
図版44 (1) 7号竪穴住居跡出土石器 (2) 10号竪穴住居跡出土石器. 1
(3) 10号竪穴住居跡出土石器. 2
図版45 (1) 12号竪穴住居跡出土石器 (2) 1号溝出土石器
(3) ピット・包含層出土石器. 1
図版46 (1) ピット・包含層出土石器. 2 (2) ピット・包含層出土石器. 3
(3) ピット・包含層出土石器. 4
図版47 (1) 土製円盤. 1 (2) 土製円盤. 2
(3) 土製円盤. 3
図版48 (1) 中村石丸遺跡出土弥生土器 (2) 中村石丸A遺跡全景. 1（北西から）
図版49 (1) 中村石丸A遺跡全景. 2（北東から） (2) 中村石丸A遺跡石組遺構（北西から）

［黒峰尾10号墳］
図版50 (1) 黒峰尾10号墳調査区全景（南から）
(2) 黒峰尾10号墳全景（南から　閉塞石除去前）
図版51 (1) 黒峰尾10号墳近景（南から　閉塞石除去前）
(2) 黒峰尾10号墳全景（南から　閉塞石除去後）
図版52 (1) 黒峰尾10号墳近景（正面から　閉塞石除去後）
(2) 黒峰尾10号墳前室（玄室から　閉塞石除去後）
図版53 (1) 黒峰尾10号墳玄室奥壁
(2) 黒峰尾10号墳玄室床面
図版54 黒峰尾10号墳出土土器検出状況
図版55 黒峰尾10号墳出土遺物

挿　図　目　次

第１図　椎田道路開通後の中村石丸遺跡（南東から　1995年11月撮影）……1
第２図　中村石丸遺跡周辺の遺跡分布図（1/50,000）……3
第３図　中村石丸遺跡調査地点（1/5,000）……5
第４図　中村石丸遺跡遺構配置略図（1/600）……6
第５図　１号竪穴住居跡・１号溝実測図（1/60）……10
第６図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.１（1/3）……11
第７図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.２（1/3）……12
第８図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.３（1/3）……13
第９図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.４（1/3）……14
第10図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.５（1/3）……15
第11図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.６（1/3）……16
第12図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.７（1/3）……17
第13図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.８（1/3）……18
第14図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.９（1/3）……19
第15図　１号竪穴住居跡出土土器実測図.10（1/3）……20
第16図　１号竪穴住居跡出土石器実測図.１（2/3）……21
第17図　１号竪穴住居跡出土石器実測図.２（1/2）……22
第18図　３号竪穴住居跡実測図（1/60）……23
第19図　３号竪穴住居跡炉跡実測図（1/20）……24

第20図　3号竪穴住居跡出土土器実測図.1（1/3）……25
第21図　3号竪穴住居跡出土土器実測図.2（1/3）……26
第22図　3号竪穴住居跡出土土器実測図.3（1/3）……27
第23図　3号竪穴住居跡出土土器実測図.4（1/3）……28
第24図　3号竪穴住居跡出土土器実測図.5（1/3）……29
第25図　3号竪穴住居跡出土土器実測図.6（1/3）……30
第26図　3号竪穴住居跡出土土器実測図.7（1/3）……31
第27図　3号竪穴住居跡出土石器実測図（14～21は1/3　23•24は1/2　22は1/4）……32
第28図　4号竪穴住居跡実測図（1/60）……34
第29図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.1（1/3）……35
第30図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.2（1/3）……36
第31図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.3（1/3）……37
第32図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.4（1/3）……38
第33図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.5（1/3）……39
第34図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.6（1/3）……40
第35図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.7（1/3）……41
第36図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.8（1/3）……42
第37図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.9（1/3）……43
第38図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.10（1/3）……44
第39図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.11（1/3）……45
第40図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.12（1/3）……46
第41図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.13（1/3）……47
第42図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.14（1/3）……48
第43図　4号竪穴住居跡出土土器実測図.15（1/3）……49
第44図　4号竪穴住居跡出土石器実測図.1（25～34は2/3　35～40は1/2）……50
第45図　4号竪穴住居跡出土石器実測図.2（1/2）……51
第46図　4号竪穴住居跡出土石器実測図.3（1/2）……52
第47図　4号竪穴住居跡出土石器実測図.4（1/4）……53
第48図　5号竪穴住居跡実測図……55
第49図　5号竪穴住居跡3層下部および4層遺物出土状態実測図（1/60）……56
第50図　5号竪穴住居跡炉跡実測図（1/20）……57
第51図　5号竪穴住居跡1層出土土器実測図.1（1/3）……58
第52図　5号竪穴住居跡1層出土土器実測図.2（1/3）……59

第53図　5号竪穴住居跡1層出土土器実測図.3（1/3）……60
第54図　5号竪穴住居跡1層出土土器実測図.4（1/3）……61
第55図　5号竪穴住居跡1層出土土器実測図.5（1/3）……62
第56図　5号竪穴住居跡1層出土土器実測図.6（1/3）……63
第57図　5号竪穴住居跡1層出土土器実測図.7（1/3）……64
第58図　5号竪穴住居跡1層出土土器実測図.8（1/3）……65
第59図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.1（1/3）……66
第60図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.2（1/3）……67
第61図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.3（1/3）……68
第62図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.4（1/3）……69
第63図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.5（1/3）……70
第64図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.6（1/3）……71
第65図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.7（1/3）……72
第66図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.8（1/3）……73
第67図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.9（1/3）……74
第68図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.10（1/3）……75
第69図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.11（1/3）……76
第70図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.12（1/3）……77
第71図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.13（1/3）……78
第72図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.14（1/3）……79
第73図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.15（1/3）……80
第74図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.16（1/3）……81
第75図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.17（1/3）……82
第76図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.18（1/3）……83
第77図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.19（1/3）……84
第78図　5号竪穴住居跡2・3層出土土器実測図.20（1/3）……85
第79図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.1（1/3）……87
第80図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.2（1/3）……88
第81図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.3（1/3）……89
第82図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.4（1/3）……90
第83図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.5（1/3）……91
第84図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.6（1/3）……92
第85図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.7（1/3）……93

第86図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.8（1/3）……94
第87図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.9（1/3）……95
第88図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.10（1/3）……96
第89図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.11（1/3）……97
第90図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.12（1/3）……98
第91図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.13（1/3）……99
第92図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.14（1/3）……100
第93図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.15（1/3）……101
第94図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.16（1/3）……102
第95図　5号竪穴住居跡3層下部出土土器実測図.17（1/3）……103
第96図　5号竪穴住居跡4層出土土器実測図.1（1/3）……104
第97図　5号竪穴住居跡4層出土土器実測図.2（1/3）……105
第98図　5号竪穴住居跡4層出土土器実測図.3（1/3）……106
第99図　5号竪穴住居跡4層出土土器実測図.4（1/3）……107
第100図　5号竪穴住居跡4層出土土器実測図.5（1/3）……108
第101図　5号竪穴住居跡4層出土土器実測図.6（1/3）……109
第102図　5号竪穴住居跡4層出土土器実測図.7（1/3）……110
第103図　5号竪穴住居跡床面出土土器実測図.1（1/3）……111
第104図　5号竪穴住居跡床面出土土器実測図.2（1/3）……112
第105図　5号竪穴住居跡床面出土土器実測図.3（1/3）……113
第106図　5号竪穴住居跡内溝出土土器実測図.1（1/3）……114
第107図　5号竪穴住居跡内溝出土土器実測図.2（1/3）……115
第108図　5号竪穴住居跡周溝・主柱穴出土土器実測図（1/3）……116
第109図　5号竪穴住居跡出土玦状耳飾実測図（2/3）……117
第110図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.1（1/2）……118
第111図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.2（1/2）……119
第112図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.3（1/2）……120
第113図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.4（1/2）……121
第114図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.5（1/2）……122
第115図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.6（1/2）……123
第116図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.7（1/2）……124
第117図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.8（1/2）……125
第118図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.9（1/2）……126

第119図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.10（1/4）……127
第120図　5号竪穴住居跡出土石器実測図.11（1/4）……128
第121図　6号竪穴住居跡実測図（1/60）……129
第122図　6号竪穴住居跡炉跡実測図（1/30）……130
第123図　6号竪穴住居跡炉跡型取り風景（西から）……130
第124図　6号竪穴住居跡出土土器実測図.1（1/3）……131
第125図　6号竪穴住居跡出土土器実測図.2（1/3）……132
第126図　6号竪穴住居跡出土土器実測図.3（1/3）……133
第127図　6号竪穴住居跡出土土器実測図.4（1/3）……134
第128図　6号竪穴住居跡出土土器実測図.5（1/3）……135
第129図　6号竪穴住居跡出土土器実測図.6（1/3）……136
第130図　6号竪穴住居跡出土土器実測図.7（1/3）……137
第131図　6号竪穴住居跡出土土器実測図.8（1/3）……138
第132図　6号竪穴住居跡出土石器実測図.1（153～159は2/3　160•161は1/2）……139
第133図　6号竪穴住居跡出土石器実測図.2（1/4）……140
第134図　7号竪穴住居跡実測図（1/60）……141
第135図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.1（1/3）……142
第136図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.2（1/3）……143
第137図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.3（1/3）……144
第138図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.4（1/3）……145
第139図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.5（1/3）……146
第140図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.6（1/3）……147
第141図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.7（1/3）……148
第142図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.8（1/3）……149
第143図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.9（1/3）……150
第144図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.10（1/3）……151
第145図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.11（1/3）……152
第146図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.12（1/3）……153
第147図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.13（1/3）……154
第148図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.14（1/3）……155
第149図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.15（1/3）……156
第150図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.16（1/3）……157
第151図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.17（1/3）……158

第152図　7号竪穴住居跡出土土器実測図.18（1/3）……159
第153図　7号竪穴住居跡出土石器実測図.1（165～179は2/3　180～184は1/3）……160
第154図　7号竪穴住居跡出土石器実測図.2（1/2）……161
第155図　7号竪穴住居跡出土石器実測図.3（195～200は1/3　201•202は1/4）……162
第156図　8号竪穴住居跡実測図（1/60）……163
第157図　9～12号竪穴住居跡実測図（1/60）……折り込み
第158図　9～12号竪穴住居跡炉跡実測図（1/20）……165
第159図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.1（1/3）……167
第160図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.2（1/3）……168
第161図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.3（1/3）……169
第162図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.4（1/3）……170
第163図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.5（1/3）……171
第164図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.6（1/3）……172
第165図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.7（1/3）……173
第166図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.8（1/3）……174
第167図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.9（1/3）……175
第168図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.10（1/3）……176
第169図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.11（1/3）……177
第170図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.12（1/3）……178
第171図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.13（1/3）……179
第172図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.14（1/3）……180
第173図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.15（1/3）……181
第174図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.16（1/3）……182
第175図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.17（1/3）……183
第176図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.18（1/3）……184
第177図　10号竪穴住居跡出土土器実測図.19（1/3）……185
第178図　10号竪穴住居跡出土石器実測図.1（2/3）……186
第179図　10号竪穴住居跡出土石器実測図.2（1/2）……187
第180図　10号竪穴住居跡出土石器実測図.3（1/2）……188
第181図　10号竪穴住居跡出土石器実測図.4（1/2）……189
第182図　10号竪穴住居跡出土石器実測図.5（1/4）……190
第183図　12号竪穴住居跡出土土器実測図.1（1/3）……192
第184図　12号竪穴住居跡出土土器実測図.2（1/3）……193

第185図 12号竪穴住居跡出土土器実測図.3（1/3）……194
第186図 12号竪穴住居跡出土石器実測図.1(234～241は2/3 242～248は1/3)……195
第187図 12号竪穴住居跡出土石器実測図.2（1/2）……196
第188図 10・12号竪穴住居跡出土土器実測図.1（1/3）……197
第189図 10・12号竪穴住居跡出土土器実測図.2（1/3）……198
第190図 10・12号竪穴住居跡出土石器実測図（1/3）……199
第191図 1・6号土坑実測図（1/30）……200
第192図 1号土坑出土土器実測図.1（1/3）……202
第193図 1号土坑出土土器実測図.2（1/3）……203
第194図 1号土坑出土土器実測図.3（1/3）……204
第195図 1号土坑出土土器実測図.4（1/3）……205
第196図 1号土坑出土土器実測図.5（1/3）……206
第197図 1号土坑出土土器実測図.6（1/3）……207
第198図 1号土坑出土土器実測図.7（1/3）……208
第199図 1号土坑出土石器実測図（262～273は2/3 274～279は1/3）……209
第200図 2号土坑実測図（1/30）……210
第201図 2号土坑出土土器実測図（1/3）……211
第202図 2号土坑出土石器実測図（280～282は2/3 283・285は1/3 284・286は1/4）……212
第203図 3・4号土坑実測図（1/30）……213
第204図 3号土坑出土土器実測図（1/3）……214
第205図 4号土坑出土土器実測図.1（1/3）……215
第206図 4号土坑出土土器実測図.2（1/3）……216
第207図 3～5号土坑出土石器実測図（287～291は2/3 292～294は1/2）……217
第208図 5号土坑実測図（1/30）……218
第209図 5号土坑出土石器実測図（1/4）……219
第210図 6号土坑出土土器実測図.1（1/3）……221
第211図 6号土坑出土土器実測図.2（1/3）……222
第212図 6号土坑出土土器実測図.3（1/3）……223
第213図 6号土坑出土土器実測図.4（1/3）……224
第214図 6号土坑出土土器実測図.5（1/3）……225
第215図 6号土坑出土土器実測図.6（1/3）……226
第216図 6号土坑出土土器実測図.7（1/3）……227
第217図 6号土坑出土石器実測図(296～298は2/3 299～301は1/3 302は1/4)……228

第218図　1～4号甕棺墓実測図（1/15）……229
第219図　1号甕棺実測図（1/3）……230
第220図　2・4号甕棺実測図（1/3）……231
第221図　1号甕棺出土石器実測図（1/2）……231
第222図　1・2号炉跡実測図（1/20）……232
第223図　1・2号炉跡出土土器実測図（1102は1号　1103•1104は2号　1/3）……232
第224図　1号溝出土土器実測図.1（1/3）……235
第225図　1号溝出土土器実測図.2（1/3）……236
第226図　1号溝出土土器実測図.3（1/3）……237
第227図　1号溝出土土器実測図.4（1/3）……238
第228図　1号溝出土土器実測図.5（1/3）……239
第229図　1号溝出土土器実測図.6（1/3）……240
第230図　1号溝出土石器実測図（1/2）……241
第231図　ピット714・356実測図（1/15）……242
第232図　ピット・包含層出土土器実測図.1（1/3）……245
第233図　ピット・包含層出土土器実測図.2（1/3）……246
第234図　ピット・包含層出土土器実測図.3（1/3）……247
第235図　ピット・包含層出土土器実測図.4（1/3）……248
第236図　ピット・包含層出土土器実測図.5（1/3）……249
第237図　ピット・包含層出土土器実測図.6（1/3）……250
第238図　ピット・包含層出土土器実測図.7（1/3）……251
第239図　ピット・包含層出土土器実測図.8（1/3）……252
第240図　ピット・包含層出土土器実測図.9（1/3）……253
第241図　ピット・包含層出土土器実測図.10（1/3）……254
第242図　ピット・包含層出土土器実測図.11（1/3）……255
第243図　ピット・包含層出土土器実測図.12（1/3）……256
第244図　ピット・包含層出土土器実測図.13（1/3）……257
第245図　ピット・包含層出土土器実測図.14（1/3）……258
第246図　ピット・包含層出土土器実測図.15（1/3）……259
第247図　ピット・包含層出土土器実測図.16（1/3）……260
第248図　ピット・包含層出土土器実測図.17（1/3）……261
第249図　ピット・包含層出土土器実測図.18（1/3）……262
第250図　ピット・包含層出土土器実測図.19（1/3）……263

第251図 ピット・包含層出土土器実測図.20（1/3）……264
第252図 ピット・包含層出土土器実測図.21（1/3）……265
第253図 ピット・包含層出土土器実測図.22（1/3）……266
第254図 ピット・包含層出土土器実測図.23（1/3）……267
第255図 ピット・包含層出土土器実測図.24（1/3）……268
第256図 ピット・包含層出土土器実測図.25（1/3）……269
第257図 ピット・包含層出土土器実測図.26（1/3）……270
第258図 ピット・包含層出土土器実測図.27（1/3）……271
第259図 ピット・包含層出土土器実測図.28（1/3）……272
第260図 ピット・包含層出土土器実測図.29（1/3）……273
第261図 ピット・包含層出土土器実測図.30（1/3）……274
第262図 ピット・包含層出土土器実測図.31（1/3）……275
第263図 ピット・包含層出土土器実測図.32（1/3）……276
第264図 ピット・包含層出土土器実測図.33（1/3）……277
第265図 ピット・包含層出土土器実測図.34（1/3）……278
第266図 ピット・包含層出土土器実測図.35（1/3）……279
第267図 ピット・包含層出土石器実測図.1（2/3）……280
第268図 ピット・包含層出土石器実測図.2（2/3）……281
第269図 ピット・包含層出土石器実測図.3（2/3）……282
第270図 ピット・包含層出土石器実測図.4（412～414は2/3　415～419は1/2）……283
第271図 ピット・包含層出土石器実測図.5（1/2）……284
第272図 ピット・包含層出土石器実測図.6（1/2）……285
第273図 ピット・包含層出土石器実測図.7（1/2）……286
第274図 ピット・包含層出土石器実測図.8（1/2）……287
第275図 ピット・包含層出土石器実測図.9（453～456は1/2　457は1/4）……288
第276図 表採土器実測図（1/3）……289
第277図 表採石器実測図.1（458～473は2/3　474～477は1/2）……290
第278図 表採石器実測図.2（1/2）……291
第279図 表採石器実測図.3（1/4）……292
第280図 土製円盤実測図.1（1/3）……293
第281図 土製円盤実測図.2（1/3）……294
第282図 土製円盤実測図.3（1/3）……295
第283図 土製円盤実測図.4（1/3）……296

第284図 土製円盤実測図.5（1/3）……297
第285図 土製円盤実測図.6（1/3）……298
第286図 1号土坑出土土器実測図（1/3）……300
第287図 7・8号土坑実測図（1/30）……301
第288図 7号土坑出土土器実測図（1/3）……302
第289図 8号土坑出土土器実測図（1/3）……303
第290図 1～3号土壙墓実測図（1/30）……304
第291図 2号土壙墓出土土器実測図（1/3）……305
第292図 包含層出土弥生土器実測図（1/3）……305
第293図 中村石丸A遺跡遺構全体図（1/80）……307
第294図 中村石丸A遺跡出土縄紋土器・石器実測図（1/2）……308
第295図 中村石丸A遺跡出土須恵器実測図.1（1/3）……308
第296図 中村石丸A遺跡出土須恵器実測図.2（1/4）……309
第297図 中村石丸A遺跡出土土器実測図（1/4）……310
第298図 中村石丸A遺跡出土陶磁器実測図（1/3）……311
第299図 中村石丸A遺跡全景（北西から）……312
第300図 5号土坑および1号甕棺墓における試料採集地点（縮尺不統一）……314
第301図 土壌試料に残存する脂肪の脂肪酸組成……320
第302図 土壌試料に残存するステロール組成……320
第303図 土壌試料に残存する脂肪の脂肪酸組成樹状構造図……321
第304図 土壌試料に残存する脂肪の脂肪酸組成による種特異性相関……321
第305図 12号竪穴住居跡炉跡周辺熱残留磁気分析用試料採集風景（北西から）……325
第306図 12号竪穴住居跡炉跡近傍焼土の残留磁気の方向……326
第307図 12号竪穴住居跡炉跡床面焼土の残留磁気の方向……326
第308図 10号竪穴住居跡炉跡近傍焼土の残留磁気の方向……327
第309図 9号竪穴住居跡炉跡近傍焼土の残留磁気の方向……327
第310図 中村石丸遺跡のデータと西南日本の過去2,000年間の地磁気永年変化曲線との比較……328
第311図 2号（9～12号）竪穴住居跡想像復原図（1/15）……330
第312図 2号（9～12号）竪穴住居跡復原模型.1……331
第313図 2号（9～12号）竪穴住居跡復原模型.2……331
第314図 小池原上層式から鐘崎式までの波頂部（1～9）と胴部文様（10～16）の変遷模式図……336
第315図 中村石丸遺跡発掘調査風景（北東から）……344
第316図 黒峰尾10号墳と周辺地形（図1/2,000）……379

第317図 黒峰尾10号墳地形測量図（1/200）……381
第318図 黒峰尾10号墳地山整形図（1/200）……382
第319図 黒峰尾10号墳墳丘土層図（1/60）……折り込み
第320図 黒峰尾10号墳閉塞石実測図（1/60）……383
第321図 黒峰尾10号墳石室実測図（1/60）……384
第322図 黒峰尾10号墳出土土器実測図（1/3）……385
第323図 黒峰尾10号墳出土土製品・石製品実測図（2/3）……386
第324図 黒峰尾10号墳発掘調査風景……388
付　図 中村石丸遺跡遺講配置図（1/200）

表目次

第1表　土壌試料の残存脂肪抽出量……319
第2表　土壌試料に分布するコレステロールとシトステロールの割合……319
第3表　焼土の特徴と熱残留磁気測定用の定方位試料……323
第4表　残留磁気の平均方向と誤差の目安……324
第5表　縄紋土器観察表.1……345
第6表　縄紋土器観察表.2……346
第7表　縄紋土器観察表.3……347
第8表　縄紋土器観察表.4……348
第9表　縄紋土器観察表.5……349
第10表　縄紋土器観察表.6……350
第11表　縄紋土器観察表.7……351
第12表　縄紋土器観察表.8……352
第13表　縄紋土器観察表.9……353
第14表　縄紋土器観察表.10……354
第15表　縄紋土器観察表.11……355
第16表　縄紋土器観察表.12……356
第17表　縄紋土器観察表.13……357
第18表　縄紋土器観察表.14……358
第19表　縄紋土器観察表.15……359
第20表　縄紋土器観察表.16……360
第21表　縄紋土器観察表.17……361

第22表　縄紋土器観察表. 18……362
第23表　縄紋土器観察表. 19……363
第24表　縄紋土器観察表. 20……364
第25表　縄紋土器観察表. 21……365
第26表　石器観察表. 1 ……365
第27表　石器観察表. 2 ……366
第28表　石器観察表. 3 ……367
第29表　石器観察表. 4 ……368
第30表　石器観察表. 5 ……369
第31表　石器観察表. 6 ……370
第32表　石器観察表. 7 ……371
第33表　石器観察表. 8 ……372
第34表　土製円盤観察表. 1 ……372
第35表　土製円盤観察表. 2 ……373
第36表　土製円盤観察表. 3 ……374
第37表　土製円盤観察表. 4 ……375
第38表　土製円盤観察表. 5 ……376
第39表　弥生土器観察表. 1 ……377
第40表　弥生土器観察表. 2 ……377

Ⅳ. 分析と復原

1. 5号土坑および1号甕棺墓における残存脂肪酸分析について

㈱ズコーシヤ総合科学研究所　中野寛子、長田正宏
帯広畜産大学畜産環境学科　中野益男、福島道広

動植物を構成している主要な生体成分にタンパク質、糖質（炭水化物）および脂質（脂肪・油脂）がある。これらの生体成分は環境の変化に対して不安定で、圧力、水分などの物理的作用を受けて崩壊してゆくだけでなく、土の中に住んでいる微生物による生物的作用によっても分解してゆく。これまで生体成分を構成している有機質が完全な状態で遺存するのは、地下水位の高い低地遺跡、泥炭遺跡、貝塚などごく限られた場所にすぎないと考えられてきた。

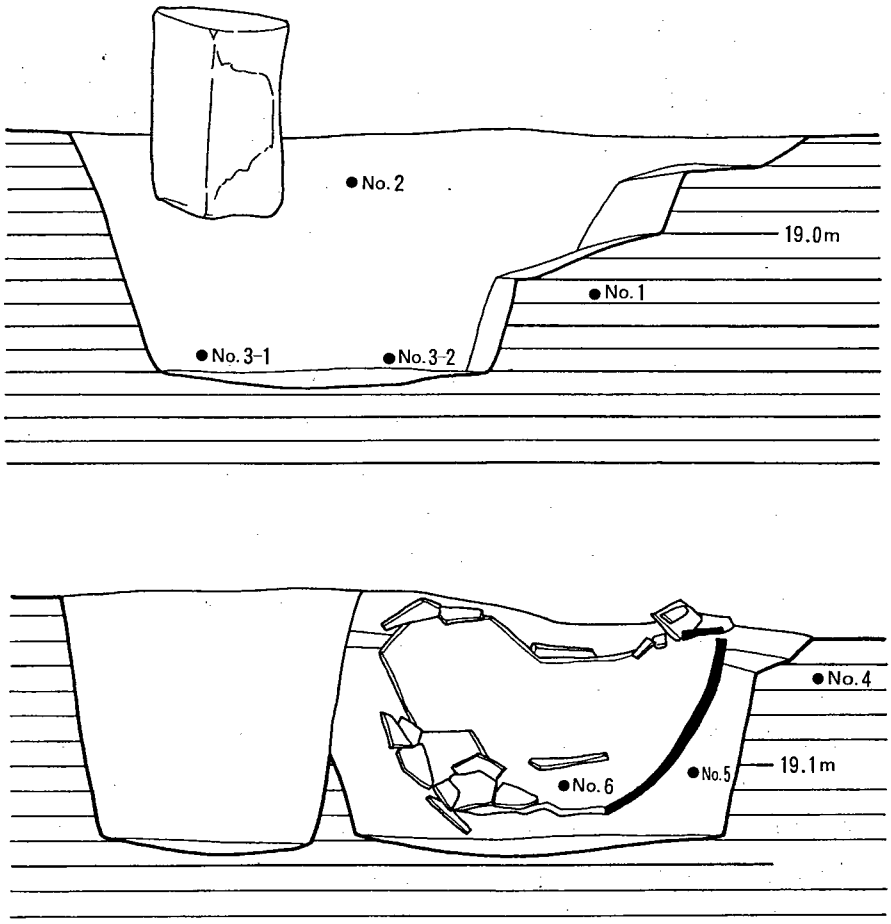
最近、ドイツ新石器時代後期にバター脂肪が存在していたこと[(1)]、古代遺跡から出土した約2千年前のトウモロコシ種子[(2)]に、約5千年前のハーゼルナッツ種子[(3)]に残存する脂肪の脂肪酸は安定した状態に保持されていることがわかった。このように脂肪は微量ながら比較的安定した状態で千年・万年という長い年月を経過しても変化しないで遺存することが判明した[(4)]。

脂質は有機溶媒に溶けて、水に溶けない成分を指している。脂質はさらに構造的な違いによって誘導脂質、単純脂質および複合脂質に大別される。これらの脂質を構成している主要なクラス（種）が脂肪酸であり、その種類、含量ともに脂質中では最も多い。脂肪酸には炭素の鎖がまっすぐに延びた飽和型と鎖の途中に二重結合をもつ不飽和型がある。動物は炭素数の多い飽和型の脂肪酸、植物は不飽和型の脂肪酸を多く持つというように、動植物の種ごとに固有の脂肪酸を持っている。ステロールについても、動物性のものはコレステロール、植物性のものはシトステロール、微生物はエルゴステロールというように動植物に固有の特徴がある。従って出土遺物の脂肪の種類およびそれらを構成している脂肪酸組成と現世動植物のそれとを比較することによって、目に見える形では遺存しない原始古代の動植物を判定することが可能である。

この「残存脂肪分析法」を腐朽分解の進んだ、考古学的実証の困難な遺跡の解明に適用し、遺跡内土壌に残存する脂肪を分析することによって、中村石丸遺跡の5号土坑および1号甕棺墓の性格を解明しようとした。

(1) 土壌試料

中村石丸遺跡は縄文時代後期の集落跡と推定されている。このうち立石が標石のように置か



第 300 図 5号土坑および1号甕棺墓における試料採集地点（縮尺不統一）

れていた土坑と甕棺墓と推定される土器の内外の土壌について分析した。土壌試料採取地点を第300図に示す。試料No.1からNo.3は5号土坑から採取した。試料No.1は5号土坑の地山から、No.2は土坑内から、No.3はその土坑の下部2ケ所から採取し、No.3-1、No.3-2とした。試料No.3の部分には微少の骨片が含まれていた。また1号甕棺墓の方の試料No.4は甕棺埋設場所の地山から、No.5は甕棺と掘り方の間から、No.6は甕棺内からそれぞれ土壌を採取した。

(2) 残存脂肪の抽出

土壌試料309～640 gに3倍量のクロロホルム－メタノール（2：1）混液を加え、超音波浴

槽中で30分間処理し残存脂肪を抽出した。処理液を濾過後、残渣に再度クロロホルムーメタノール混液を加え、再び30分間超音波処理をする。この操作をさらに2回繰り返して残存脂肪を抽出した。得られた全抽出溶媒に1%塩化バリウムを全抽出溶媒の4分の1容量加え、クロロホルム層と水層に分配し、下層のクロロホルム層を濃縮して残存脂肪を分離した。

残存脂肪の抽出量を第1表に示す。抽出率は0.0002～0.0012%、平均0.0005%であった。この値は出土土坑を土壙墓かどうか判定した北海道納内3遺跡の土壌試料の平均抽出率0.0032%[(5)]、宮城県摺萩遺跡の土壌試料の0.003%[(6)]、福島県堂後遺跡の土壌試料の0.0025%[(7)]、北海道美沢3遺跡の土壌試料の0.0016%[(8)]、兵庫県寺田遺跡の土壌試料の0.0016%[(9)]、出土遺物を甕棺と判定した静岡県原川遺跡の土壌試料の0.0041%[(10)]と比べるとかなり低い値ではあったが分析には十分量であった。

残存脂肪をケイ酸薄層クロマトグラフィーで分析した結果、脂肪は単純脂質から構成され、遊離脂肪酸が最も多く、次いでグリセロールと脂肪の結合したトリグリセリド、ステロールエステル、ステロールの順に多く、微量の長鎖炭化水素も存在していた。

(3) 残存脂肪の脂肪酸組成

分離した残存脂肪に5%メタノール性塩酸を加え、125℃封管中で2時間分解し、メタノール分解によって生成した脂肪酸メチルエステルをクロロホルムで分離し、ヘキサンーエチルエーテルー酢酸（80:30:1）またはヘキサンーエーテル（85:15）を展開溶媒とするケイ酸薄層クロマトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフィーで分析した。[(11)]

残存脂肪の脂肪酸組成を第301図に示す。残存脂肪から11種類の脂肪酸を検出した。このうちパルミチン酸（C16:0）、パルミトレイン酸（C16:1）、ステアリン酸（C18:0）、オレイン酸（C18:1）、リノール酸（C18:2）、アラキジン酸（C20:0）、エイコサモノエン酸（C20:1）、ベヘン酸（C22:0）、エルシン酸（C22:1）、リグノセリン酸（C24:0）の10種類の脂肪酸をガスクロマトグラフィー質量分析により同定した。

5号土坑の方を見ると、No.1からNo.3-2までの4試料の脂肪酸組成のパターンはよく類似していた。いずれの試料も主要な脂肪酸はパルミチン酸で約47～63%を占め、次いでパルミトレイン酸、ステアリン酸、オレイン酸の順におおかった。パルミチン酸の分布割合が高い脂肪酸パターンを持った試料は高等動物の体脂肪、骨油が混入した可能性があると推測される。高等動物、特に臓器、脳、神経組織、血液、胎盤に特徴的にみられるベヘン酸、リグノセリン酸などの高級脂肪酸の分布量は約6～10%と比較的低いことから、残存脂肪酸組成から見る限り、動物遺体の全身が埋蔵されていた可能性は少ない。

1号甕棺墓の方を見ると、5号土坑の土穣試料とほぼ同じ脂肪酸組成パターンを示したが、主要な脂肪酸であるパルミチン酸の含量が約46～56%で、前者よりは若干少なかった。ベヘン

酸、リグノセリン酸などの高級脂肪酸の含量は約８～９％で前者とほぼ同量で低かった。

一般にこのような谷状の脂肪酸組成のパターンを示すものは植物腐植土に高等動物の遺存体が混入した場合が多い。しかし動物体組織全部が埋蔵されている場合の脂肪酸パターンとは少し異なっていることから、５号土坑および１号甕棺墓とも骨油埋蔵の可能性が高い。しかし普通骨油の場合30％前後のオレイン酸が分布しているのに対し、今回はその値が６～７％と低い。一般に動物油の場合、450℃以上の熱を受けると35％前後分布していたオレイン酸は15％前後に減少し、代わりにパルミチン酸が増加する現象がよく観察される。[12] 従って中村石丸遺跡の５号土坑および１号甕棺墓に遺存する動物油脂は加熱を受けた可能性も推測される。

(4) 残存脂肪のステロール組成

残存脂肪のステロールをヘキサン－エチルエーテル－酢酸（80:30:１）を展開溶媒とするケイ酸薄層クロマトグラフィーで分離・精製後、ピリジン－無水酢酸（１：１)を窒素気流下で反応させてアセテート誘導体にしてからガスクロマトグラフィーにより分析した。残存脂肪の主なスチロール組成を第302図に示す。残存脂肪から２～13種類のステロールを検出した。このうちコレステロール、エルゴステロール、カンペステロール、スチグマステロール、シトステロールなど７種類のスチロールをガスクロマトグラフィー質量分析により同定した。

５号土坑の方を見ると、動物由来のコレステロールが約11～22％、植物由来のシトステロールが約20～47％を占めていた。１号甕棺墓の方ではコレステロールが８％前後、シトステロールが約15～26％を占めていた。また微生物由来のエルゴステロールが５号土坑の方では試料№1にのみ約６％含まれていた。１号甕棺墓の方ではその値が約９～19％で、通常植物腐植土でみられるエルゴステロールの分布割合である５％前後をかなり上回っていた。しかし山形県押出遺跡の縄文クッキーにみられるように、人為的に酵母等の微生物を添加した値[13]に比べると今回の値はかなり低い値であるため、このステロールは植物遺体の廃棄等のために土中で自然醗酵が起こり、微生物が増殖して生成したものである可能性が高い

一般に動物遺体の存在を示唆するコレステロールとシトステロールの分布比の指標値は土壌で0.6以上、[14] 土器、石器、石製品で0.8～23.5をとる。[15、16] 土壌試料のコレステロールとシトステロールの分布比を第２表に示す。５号土坑の方は試料№2でその分布比が0.5と若干低いが、他の３試料はいずれもその値が0.6以上を示した。対照土壌である試料№1もその値が0.6と動物遺体の存在を示す指標値に近いのは、土坑中の脂肪が土坑外にも長い年月のうちに染み出ていったか、土坑土壌に攪乱があったものと思われる。従って立石のある土坑の方には動物遺体が存在した可能性がある。１号甕棺墓の方ではその値が甕棺の中の土壌試料№6で最も高くて0.4であり、甕棺のすぐ外の試料№5で0.3、対照土壌の№4ではコレステロールが検出されなかった。即ち、甕棺の外は植物腐植土由来のステロールが主成分をなし、甕棺内の方は少しコ

レステロールが高くなっている。これらの値から判断すると、甕棺内には微量ながら動物遺体の痕跡が認められる。コレステロール含量や指標値が低いのは、甕棺内の動物遺体がわずかで多量の植物腐植土の影響を受けているためと推定される。

(5) 脂肪酸組成の数理解析

残存脂肪の脂肪酸組成をパターン化し、垂回帰分析により各試料間の相関係数を求め、この相関係数を基礎にしてクラスター分析を行って各試料間の類似度を調べた。同時に宮城県摺萩遺跡[6]、兵庫県寺田遺跡[9]、静岡県原川遺跡[10]の土壌試料に残存する脂肪酸の類似度とも比較した。

各試料間の脂肪酸組成の類似度をパターン間距離にして表した樹状構造図を第303図に示す。5号土坑の地山部分の試料№1と1号甕棺墓の方の土器と掘り方の間の土壌試料№5は相関行列距離が0.03以内の近い距離にありA群を形成した。他の5試料は更にその距離よりも近い0.01以内の距離にあり、非常に類似していることがわかりB群を形成した。そのB群の中でも5号土坑3試料、1号甕棺墓の方の2試料はそれぞれ同じ系統樹に属していた。またこれらA、B群の試料は、C群の寺田遺跡中の最も高等動物遺存体の多い部分の土壌試料と最も近く、次いで原川遺跡の幼児埋葬用甕棺土壌試料のD群、摺萩遺跡の再葬墓土壙土壌試料のE群の順に類似していた。従って、5号土坑、1号甕棺墓ともに動物遺体が埋蔵されていた可能性は高い。

(6) 脂肪酸組成による種特異性相関

残存脂肪の脂肪酸組成から種を特定するために、中級脂肪酸（炭素数16のパルミチン酸から炭素数18のステアリン酸、オレイン酸、リノール酸まで）と高級脂肪酸（炭素数20のアラキジン酸以上）との比をX軸に、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸との比をY軸にとり種特異性相関を求めた。この比例配分により第1象限の原点から離れた位置に高等動物の血液、脳、神経組織、胎盤、臓器等に由来する脂肪が分布し、第2象限の原点から離れた位置に高等動物の体脂肪、骨油に由来する脂肪が分布する。第2象限から第3象限にかけての原点付近に植物と微生物、原点から離れた位置に植物腐植、第3象限から第4象限に移る原点から離れた位置に海産動物が分布する。

土壌試料の残存脂肪から求めた相関図を第304図に示す。いずれの試料も第2象限内に分布し、試料№1と№5はA群を形成して、第2象限内の原点に近い方に、他の5試料はB群を形成して第2象限内の原点から離れた位置に分布した。これらの位置はいずれも高等動物の体脂肪、骨油に由来する脂肪が分布する所である。このことから5号土坑にも1号甕棺墓にも高等動物遺存体が存在した可能性が高い。

(7) 総 括

中村石丸遺跡内の5号土坑と1号甕棺墓に残存する脂肪の分析を行った。残存する脂肪酸とステロール分析の結果、中級脂肪酸のパルミチン酸が高く、高等動物の遺存を示唆する高級脂肪酸のベヘン酸、リグノセリン酸が微量ながら検出されること、1号甕棺墓ではコレステロール含量は少し低いが、5号土坑ではその含量が高いこと等から5号土坑および1号甕棺墓には動物遺体が埋葬されていた可能性が高い。しかし、ベヘン酸、リグノセリン酸等の高級脂肪酸が低く、動物油にみられるオレイン酸も低く、パルミチン酸が高いこと等から、動物遺体をそのまま埋葬したのではなく、加熱（火葬）された骨を5号土坑、1号甕棺墓のいずれにも埋葬したと推測される。

参考文献

(1) R.C.A.Rottländer and H.Schlichtherle:「Food identification of sam1es from archaeological sites」『Archaeo.Physika.』, 10巻, 1979, p260.

(2) D.A.Priestley, W.C.Galinat and A.C.Leopold:「Preservation of polyunsaturated fatty acid in ancient Anasazi maize seed」,『Nature』, 292巻, 1981, p146.

(3) R.C.A.Rottländer and H.Schlichtherle:「Analyse frühgeschichtlicher Gefässinhalte」,『Naturwissenschaften』, 70巻, p33.

(4) 中野益男:「残存脂肪分析の現状」,『歴史公論』, 第10巻 (6), 1984, p124.

(5) 中野益男, 福島道広, 中野寛子, 長田正宏:「納内3遺跡の遺構群に残存する脂肪の分析」,『納内3遺跡』, 北海道埋蔵文化財センター調査報告書, 第60集, 1988, p141.

(6) 中野益男, 福島道広, 中野寛子, 長田正宏:「摺萩遺跡の遺構に残存する脂肪の分析」,『未発表』, 宮城県教育委員会。

(7) 中野益男, 福島道広, 中野寛子, 長田正宏:「堂後遺跡の土壌に残存する脂肪の分析」,『未発表』, 福島県郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団。

(8) 中野益男, 福島道広, 中野寛子, 長田正宏:「美沢3遺跡の土塊に残存する脂肪の分析」,『美沢川流域の遺跡群XⅡ－新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書』, 北海道埋蔵文化財センター調査報告第58集, 1988, p237。

(9) 中野益男, 中野寛子, 福島道広, 長田正宏:「寺田遺跡土壙墓状遺構に残存する脂肪の分析」,『未発表』, 兵庫県芦屋市教育委員会。

(10) 中野益男, 幅口 剛, 福島道広, 中野寛子, 長田正宏:「原川遺跡の土器棺に残存する脂肪の分析」,『原川遺跡Ⅰ－昭和62年度袋井バイパス（掛川地区）埋蔵文化財発掘調査報告書』, 第17集, (財)静岡県埋蔵文化財調査研究所, 1988, p79.

(11) M.Nakano and W.Fischer:「The Glycolipids of *Lactobacillus casei* DSM 20021」,『Hop-Seyler's Z. Physiol. Chem.』, 358巻, 1977, p1439。

(12) 中野益男:「残存脂肪酸による古代復元」,『講演収録集－新しい研究法は考古学になにをもたらしたか』, 第3回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会編, 1989, p114。

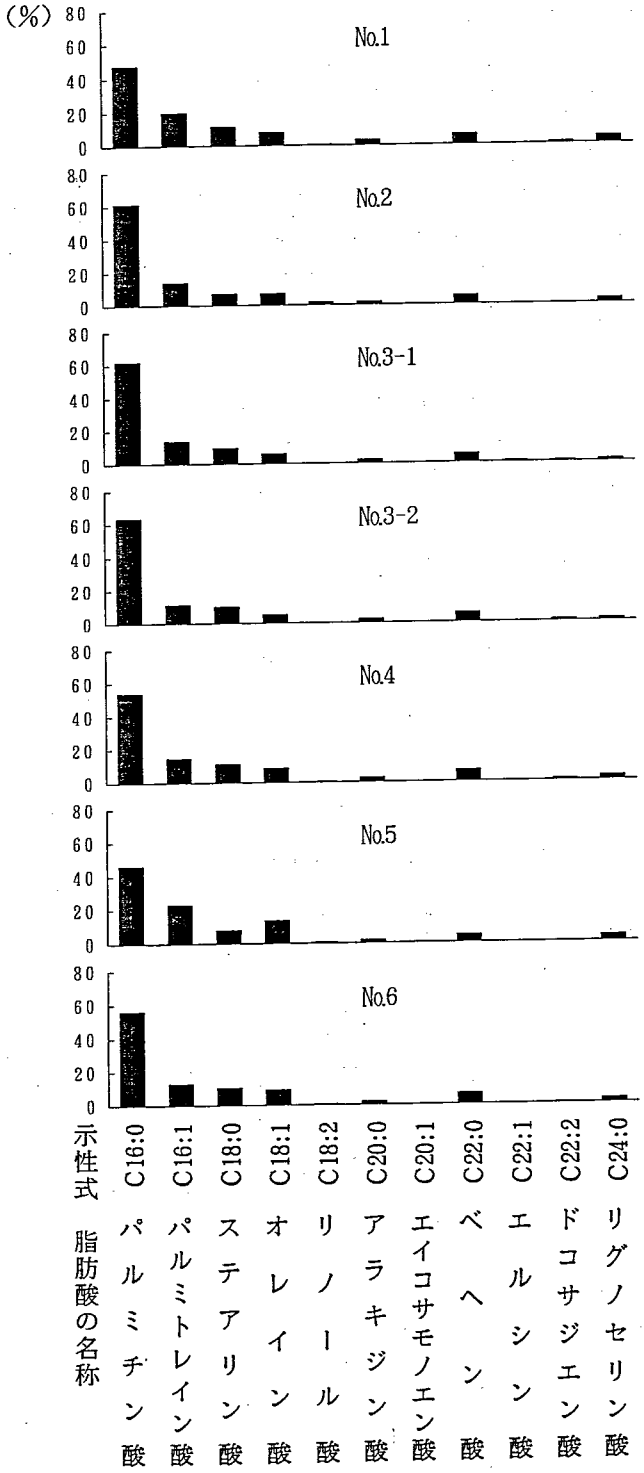
(13) 中野益男，福島道広，中野寛子，中岡利泰，根岸　孝，：「残存脂肪分析法による原始古代の生活環境－とくに東北地方の縄文時代前期遺跡から出土したクッキー状炭化物の栄養化学的同定（第7報）」，『日本農芸化学会東北支部北海道支部合同秋期大会講演要旨』，1987，p15。
(14) 中野益男，伊賀　啓，根岸　孝，安本教博，畑　宏明，矢吹俊男，佐原　真，田中　琢：「古代遺跡に残存する脂質の分析」，『脂質生化学研究』，第26巻，1984，p40。
(15) 中野益男：「真脇遺跡出土土器に残存する動物油脂」，『真脇遺跡－農村基盤総合設備事業能都東地区真脇工区に係わる発掘調査報告書』，能都町教育委員会，真脇遺跡発掘調査団，1986，p401。
(16) 中野益男，根岸　孝，長田正宏，福島道広，中野寛子：「ヘロカルウス遺跡の石器製品に残存する脂肪の分析」，『ヘロカルウス遺跡』，北海道文化財研究所調査報告書，第3集，1987，p191。

第 1 表　土壌試料の残存脂肪抽出量

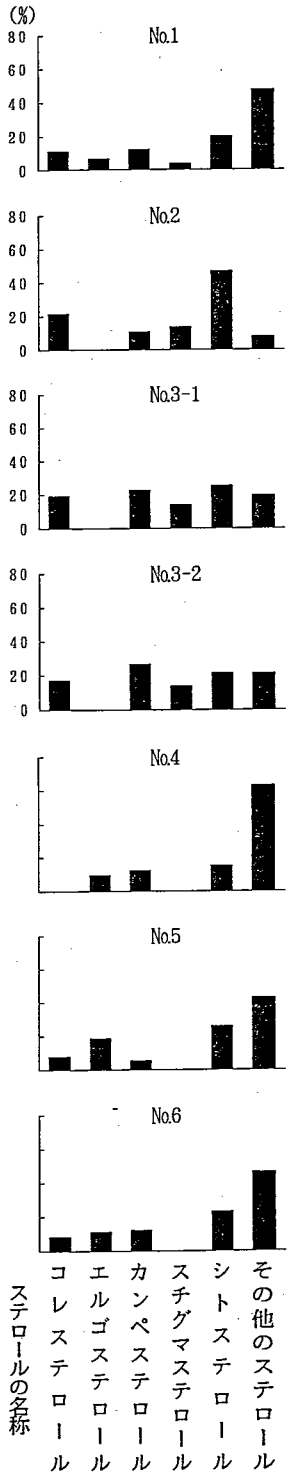
試料No.	採取地点	湿重量(g)	全脂質(mg)	抽出率(%)
5号土坑				
1	地山	596.3	6.9	0.0012
2	中の土	308.5	1.2	0.0004
3-1	下部(灰褐色粘質土)	451.3	1.6	0.0004
3-2	〃	453.4	1.0	0.0002
1号甕棺墓				
4	地山	434.0	1.9	0.0004
5	土器と堀り方の間の土	640.1	2.6	0.0004
6	中の土	363.8	2.3	0.0006

第 2 表　土壌試料に分布するコレステロールとシトステロールの割合

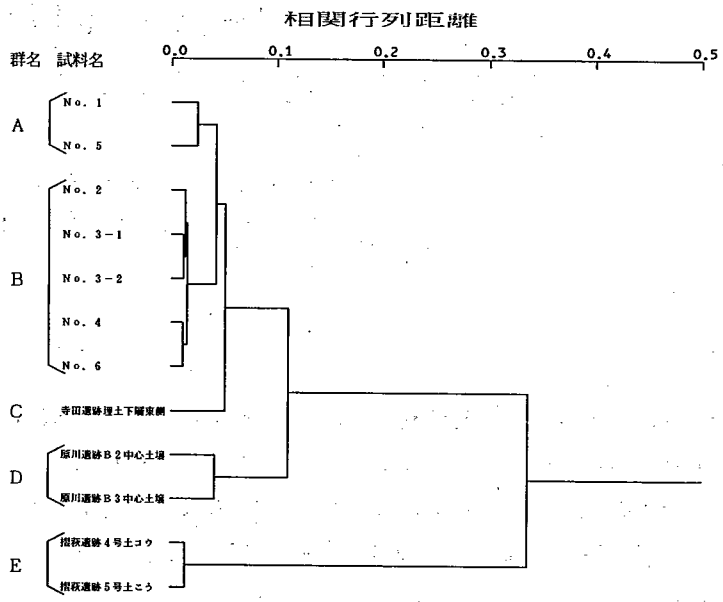
試料No.	コレステロール(%)	シトステロール(%)	コレステロール／シトステロール
1	11.03	19.65	0.5613
2	21.54	46.60	0.4622
3-1	19.06	25.23	0.7554
3-2	17.11	21.41	0.7992
4	－	14.98	0
5	7.64	25.74	0.2968
6	8.18	22.94	0.3566



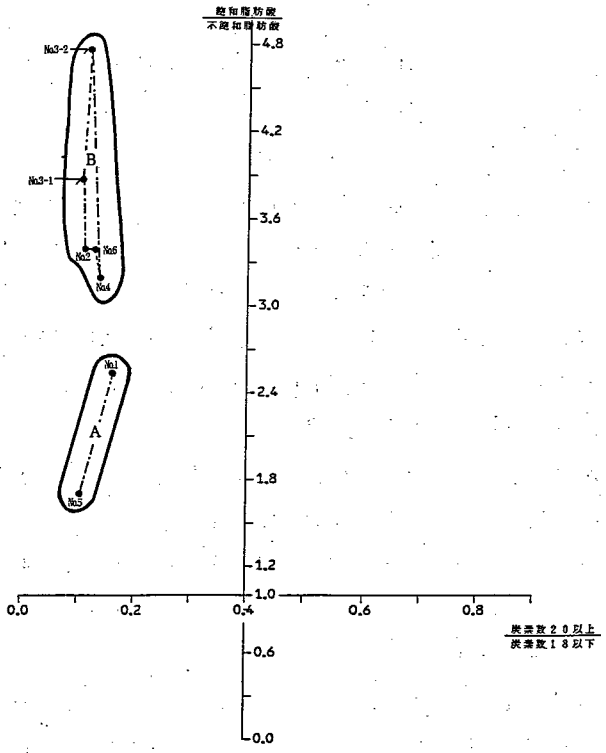
第 301 図 土壌試料に残存する脂肪の脂肪酸組成



第 302 図 土壌試料に残存する脂肪のステロール組成



第 303 図 土壌試料に残存する脂肪の脂肪酸組成樹状構造図



第 304 図 土壌試料に残存する脂肪の脂肪酸組成による種特異性相

2．2号（9～12号）竪穴住居跡炉跡と周辺焼土の熱残留磁気測定

島根大学総合理工学部　時枝　克安
島根職業能力開発短期大学校　伊藤　晴明

はじめに

日本では、熱残留磁気から焼土の最終焼成年代を求める地磁気年代法が過去2000年間について実用化されているが、それ以前の古い時代については基準となる地磁気永年変化曲線（標準曲線）がないのでまだ利用できない。今回の調査の目的は、縄文時代後期中葉（～B.C.3500）の中村石丸遺跡の炉跡の残留磁気の方向を測定し、縄文時代の標準曲線を描くための貴重なデータを得ることである。

1　地磁気年代法：地磁気と残留磁気の役割

地磁気は一定ではなく、周期の短いものから長いものまで様々な変動をしているが、これらの変動の中でも、時間が10年以上経過すると顕著になるような緩慢な変動を地磁気永年変化と呼んでいる。地磁気年代測定法で時計の働きをするのは、この地磁気永年変化であり、過去の地磁気の方向の変化曲線に年代を目盛って、地磁気の方向から年代を読みとろうとするものである。しかし、例えば、ある瓦窯の年代を知ろうとするとき、窯の操業時の地磁気の方向がどこかに記録されており、それを測定できなくては窯の年代を知ることはできない。実は、窯の操業時の地磁気の方向は、窯の焼土の熱残留磁気として記録されている。地磁気年代を求める手順は、まず、窯の焼土の熱残留磁気を測定し加熱時の地磁気の方向を求めて、次に、この方向に近い点をこの地域の地磁気永年変化曲線上に求めて年代目盛りを読みとることになる。

地磁気中で粘土が焼けると、粘土中の磁性鉱物（磁鉄鉱等）が担い手となって、焼土は熱残留磁気を帯びる。この熱残留磁気の方向は焼けたときの地磁気の方向に一致し、しかも非常に安定であり、磁性鉱物のキュリー温度（磁鉄鉱では575℃）以上に再加熱されないかぎり数万年以上時間が経過しても変化しない。再加熱によって、キュリー温度以上になったときは、それまで保持していた残留磁気は完全に消滅し、その代わり、新しく、加熱時の地磁気の方向を向いた残留磁気が獲得される。つまり、焼土は最終焼成時の地磁気の方向を正しく記憶していることになる。それゆえ、年代既知の焼土を利用して、その熱残留磁気から過去の地磁気の方

向が時間とともにどのように変化したかをあらかじめ測定しておけば、このグラフを時計の目盛りとして、焼土の最終焼成年代を推定できる。この時計では地磁気の方向が針に相当し、焼土の熱残留磁気が焼成時の針の位置を記憶していることになる。日本では、広岡によって西南日本の過去2000年間の地磁気永年変化助線がかなり詳しく測定されているので[1]、この方法が焼土の簡便な年代測定法として実用化されている。しかし、縄文時代の地磁気永年変化曲線はまだ得られておらず、縄文時代に地磁気年代法を適用することはまだできていない。

地磁気年代測定法は、地磁気を媒介とする対比のおかげで、焼土跡に遺物がない場合でも有効である点，相互に隔絶した土器編年を対比できる点で独自の性格をもっている。なお，地磁気年代測定法の詳細については中島による解説が参考になる[2]。

2　遺跡と試料

中村石丸遺跡（福岡県豊前市）の２号（9～12号）住居址には、4基の炉跡がある。炉跡はいずれも石組をもち、いずれの炉の近傍にも焼土が小範囲に分布しているが、炉内に焼土を残しているのは12号炉のみである。この住居址の年代は出土した土器から縄文時代後期中葉（～B.C.3500）と推定されている。

熱残留磁気の方向を測定するための定方位試料は、9、10、12号住居炉近傍の焼土から、それぞれ、11個、50個、63個、12号炉の床面焼土から16個を採取した。12号炉近傍焼土の焼け方は一様ではなく、比較的よく焼けているのは所々に散在する赤変部のみであった。定方位試料の採取法としては、立方体状に加工した焼土魂に小プラスチックケース（24×24×24㎜）を被せ隙間を石膏で充塡したが、一部の脆い焼土（12号炉近傍焼土（11個）、12号炉床面焼土（16個））には拳大の焼土魂を石膏で固める方法をとった。試料の方位は試料上面の走行と傾斜をクリノコンパスで測定している。各焼土の特徴と試料採取状況を第３表に示す。

第 3 表　焼土の特徴と熱残留磯気測定用の定方位試料

焼　　土	焼　土　の　特　徴	焼定方位試料個数
9号住居炉跡近傍焼土	きわめて狭い範囲、低焼成度	11
10号住居炉跡近傍焼土	部分的に赤変している	50
12号住居炉跡床面焼土	焼土厚～2cm、部分的に固く焼き締まる	16
12号住居炉跡近傍焼土	部分的に赤変し、一部で焼土厚～2cm	63

3　測定結果

試料の残留磁気の方向と強度をスピナー磁力計で測定した。残留磁気の方向の測定結果を第306～309図に示す。12号炉近傍焼土（第306図）ではデータは分散しているものの、採取数64個のうち約2/3にあたる41個を省略すると、残りの22個についてはよく揃っている（図の円内)。省略したデータが約2/3にも達するのは、焼土の残留磁気の方向が低焼成度のために揃っていないためと考えられる。利用できないデータが多いものの、残りのよく揃っているデータ（円内）は数ヵ所の異なった場所のものであり、これらすべてのデータが同じ攪乱によって一緒に揃って動いたとは考えられない。したがって、円内のデータはこの焼土の最終焼成時の地磁気の方向を正しく示していると判断できる。12号炉床面焼土（第307図）では、方向が大きく飛び離れた2個のデータを除くと残りの14個のデータは比較的よくまとまっている。しかし、データの分布の様子は、本来、中心（平均位置）から周辺に向かって密度が減少する同心円状であるべきものが、そうではなく細長い形になっている。これは、焼土が最後に焼かれてから後に、何らかの原因によって一部の残留磁気の方向が乱されたことを意味している。乱れたデータを省略できれば焼土の焼成時の地磁気の方向を復元できるが、乱されたデータを客観的に識別することができない。それゆえ、大きく飛び離れた2つのデータのみを省略し、残りのデータの平均方向を焼土の焼成時の地磁気の方向に近似することにする。10号炉近傍焼土の残留磁気の方向（第308図）の分布の様子は、12号炉近傍焼土（第306図）と似ているが、分散の大きいデータを省略しても、方向の集中度は12号炉近傍焼土よりもかなり劣る。ここでは比較的まとまりのよい円内のデータを選び、これらの平均方向を焼土の焼成時の地磁気の方向と考えることにする。9号炉近傍焼土のデータ（第309図）は大きく乱れているので取扱いを省略する。選択したデータの平均伏角（Im)、平均偏角（Dm)、Fisherの信頼度係数（k)、95%誤差角（θ_{95})、有効試料数／採取試料数（n/N）を次表にまとめる。なお、kの値が大きく、θ_{95}の値が小さいほど、残留磁気の方向がよく揃っていることを意味する。

第 4 表　残留磁気の平均方向と誤差の目安

焼　　土	Im	Dm	k	θ_{95}	n/N
9号住居炉跡近傍焼土	（残留磁気の方向が分散するため有意の平均なし）				
10号住居炉跡近傍焼土	48.54度	−3.83度	468	1.84度	14/50
12号住居炉跡床面焼土	45.99	10.14	334	2.18	14/16
12号住居炉跡近傍焼土	49.39	5.53	1312	0.86	22/63

4 考 察

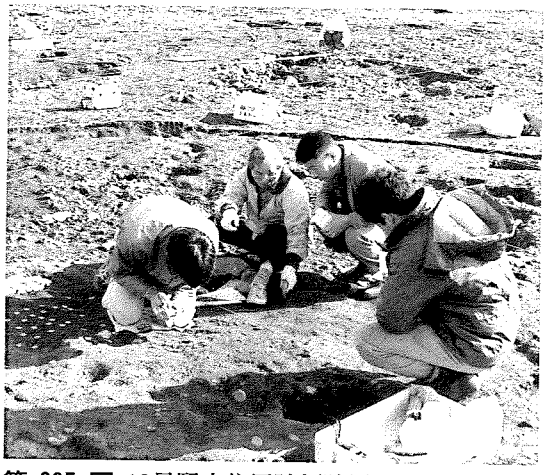
12号炉近傍焼土のデータはきわめてよく揃っており、かつ、これらのデータの元となった試料は数ヵ所から採取されているので、同じ攪乱によって揃って動いたとは考えられない。したがって、12号炉近傍焼土のデータはこの焼土が最終加熱を受けたときの地磁気の方向を正しく示していることは間違いない。12号炉床面焼土のデータは、その分布の形が円形ではなく一方向に伸びた形をしているために、データの一部が何らかの原因により焼土の最終焼成時の地磁気の方向からずれていると判断できるが、省略すべきデータを客観的に識別できないので、いびつな分布のデータをそのまま平均したという事情がある。それゆえ、12号炉床面焼土のデータは焼土が最終加熱を受けたときの地磁気の方向に一致せず、長細いデータ分布の形に沿って多少ずれているはずである。10号炉近傍焼土のデータは、大きく分散するデータを省略しても、なお集中度がそれはど改善されず、12号炉近傍焼土のデータに比べて信頼性が劣る。結局、12号炉近傍焼土のデータは高い信頼性をもち、縄文時代の地磁気永年変化曲線の基礎的データとして採用できるが、12号炉床面焼土と10号炉近傍焼土のデータは補助的な参考資料と考えた方がよいだろう。中村石丸追跡の9～12号住居で得られた残留磁気の方向を西南日本の過去2000年間の地磁気永年変化と比較すると（第310図）、これらの焼土が焼かれたときの地磁気の方向は過去2000年間の変動範囲に納まっているのが分かる。今後、12号炉近傍焼土のデータのような信頼性の高い資料を蓄積することにより縄文時代の地磁気永年変化曲線を確立できれば、縄文時代の焼土についても地磁気年代法を適用できるようになるだろう。

最後に、試料採取にあたってお世話になった福岡県教育委員会の伊崎俊秋氏をはじめとする皆様に厚く感謝します。

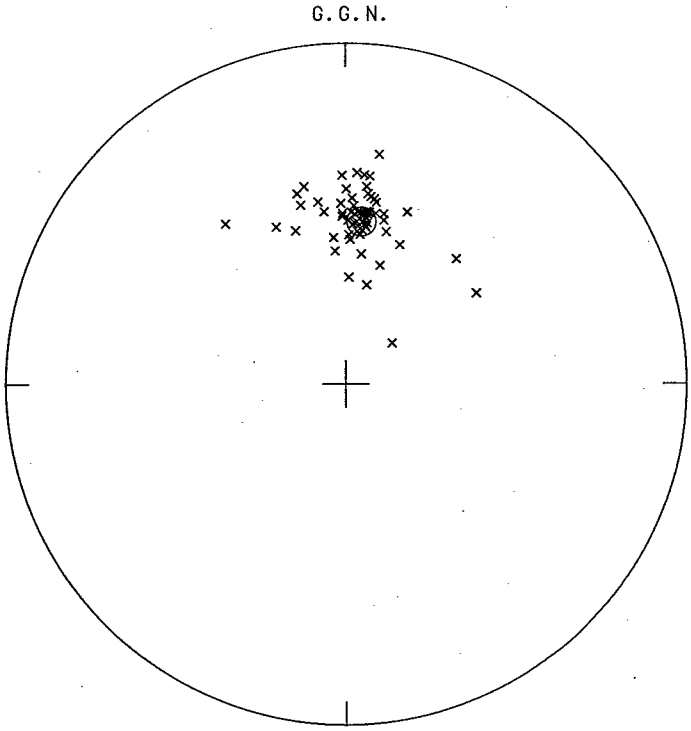
註1　広岡公夫（1978）「考古地磁気および第四紀古地磁気の最近の動向」『第4紀研究』15、200－203

註2　中島正志、夏原信義「考古地磁気年代推定法」考古学ライブラリー9　ニューサイエンス社

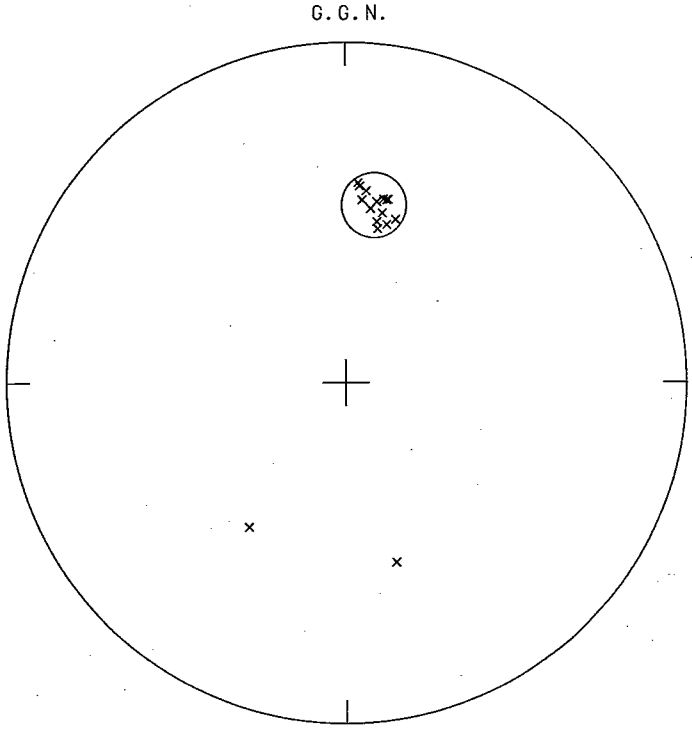
註3　証1に同じ



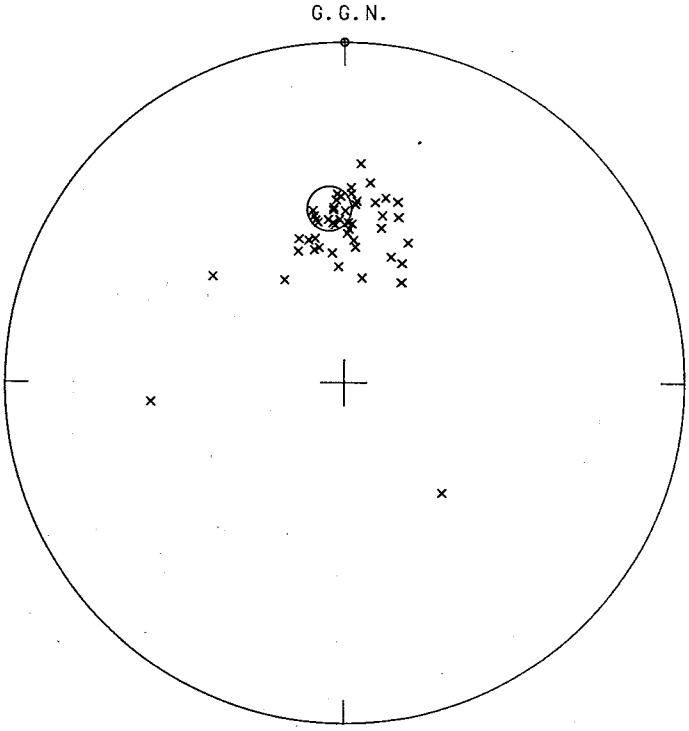
第305図 12号竪穴住居跡炉跡周辺熱残留磁気分析用試料採集風景（北西から）



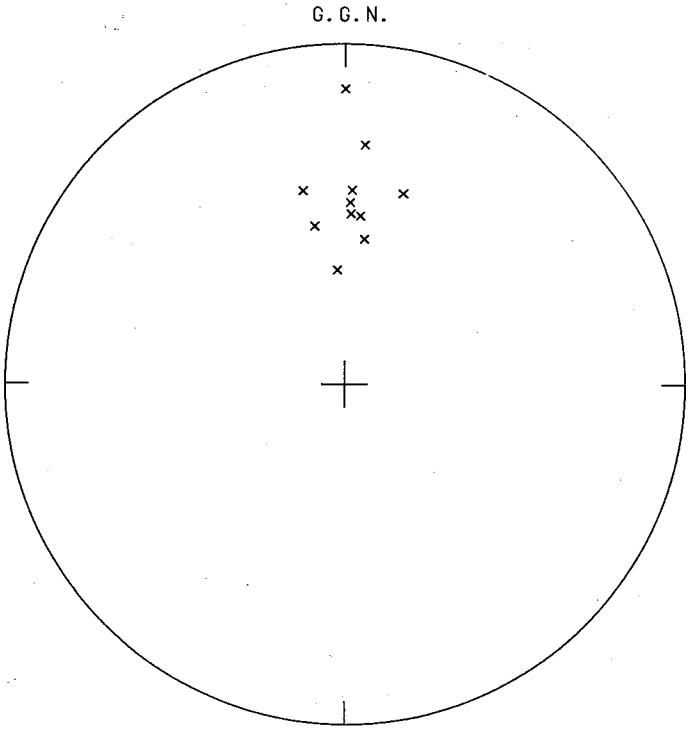
第 306 図　12号竪穴住居跡炉跡近傍焼土の残留磁気の方向



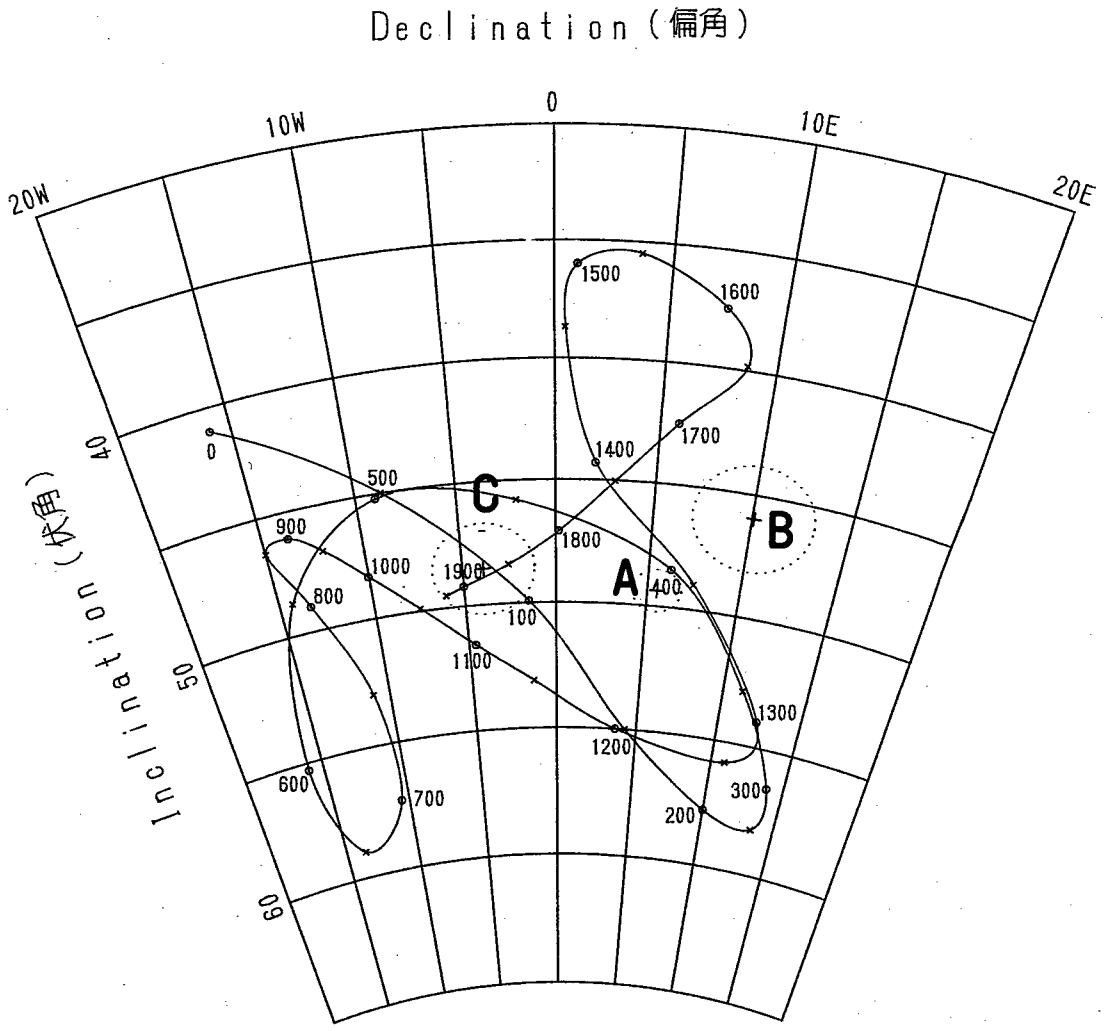
第 307 図　12号竪穴住居跡炉跡床面焼土の残留磁気の方向



第 308 図　10号竪穴住居跡炉跡近傍焼土の残留磁気の方向



第 309 図　9号竪穴住居跡炉跡近傍焼土の残留磁気の方向



第 310 図 中村石丸遺跡のデータと西南日本の過去2,000年間の地磁気永年変化曲線との比較

A：12号竪穴住居跡炉跡近傍焼土
B：12号竪穴住居跡炉跡床面焼土
C：10号竪穴住居跡炉跡近傍焼土

3．2号（9～12号）竪穴住居跡の復原について

縄紋時代の竪穴住居跡の項目でも説明したように、発掘調査時点で2号竪穴住居跡とした横に長い大形竪穴住居跡は、報告書作成の過程において4軒の竪穴住居跡が年代差を経ながら切り合って生じた平面プランという解釈に変化していった。しかし、やはり先述したように、単に4軒の切り合いというだけでは説明できない状況証拠（連続的に繋がる土層、10・12号竪穴住居跡の炉跡を取り囲む広範囲の焼け面、東壁中央部の直線的に繋がる壁等）もいくつか残されており、今回検出された4軒の住居跡以外に何らかの横長の空間（遺構）が存在していた可能性も当然想定された。したがって、このような状況を鑑み、この遺構の重要性を今後さらに検討すべきために1/10の遺構模型と、仮に横長の竪穴住居跡が存在した可能性を想定した家屋の復原を試みた。以下、その仕様について纏めるが、家屋の復原設計図は九州大学工学部建築学科山本輝雄先生に、その模型は㈱日精にそれぞれ委託した。なお、この模型は現在福岡県立甘木歴史資料館に展示されている。

(1) 家屋想像復原仕様

九州大学工学部建築学科　　山本　輝雄

［基本事項］

縄紋時代における原始家屋の様相は、立木を切り倒した後、ほとんど整材技法（割とはつり）を加えず、小枝を払い落としたままの、樹皮付きの黒木をそのまま、葛等による緊結によって構架した、と考える。

［細目］

上記の基本事項に沿うため、縄紋時代における原始家屋の想像復原模型作成にあたっては、特に、次の事項を守るように努力する。

1　自然樹木の小枝を、そのまま利用する。

2　これら小枝は、必要な長さにて切断する際の工作ぐらいしか手を加えない。当然樹皮もそのまま。曲がった材もそのまま。分枝した細枝を切除するのみ。

3　その切断にあたっては、ノコギリは不使用のため、オノによる周囲よりの切断となり、各材の先端は、ほぼ尖った形となる。

4　各材を架構していくにあたっては、葛等による緊結を考えておく。

5　屋根葺材は省略する。理由は、工作がやりにくく、力強い架構が見えなくなり、発掘床面を十分に示せないため。

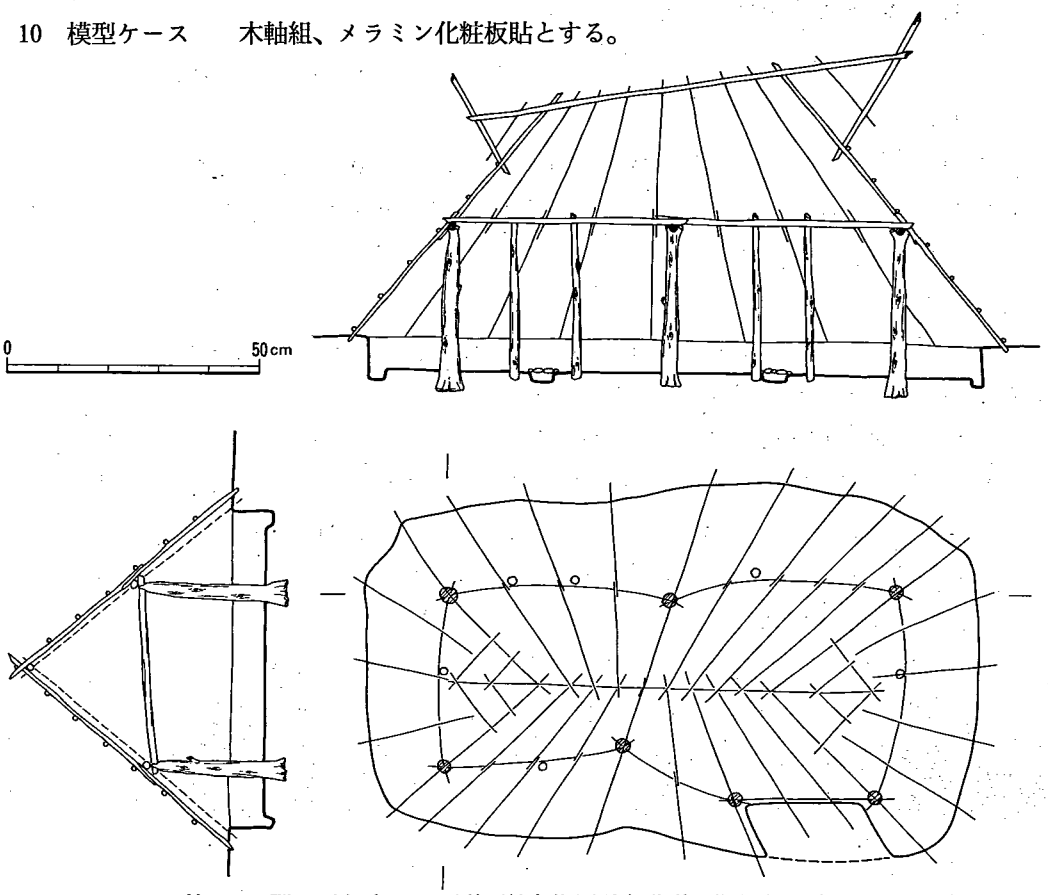
6　たくましい造形を心掛ける。

(2) 家屋想像復原模型仕様

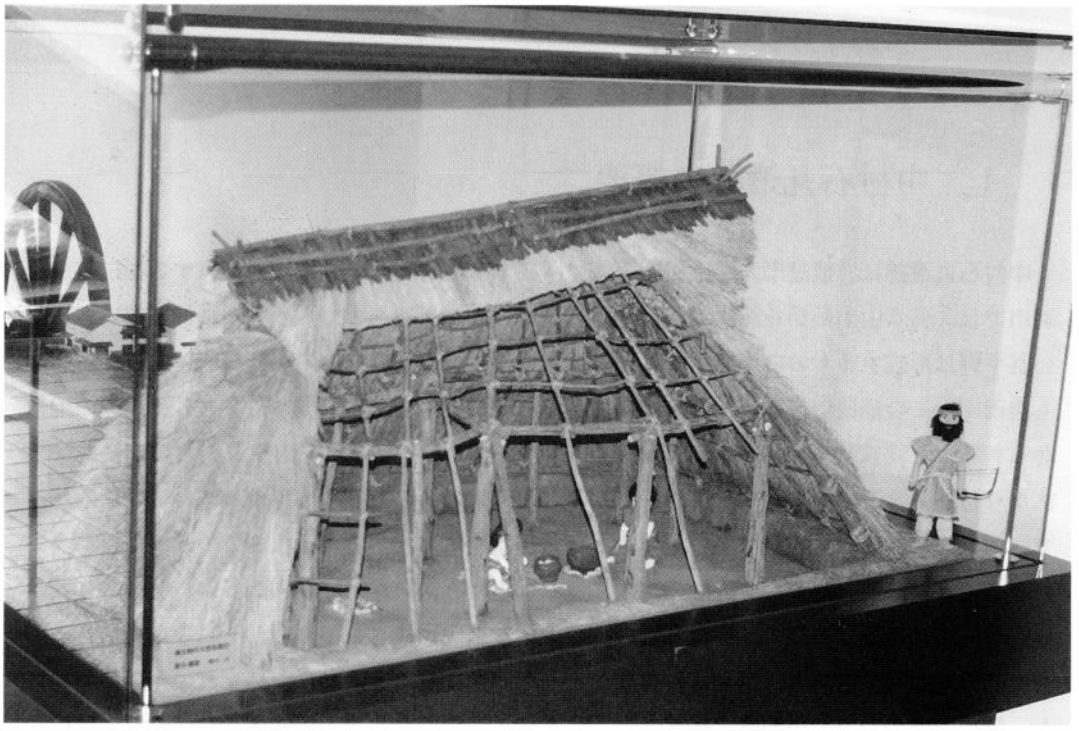
株式会社　日精

[基本仕様]

1	縮　　尺	水平　1:10
		垂直　1:10
2	模型寸法	1,400W×750D×500H
3	模型ベース	1,400W×750D×100H
4	切削等高線	10cm（模型上10mm）
5	製作エリア	2号（9～12号）竪穴住居跡およびその周辺
6	地　　形	発砲硬質ウレタンを等高線に沿って機械切削後スムーズ形状にする。ただし、一部ポイント切削。
7	地形仕上	石、シーナリーパウダー、カラーパウダー、塗装にて表現する。
8	建　　物	木（杉丸太）、麻紐、しゆろ材
9	名称板等	表示名称、名称板サイズ、色、数量等打ち合わせにより作成する。
10	模型ケース	木軸組、メラミン化粧板貼とする。



第 311 図　2号（9～12号）竪穴住居跡想像復原図（1/15）



第 312 図　2 号（9～12号）竪穴住居跡復原模型. 1

第 313 図　2 号（9～12号）竪穴住居跡復原模型. 2

V まとめ

1．中村石丸遺跡の概要

中村石丸遺跡は、豊前市大字中村字石丸に所在する。周防灘の中央部に相当する椎田町や豊前市では、英彦山山系から派生した舌状の細長い丘陵が海岸部まで八つ手状に伸びていき、狭い谷平野は形成するものの海岸部ではほとんど沖積平野を作らないのが特徴的である。本遺跡も角田川とこの細長い丘陵下端部との間にあるごく狭い平坦部に形成されており、周辺の地形から判断して縄紋集落の広がりはせいぜい3,000㎡程度と考えられ、出土遺物量の割に遺跡の広がりは狭い。遺跡内に立って周囲を見回すと、北東の海の方向に視界がわずかに開けるだけで、他は山に囲まれ見通しは悪い。地山には黄褐色土に拳大から人頭大までの礫が多量に含まれることと併せて、必ずしも人間の生活に適した場所と言いがたい要素が多い。しかし、この周防灘一帯にはほぼ同様の条件に多数の縄紋後期集落が形成されており、それを余儀なく迫られた当該期の社会的状況ー例えば狩猟圧などーが問題になろう。特に、いずれの集落においても、縄紋後期の中でも小池原上層式もしくはその1段階前から三万田式あるいはそれに後続する鳥井原式の期間にしか集落の存続が認められないという事実は注目すべきで、当時の動植物の生態や人間の生業活動の復原が、この問題を解決する大きな鍵になってくることはほぼ間違いないであろう。

さて、中村石丸遺跡で検出された遺構は竪穴住居跡11軒、土坑8基、甕棺墓4基、炉跡2基、土壙墓3基、溝1本、1500基余りのピットからなるが、土壙墓3基と土坑3基と若干のピットが弥生時代中期に属するだけで、他はすべて縄紋時代後期に属するものである。パンケース300箱におよぶ遺物の大半は縄紋時代後期のもので、特にその大部分を占める縄紋後期土器の量にはただ驚かされるばかりである。竪穴住居跡については、小池原上層式から三万田式まで年代的に幅広く存在し、11軒といっても同時共存しえた竪穴住居跡の件数は多くても2軒程度と考えられるが、このことについては後述したい。土坑については遺物の出土は多いが、遺構の形態や遺物の出土状況から特にその性格を想定できそうなものはなかった。ただし、5号土坑については残存脂肪酸分析の結果、加熱（火葬？）した動物遺体（骨）の残存脂肪酸が検出され、墓としての機能が想定されている。甕棺墓としてものには4基があるが、墓と確実にいえる根拠は乏しく、実際には埋設土器としたほうが無難であろう。1号甕棺墓についても加熱（火葬？）した動物遺体（骨）の残存脂肪酸が検出され、今後の縄紋後期における埋葬形態の検討に大きな影響を与える可能性がある。土器炉も1基検出されたが、年代を確定することはできなかった。土器炉は縄紋後期の中葉段階になって九州にもたらされたものであり、その年

代を確定することは九州と近畿・瀬戸内地域との交流を考える上で極めて重要な要素である。

弥生時代については土壙墓3基と土坑3基が検出され、中期の丹塗り土器等の遺物も若干出土したが、竪穴住居跡等の直接的に生活に係わる遺構は検出されていない。周防灘一帯では近年縄紋後期の集落遺跡が多数確認されているが、弥生時代の竪穴住居跡が同じ場所で検出された事例はほとんどなく、両者の生活形態がまったく異なったものであったことを如実に物語っているといえよう。以下、中村石丸遺跡で得られたいつかの問題について纏めてみたい。

2．中村石丸遺跡出土の縄紋後期土器

中村石丸遺跡ではパンケース300箱におよぶ多量の縄紋後期土器が得られたが、後期以外の土器としては3号土坑から出土した刻目突帯文土器口縁部小破片の1点（1003）だけである。後期土器は完形品もしくは完形近くまで復原できる土器はわずかに10点もなく、大部分は破損して使用できなくなったものが竪穴住居跡や土坑に遺棄（投棄）されたような状態で出土した。遺構数から判断しても土器の出土量は極めて多く、これほどに膨大な量の土器を製作する必然性や、またそれを破損品として遺棄する必然性が大きな問題になるところであるが、ここではどのような縄紋後期土器が出土しているのかをまず確認しておきたい。

(1) 西和田式

本遺跡では調査区Ⅷ D区包含層から纏まって出土した。量的にはそれほど多くないが摩滅も少なく、本来は何らかの遺構に伴っていたものであろう。器面調整は内外面ともに二枚貝による貝殻条痕文で、文様が施される口縁部に限ってそれがナデ消される。内傾もしくは外傾しながらもほぼ直線的に立ち上がる器形は、口縁部がわずかに外反するだけである。文様は凹点文や横位の凹線文からなり、口縁部が凹点文状に刻まれる。器厚は薄く、そのためか施文部の内面がその文様に沿って盛り上がることがしばしばある。器形は有文の深鉢、無文の深鉢、無文の浅鉢の3種類からなるはずであるが、無文の深鉢については本遺跡において認識できていない。西和田式は縄紋後期初頭として位置づけられ、中津式との関係が問題にされているがその後研究に進展が見られない。ちなみに本遺跡では中津式はまったく出土していない。

(2) 福田 K2 式

本遺跡では、土製円盤のものを含めてもこの福田 K2 式に属するのは3点だけである。そのうち2点は調査区Ⅷ D区包含層から出土しており、ほぼ同じ場所から纏まって出土した西和田式との年代的な関係が注目される。「く」字状に屈曲した口縁部に3本の沈線文が施され、場合によっては縄紋 RL も施文される。内面頸部にはシャープな稜を作るのが特徴的。九州では

多くの縄紋後期遺跡で数点あるいは数十点の福田K2式が出土するが、いずれの場合も他の縄紋後期土器と混在した小破片として出土し、量的に纏まった単独出土はほとんど見られない。1号溝から出土した3本沈線文のボウル状鉢（1068）については、口縁部を肥厚させそこに施文する手法と全体的な器形から、後出する小池原上層式に含めたほうが適当と考えられる。

(3) 小池原上層式

本遺跡では3号竪穴住居跡からほぼ単純に纏まって出土した土器群である。ほとんどの遺構において少量の出土が見られるが、その中でも1号竪穴住居跡や調査区中央部の包含層からも比較的纏まって出土した。縄紋を有する有文土器については、胴部が張って口縁部が比較的強く外反し、その肥厚した口縁部には1本の沈線文とRLが施され、波頂部には渦巻文が巡る。胴部には波頂部下に鉤手文を中心に入組文等が展開していき、波頂部下の頸部には胴部の鉤手文と反対の方向を向いた鉤手文が施される。胴部の文様については、最も強く張ったところよりさらに下方まで施文される。施文順序は多くの場合は沈線文→RLであるが、中には反対のものもある。器形的には頸部が長くて深鉢といえるものがあるが、文様構成は鉢とほとんど変わらない。ただし、頸部が特に短い鉢については凹点文的な大きな刺突文が多用される。縄紋を有さない鉢もあるが、この場合は文様が簡略化・単純化する傾向にあり、沈線文自体も波打ってシャープではない。深鉢で縄紋を施さない場合は口縁部に文様が集中し、凹点文に近い大きな刺突文や比較的単純な構成の沈線文が施される。このほかにはボウル状の鉢および浅鉢があるが、多くの場合において縄紋を有する整った文様が施される。包含層から出土した1131は皿もしくは浅鉢の脚台部である。本来、小池原上層式にはこのような器形は認められていないが、文様構成や文様の太さは小池原上層式に類似しているのでここに位置づけた。多くの場合において器面調整はおそらく巻貝条痕文と考えられるが、包含層出土の1121のように巻貝疑似縄紋の資料も少ないながらも確実に存在しており、器面調整との関係が注目される。本遺跡からは小池原上層式に先行するであろう1060や1118のような資料も散見されるが、その全体像が明確なものはなく、ここでは保留しておきたい。波頂部の渦巻文は時間的な変遷に伴って変化していき、「U」字状の沈線文が若干ズレながら向かい合わせに2つ描かれるようになる（第314図4・5）。

福田K2式から小池原上層式までには、まだいくつかの型式が存在していたと考えられるが、本遺跡では小池原上層式に先行しそうな資料の一部が散見されるだけである。したがって、縄紋後期初頭期に一度縄紋人が本遺跡内に入ってきて以降に空白の期間が存在するが、本格的な生活がこの地で開始されるのは小池原上層式からである。

(4) 鐘崎式

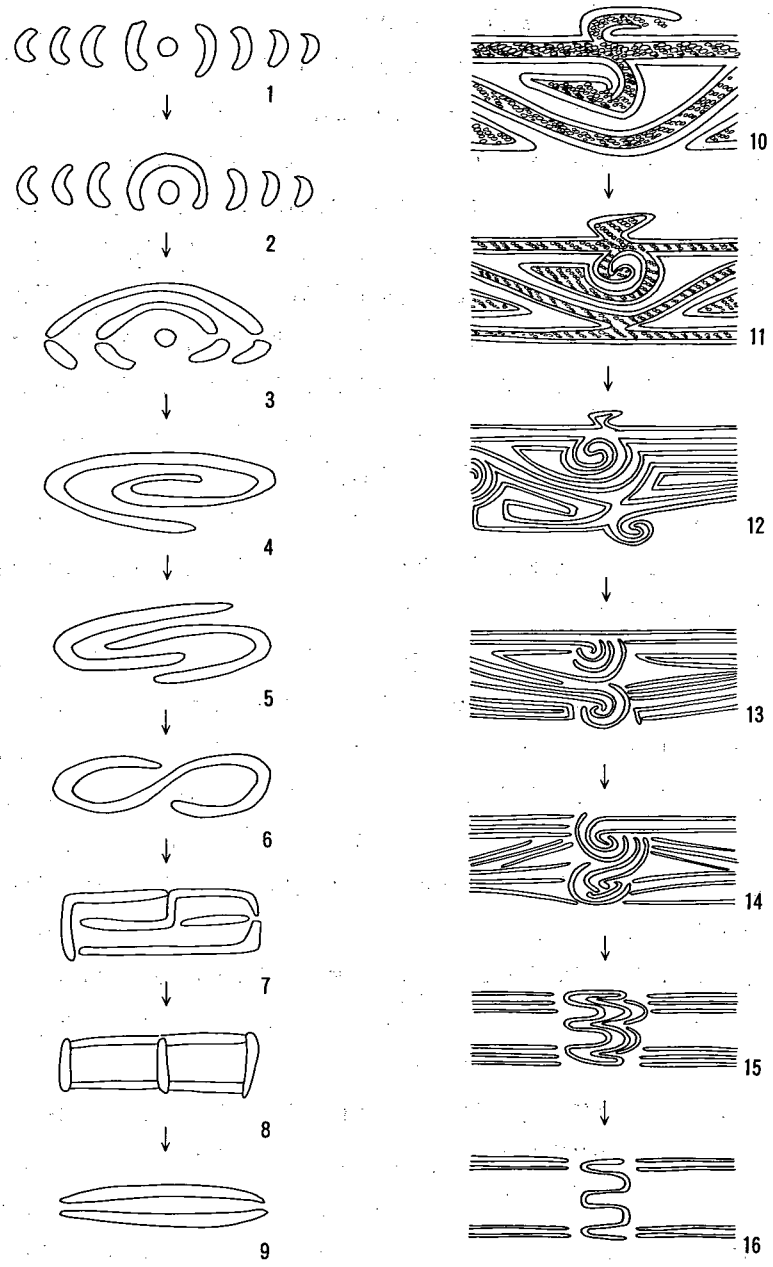
本遺跡から出土した縄紋土器の中で量的に最も多いのがこの鐘崎式である。鐘崎式は従来2

段階（小池原上層式＝鐘崎Ⅰ式　鐘崎式＝鐘崎Ⅱ式・Ⅲ式）に分類されているが、本遺跡から出土する鐘崎式は、遺構ごとの出土状況から3段階に分類することが可能であると考えられる。以下、有文土器を中心にその変遷を追っていきたい。

古段階は小池原上層式に連続する段階。小池原上層式から鐘崎式への変化は器高が低くなり、結果として口縁部は外反が強まり逆「L」字状に外側へ屈折（突出）していき、頸部は狭く（短く）なり、胴部の文様は圧縮される。すなわち、肥厚した口縁部の外面にあった沈線文は存在する場所がなくなり屈折した口縁部の上面へ移動し、頸部文様は小さく狭くなり、胴部文様は基本的に小池原上層式と大差ないが施文面積が狭くなったため沈線文や磨消縄紋の幅も狭くなっていく。鉤手文の端部が切れて渦巻文ができるのもこの段階である（第314図10・11）。波頂部の渦巻文は向かい合う横向きの「U」字状の沈線文が、横向きの「8」字状に変化していく（第314図5～8）。このように、有文土器を見る限りでは、小池原上層式から鐘崎式古段階へはスムーズに変遷していったと考えられる。しかし、この段階からは深鉢と鉢という器形の構成や、それに伴う文様との相関関係が不明瞭になっていく。また、鐘崎式といえば磨消縄紋が連想されるが、実際に磨消縄紋が見られるのはこの古段階までである。鐘崎式の磨消縄紋は、九州の縄紋後期に登場した磨消縄紋が盛行する段階のものではなく、一度途絶える段階、すなわち最終段階に位置づけられることを注意しておきたい。

中段階で最も特徴的な現象は縄紋が施されなくなることである。先述したように、鐘崎式といえば磨消縄紋が著名な特徴の一つとして広く認識されているが、実際にはそれほど長く存続する特徴ではない。口縁部の形態はやや「く」字状に立ち上がっていくが、上面にあった沈線文は依然そこに施される。頸部文様は対向する2箇所だけで、場合によっては把手上にも施される。この頸部文様と胴部文様は古段階の胴部鉤手文が変化（解体）して生じた渦巻文が主流で、胴部では鉤手文の名残としてこの渦巻文の下部に集中するように斜位の沈線文が施される（第314図12・13）。したがって、波頂部下には頸部と胴部の上下2箇所の渦巻文が見られることが多い。文様は全体的に多条化の傾向にあり、胴部の鉤手文は渦巻文以外に階段状の文様へ変化していく方向性も窺える。この中段階からは深鉢と鉢の明確な区別がほとんどなくなり、土器の大小しか深鉢と鉢の区別ができなくなる。

新段階になると、文様の簡略化・単純化・少条化へ向けて進んでいく。口縁部は「く」字状に外反するようになり、口縁部上面にあった沈線文は口縁端部に移動する。波頂部下の胴部文様は、上下2つの渦巻文を繋ごうとして（連続的に描こうとして）、縦方向に伸びて縦位の波状文（縦型流水文）へと変化していく（第314図14～16）。そして、この縦位の波状文を繋ぐように、頸部と胴部に2～3本単位の横位の沈線文が施されるようになる。この段階になっても器形と文様の分化は明確には現われないが、それでも中段階に比べれば頸部がかなり伸びて深鉢的器形になるものもある。この次の段階が北久根山式になるわけであるが、本遺跡ではそれ



第 314 図 小池原上層式から鐘崎式までの波頂部(1～9)と胴部文様(10～16)の変遷模式図

に相当する資料が得られておらず、ここで一旦生活の断絶が窺える。

新段階については、従来より鐘崎Ⅲ式の範疇として認識されてきた土器群である。ただし、渦巻文が消失し口縁端部に沈線文が移動するといった特徴が、鐘崎Ⅲ式の中でもより後出的要素であることはほとんど問題にされてきていない。また、こういった一群が単独で分布するのはこの周防灘西岸地域に限られ、その他の地域では散発的にしか見られない。したがって、この地域の地域性と鐘崎式の中でも最も新しく位置づけられる特徴から、広義の鐘崎式ではあるが異なった型式名称を設定して位置づけていくことが今後必要とされよう。

(5) 鐘崎式と西平式の間

鐘崎式と西平式の間といえば北久根山式である。しかし、北久根山式は中・西北九州で設定された土器型式であり、しかも西平式と違って地域性豊富な土器型式であるだけに、かなり様相の異なった周防灘沿岸部（東九州）でこの名称を安易に使用することには慎重でなければならない。そこでここでは、鐘崎式と西平式の間に位置づけられる一群を、すべての型式が揃っているわけではないが、遺構ごとで纏まる範囲の資料をもとに説明していきたい。なお、鐘崎式とこの段階とで最も異なる点は、深鉢と鉢の器形の違いが明確になり、またそれぞれに施される文様も別々に分担して施されるようになることである。

鐘崎式と西平式との間で最も古く位置づけられるのは、5号竪穴住居跡の各層から出土した土器群の中でも小池原上層式・鐘崎式・西平式・三万田式を除いた一群である。鉢は胴部が丸く張って比較的短い頸部と外反する口縁部とからなる一群（235・317・318・328・332・441～445）と、胴部の張りは強いが文様帯の幅は狭く頸部が長くて開きながら緩やかに外反する口縁部を有する一群（237・333・340）とからなる。いずれも、口縁部の文様は端部に縄紋や巻貝疑似縄紋が施されるだけで、332のように波頂部に「W」字状貼付文の名残ともいえるような突起と穿孔が見られるものや、317・328のように波頂部の内面に小さな文様が施されるのが特徴である。しかし、胴部文様になると、前者の場合は横位に展開する幅の広い磨消縄紋もしくは巻貝疑似縄紋が施されるのに対し、後者は胴部の張りは強いが文様帯の幅は狭くなる。頸部も前者の場合は短いのに対して、後者は長く開きながら緩やかに外反する口縁部へ続く。深鉢は主に口縁部の資料しか見当たらないが、肥厚した口縁部は開きながら直線的に立ち上がり、その外面に2本の沈線文とその間に縄紋もしくは疑似縄紋が施される横位の文様帯が構成される。わずかに肥厚して内湾する口縁部に幅の広い文様を施すものもあるが、これがこの一群に含まれるのか、あるいは後出的要素なのかにわかに判断を下し難い。375・531のように注口土器が出現するのはこの段階からである。

その次の段階は、7号竪穴住居跡から出土した土器群でも鐘崎式や西平式を除いた一群である（649～697）。鉢の場合は胴部が張って、口縁部が内湾してその外面に施文される。波頂部

には入組文が施され、胴部には山形文を基調とした各種文様が施される。縄紋はRLと巻貝疑似縄紋とがそれぞれに見られ、波頂部については「W」字状の薄くて小さな粘土紐の貼付文が施される。深鉢の口縁部は肥厚はするもののそれほど内湾せず、比較的直線的に立ち上がる。文様は基本的には深鉢と同じ構成になるが、鉢に比べて単純で沈線文も太く、器面調整も粗い。

この次が4号竪穴住居跡から出土した土器群でも、鐘崎式や西平式を除いた一群で、築上郡築城町松丸遺跡D地区SX-7出土土器群に対比できる（128～149)。文様は基本的に山形文を基調としているが、これが横方向に連続して一つの単位が大きくなり西平式に極めて近くなる。量的には少なく、これですべての種類も器形や文様構成が出揃っているとは考えがたい。

(6) 西平式

本遺跡から出土した西平式はごく少なく、それもかつて筆者が分類した西平Ⅱ式に限られ、松丸遺跡D地区SX-5に相当するような西平Ⅰ式はほとんど出土していない。西平式とそれ以前の土器群の大きな違いは、西平式になると深鉢と鉢との明確な区別がなくなり、鉢とボウル状浅鉢の2つの器形へ変化することである。口縁部については4号竪穴住居跡出土192や7号竪穴住居跡出土742が典型例で、縄紋RLの後に2本の沈線文が施され、この沈線文が波頂部では3～4本になって刺突文と組合わさる。胴部文様は弧線状に緩やかな山形文が凹点文を基点として施され、やはり縄紋RLの磨り消しが見られる。

(7) 太郎迫式

太郎迫式の出土も本遺跡では少なく、7号竪穴住居跡や6号土坑で破片資料が若干得られた程度であるが、ほぼ完形近くに復原できる1号甕棺はこれに属する。口縁部の沈線文は2本であるが、波頂部の幅は狭くなって2本の沈線文が集結するだけで西平式のように異なった文様を構成するわけではない。胴部の文様も直線的になり、横位の直線文に刺突文や「χ」字状文が付加されるようになる。縄紋が施されるものもあるが量的には少なくなり、次の三万田式に繋がっていくことを物語っている。なお、太郎迫式の1号甕棺墓からは残存脂肪酸分析により加熱もしくは火葬による動物遺存体の存在が確認された。かつて、同じ周防灘沿岸部に位置する京都郡苅田町所在の浄土院遺跡からも同じ太郎迫式の甕棺墓から火葬人骨が出土していたが、今回の分析結果はそのことを検証する重要な成果といえよう。

(8) 三万田式

三万田式になると深鉢と鉢の区別が再び明確になるのが特徴である。すなわち、西平・太郎迫式の鉢の器形が大型化して深鉢に、ボウル状鉢が頸部のない鉢として分化する。4・5（1層）・7号竪穴住居跡や1・6号土坑では比較的纏まって出土している。文様は深鉢の場合は

横位の沈線文だけで、鉢についても基本的には同じだがかつての波頂部に相当する場所に縦位の沈線文や、二枚貝殻頂部の押圧文が施され、沈線文間もしくは沈線文の中にまで縄紋の名残ともとれる斜位の細沈線文が羽状に施される。

(9) 鳥井原式

本遺跡出土の縄紋後期土器の中では最も新しいものである。三万田式の沈線文が凹線文化していくもので、4号竪穴住居跡の199・201・203等わずかである。

(10) 小　結

ここまで見てきたように、中村石丸遺跡では縄紋後期の土器が初頭期から後半期まで幅広く出土していることがわかる。しかし、福田K2式と小池原上層式との間や、鐘崎式と西平式の間でもその前半代は欠落しており、また量的にも型式ごとに差があるという事実は、本遺跡が縄紋後期において継続的かつ安定的に営まれたものではないことを雄弁に物語っているといえよう。この場合、今回調査の対象となった椎田道路幅以外の部分、すなわち調査区の北東側や南西側の比較的平坦な部分にも遺跡は広がっており、そこに断絶もしくは量的に少ない土器型式が竪穴住居跡等と共に存在していると見ることもできよう。しかし、地形的にみてもその面積はあまりに狭く、仮に住居跡や土器が存在したとしても本調査区内においては1点も存在していないとは考え難く、やはり一時期本遺跡が断絶していたとするほうが妥当であろう。中村石丸縄紋人はこの断絶期間中はどこか他の場所で生活していたことになるが、現在までのところそれに該当する遺跡は中村石丸遺跡を中心に半径5㎞以内には存在しておらず、今後の発見が期待される。

3．中村石丸遺跡出土の石器

中村石丸遺跡では多量の石器が出土したが、このうち実測図で提示したのは485点である。遺構別に器種や石材の分類を試みてみたが、それらに明確な違い（年代差）を見いだすことはできなかったので、ここでは器種別にその特徴を纏めてみたい。

(1) 石　鏃

石鏃は228点を図示した。石材は姫島産黒曜石・腰岳産黒曜石・サヌカイトの3種類に限られ、順に177点（77.6%）、18点（7.9%）、33点（14.5%）を数える。腰岳産黒曜石製の石鏃の中には大きく剥離面を残すものも見られるが、鈴桶技法によって作られた剥片鏃はわずかに1点しか見当たらない。しかし、腰岳産黒曜石製の鈴桶技法による縦長剥片やつまみ形石器は存

在しており、本遺跡に縦長剥片が持ち込まれ剥片族が製作されたことは間違いないであろう。ただし、石核は1点も出土しておらず、鈴桶技法によって作出された縦長剥片だけが本遺跡に持ち込まれたと考えられる。姫島産黒曜石製の石鏃にも大きな剥離面を残す資料が散見されるが、いずれも定型的な技法によって作出されたものではなく、剥離の方向は不定方向からの打撃によるものばかりである。石核も出土しているが、いずれも規則性はなく不定方向に打撃が加えられており、安定した素材が供給されていたとは考えられない。

(2) 石匙・スクレイパー

石匙・スクレイパーは12点出土しているが、そのうち2点の姫島産黒曜石と1点の結晶片岩（?）を除いて他はすべてサヌカイトである。サヌカイトという石質が石匙やスクレイパーという石器を作る時に、また使用する時にも最も適していたのであろう。

(3) 磨製石斧

磨製石斧は46点を図示したが、石質については結晶片岩と玄武岩が2点ずつあるだけで他はすべて蛇紋岩である。器種としては両刃石斧・片刃石斧・ノミ状石斧の3種に大きく分かれるが、玄武岩の場合は両刃石斧に、結晶片岩は片刃石斧に限られる。両刃石斧は全面に均等に研磨が施されるのに対して、片刃石斧の場合は片刃面が柄との装着面になるため平坦に調整されてはいるが、同時に視覚に触れる部分でもないのでそれほど丁寧な調整（研磨）ではない。ノミ状石斧はすべて蛇紋岩で片刃になるが、この点数の少なさがノミ状石斧の使用頻度に直接繋がるものと考えられる。

(4) 打製石斧

打製石斧は58点を図示したが、石質はすべて結晶片岩である。打製といっても刃部や基部を部分的に研磨するものも4点含まれるが、形態や石質から磨製石斧として位置づけるには無理があり敢えて打製石斧とした。両側縁の同じ位置に階段状剥離や擦れたような摩滅の痕跡があったり、あるいはこれらの特徴が抉りとなって観察されるものも少なくない。おそらく、柄を装着した際に生じた緊縛の痕跡であろう。なお、基端部にも階段状剥離や擦れたような痕跡が窺える資料が若干あるが、この痕跡を柄の装着と関連づけるなら、柄の先端部は二股に割れて石斧を挟むような装着方法が想定される。小池原上層式土器を単純に出土した3号竪穴住居跡からも出土しており、確実に年代を押さえられる最も古い類例の一つといえよう。

(5) 石　錘

石錘は83点を図示した。いずれも5～7㎝×3～4㎝の楕円形で扁平な自然石をそのまま使

用している。大部分は長軸両端部に敲打を加えて若干抉れるか平坦面を作出しているが、短軸両端部に抉りを入れるものも5点ある。このほかに短軸部の全周を抉るものや、長軸両端部を基点に両側縁に細長い溝を巡らす有溝石錘も各1点あるが、後者には研磨が施されその形が成形されている。

(6) その他

石錐は2点を数えるが、いずれも姫島産黒曜石製である。台石は23点を数える。ここで台石としたものは従来石皿と呼ばれていたものが多い。しかし、石皿は東日本地域に分布する定形的な形態の作業台を指す場合が多く、九州地域で出土するところの、木の実を叩き割ったり擦り潰したりする不定形な作業台に同じ名称を与えることには若干問題がある。したがって、本報告書ではこのような作業全般を行なったであろう石器として、台石という名称を使用することにした。台石は10～60kgまで様々で、作業面の広さや台石の形態によって用途の違いが存在いていたと考えられるが、いずれにせよ頻繁に持ち運びができるものではないだけに、定住的な生活の証拠と位置づけられることに大いに納得できる。

なお、5号竪穴住居跡1層からは翡翠製と考えられる玦状耳飾が出土している（巻頭図版2)。九州では縄紋後期以降にも玦状耳飾が残るとされていたが、確実に年代を決定する良好な出土状況は見られなかった。今回、竪穴住居跡の埋土中からの出土ではあるが、本遺跡からは縄紋後期の土器しか出土しておらず、この玦状耳飾も縄紋後期に属することが確実である。

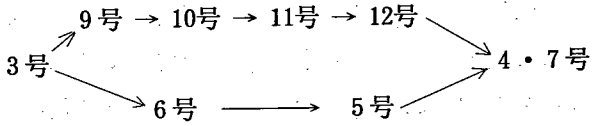
4．中村石丸遺跡出土の土製円盤

中村石丸遺跡で出土した土製円盤は292点を数えるが、このうち図示したのは107点である。ここであげた292点とは、人為的に確実に円形を意識して土器片を成形したものに限られる。土器の割れ方によっては円形に近い形になることもあり、また人為的に打ち欠いたと考えられるものであっても不定形なものもある。これらを確実な土製円盤と区別することは難しく、292点という数字がどれほど信憑製のあるものなのか些かに自信がない。そもそも土製円盤についてはその使用目的が明確でないだけに、どこまでが製品なのかを位置づけることが難しく、結果として信憑性のない数字となったのである。

文様を有する資料は14点で、福田K2式から西平式の前段階のものまで見られる。西平・三万田式のものが見られないが、偶然であろうか。14点という点数は少ないように見えるが、有文土器にも施文の行なわれていない部分（無施文部）があるわけで、そうするとそれほど少ない点数といえそうにない。サイズ（径）はほとんどの場合3.5～5.5cmの範囲に収まり、使用に際してはこのサイズが必要になるのであろう。

5．中村石丸遺跡の竪穴住居跡

中村石丸遺跡では11軒の竪穴住居跡が検出されたが、落ち込み状遺構の可能性のある1号と削平が著しく実態のわからない8号を除いた9軒が、確実な竪穴住居跡と認定できる。9～12号については切り合っているので先後関係は把握できるが、その他については出土土器の型式から判断するしかない。また、周防灘沿岸部の縄紋後期竪穴住居跡の変遷については小池史哲氏の研究成果（小池1993「豊前地域の縄文後期住居跡」『古文化談叢』30下）もあり、それらを総合的に考慮して得られた先後関係は古い順から下記のようになる。



3号竪穴住居跡は4.3×4.2mの不整円形を平面プランとし、中心部へ向けて緩やかに深くなっていく断面擂り鉢状の竪穴住居跡である。したがって、明確な壁の立ち上がりはなく、主柱穴は縁辺に沿って比較的小さくて浅いものが9基巡る。石組炉は中心部から西の方向にかなり寄っており、敷き石を持つ。

9・10号竪穴住居跡はほぼ方形であるのに対し、6号竪穴住居跡は隅丸方形で入口部を有する。後出する竪穴住居跡の平面プランが円形になっていくだけに6号が新しく位置づけられそうだが、出土する土器型式では逆の順序となる。この住居跡については4本柱だが、主柱穴の間に小さな柱穴がそれぞれ4基存在しており、あるいは補助柱的な役割を果たしているのであろうか。9号の石組炉の石はほとんど抜かれているが、場所は中央部からかなり南西に寄っており、3号との類似性を考慮するなら9号→10号という先後関係を傍証することになる。10号は中央部に石を敷いた石組炉が作られ、9・10号とも4本柱である。11・12号は4本柱の円形プランでいずれも中心部に炉が位置する。11号の炉は石が抜かれているので構造が不明であるが、12号については石を敷かない石組炉である。切り合い関係や構造的な面から、9号→10号→11号→12号と先後関係が得られているが、土器型式から見る限りでは10号と12号の間に大差はない。5号竪穴住居跡も4柱の隅丸円形であるが、出土土器型式から判断すると6号に後出する。5号の場合、周溝が全周するわけではなく、全体に浅くて明確に溝とは言いがたい。石組炉は最低2回は作り直しているが、主柱穴を見る限り建て直しは窺えない。平面プランが方形から円形へ変遷していくという前提だけに立てば、9号→10号→6号→5号→11号→12号という順序が想定されることになるが、構造的な面や出土土器型式から判断するなら、6号→5号が9号→10号→11号→12号に時間的に共存していた可能性も存在するため、敢えて前述したような2系列の変遷を想定した。

4・7号竪穴住居跡はいずれも径4m程度の円形に近い楕円形で、中心部へ向けて緩やかに傾斜する断面擂り鉢状の住居跡である。中央部には焼土だけが残る小さな炉跡があり、明確に配列されたり安定した深さやサイズの主柱穴は見当たらない。土器型式からは両者に先後関係を見いだすことは難しいが、3・5・6・9～12号に後出することは間違いない。

以上、本遺跡における竪穴住居跡の変遷を見てきたが、当該期における周防灘沿岸部の方向性とほぼ同じ変遷を認めることができる。すなわち、平面プランは小池原上層式期の小円形から、鐘崎式期～西平式期以前の方形→隅丸方形→円形を経て、西平・三万田式期の小円形へと変遷していく。壁の立ち上がりは鐘崎式～西平式以前までは直線的で明確な立ち上がりが見られるが、その前後では断面擂り鉢状で壁といえるものはない。敷き石を伴う石組炉は、当初住居跡の一方へ寄っていたものが鐘崎式期になると中央部へ作られるようになり、その過程で敷石がなくなる。そして、西平・三万田式期には石組を持たない炉跡になっていく。このように鐘崎式期と西平式期の開始期において比較的大きな変化が見られるが、土器型式を見ても部分的に断絶したり出土量に差があったりするため、その要因を本遺跡の中で探ることは難しい。今後、周辺地域との関連性を検討することが必要であろう。

なお、最後に一つの可能性を提示しておきたい。8号竪穴住居跡を含めた10軒の竪穴住居跡は、出土土器型式・住居の構造・切り合い関係・住居間の距離等から判断して、同時共存しえたのは2軒程度であったと考えられる。また、これらの竪穴住居跡群の配列が結果的にではあのものの、土壙墓と推定される5号土坑付近を中心に空間（広場）を形成しながら、馬蹄形を呈していることにも十分な注意を払っておきたい。本来、このような集落形態は東日本で普遍的に見られるものである。本遺跡の形態（構造）が直接的にそれらと関係するとは安易に結論づける訳ではないが、その可能性を想定すべき必要性は十分に存在しよう。したがって、立石とも見える5号土坑の台石の意味も、ある程度考慮しておきたい。

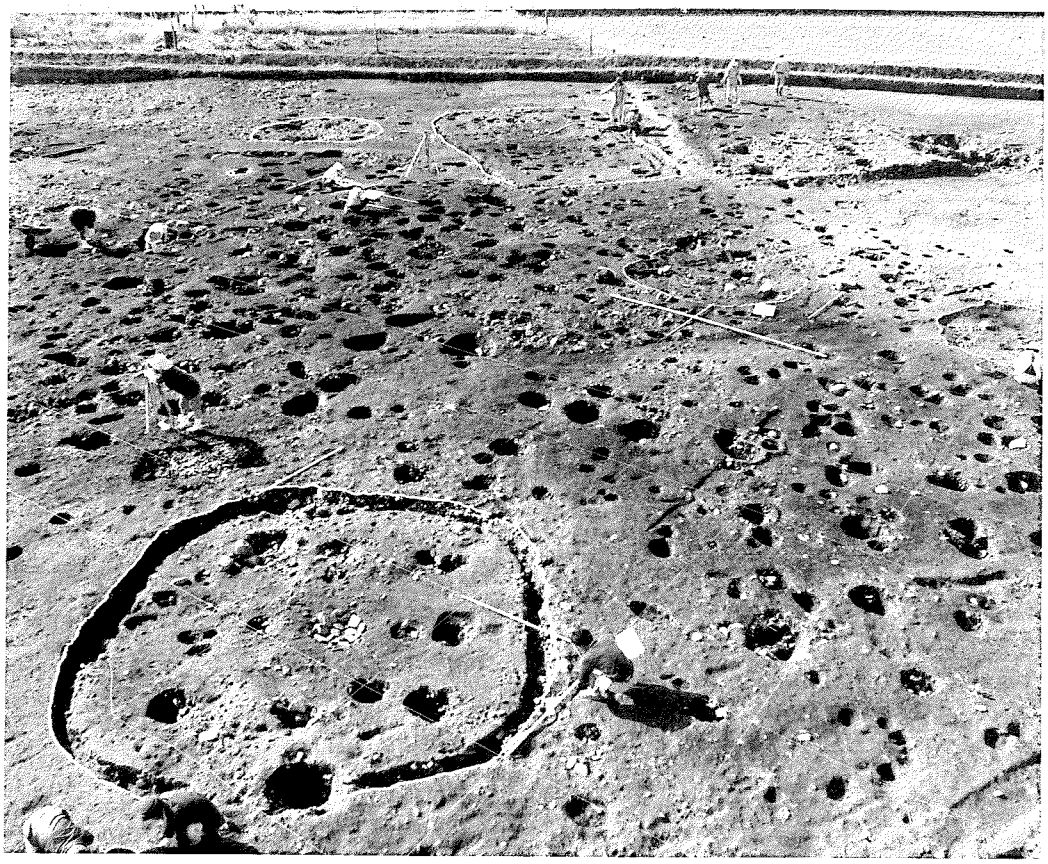
6．おわりに

従来より、周防灘沿岸部は縄紋時代の遺跡が少ない地域として見られがちであった。しかし、近年の一般国道椎田道路・椎田バイパス建設に伴う発掘調査や、農業基盤整備事業や工業団地建設等を中心とした大規模な各種開発により、縄紋後期に関しては大遺跡群として位置づけることも可能になりつつある。特にこの地域は、瀬戸内海西端部として九州の玄関口的な地理的環境にあり、集落構造の解明や土器型式の編年的・系統的研究が九州全体の当該期研究に与える影響は極めて大きい。

今回、中村石丸遺跡の調査で得られた成果は多く、集落自体の構造はもちろん集落構造の変遷、土器型式の編年、遺跡立地の問題、埋葬方法の問題等があげられる。同時に、生じた課題

も少なくはなく、9～12号竪穴住居跡の構造的な問題、欠落型式期における中村石丸縄紋人の生活復原（全体的な生活パターン）、同時期に近接して営まれていた他遺跡（山崎・石町遺跡や上唐原遺跡等）との関係等がそれである。

いずれにせよ、中村石丸遺跡だけで消化・解決される問題ではなく、周防灘沿岸部の他の多くの遺跡群との比較検討なくしては今後の展開は望めないことを最後に確認しておきたい。



第 315 図 中村石丸遺跡発掘調査風景（北東から）

観　　察　　表

凡例

単位：cm・g

ＲＬ：縄紋原体

口　：口径

胴　：胴部径

底　：底部径

角　：角閃石

雲　：雲母

第 5 表　縄紋土器観察表. 1

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
1	住1 上部	ナデ　沈→RL→磨消	暗黄褐色	巻貝条痕	暗黄褐色	口 35	角	563	縄紋磨消し残る
2	住1 下部P-26	巻貝条痕　RL→沈	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色			566	
3	住1 下部P-59	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	90	
4	住1 下部	ナデ　沈→RL	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	646	
5	住1 上部	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	63	
6	住1 下部	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	97	
7	住1 下部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	35	
8	住1 下部	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	16	
9	住1 下部	ナデ　沈→RL	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	42	
10	住1 上部	巻貝条痕　RL→沈	褐色	ナデ	橙褐色			645	
11	住1 下部P-9	ナデ　LR→沈	黄褐色	ナデ	黄褐色	口 24	角	105	
12	住1 上部	ナデ　LR→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 28	角	18	
13	住1 上部	ナデ　RL→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 33	角	5	
14	住1 上部	ナデ　RL→沈	橙褐色	ナデ	黄褐色		角	59	
15	住1 上部	ナデ　沈→RL	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	40	
16	住1 下部P-17	ナデ	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色		角・雲	81	
17	住1 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	651	
18	住1 上部	ナデ	黄褐色	ナデ	褐色		角	53	
19	住1 上部	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			20	
20	住1 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	57	
21	住1 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	胴 30	角	13	
22	住1 上部	ナデ	淡褐色	巻貝条痕	赤褐色			102	
23	住1 下部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			643	
24	住1 上部	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角	19	
25	住1 下部	ナデ	褐色	巻貝条痕→	褐色		角	22	
26	住1 下部P-48	巻貝条痕→ナデ	褐色	ナデ	淡褐色	口 36	角	86	
27	住1 下部	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色		角	61	
28	住1 上部	ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 27	角	7	
29	住1 下部P-19	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			53	
30	住1 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			10	
31	住1 床面	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	565	
32	住1 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	9	
33	住1 下部	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角	45	
34	住1 上部	ナデ	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色	口 24	角	17	
35	住1 下部P-6	ナデ	暗赤褐色	ナデ	淡赤褐色	口 18	角	73	
36	住1 上部	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	39	
37	住1 上部	ナデ	黒褐色	ナデ	黒褐色		角	30	
38	住1 上部	ナデ	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色			31	
39	住1 下部P-21	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 25	角	80	
40	住1 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			24	
41	住1 上部	ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 31		27	
42	住1 下部P-59	ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 34	角	49	
43	住1 下部P-2	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色	口 30	角	568	
44	住1 下部P-48	巻貝条痕→ナデ	暗橙色	巻貝条痕→ナデ	暗橙色	口 32	角・雲	567	
45	住1 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	暗橙褐色	口 34	角	34	
46	住1 上部	ナデ	黒褐色	ナデ	暗黄褐色			11	
47	住1 下部P-12	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	76	
48	住1 上部	ナデ	暗橙色	ナデ	暗橙色	口 30	角	27	
49	住1 床面	ナデ	暗白黄色	ナデ	暗白黄色			569	
50	住1 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 36	角・雲	641	
51	住1 下部	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	45	
52	住1 上部	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	褐色			62	
53	住1 上部	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	口 24		653	加熱変色
54	住1 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底 14		21	
55	住1 上部	巻貝条痕	暗黄褐色	巻貝条痕	暗黄褐色		角	642	
56	住1 下部	巻貝条痕	褐色	ナデ	橙褐色		角	644	
57	住1 下部P-7	ナデ	褐色	巻ナデ	褐色	口 30		94	
58	住1 下部P-9	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	口 32	角	564	
59	住1 床面	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	110	
60	住1 上部	ナデ	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色		角	51	
61	住1 下部P-61	ナデ	褐色	ナデ	褐色			75	
62	住1 上部	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色			26	
63	住1 上部	ナデ	明橙褐色	ナデ	明橙褐色			6	
64	住1 下部P-18	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角・雲	645	
65	住1 床面	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	ナデ	褐色		角	1	
66	住1 床面	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	650	
67	住1 上部	巻貝条痕	橙色	ナデ	褐色			32	
68	住1 上部	巻貝条痕	暗黄褐色	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	口 26	角	2	

第 6 表　縄紋土器観察表. 2

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
69	住1 下部P-7	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底8	角	93	
70	住1 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色	底12		571	
71	住1 上部	ナデ	黄褐色	ナデ	黄褐色	底11	角	652	
72	住1 上部	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	底12	雲	570	
73	住1 下部P-12	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底14		104	
74	住3 P-8•164	ナデ　RL→沈	暗黄褐色	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	口30	角	656	
75	住3 上部	ナデ　RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		雲	131	
76	住3 P-163	巻貝条痕→ナデ　RL→沈	暗淡褐色	ナデ	暗褐色		雲	150	
77	住3 P-1	ナデ　RL→沈	褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	胴42	角	123	
78	住3 P-16	ナデ　RL→沈	淡白黄色	ナデ	淡白黄色		角	126	
79	住3 P-170	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	褐色		角	145	
80	住3 上部	ナデ　RL→沈	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			146	
81	住3 下部	ナデ　RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	152	
82	住3 上部	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	明褐色		雲	590	
83	住3 P-164	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角・雲	149	
84	住3 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	150	
85	住3 上部	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	二枚貝条痕	暗褐色			151	
86	住3 P-23	ナデ	赤褐色	巻貝条痕	橙褐色	胴36	角	592	加熱変色
87	住3 P-10	ナデ	暗黄褐色	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	口25	角	658	
88	住3 P-4	ナデ	赤褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色			657	
89	住3 P-17	ナデ	暗褐色	巻貝条痕	淡橙褐色		角	124	
90	住3 上部	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口40	角	140	
91	住3 上部	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色		角	125	
92	住3 上部	ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色		角	591	
93	住3 P-22	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡赤褐色		角	660	
94	住3 下部	ナデ	白黄色	ナデ	白黄色		角	139	
95	住3 上部	ナデ	明褐色	ナデ	明褐色		角・雲	138	
96	住3 P-22	二枚貝条痕→ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			141	
97	住3 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	148	
98	住3 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			137	
99	住3 上部	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色		角・雲	144	
100	住3 下部	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角・雲	155	
101	住3 下部	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角・雲	136	
102	住3 P-165	ナデ	橙褐色	ナデ	暗黄褐色			156	
103	住3 上部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		雲	143	
104	住3 P-164	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口24	角	661	
105	住3 P-7•167	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口32	角・雲	665	突起は1対
106	住3 上部	条痕→ナデ	赤褐色	条痕→ナデ	赤褐色		角・雲	127	
107	住3 下部	巻条痕→ナデ	灰褐色	条痕→ナデ	暗褐色		角・雲	139	
108	住3 上部	ナデ　沈→RL	暗褐色	ナデ	暗褐色	口30	角・雲	135	
109	住3 上部	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡赤褐色		角	133	
110	住3 P-15	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口28	角・雲	655	
111	住3 P-21	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口38	角	662	
112	住3 床面	巻貝条痕	赤褐色	巻貝条痕→ナデ	淡赤黄褐色	胴34	角	654	
113	住3 石組炉	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	暗褐色			154	
114	住3 床面	ナデ	暗黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底7		153	
115	住3 P-29	ナデ	赤褐色	ナデ	暗赤褐色	底12	角	664	加熱変色
116	住3 上部	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	底13	角	125	加熱変色
117	住3 下部	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	底10	角	132	
118	住3 上部	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底14	角	129	
119	住3 P-34	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	底6	雲	663	加熱変色
120	住4 P-12	条痕→ナデ	淡黄褐色	条痕→ナデ	淡黄褐色		雲	185	
121	住4 上部	条痕→ナデ　RL→沈	暗黄褐色	条痕→ナデ	暗黄褐色			155	
122	住4 上部	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色			208	
123	住4 上部	ナデ	暗灰褐色	二枚貝条痕→ナデ	暗灰褐色		角・雲	184	
124	住4 下部	二枚貝条痕→ナデ	淡灰褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡赤褐色		雲	169	
125	住4 下部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角・雲	161	
126	住4 P-23	ナデ　沈→RL	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		雲	170	
127	住4 下部	二枚貝条痕→ナデ	淡赤褐色	二枚貝条痕→ナデ	暗褐色	胴30	角・雲	717	
128	住4 P-6	巻ナデ　RL→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色	口17	雲	130	
129	住4 P-10	研磨	橙褐色	研磨	橙褐色	胴15		198	
130	住4 P-4	ナデ　巻貝疑似→沈	橙色	ナデ	橙色	口28		203	
131	住4 下部	ナデ　RL→沈	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色		角	183	
132	住4 下部	ナデ	橙褐色	ナデ	淡橙褐色			171	
133	住4 上部	ナデ　巻貝疑似→沈	褐色	条痕→ナデ	褐色		角	167	
134	住4 上部	ナデ　巻貝疑似→沈	淡褐色	ナデ	赤褐色		角	75	
135	住4 上部	ナデ　巻貝疑似→沈	暗淡褐色	ナデ	暗褐色			187	
136	住4 下部	研磨　沈→RL	暗黒褐色	ナデ	黒褐色		角	177	

第 7 表　縄紋土器観察表. 3

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
137	住 4 下部	ナデ　巻貝疑似→沈	褐色	ナデ	褐色		角	178	
138	住 4 床面	研磨　沈→巻貝疑似	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色		雲	164	
139	住 4 上部	ナデ　沈→R	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色			188	
140	住 4 上部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		雲	202	
141	住 4 下部	ナデ　沈→RL	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			210	
142	住 4 P-2•3	巻貝条痕→ナデ　巻貝疑似	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 34		720	
143	住 4 P-25	研磨　RL	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色	胴 31	角	692	
144	住 4 上部	ナデ　巻貝疑似	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		雲	181	
145	住 4 上部	ナデ　巻貝疑似	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		雲	189	
146	住 4 P-4	巻貝条痕→ナデ　巻貝疑似	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 27		674	口唇部巻貝疑似
147	住 4 P-17	巻貝条痕→ナデ　巻貝疑似	暗淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	口 30	角・雲	673	
148	住 4 上部	ナデ→巻貝条痕疑似文様	淡橙褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	口 31	角・雲	672	
149	住 4 P-18	ナデ→巻貝条痕疑似文様	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色	口 30		667	
150	住 4 P-50	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 24	角・雲	675	
151	住 4 P-70	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色	口 15	角・雲	716	
152	住 4 下部	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色		角	200	
153	住 4 P-11•100	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 12		681	
154	住 4 上部	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色	口 16	雲	676	
155	住 4 下部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 12		680	
156	住 4 上部	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡赤褐色		雲	182	突帯文ではない
157	住 4 上部	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	底 13	雲	702	
158	住 4 P-23	研磨	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色	口胴 13	雲	688	
159	住 4 上部	研磨	淡橙色	研磨	淡橙色			201	
160	住 4 P-67	ナデ	褐色	ナデ	褐色			685	
161	住 4 P-27	ナデ	暗淡褐色	ナデ	暗褐色		角・雲	700	
162	住 4 P-85	ナデ	橙色	ナデ	橙色		角	666	
163	住 4 P-44	ナデ→巻貝条痕疑似文様	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角・雲	195	
164	住 4 上部	条痕→ナデ	淡黄褐色	条痕→ナデ	淡黄褐色			205	
165	住 4 P-3	ナデ	暗褐色	研磨	暗褐色		角	172	
166	住 4 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	687	
167	住 4 P-58	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色		角・雲	684	
168	住 4 P-38	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	口 28	雲	168	
169	住 4 P-35	条痕→ナデ	暗褐色	条痕→ナデ	橙褐色	口 28	雲	678	
170	住 4 P-39	条痕→ナデ	淡褐色	条痕→ナデ	淡褐色	口 36	角	668	
171	住 4 P-33	巻貝条痕	暗橙褐色	ナデ	橙褐色	胴 30	角	699	
172	住 4 P-36	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡赤褐色	口 24		719	
173	住 4 P-2	ナデ	褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	669	
174	住 4 P-2	ナデ→巻貝条痕疑似文様	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 33	角	696	
175	住 4 P-33	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	淡褐色	口 42		694	
176	住 4 P-54•57	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 28	角	677	
177	住 4 P-64	ナデ→研磨	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 25	角・雲	712	
178	住 4 P-47・床面	ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色		雲	704	
179	住 4 P-2•12	ナデ	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色	口 27	雲	714	
180	住 4 P-81	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 30		640	
181	住 4 P-9	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	暗褐色	口 34	角	701	
182	住 4 P-19	巻貝条痕	暗赤褐色	ナデ	淡赤褐色	口 34	雲	713	
183	住 4 P-1	巻貝条痕	暗褐色	ナデ	淡褐色	口 34	角・雲	692	
184	住 4 P-76	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 18		686	
185	住 4 P-63•78•84	ナデ	暗灰褐色	ナデ	暗褐色	底 14	角	703	
186	住 4 P-46	ナデ	淡白色	ナデ	淡黄白色	底 7		197	
187	住 4 P-65	ナデ	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色	口 6	角	698	
188	住 4 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底 7	雲	209	
189	住 4 P-5	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 12	角・雲	689	
190	住 4 上部	研磨　RL→沈	暗褐色	研磨	暗褐色			166	
191	住 4 上部	ナデ　RL→沈	淡褐色	ナデ	淡褐色		角・雲	173	
192	住 4 P-47	ナデ　RL→沈	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角・雲	180	
193	住 4 上部	摩滅不明	淡黄褐色	摩滅不明	淡黄褐色			206	
194	住 4 P-62	研磨　RL→沈	淡褐色	研磨	淡褐色		角・雲	174	
195	住 4 上部	摩滅不明	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色		角	190	
196	住 4 上部	ナデ　沈→RL	暗灰褐色	ナデ	淡灰褐色			186	
197	住 4 上部	摩滅不明	暗黄褐色	摩滅不明	暗黄褐色		角	163	
198	住 4 P-64	摩滅不明	暗褐色	摩滅不明	暗褐色	口 17	角・雲	682	
199	住 4 上部	ナデ	黒褐色	ナデ	黒褐色		角	176	
200	住 4 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角・雲	193	
201	住 4 上部	ナデ	黒褐色	ナデ	黒褐色		角	697	
202	住 4 下部	ナデ	黒褐色	ナデ	黒褐色			165	
203	住 4 上部	ナデ	暗橙色	ナデ	暗橙色	口 26	角	691	
204	住 4 上部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 28	角	705	

第 8 表 縄紋土器観察表. 4

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
205	住 4 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 30	角	157	
206	住 4 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角・雲	192	
207	住 4 P-67	研磨	淡黄白色	研磨	暗褐色			191	
208	住 4 P-87	研磨	淡灰色	研磨	暗褐色		角	176	
209	住 4 上部	研磨	暗褐色	研磨	暗褐色			194	
210	住 4 上部	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄色		角	207	
211	住 4 上部	研磨	淡褐色	研磨	淡褐色		角・雲	671	
212	住 4 上部	条痕→ナデ	暗褐色	ナデ	黄褐色	口 16		157	
213	住 4 P-47	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙色	口 16		707	
214	住 4 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 32	角	670	
215	住 4 P-60・87	研磨	淡褐色	研磨	淡白褐色	口 42	角・雲	715	
216	住 4 上部	研磨	暗褐色	研磨	暗褐色	口 30	角	683	
217	住 4 P-66	ナデ	淡茶褐色	ナデ	淡茶褐色	口 24	角・雲	718	
218	住 4 上部	研磨	黒褐色	研磨	黒褐色	口 32	角	708	
219	住 4 上部	摩滅不明	淡白褐色	摩滅不明	淡白褐色	口 31		706	
220	住 5 1層	ナデ	褐色	ナデ	褐色			147	
221	住 5 1層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			230	
222	住 5 1層	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色			273	
223	住 5 1層	ナデ	淡茶褐色	ナデ	淡茶褐色			356	
224	住 5 1層	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色		角	232A	
225	住 5 1層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	253A	
226	住 5 1層	巻貝条痕→ナデ	淡灰褐色	巻貝条痕→ナデ	淡灰褐色		角	271A	
227	住 5 1層	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色		雲	245A	
228	住 5 1層	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色	口 25	雲	734A	
229	住 5 1層	巻貝条痕	橙褐色	巻貝条痕	橙褐色	口 27		820	
230	住 5 1層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			266	
231	住 5 1層	巻貝条痕	暗黄褐色	巻貝条痕	暗黄褐色		角	218	
232	住 5 1層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	311	
233	住 5 1層	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 26	角	773	
234	住 5 1層	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 36	角	268A	
235	住 5 1層	研磨　沈→巻貝疑似	褐色	ケズリ→研磨	淡白色	口 28	角	844	赤色塗布
236	住 5 1層	ナデ　沈→L	暗茶色	ナデ	暗茶褐色	口 30	角	258	
237	住 5 1層	ナデ　沈→RL	茶褐色	研磨	茶褐色	胴 30		839	
238	住 5 1層	ナデ　沈→RL	茶褐色	ナデ	茶褐色			228A	
239	住 5 1層	ナデ　RL→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色		雲	237A	
240	住 5 1層	研磨　沈→LR	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			288A	赤色塗布
241	住 5 1層	ナデ　沈→LR　隆帯文	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色		角	279A	
242	住 5 1層	ナデ　沈→二枚貝疑似	暗灰褐色	二枚貝条痕	暗灰褐色		角	241	
243	住 5 1層	研磨　隆帯文→RL	淡黄褐色	研磨	淡黄褐色		角・雲	246	
244	住 5 1層	ナデ　隆帯文	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	345	
245	住 5 1層	ナデ　沈→巻貝疑似	暗橙色	ナデ	暗橙色			291	
246	住 5 1層	ナデ　沈→RL	黄褐色	ナデ	黄褐色			295	
247	住 5 1層	ナデ　沈→細沈	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	269	
248	住 5 1層	ナデ　巻貝疑似	淡赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	263	
249	住 5 1層	ナデ　沈→巻貝疑似	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	247	
250	住 5 1層	ナデ	淡橙色	巻貝条痕→ナデ	淡橙色			238	
251	住 5 1層	ナデ　沈→巻貝疑似	暗褐色	ナデ	淡黄褐色			736	
252	住 5 1層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 29		290	
253	住 5 1層	ナデ　沈→巻貝疑似	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角・雲	829	
254	住 5 1層	ナデ　沈→巻貝疑似	明橙色	ナデ	橙色			231	
255	住 5 1層	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			797	
256	住 5 1層	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙色			313	
257	住 5 1層	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色	胴 5		632	
258	住 5 1層	ナデ	黄橙色	ナデ	黄褐色			379	充塡円盤
259	住 5 1層	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色	底 14	角	272A	
260	住 5 1層	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	口 30	角	270	
261	住 5 1層	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 26	角	262	
262	住 5 1層	二枚貝条痕→ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	276	
263	住 5 1層	巻貝条痕→ナデ	赤褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	口 34	角	870	加熱変色
264	住 5 1層	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 32	角	859	
265	住 5 1層	二枚貝条痕→ナデ→研磨	褐色	二枚貝条痕→ナデ	赤褐色	口 34		745	
266	住 5 1層	ナデ	褐色	ナデ	褐色	底 6	角	371	
267	住 5 1層	ナデ	灰褐色	ナデ	褐色	底 4	角	366	
268	住 5 1層	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	底 10	角	726	
269	住 5 1層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 11	角	784	網代圧痕
270	住 5 1層	ナデ	橙褐色	ナデ	褐色	底 11		777	
271	住 5 1層	ナデ	黒褐色	ナデ	黒褐色		角	307	
272	住 5 1層	二枚貝条痕	暗褐色	ナデ	暗褐色		雲	—	

第 9 表　縄紋土器観察表. 5

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
273	住5 1層	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄褐色	口3		—	注口部
274	住5 1層	ナデ	黒褐色	研磨	淡褐色	口28	角	789	
275	住5 1層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口28	角	341	
276	住5 1層	研磨	暗褐色	研磨	暗褐色	口32	角	856	
277	住5 1層	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色	口36	角	283A	
278	住5 2・3層	ナデ　沈→RL	淡褐色	ナデ	淡褐色	胴28		761	
279	住5 2・3層	ナデ　沈→R	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			289A	羽状縄紋　赤色塗布
280	住5 2・3層	ナデ	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色	口28	雲	261	把手1対　265と同一
281	住5 2・3層	ナデ	淡橙色	巻貝条痕→ナデ	淡橙色		角	354	
282	住5 2・3層	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色		角	254	
283	住5 2・3層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	288	
284	住5 2・3層	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色		角	355	
285	住5 2・3層	ナデ　RL	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色		角	297	
286	住5 2・3層	ナデ	褐色	ナデ	褐色	口23	角	243A	
287	住5 2・3層	ナデ	淡白黄色	巻貝条痕→ナデ	淡白黄色	口33	角・雲	809	
288	住5 2・3層	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色		雲	—	
289	住5 2・3層	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗淡褐色			224	
290	住5 2・3層	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡赤褐色	口34		357	
291	住5 2・3層	二枚貝条痕→ナデ	淡赤褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡赤褐色	口30	角・雲	871	
292	住5 2・3層	巻貝条痕	淡赤褐色	巻貝条痕	暗褐色	胴32	角	749	
293	住5 2・3層	ナデ	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	口28		754	
294	住5 2・3層	ナデ	淡橙白色	巻貝条痕→ナデ	淡橙白色		角	335	
295	住5 2・3層	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角	294A	
296	住5 2・3層	巻貝条痕→ナデ	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色		角	846	
297	住5 2・3層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口24	角	744	
298	住5 2・3層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	353	
299	住5 2・3層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			261	
300	住5 2・3層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			226	押引文
301	住5 2・3層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	289A	
302	住5 2・3層	ナデ	褐色	ナデ	褐色		雲	296A	
303	住5 2・3層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	橙褐色	胴38	雲	806	
304	住5 2・3層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		雲	214	
305	住5 2・3層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			309	
306	住5 2・3層	巻貝条痕	暗橙色	巻貝条痕	暗橙色		角	315	
307	住5 2・3層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口25		256	
308	住5 2・3層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	胴33		321	
309	住5 2・3層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色	口34		861	
310	住5 2・3層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	239	
311	住5 2・3層	ナデ	淡黄灰色	巻貝条痕→ナデ	淡灰橙色	口28	角	792	
312	住5 2・3層	巻貝条痕→ナデ	黒褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	口32		779	
313	住5 2・3層	ナデ　RL	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色		雲	283	
314	住5 2・3層	ナデ　巻貝疑似	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色			636	赤色塗布
315	住5 2・3層	研磨　沈→RL	淡橙褐色	研磨	淡橙褐色		雲	—	焼成前穿孔
316	住5 2・3層	ナデ　巻貝疑似	茶褐色	ナデ	茶褐色	口31	角	276A	
317	住5 2・3層	研磨　沈→RL	淡茶褐色	研磨	淡茶褐色	口31	角・雲	382	赤色塗布　口縁加熱
318	住5 2・3層	研磨　RL→沈	淡橙褐色	巻貝条痕→研磨	淡橙褐色	口36		294A	焼成前穿孔
319	住5 2・3層	ナデ　沈→R	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角・雲	223	
320	住5 2・3層	ナデ　RL→沈	赤褐色	ナデ	赤褐色		角	252	
321	住5 2・3層	ナデ　沈→RL	淡褐色	ナデ	淡褐色			363	
322	住5 2・3層	ナデ　LR→沈	鞠後赤黄橙	ナデ	淡黄褐色		角	242	
323	住5 2・3層	ナデ　L→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色			361	
324	住5 2・3層	ナデ　沈→RL	淡褐色	ナデ	淡褐色		雲	319	
325	住5 2・3層	ナデ　沈→RL	褐色	ナデ	褐色		雲	760	
326	住5 2・3層	ナデ　LR→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			316	
327	住5 2・3層	ナデ　沈→RL	淡褐色	ナデ	淡褐色	口22	角・雲	843	
328	住5 2・3層	研磨　RL→沈	暗褐色	研磨	暗褐色	口24	角・雲	850	赤色塗布　補修孔
329	住5 2・3層	ナデ　RL→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色			801	
330	住5 2・3層	研磨　沈→二枚貝疑似	淡黄褐色	研磨	淡黄褐色		角・雲	264	
331	住5 2・3層	ナデ　沈→二枚貝疑似	茶褐色	ナデ	茶褐色		雲	236	
332	住5 2・3層	研磨　沈→RL	暗褐色	研磨	暗褐色	口33	雲	867	口縁は巻貝疑似縄紋
333	住5 2・3層	研磨　沈→LR	暗赤褐色	研磨	暗赤褐色	口31	角	873	器高18
334	住5 2・3層	巻貝条痕→ナデ　沈→巻貝	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡灰褐色		角	257	口縁端部巻貝疑似縄紋
335	住5 2・3層	ナデ　沈→巻貝疑似	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口16	雲	748	
336	住5 2・3層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			235	
337	住5 2・3層	ナデ　沈→巻貝疑似	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角・雲	248	赤色塗布
338	住5 2・3層	ナデ	明白黄色	ナデ	明白黄色			250	
339	住5 2・3層	ナデ　沈→巻貝疑似	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	314	
340	住5 2・3層	ナデ　沈→巻貝疑似	赤褐色	ナデ	淡赤褐色	口27	角	821	加熱変色

第 10 表　縄紋土器観察表. 6

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
341	住 5 2•3 層	研磨　押引文→巻貝疑似	淡灰褐色	研磨	淡灰褐色	口 32	雲	339	赤色塗布
342	住 5 2•3 層	ナデ　沈→巻貝疑似	淡褐色	ナデ	淡褐色	胴 30	雲	830	
343	住 5 2•3 層	ナデ	赤褐色	ナデ	淡赤褐色	胴 18	角・雲	835	加熱変色
344	住 5 2•3 層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	237	
345	住 5 2•3 層	巻貝条痕	淡黄白色	ナデ	淡黄白色	胴 34		854	
346	住 5 2•3 層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 26	角	255	
347	住 5 2•3 層	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色	胴 26	角	753	
348	住 5 2•3 層	研磨　沈→L	茶褐色	研磨	黒褐色			286	
349	住 5 2•3 層	ナデ　沈→LR	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	268	
350	住 5 2•3 層	ナデ　沈→巻貝疑似	褐色	研磨	暗褐色		角	251A	
351	住 5 2•3 層	巻貝条痕→ナデ　沈→巻貝疑似	橙褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 30		789	
352	住 5 2•3 層	ナデ　沈→巻貝疑似	淡褐色	ナデ	淡褐色	胴 32		229A	
353	住 5 2•3 層	研磨　沈→巻貝疑似	淡褐色	ナデ	淡褐色	胴口30	角・雲	848	
354	住 5 2•3 層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			304	
355	住 5 2•3 層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			331	
356	住 5 2•3 層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			344	
357	住 5 2•3 層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	247A	突起と隆帯文
358	住 5 2•3 層	ナデ　隆帯文→巻貝疑似	灰褐色	ナデ	灰褐色			226A	隆帯文
359	住 5 2•3 層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			231A	隆帯文
360	住 5 2•3 層	ナデ　隆帯文→巻貝疑似	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色	口 12	雲	216	隆帯文
361	住 5 2•3 層	研磨　RL→沈	黒褐色	研磨	黒褐色			281	
362	住 5 2•3 層	ナデ　押引文→RL	暗褐色	ナデ	淡黄褐色		角	342	
363	住 5 2•3 層	ナデ　L→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色		雲	255A	赤色塗布
364	住 5 2•3 層	ナデ　隆帯文→沈→巻貝疑似	橙褐色	ナデ	褐色		角	254A	
365	住 5 2•3 層	巻貝条痕→ナデ　巻貝疑似→沈	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色		角・雲	298	
366	住 5 2•3 層	ナデ　沈→R	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	338	
367	住 5 2•3 層	ナデ　沈→R	黄褐色	ナデ	黄褐色		雲	295	
368	住 5 2•3 層	研磨　把手→穿孔→巻貝疑似→沈	淡褐色	研磨	淡褐色	口 20	角・雲	834	把手 1 対　器高 12
369	住 5 2•3 層	ナデ　突起→巻貝疑似→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 24	雲	819	
370	住 5 2•3 層	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	口 22	角	730	
371	住 5 2•3 層	ナデ	褐色	ナデ	褐色	口 28	角	768	突起に刺突文
372	住 5 2•3 層	研磨	黒褐色	研磨	黒褐色	口 14	雲	855	器高 7
373	住 5 2•3 層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 13	角	300A	
374	住 5 2•3 層	巻貝条痕	暗橙褐色	巻貝条痕	暗橙褐色	口 26	雲	272	
375	住 5 2•3 層	ナデ　沈→巻貝疑似	淡白黄色	ナデ	淡白黄色	口 2		—	内面にしぼり痕
376	住 5 2•3 層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 3	角	—	
377	住 5 2•3 層	ナデ	黄褐色	ナデ	黄褐色	底 11		381	
378	住 5 2•3 層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 6	角	380	
379	住 5 2•3 層	ナデ	褐色	ナデ	褐色	底 4		355	
380	住 5 2•3 層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 31	角	752	
381	住 5 2•3 層	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		雲	283	
382	住 5 2•3 層	ナデ	暗橙色	ナデ	暗橙色		角	221	
383	住 5 2•3 層	研磨	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 24	雲	866	
384	住 5 2•3 層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 34	雲	267A	
385	住 5 2•3 層	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色			285	
386	住 5 2•3 層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 38	雲	236A	
387	住 5 2•3 層	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色		角	293	
388	住 5 2•3 層	巻貝条痕	明橙褐色	巻貝条痕	明橙褐色			299	
389	住 5 2•3 層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色	口 28	雲	252A	
390	住 5 2•3 層	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 40		858	
391	住 5 2•3 層	巻貝条痕	淡橙色	巻貝条痕	淡橙色		角	729	
392	住 5 2•3 層	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 40		780	
393	住 5 2•3 層	ナデ	暗褐色	ナデ	褐色	口 16		833	器高 17
394	住 5 2•3 層	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	口 16		788	加熱変色
395	住 5 2•3 層	ナデ	淡白褐色	ナデ	淡白褐色			322	
396	住 5 2•3 層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 26	角	274	
397	住 5 2•3 層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 26	角	815	
398	住 5 2•3 層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 34	角	261	隆帯文
399	住 5 2•3 層	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	胴 32		845	
400	住 5 2•3 層	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色	口 36	角	853	
401	住 5 2•3 層	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色	口 37		778	
402	住 5 2•3 層	ナデ	明褐色	ナデ	明橙色	口 30	雲	786	
403	住 5 2•3 層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 36	雲	797	
404	住 5 2•3 層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色			728	
405	住 5 2•3 層	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色		角	265	
406	住 5 2•3 層	二枚貝条痕	暗赤褐色	二枚貝条痕	暗赤褐色	口 30		213	
407	住 5 2•3 層	巻貝条痕→ナデ　巻貝疑似縄紋	暗褐色	巻貝条痕	暗褐色	口 28		812	
408	住 5 2•3 層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角・雲	301	

第 11 表　縄紋土器観察表. 7

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
409	住5 2•3層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底 11		373	
410	住5 2•3層	ナデ	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色	底 10		723	
411	住5 2•3層	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	底 10		726	
412	住5 2•3層	ナデ	褐色	ナデ	赤褐色	底 8		722	
413	住5 2•3層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 4	角	368	
414	住5 2•3層	ナデ	淡黄色	ナデ	淡黄色	底 11	角	785	圧痕
415	住5 2•3層	二枚貝条痕	淡灰黄色	二枚貝条痕	淡灰黄色	底 11	角	725	
416	住5 2•3層	ナデ	褐色	ナデ	褐色	底 10		369	種子圧痕
417	住5 2•3層	条痕	褐色	ナデ	褐色	底 10	角	733	底面条痕
418	住5 2•3層	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	底 8		364	底面条痕
419	住5 2•3層	ナデ	淡黄灰色	ナデ	淡黄灰色	底 11	雲	631	網代圧痕
420	住5 3層下部P-173	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	口 38	雲	831	外面に炭化物付着
421	住5 3層下部P-104	巻貝条痕	橙褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	口 37	角・雲	862•865	波頂部に巻貝押圧　865と同一
422	住5 3層下部P-73	ナデ	橙褐色	巻貝条痕	褐色	口 24	角・雲	762	
423	住5 3層下部P-171	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	黒褐色			258A	
424	住5 3層下部P-112	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 37		320	
425	住5 3層下部P-54	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 40	雲	802	
426	住5 3層下部P-126	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 16	角	266A	
427	住5 3層下部P-39	巻貝条痕	暗橙褐色	巻貝条痕	暗橙褐色		雲	238A	
428	住5 3層下部P-185	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色		角	863	
429	住5 3層下部P-30	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	暗淡褐色		角	253A	
430	住5 3層下部P-135	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	橙色	口 28	角	279A	
431	住5 3層下部P-94	巻貝条痕	暗茶褐色	巻貝条痕→ナデ	暗茶褐色	口 34	角	779	
432	住5 3層下部P-46	二枚貝条痕→ナデ	暗茶褐色	二枚貝条痕→ナデ	暗茶褐色	口 26	雲	222	
433	住5 3層下部P-111	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 30	角	228	
434	住5 3層下部P-133	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色		角・雲	817	
435	住5 3層下部P-28	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 23	雲	826	
436	住5 3層下部P-33	巻貝条痕	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	胴 32		320	
437	住5 3層下部P-162	ナデ　RL→沈	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色		雲	259	
438	住5 3層下部P-52	ナデ　沈→RL	暗褐色	→ナデ	暗褐色	胴 25		823	
439	住5 3層下部P-62	研磨　沈→RL	暗茶褐色	研磨	暗茶褐色		角	350	
440	住5 3層下部P-1	研磨	褐色	研磨	橙褐色	口 11	角・雲	822	器高 12
441	住5 3層下部P-45	研磨　沈→RL	暗褐色	研磨	暗褐色	口 32	雲	811	赤色塗布
442	住5 3層下部P-105	研磨　沈→RL	暗橙褐色	研磨	暗橙褐色	口 28	雲	804	
443	住5 3層下部P-80	巻貝条痕→ナデ　沈→二枚貝疑似	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 28		741	赤色塗布　隆帯文
444	住5 3層下部P-113	ナデ　沈→巻貝疑似	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 30	角	755	
445	住5 3層下部P-131	ナデ　巻貝疑似→沈	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色	胴 30	角・雲	223	
446	住5 3層下部P-28	ナデ　沈→巻貝疑似	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			233A	
447	住5 3層下部P-82	ナデ　巻貝疑似→沈	灰褐色	巻貝条痕	褐色	口 20		249A	赤色塗布
448	住5 3層下部P-117	ナデ　巻貝疑似→沈	橙褐色	ナデ	橙褐色	口 14	雲	240	隆帯文
449	住5 3層下部P-90	ナデ　沈→二枚貝疑似	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	246A	赤色塗布
450	住5 3層下部P-173	巻貝条痕→ナデ	淡灰褐色	巻貝条痕→ナデ	淡灰褐色	口 23		775	
451	住5 3層下部P-25	ナデ　巻貝疑似 L→沈	褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	胴 30		270A	
452	住5 3層下部P-18	ナデ　沈→RL→沈	橙褐色	研磨	橙褐色	口 31	角	290A	
453	住5 3層下部P-55	ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	赤褐色			306	
454	住5 3層下部P-92	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色		角	358	
455	住5 3層下部P-81	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色		雲	787	
456	住5 3層下部P-30	ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色			781	
457	住5 3層下部P-184	ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 30		795	
458	住5 3層下部P-142	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	橙色			352	
459	住5 3層下部P-178	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色		角	336	
460	住5 3層下部P-117	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	口 27		805	
461	住5 3層下部P-143	巻貝条痕	赤褐色	巻貝条痕	赤褐色	口 30	雲	807	
462	住5 3層下部P-138	巻貝条痕	淡橙褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	口 43	雲	803	
463	住5 3層下部P-135	巻貝条痕	暗赤褐色	巻貝条痕	黒褐色	口 27	角・雲	808	
464	住5 3層下部P-99	巻貝条痕	橙褐色	巻貝条痕	橙褐色	口 31	角	731	
465	住5 3層下部P-31	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	口 41		813	
466	住5 3層下部P-77	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 38	角・雲	281A	
467	住5 3層下部P-111・133	巻貝条痕→ナデ→研磨	淡赤褐色	巻貝条痕→ナデ	暗赤褐色	口 32		869	
468	住5 3層下部P-112	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色	口 34	角	814	
469	住5 3層下部P-130	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 37	雲	793	
470	住5 3層下部P-49	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 42	角・雲	791	
471	住5 3層下部P-78	巻貝条痕	橙色	巻貝条痕	橙色	口 40	角	751	
472	住5 3層下部P-93	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	淡茶褐色	口 35	角	864	
473	住5 3層下部P-122	巻貝条痕→ナデ	淡赤黄橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	口 35		776	
474	住5 3層下部P-81	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	暗橙褐色	口 39	雲	772	
475	住5 3層下部P-78	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 24		732	
476	住5 3層下部P-95	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	口 24	雲	872	器高 25

第 12 表　縄紋土器観察表. 8

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
477	住5 3層下部P-89	研磨	茶褐色	研磨	茶褐色	口28	雲	832	
478	住5 3層下部P-19	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	茶褐色	口33	角	241A	
479	住5 3層下部P-71	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	暗褐色	口37	角	771	
480	住5 3層下部P-159	巻貝条痕	淡橙褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	口26		798	
481	住5 3層下部P-23	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	口33		737	
482	住5 3層下部P-123	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口36		292A	
483	住5 3層下部P-96	巻貝条痕	褐色	ナデ	橙褐色	口35	角・雲	739	796と同一
484	住5 3層下部P-72	巻貝条痕	暗赤褐色	巻貝条痕	暗赤褐色	口30	角・雲	211	
485	住5 3層下部P-99	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	口36	角	269A	
486	住5 3層下部P-92	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口36	雲	284A	
487	住5 3層下部P-123	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口26	角	271	
488	住5 3層下部P-175	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口10		296A	
489	住5 3層下部P-127	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色	口16	角	794	
490	住5 3層下部P-165	研磨	灰褐色	ナデ	暗褐色	底5	角	370	
491	住5 3層下部P-62	研磨	褐色	ナデ	白黄色	底8	角	721	
492	住5 3層下部P-127	巻貝条痕	淡橙色	巻貝条痕	淡橙色	底10		727	
493	住5 3層下部P-132	ナデ	暗褐色	ナデ	褐色	底11	雲	829	
494	住5 3層下部P-129	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底9		767	
495	住5 3層下部P-124	ナデ	橙褐色	巻貝条痕	灰褐色	底6		377	
496	住5 3層下部P-74	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色	底10		842	
497	住5 3層下部P-21	ナデ	褐色	ナデ	黄褐色	底12	角	378	
498	住5 4層P-15	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	巻貝条痕	橙褐色	口30	角	225	
499	住5 4層P-2	ナデ	褐色	巻貝条痕	褐色	口31	角	269A	
500	住5 4層P-11	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	口38	角・雲	816	
501	住5 4層	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色		角	322	
502	住5 4層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			303	
503	住5 4層P-4	ナデ	黒褐色	ナデ	黄褐色	口24	角	275A	
504	住5 4層P-10	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口28	角	240A	
505	住5 4層P-3	巻貝条痕	暗黄褐色	巻貝条痕	暗黄褐色	口30		770	
506	住5 4層P-11	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	胴29	角	277A	
507	住5 4層	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙色		角	296	
508	住5 4層	ナデ	褐色	ナデ	褐色			280A	
509	住5 4層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	294	
510	住5 4層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			229	
511	住5 4層	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	251	
512	住5 4層P-8	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角	312	
513	住5 4層P-4	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	口39	雲	799	
514	住5 4層P-3·4·7·116	ナデ　一部研磨	淡灰褐色	巻貝条痕	淡灰褐色	口33	角・雲	868	
515	住5 4層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	346	
516	住5 4層	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角	256A	
517	住5 4層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	763	
518	住5 4層P-157	ナデ	淡赤橙色	ナデ	淡赤橙色	口17		739	
519	住5 4層	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色			351	
520	住5 4層	ナデ	褐色	ナデ	褐色			257A	
521	住5 4層	ナデ	茶褐色	研磨	茶褐色	口17		836	器高10
522	住5 4層	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			289	
523	住5 4層	ナデ	褐色	ナデ	褐色			291A	
524	住5 4層P-14	ナデ	褐色	ナデ	淡灰褐色	口32	角	282A	
525	住5 4層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口9		262A	器高5
526	住5 4層	ナデ　巻貝疑似→沈	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口30	角	278	527と同一個体
527	住5 4層	ナデ　巻貝疑似→沈	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	胴32	角	277	526と同一個体
528	住5 4層P-5	ナデ　沈→LR	黒褐色	ナデ	黒褐色	口23	角	735	
529	住5 4層	ナデ　沈→巻貝疑似	黒褐色	ナデ	橙褐色		角	299A	
530	住5 4層P-4	ナデ　沈→巻貝疑似	暗褐色	巻貝条痕	暗褐色			317	赤色塗布
531	住5 4層P-3	研磨　沈→刺突文?	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角・雲	—	疑似縄紋の原体不明　注口土器
532	住5 4層	ナデ	暗黄褐色	巻貝条痕	暗黄褐色	口21		750	
533	住5 4層P-155	巻貝条痕	橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口24	角	253	
534	住5 4層P-129	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口30	雲	800	
535	住5 4層	巻貝条痕→ナデ	暗黄橙色	ナデ	暗黄橙色	胴31	雲	828	
536	住5 4層P-154	ナデ	橙褐色	巻貝条痕	暗橙褐色	底10	角	372	種子圧痕
537	住5 4層P-178	ナデ	黄褐色	ナデ	橙色	底10		376	網代圧痕
538	住5 4層P-6	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	底10		724	
539	住5 床面	巻貝条痕→ナデ　沈→RL	橙色	ナデ	褐色			259A	
540	住5 床面	ナデ　沈→RL	茶褐色	ナデ	茶褐色			265A	
541	住5 床面	ナデ　沈→RL	赤褐色	巻貝条痕	暗褐色		角	212	
542	住5 床面	巻貝条痕	明黄白色	巻貝条痕	明黄白色			742	
543	住5 床面	巻貝条痕	淡橙褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	口34	雲	818	
544	住5 床面	巻貝条痕	暗赤褐色	巻貝条痕	暗赤褐色		雲	232	

第 13 表 縄紋土器観察表. 9

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
545	住 5 床面	巻貝条痕→ナデ	淡橙色	巻貝条痕→ナデ	淡橙色	口 26	角・雲	841	
546	住 5 床面	巻貝条痕→ナデ　沈→RL	赤褐色	ナデ	赤褐色	口 24	雲	740	
547	住 5 床面	ナデ	淡灰褐色	巻貝条痕	淡灰褐色	口 22	角	860	
548	住 5 床面	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	340	赤色塗布
549	住 5 床面	ナデ　沈→巻貝疑似	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	243	
550	住 5 床面	ナデ　沈→二枚貝疑似	暗橙色	ナデ	暗橙色			349	
551	住 5 床面	ナデ	黒褐色	ナデ	褐色	口 34	雲	782	
552	住 5 床面	ナデ	褐色	巻貝条痕	褐色	口 22	角	253A	
553	住 5 床面	研磨	赤褐色	研磨	暗褐色	口 18	雲	847	加熱変色
554	住 5 内溝	巻貝条痕	暗橙褐色	巻貝条痕	暗橙褐色	口 34	角	260A	
555	住 5 内溝	ナデ	褐色	ナデ	淡橙色	口 26	雲	292A	
556	住 5 内溝	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 36	角・雲	851	
557	住 5 内溝	ナデ　巻貝疑似→沈	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	303	
558	住 5 内溝	ナデ　沈→二枚貝疑似	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色		雲	334	
559	住 5 内溝	ナデ	褐色	ナデ	褐色			386A	
560	住 5 内溝	条痕	褐色	ナデ	褐色			227A	隆帯文
561	住 5 内溝	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡赤褐色	口 28	角	280	
562	住 5 周溝	ナデ	黒褐色	ナデ	黒褐色		角	279	
563	住 5 主柱穴	ナデ	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色		角・雲	298A	
564	住 5 主柱穴	巻貝条痕	淡黄白色	巻貝条痕	淡黄白色			291A	
565	住 5 主柱穴	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 33	雲	810	
566	住 5 主柱穴	巻貝条痕	茶褐色	巻貝条痕→ナデ	茶褐色	口 22		849	突起 4
567	住 5 主柱穴	研磨　巻貝疑似	暗橙褐色	ナデ	暗褐色	口 32	角	215	焼成前穿孔
568	住 5 主柱穴	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡黄褐色	底 8	雲	633	加熱変色
569	住 6 下部	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	440	
570	住 6 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		雲	426	
571	住 6 下部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	423	
572	住 6 P-80	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色		角	419	
573	住 6 上部	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色		角	429	
574	住 6 P-7	ナデ　沈→巻貝疑似	淡褐色	ナデ	淡褐色		角・雲	387	
575	住 6 下部	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	410	
576	住 6 上部	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	褐色		角	638	赤色塗布
577	住 6 床面	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			435	
578	住 6 下部	ナデ　沈→RL	褐色	ナデ	褐色			881	
579	住 6 下部	ナデ　沈→RL	淡黄白色	ナデ	淡黄白色			409	
580	住 6 上部	ナデ　沈→RL	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	438	
581	住 6 P-3	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 18		876	
582	住 6 P-63・78	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 31		877	
583	住 6 上部	沈→RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	406	
584	住 6 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色			888	
585	住 6 下部	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙色	口 22		883	890 と同一
586	住 6 P-12	摩滅不明	褐色	摩滅不明	橙褐色			893	
587	住 6 P-28	ナデ	褐色	巻貝条痕	褐色	口 30	角・雲	393	
588	住 6 P-39	ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 30	角	382	385 と同一
589	住 6 P-2	巻貝条痕→ナデ	茶褐色	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	口 27	角	441	
590	住 6 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 32		413	
591	住 6 P-54	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色	口 31	角	391	
592	住 6 P-34	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 36	角・雲	874	
593	住 6 P-58	ナデ	淡橙白色	ナデ	淡橙白色	口 36		383	
594	住 6 P-29	巻貝条痕→ナデ	暗茶褐色	巻貝条痕→ナデ	暗茶褐色	口 33	角・雲	384	
595	住 6 P-44	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 32	雲	388	
596	住 6 P-43	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色			390	
597	住 6 P-14	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	415	
598	住 6 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色			405	
599	住 6 床面	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色			433	
600	住 6 下部	ナデ	褐色	ナデ	褐色			404	
601	住 6 P-22	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	387	
602	住 6 上部	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 14	雲	399	
603	住 6 P-54	ナデ	赤褐色	ナデ	褐色			422	
604	住 6 上部	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色		角	407	
605	住 6 下部	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色			891	
606	住 6 P-4	ナデ	黒褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	894	
607	住 6 床面	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色		角	398	
608	住 6 P-19	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色		雲	885	
609	住 6 P-45	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			421	
610	住 6 床面	巻貝条痕	橙褐色	巻貝条痕→	橙褐色			396	
611	住 6 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	429	
612	住 6 上部	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 16		437	

第 14 表　縄紋土器観察表. 10

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
613	住 6 下部	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	432	
614	住 6 上部	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		雲	417	
615	住 6 下部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			412	
616	住 6 P-55	ナデ	赤褐色	ナデ	褐色			418	
617	住 6 上部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			614	
618	住 6 P-10·15·42	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	口 29	角	887	889 と同一
619	住 6 P-47	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	879	
620	住 6 P-11	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 34	雲	880	
621	住 6 石組炉	巻貝条痕	暗橙色	ナデ	赤橙色	口 28	雲	878	加熱変色
622	住 6 P-32	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色	口 32		386	
623	住 6 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 26	角	884	
624	住 6 P-47	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 28		875	
625	住 6 上部	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙色	胴 7	雲	434	脚台
626	住 6 P-77	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	底 11		392	
627	住 6 P-42	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 10		886	
628	住 6 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗橙褐色	底 11	雲	395	
629	住 6 下部	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	底 12		394	
630	住 6 P-40	ナデ	橙色	ナデ	淡黄白色	底 10		882	
631	住 6 下部	ナデ　二枚貝疑似	淡褐色	ナデ	淡褐色			424	隆帯文
632	住 6 床面	ナデ　二枚貝疑似→沈	褐色	ナデ	褐色		雲	397	
633	住 6 床面	ナデ　巻貝疑似→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			431	
634	住 6 下部	ナデ　巻貝疑似	暗褐色	ナデ	暗褐色		雲	402	
635	住 6 上部	ナデ　巻貝疑似→沈	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	胴 32	雲	414	
636	住 7 下部	ナデ　沈→RL	橙褐色	ナデ	黒褐色		角	480	
637	住 7 上部	ナデ　沈→RL	橙褐色	ナデ	橙褐色			455	
638	住 7 上部	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色			519	
639	住 7 上部	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色		角	507	
640	住 7 床面	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	496	
641	住 7 床面 P-56	ナデ	黄橙色	ナデ	黄橙色		角	516	
642	住 7 床面 P-27	巻貝条痕→ナデ	黄褐色	巻貝条痕→ナデ	黄褐色		角	517	
643	住 7 床面	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			474	
644	住 7 上部	ナデ	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色			451	
645	住 7 下部	ナデ　RL	淡茶褐色	デ	淡茶褐色		角	475	
646	住 7 上部	ナデ　RL	黒褐色	ナデ	黒褐色		角	526	
647	住 7 床面	ナデ　沈→巻貝疑似	暗褐色	ナデ	暗褐色			495	
648	住 7 床面	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色 巻貝疑似	口 28	角	500	内面施文
649	住 7 上部	研磨　RL→沈	淡橙白色	ナデ	淡橙白色			509	
650	住 7 床面 P-14•15	ナデ　RL→沈	茶褐色	ナデ	茶褐色	胴 25	角	453	
651	住 7 床面	ナデ　二枚貝疑似→沈	淡褐色	ナデ	淡褐色		雲	462	小池原上層式？
652	住 7 床面 P-74	ナデ　沈→RL	暗褐色	ナデ	暗褐色	胴 21	角	539	
653	住 7 床面 P-68	ナデ　沈→巻貝疑似	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	胴 22	角	442	
654	住 7 床面 P-59	研磨　沈→巻貝疑似	橙褐色	研磨	橙褐色		角	454	
655	住 7 床面	ナデ　RL→沈	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	499	
656	住 7 床面 P-6	ナデ　沈→巻貝疑似	茶褐色	ナデ	茶褐色	口 24	角・雲	444	
657	住 7 床面 P-2	研磨　巻貝疑似→沈	暗赤褐色	巻貝条痕→ナデ	淡赤褐色	口 17		446	
658	住 7 床面	ナデ　巻貝疑似→沈	暗褐色	研磨	黒褐色	胴 24	角	904	
659	住 7 床面 P-44	ナデ　巻貝疑似→沈	淡褐色	ナデ	淡褐色	胴 29	角	445	
660	住 7 上部	ナデ　巻貝疑似→沈	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	532	
661	住 7 下部	ナデ　RL→沈	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角	457	
662	住 7 床面	ナデ　RL→沈	暗橙褐色	ナデ	暗淡橙褐色		角	473	
663	住 7 上部	ナデ　巻貝疑似→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	518	
664	住 7 上部	巻貝条痕→ナデ RL·巻貝疑似→沈	赤褐色	巻貝条痕→ナデ	赤褐色		角	537	
665	住 7 上部	ナデ　巻貝疑似	褐色	ナデ	褐色			468	
666	住 7 床面 P-8	ナデ　巻貝疑似→沈	褐色	ナデ	褐色	口 18		463	
667	住 7 下部	ナデ　巻貝疑似→沈	暗褐色	ナデ	淡褐色		雲	478	
668	住 7 床面	ナデ　巻貝疑似→沈	黒褐色	ナデ	灰褐色		角	497	
669	住 7 上部	ナデ　RL→沈	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			525	
670	住 7 床面 P-67	巻貝条痕→ナデ　巻貝疑似→沈	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色		角	514	
671	住 7 上部	研磨	淡褐色	研磨	淡褐色		角	490	
672	住 7 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	524	
673	住 7 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡褐色			471	
674	住 7 床面 P-61	ナデ	淡橙色	ナデ	暗褐色	口 16	角・雲	916	
675	住 7 上部	ナデ	淡橙褐色	デ	淡橙褐色		角	536	
676	住 7 上部	ナデ	黒褐色	ナデ	暗褐色		角	538	
677	住 7 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色			524	
678	住 7 上部	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色		角・雲	485	
679	住 7 上部	ナデ	淡橙色	ナデ	黒褐色		雲	502	
680	住 7 上部	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色		角	469	

第 15 表　縄紋土器観察表. 11

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
681	住 7 上部	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	胴 40	角	917	
682	住 7 上部	ナデ	淡黄色	ナデ	淡橙色			634	赤色塗布
683	住 7 上部	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			—	把手
684	住 7 床面	巻貝条痕→ナデ	淡黄橙色	巻貝条痕→ナデ	淡黄橙色	底 11		459	
685	住 7 上部	ナデ　RL	褐色	ナデ	褐色		角	466	
686	住 7 下部	ナデ　巻貝疑似	橙褐色	ナデ	橙褐色			530	
687	住 7 下部	ナデ　巻貝疑似	橙白色	ナデ	橙白色			530	
688	住 7 床面P-5	巻貝条痕→研磨　巻貝疑似	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 10	角	456	器高 14
689	住 7 上部	ナデ　巻貝疑似	褐色	ナデ	褐色		角	521	
690	住 7 下部	ナデ　巻貝疑似	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	484	
691	住 7 上部	ナデ　巻貝疑似	橙褐色	ナデ	橙褐色		角	481	
692	住 7 下部	ナデ　巻貝疑似	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色		角	478	
693	住 7 床面P-13	ナデ　巻貝疑似	褐色	ナデ	褐色	口 32	角	457	
694	住 7 床面P-7	巻貝条痕　巻貝疑似	褐色	ナデ	橙褐色	口 32	角	448	
695	住 7 床面P-49	ナデ→巻貝条痕文様	暗褐色	研磨	暗灰褐色	口 23	角	896	
696	住 7 床面P-50	ナデ→巻貝条痕文様	暗茶褐色	巻貝条痕	暗茶褐色	口 36	角・雲	901	
697	住 7 床面P-40	ナデ→巻貝条痕文様	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 41	角・雲	902	
698	住 7 上部	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色		雲	505	
699	住 7 床面	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	513	
700	住 7 上部	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色		角・雲	487	
701	住 7 床面P-67	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 24	角	515	
702	住 7 床面P-77	研磨	黒褐色	ナデ	淡橙褐色	口 26		907	
703	住 7 P-71	巻貝条痕→ナデ	黒褐色	研磨	淡黄褐色	口 34	角・雲	900	
704	住 7 P-17・41	巻貝条痕	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 42	角	926	
705	住 7 上部	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕	褐色		角	911	
706	住 7 P-55	巻貝条痕→ナデ	淡白褐色	巻貝条痕→ナデ	淡白褐色		角・雲	511	
707	住 7 P-31・81	巻貝条痕→ナデ	淡赤褐色	巻貝条痕→ナデ	淡赤褐色	口 47	角・雲	895	
708	住 7 P-42	巻貝条痕	茶褐色	巻貝条痕→ナデ	茶褐色	口 39		899	6 段波状口縁
709	住 7 上部	巻貝条痕	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 36	角	929	
710	住 7 P-28	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色		雲	923	
711	住 7 床面	巻貝条痕	橙褐色	ナデ	褐色	胴 24	角	914	
712	住 7 P-21	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色			921	
713	住 7 P-47	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	口 26	角	920	
714	住 7 P-8	ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 28	角	512	
715	住 7 P-62	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 38	角	905	
716	住 7 P-61・82	巻貝条痕→ナデ	暗赤褐色	巻貝条痕	暗赤褐色	口 30	角・雲	898	
717	住 7 P-85	巻貝条痕	橙色	巻貝条痕	橙色	胴 40		918	
718	住 7 P-85	巻貝条痕	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色			915	
719	住 7 下部	巻貝条痕→ナデ	暗橙色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	胴 26	角	903	
720	住 7 P-35	巻貝条痕→ナデ	淡赤褐色	ナデ→巻貝条痕	淡赤褐色	胴 27	角・雲	897	
721	住 7 下部	巻貝条痕→ナデ	茶褐色	研磨	茶褐色	口 20		910	
722	住 7 上部	巻貝条痕	茶褐色	ナデ	茶褐色	口 21	雲	925	
723	住 7 上部	ナデ	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色			486	
724	住 7 上部	研磨	褐色	研磨	褐色		雲	450	
725	住 7 上部	巻貝条痕→ナデ	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色	口 36	角	494	
726	住 7 上部	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	口 14	雲	469	
727	住 7 P-42	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 12		908	
728	住 7 床面	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	胴 17	角	913	
729	住 7 上部	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡灰褐色	胴 18		906	
730	住 7 P-84	巻貝条痕→研磨	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 26	角	928	丸底
731	住 7 P-22・85	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	底 14		912	
732	住 7 P-1	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	底 7		449	葉圧痕
733	住 7 P-20	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	底 10	雲	458	種子圧痕
734	住 7 下部	巻貝条痕	茶褐色	巻貝条痕	茶褐色	底 8	角	461	
735	住 7 P-19	巻貝条痕	暗褐色	ナデ	暗褐色	底 8	角	540	
736	住 7 下部	ナデ	褐色	ナデ	褐色	底 5		665	
737	住 7 上部	ナデ	赤褐色	ナデ	暗褐色	底 5		503	
738	住 7 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	淡橙褐色	底 7		510	
739	住 7 下部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	底 8	角	460	
740	住 7 P-30	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	底 13	角	924	
741	住 7 P-34	巻貝条痕	茶褐色	巻貝条痕→ナデ	茶褐色	底 10		374	
742	住 7 上部	ナデ　RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		雲	504	
743	住 7 上部	ナデ　RL→沈	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	534	
744	住 7 上部	研磨　RL→沈	淡黄褐色	研磨	淡黄褐色			482	
745	住 7 上部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡橙褐色			506	
746	住 7 上部	ナデ　RL→沈	橙褐色	研磨	橙褐色		角	528	
747	住 7 上部	ナデ	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色			495	
748	住 7 上部	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色		角	535	

第 16 表　縄紋土器観察表. 12

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
749	住7 上部	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	褐色			492	
750	住7 下部	ナデ	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色		角	533	
751	住7 上部	ナデ	黒褐色	ナデ	黒褐色			522	
752	住7 上部	研磨	黒褐色	研磨	黒褐色		角・雲	909	
753	住7 P-4	研磨	暗褐色	研磨	淡灰褐色	胴28	角	927	
754	住7 上部	摩滅不明	暗黄白色	摩滅不明	淡黄白色			508	
755	住7 上部	摩滅不明	暗黄褐色	摩滅不明	暗黄褐色			489	
756	住7 上部	研磨	暗褐色	ナデ	暗褐色	口42	角	919	
757	住10 P-85	ナデ　RL→沈	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色		角	994	
758	住10 P-114	ナデ　RL→沈	淡白黄色	ナデ	淡橙色		角	1042	
759	住10 P-196	ナデ　RL→沈	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角	1056	
760	住10 周溝	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	褐色		角	1171	
761	住10 P-282	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			1100	
762	住10 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1163	
763	住10 P-235	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1093	
764	住10 P-232	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色		角・雲	1097	
765	住10 上部	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1159	隆帯文
766	住10 P-13	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	906	
767	住10 P-71	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			997	
768	住10 P-152	巻貝条痕→ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1064	
769	住10 P-71・140	ナデ　RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			1065	
770	住10 P-111	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	褐色		角	1038	
771	住10 P-181	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1039	
772	住10 P-76	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	1019	
773	住10 P-127	ナデ	褐色	ナデ	褐色	口27	角	1052	
774	住10 P-26	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色	口28	雲	972	
775	住10 P-110	ナデ	淡茶褐色	ナデ	淡茶褐色	口28	角	1058	
776	住10 P-41	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色	口36		120	
777	住10 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1166	
778	住10 上部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	口17	角	1160	
779	住10 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1141	
780	住10 上部	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色			1137	
781	住10 P-292	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			1096	
782	住10 P-261	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1103	
783	住10 下部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1144	
784	住10 P-7	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			960	
785	住10 P-60	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			1000	
786	住10 P-42	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色	口38	角	119	
787	住10 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			157	
788	住10 P-253	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1101	
789	住10 上部	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	1139	
790	住10 P-84	ナデ	淡茶褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡茶褐色			984	
791	住10 P-262	ナデ	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	1098	
792	住10 P-32	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			974	
793	住10 P-4	ナデ	暗褐色	条痕→ナデ	暗褐色	口27	角	958	
794	住10 P-112	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口30	角	1035	
795	住10 P-39	ナデ	淡灰褐色	研磨	淡灰褐色	口28		986	
796	住10 P-56	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1099	
797	住10 P-12	ナデ	橙色	→ナデ	暗褐色		角	905	
798	住10 P-76	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			992	
799	住10 P-53	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	991	
800	住10 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1142	
801	住10 P-84	ナデ	褐色	条痕→ナデ	褐色		角	997	
802	住10 P-116	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色			1059	
803	住10 P-37	ナデ	褐色	条痕→ナデ	淡褐色		角	980	
804	住10 P-29	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			1023	
805	住10 P-15	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角	1017	
806	住10 P-8	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色			962	
807	住10 P-88	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色			967	
808	住10 下部	巻貝条痕	暗淡赤黄	巻貝条痕	橙褐色		角	1170	
809	住10 P-34	二枚貝条痕→ナデ	暗褐色	二枚貝条痕→ナデ	暗褐色		角	981	
810	住10 下部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1169	
811	住10 P-25	巻貝条痕→ナデ沈	橙褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色			1021	
812	住10 P-113	ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色		角	1048	
813	住10 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1165	
814	住10 P-85	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色		角	1014	
815	住10 P-38	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		雲	978	
816	住10 P-99	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1005	

第 17 表　縄紋土器観察表. 13

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
817	住 10 P-233	ナデ	淡褐色	ナデ	淡橙褐色		角	1087	
818	住 10 P-115	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 30	角	1049	
819	住 10 P-8	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	961	
820	住 10 上部	ナデ	淡灰褐色	ナデ	淡灰褐色			1158	
821	住 10 P-130	巻貝条痕→ナデ→研磨	暗赤褐色	巻貝条痕→ナデ	暗赤褐色	口 26		931	
822	住 10 P-138・161・163	巻貝条痕	暗橙褐色	巻貝条痕	暗橙褐色	口 36	角・雲	556	
823	住 10 P-183	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色		角	1070	
824	住 10 上部	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色		角	1191	
825	住 10 P-83	ナデ　沈→RL	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	998	
826	住 10 P-84	ナデ　沈→巻貝疑似	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	995	
827	住 10 P-169	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	褐色			1095	赤色塗布
828	住 10 P-143	ナデ　沈→RL	褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1033	隆帯文
829	住 10 下部	ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色		角	1155	
830	住 10 P-24	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			996	
831	住 10 P-14	二枚貝条痕	淡橙褐色	二枚貝条痕	淡橙褐色			118	
832	住 10 P-227	ナデ	淡橙褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色		角	1085	
833	住 10 P-64	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	口 25	雲	116	口縁端部巻貝疑似
834	住 10 P-164	巻貝条痕→ナデ　沈→巻貝疑似	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	口 32		115	加熱変色
835	住 10 P-123・133・136	巻貝条痕　沈→巻貝疑似	赤褐色	巻貝条痕	暗赤褐色	口 24		113	加熱変色
836	住 10 P-78	ナデ　LR→ナデ	暗橙色	巻貝条痕→ナデ	暗橙色			1018	
837	住 10 P-79	ナデ　LR→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色		角・雲	1022	
838	住 10 P-194	ナデ　隆帯文→RL	淡茶褐色	ナデ	淡茶褐色		雲	1060	隆帯文
839	住 10 P-63	ナデ　巻貝疑似→沈	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	胴 18	角	1025	
840	住 10 P-227・258	研磨　沈→RL	茶褐色	研磨	茶褐色	口 12	雲	1089・1104	注口？
841	住 10 P-39	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 11		121	高坏？
842	住 10 下部	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙色	胴 3		1146	高坏脚部
843	住 10 P-79	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 12	角	1002	
844	住 10 P-152	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底 10	角	1067	
845	住 10 P-159	ナデ	淡黄色	ナデ	淡黄色	口 5	角	1006	手捏ね
846	住 10 P-1	ナデ	橙褐色	ナデ				—	粘土紐
847	住 10 P-222	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	底 8	角	1111	
848	住 10 P-132	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 14	角・雲	939	器高 10
849	住 10 P-227	巻貝条痕	淡黄橙色	巻貝条痕	淡黄橙色	口 16		1107	器高 9
850	住 10 P-208	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色	口 16	角	1117	器高 8　突起 1 対
851	住 10 周溝	ナデ	淡褐色	ナデ	淡黄褐色		角	174	西和田式
852	住 10 P-116	ナデ	茶褐色	巻貝条痕→ナデ	茶褐色			1045	
853	住 10 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		雲	1107	
854	住 10 P-83	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			993	
855	住 10 P-183	巻貝条痕	茶褐色	巻貝条痕	茶褐色		角	1062	
856	住 10 P-74	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	987	
857	住 10 P-128	ナデ	黄褐色	ナデ	暗褐色	口 18	角・雲	1061	
858	住 10 P-6	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色			959	
859	住 10 P-165	ナデ	淡赤橙色	ナデ	淡赤橙色	胴63	角・雲	16	加熱変色
860	住 10 P-219	研磨	橙褐色	ナデ	橙褐色	口 21	雲	945	加熱変色
861	住 10 P-249	二枚貝条痕→ナデ	褐色	二枚貝条痕→ナデ	暗褐色	口 20	角	1092	
862	住 10 P-69	ナデ	褐色	ナデ	褐色	胴 17		1032	
863	住 10 P-139	研磨	暗黄褐色	研磨	淡黄褐色		雲	1046	
864	住 10 P-176・237	研磨	明褐色	研磨	明褐色	口 16	角	122	器高 13　底 8
865	住 10 P-182	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 24		1050	
866	住 10 P-35	巻貝条痕→ナデ	黄褐色	巻貝条痕→ナデ	黄褐色		角	982	
867	住 10 P-55	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 24	角	968	
868	住 10 P-54	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 32	角	985	
869	住 10 P-297	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色	口 30	角	1086	
870	住 10 P-68	ナデ	茶褐色	ナデ	灰褐色	口 38		564	
871	住 10 P-225・226	巻貝条痕	赤褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	胴 32	角・雲	954	加熱変色
872	住 10 P-205・217	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色		角・雲	933	
873	住 10 P-185	巻貝条痕	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1055	
874	住 10 P-181	ナデ	茶褐色	巻貝条痕	橙褐色	口 30		942	
875	住 10 P-182	巻貝条痕	淡橙褐色	巻貝条痕	淡橙褐色	口 32		933	炭化物付着
876	住 10 P-179	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	口 30	雲	1054	
877	住 10 P-147	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 30		1053	
878	住 10 P-158	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 38	角・雲	936	
879	住 10 P-76	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	淡茶褐色	口 44	角	1011	
880	住 10 P-132・271	ナデ	赤褐色	巻貝条痕	暗赤褐色	口 24		932	器高 23
881	住 10 P-203・213～215	巻貝条痕→ナデ	赤褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	底 15	角・雲	938	
882	住 10 P-82	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 25	角	1001	2 段突起
883	住 10 P-136	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗褐色	口 23	角・雲	941	加熱変色
884	住 10 P-224	ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	口 44	角・雲	946	6 段波状口縁

第 18 表　縄紋土器観察表. 14

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
885	住 10 P-220	ナデ	橙褐色	ナデ	黄褐色	底 9		1114	
886	住 10 P-154	ナデ	橙色	ナデ	褐色	底 10	角	1083	
887	住 10 P-216	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	底 8		1113	
888	住 10 P-18	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底 10	角	1027	
889	住 10 P-80	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 16	角	1030	
890	住 10 P-156	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	底 10		1081	
891	住 10 P-65	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	底 10	雲	948	
892	住 10 P-79	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底 10	雲	1031	
893	住 10 P-181	ナデ	淡赤褐色	ナデ	暗赤褐色	底 10	雲	950	
894	住 10 P-211・247	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	底 9		951	
895	住 10 P-211	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色	底 9		1116	
896	住 10 P-231・272	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	底 9	角・雲	935	
897	住 10 P-207・216	巻貝条痕→ナデ	黄褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	底 10		1115	
898	住 10 P-233	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	底 11	角	1108	網代圧痕
899	住 10 P-225	巻貝条痕	橙褐色	巻貝条痕	橙褐色	底 11	角	1101	
900	住 10 P-212・217・246	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	淡赤褐色	底 10	雲	937	
901	住 10 P-100	ナデ	褐色	ナデ	褐色	底 6	角	949	
902	住 12 P-3	ナデ　RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			957	
903	住 12 P-2	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 18	角	956	
904	住 12 P-44	ナデ	灰白色	ナデ	灰白色			983	
905	住 12 P-307	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色		角・雲	944	
906	住 12 P-11	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	964	
907	住 12 P-103・104	ナデ　RL→沈	赤褐色	ナデ	褐色			952	加熱変色
908	住 12 P-44	ナデ　巻貝疑似→沈	褐色	ナデ	褐色	口 30	角・雲	114	
909	住 12 P-90	ナデ	赤褐色	巻貝条痕→ナデ	暗淡褐色	口 19	角・雲	1009	加熱変色
910	住 12 P-93	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡赤褐色	口 8	角	1007	
911	住 12 床面	巻貝条痕→ナデ	暗赤褐色	巻貝条痕→ナデ	暗赤黄橙茶褐色	口 18		557	器高 16 炭化物付着
912	住 12 P-89	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色		角	1010	
913	住 12 P-108・135	巻貝条痕	暗淡褐色	巻貝条痕→ナデ	暗淡褐色	口 24	雲	1771	
914	住 12 下部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底 12	角	1120	
915	住 12 P-307	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	底 12		1112	
916	住 12 P-9	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	底 9		1028	加熱変色
917	住 12 P-90	巻貝条痕→ナデ	黒褐色	巻貝条痕→ナデ	黒褐色	口 18	角	1008	
918	住 12 P-122・183・224	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 31	角・雲	930	
919	住 10・12 下部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1194	
920	住 10・12 下部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1132	
921	住 10・12 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1126	
922	住 10・12 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1181	
923	住 10・12 P-340	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1094	
924	住 10・12 下部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1133	
925	住 10・12 床面	ナデ	橙色	ナデ	橙色			1185	
926	住 10・12 下部	ナデ　RL	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	1129	
927	住 10・12 下部	ナデ　沈→巻貝疑似	淡黄褐色	巻貝条痕	淡灰褐色		角	1122	赤色塗布
928	住 10・12 上部	ナデ　沈→巻貝疑似	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角	1129	
929	住 10・12 上部	ナデ　沈→巻貝疑似	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1128	
930	住 10・12 下部	ナデ　RL	暗褐色	ナデ	淡黄褐色			1124	
931	住 10・12 下部	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 34	角	947	
932	住 10・12 下部	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	口 32	角	1125	
933	住 10・12 床面	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			1188	
934	住 10・12 P-171	巻貝条痕	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 22		1057	器高 19
935	住 10・12 下部	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙褐色	底 4		1196	
936	住 10・12 床面	ナデ	褐色	ナデ	褐色	底 9	角	1121	
937	住 10・12 下部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	底 9	角	1130	
938	土坑 1 下部	ナデ　沈→RL	暗茶色	ナデ	暗茶色		角	1487	
939	土坑 1 上部	ナデ　沈→RL	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	1535	赤色塗布
940	土坑 1 下部	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1519	
941	土坑 1 上部	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 24	角	1474	
942	土坑 1 下部	巻貝条痕→ナデ	暗橙色	巻貝条痕→ナデ	暗橙色	口 25	角	1527	
943	土坑 1 上部	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	暗淡褐色	口 30	角	1514	
944	土坑 1 上部	ナデ	橙色	ナデ	褐色			1505	
945	土坑 1 下部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角・雲	1485	
946	土坑 1 上部	ナデ	暗橙色	ナデ	暗橙色		角	1528	
947	土坑 1 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 16	角	1471	
948	土坑 1 上部	ナデ	暗橙色	巻貝条痕	黒褐色	口 33		1517	
949	土坑 1 下部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 27	角	1518	
950	土坑 1 下部	ナデ	明黄白色	巻貝条痕	明黄白色		角	1488	
951	土坑 1 上部	ナデ	黄褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	口 23	雲	1502	
952	土坑 1 上部	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色		角	1499	

第 19 表　縄紋土器観察表. 15

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
953	土坑 1 上部	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色		角	1506	
954	土坑 1 下部	ナデ	橙色	ナデ	橙色			1475	
955	土坑 1 下部	ナデ	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色		角	559	
956	土坑 1 上部	ナデ	褐色	→ナデ	褐色		角	1526	
957	土坑 1 下部	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色		角	1525	
958	土坑 1 下部	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕	暗橙褐色	口 22	角	1492	
959	土坑 1 下部	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色			1482	
960	土坑 1 上部	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 30	角	1513	
961	土坑 1 上部	巻貝条痕	暗黄褐色	巻貝条痕	暗黄褐色	口 32	角	1465	
962	土坑 1 下部	巻貝条痕	褐色	ナデ	暗橙褐色	口 34	角	1509	
963	土坑 1 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1443	
964	土坑 1 下部	巻貝条痕→ナデ	暗黄橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 25	角・雲	1480	
965	土坑 1 下部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡橙褐色	口 22	角	1481	
966	土坑 1 下部	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	口 18	角	1512	
967	土坑 1 上部	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色		角・雲	1466	
968	土坑 1 下部	ナデ	橙色	ナデ	橙色	底 11	角	1479	
969	土坑 1 上部	ナデ	橙色	ナデ	褐色	底 5	角	1504	
970	土坑 1 下部	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	底 8	角	1489	
971	土坑 1 下部	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色	底 11	角・雲	1470	
972	土坑 1 上部	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色		角	1532	
973	土坑 1 上部	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	562	
974	土坑 1 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色			1529	
975	土坑 1 下部	研磨	暗褐色	研磨	暗褐色		角	558	
976	土坑 1 下部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			—	
977	土坑 1 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1531	
978	土坑 1 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1530	
979	土坑 1 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1534	
980	土坑 1 下部	ナデ	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色		角	566	
981	土坑 1 下部	ナデ	灰褐色	ナデ	灰褐色			1521	
982	土坑 1 下部	研磨	褐色	ナデ	淡橙褐色		角	561	
983	土坑 1 下部	摩滅不明	褐色	摩滅不明	褐色			1515	
984	土坑 2 上部	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角	1538	
985	土坑 2 上部	ナデ　RL	橙色	ナデ	褐色		角	1537	
986	土坑 2 下部	ナデ	淡橙色	ナデ	褐色	底 12	角	1541	加熱変色
987	土坑 2 上部	ナデ　沈→RL	橙褐色	ナデ	淡黄褐色	口 18	雲	1542	
988	土坑 2 上部	研磨	黒褐色	研磨	黒褐色			1544	
989	土坑 2 上部	摩滅不明	黒褐色	摩滅不明	黒褐色		角	1543	
990	土坑 2 下部	ナデ　沈→RL	褐色	ナデ	褐色		角	1540	
991	土坑 2 上部	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1536	
992	土坑 2 上部	摩滅不明	淡黄白色	摩滅不明	淡黄白色			1539	
993	土坑 3	ナデ	淡褐色	ナデ	淡橙褐色		雲	1562	
994	土坑 3	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1559	
995	土坑 3	ナデ	暗黄褐色	巻貝条痕	暗黄褐色			1550	
996	土坑 3	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色		角・雲	1557	
997	土坑 3	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1547	
998	土坑 3	研磨	淡黄白色	ナデ	淡黄白色			1545	
999	土坑 3	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			1551	
1000	土坑 3	研磨	暗褐色	研磨	暗褐色		角	1512	
1001	土坑 3	研磨	暗褐色	研磨	暗褐色		角	1546	
1002	土坑 3	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色		角	1549	
1003	土坑 3	二枚貝条痕→ナデ	黒褐色	二枚貝条痕→ナデ	黒褐色			1548	刻目突帯文
1004	土坑 4 下部	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	1579	
1005	土坑 4 下部	ナデ	黄褐色	ナデ	白黄色	口 34		1575	
1006	土坑 4 上部	ナデ　巻貝疑似	暗褐色	ナデ	暗褐色			1572	
1007	土坑 4 下部	ナデ　RL	茶褐色	ナデ	茶褐色		角・雲	1576	
1008	土坑 4 上部	ナデ　RL→沈	橙色	ナデ	褐色		角	1573	
1009	土坑 4 上部	ナデ　巻貝疑似	褐色	ナデ	褐色		角	1571	
1010	土坑 4 上部	ナデ　沈→RL	黒褐色	ナデ	黒褐色			1568	1569 と同一
1011	土坑 4 下部	ナデ　巻貝疑似	淡茶褐色	巻貝条痕→ナデ	淡茶褐色	口 30	角	1574	
1012	土坑 4 下部	巻貝条痕→ナデ　RL→沈	橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 31	角・雲	1580	
1013	土坑 6 上部	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	1613	
1014	土坑 6 上部	ナデ　沈→RL	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	1589	
1015	土坑 6 上部	ナデ　沈→RL	褐色	ナデ	褐色		角	1587	
1016	土坑 6 上部	ナデ　沈→RL	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	1584	
1017	土坑 6 下部	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡赤褐色		角	577	
1018	土坑 6 上部	ナデ	暗茶色	ナデ	暗茶色	口 16	角	1595	
1019	土坑 6 下部	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色		角	583	
1020	土坑 6 上部	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色	口 37	角	552	

第 20 表　縄紋土器観察表. 16

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
1021	土坑 6 下部	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 33		555	
1022	土坑 6 上部	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色	口 36		554	
1023	土坑 6 上部	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗黄橙色	口 34		572	
1024	土坑 6 上部	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色	口 38	角	553	
1025	土坑 6 上部	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 34	角	580	
1026	土坑 6 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 31		579	
1027	土坑 6 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1618	
1028	土坑 6 上部	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	黒褐色			574	
1029	土坑 6 上部	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 22	角	576	
1030	土坑 6 上部	ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 26	角	1597	
1031	土坑 6 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	578	
1032	土坑 6 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	578	
1033	土坑 6 上部	ナデ	褐色	研磨	淡黄白色			573	
1034	土坑 6 上部	研磨	淡橙色	研磨	淡橙褐色		角	593	
1035	土坑 6 上部	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			1601	
1036	土坑 6 上部	巻貝条痕→ナデ	淡黄灰色	巻貝条痕→ナデ	淡黄灰色			1599	
1037	土坑 6 上部	巻貝条痕	橙褐色	ナデ	黒褐色		角	1603	
1038	土坑 6 上部	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色		角	1585	
1039	土坑 6 上部	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 30	角	1581	
1040	土坑 6 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	淡橙褐色	口 35	角	1580	
1041	土坑 6 上部	巻貝条痕→ナデ	明橙色	巻貝条痕→ナデ	明橙色	口 33		1594	
1042	土坑 6 下部	ナデ	暗淡褐色	ナデ	暗褐色		角	1608	
1043	土坑 6 上部	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	口 30	角	—	
1044	土坑 6 上部	ナデ	橙褐色	ナデ	灰褐色			1600	
1045	土坑 6 下部	巻貝条痕	暗黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 30	角	1611	
1046	土坑 6 下部	巻貝条痕	暗黄褐色	巻貝条痕	暗黄褐色	口 36	角	1606	
1047	土坑 6 上部	摩滅不明	淡黄白色	摩滅不明	淡黄褐色		角	1598	
1048	土坑 6 上部	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	研磨	淡橙褐色		角・雲	550	
1049	土坑 6 下部	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角	1592	
1050	土坑 6 上部	ナデ	黒褐色	ナデ	黒褐色			1593	
1051	土坑 6 上部	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角・雲	507	
1052	土坑 6 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	橙褐色	胴 12	角	1596	
1053	土坑 6 上部	研磨	淡黄灰色	研磨	褐色	口 34	角・雲	1582	
1054	土坑 6 下部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 30	角	1609	
1055	土坑 6 下部	研磨	暗褐色	研磨	淡橙褐色		角	1607	
1056	土坑 6 上部	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 18		1588	隆帯文
1057	土坑 6 上部	ナデ	淡赤褐色	ナデ	淡赤褐色	底 10		1605	加熱変色
1058	土坑 6 上部	研磨	淡褐色	ナデ	淡褐色	底 5		1615	
1059	土坑 6 上部	ナデ	淡褐色	ナデ	褐色	底 5	角	1616	
1060	溝 1	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			594	
1061	溝 1	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角・雲	1626	
1062	溝 1	ナデ	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色		角	1632	
1063	溝 1	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角・雲	1624	
1064	溝 1	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1627	赤色塗布
1065	溝 1	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			595	
1066	溝 1	ナデ　RL→沈	淡白褐色	ナデ	淡白褐色		角	613	
1067	溝 1	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	胴 37	雲	610	
1068	溝 1	ナデ　RL→沈	橙褐色	ナデ	黒褐色	口 30	角	609	1772 と同一
1069	溝 1	ナデ　沈→RL	橙褐色	ナデ	淡褐色		角	1625	赤色塗布
1070	溝 1	ナデ　沈→RL	橙褐色	ナデ	淡褐色		角	589	
1071	溝 1	ナデ　沈→RL	淡橙褐色	ナデ	淡褐色		角	600	
1072	溝 1	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 22	角	541	
1073	溝 1	条痕→ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色		角	587	
1074	溝 1	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			597	
1075	溝 1	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色			588	
1076	溝 1	ナデ	淡白灰色	ナデ	淡白灰色			598	
1077	溝 1	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1629	
1078	溝 1	ナデ	灰褐色	ナデ	黒褐色		雲	1630	
1079	溝 1	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡褐色		雲	1621	
1080	溝 1	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡黄褐色			605	
1081	溝 1	ナデ	暗褐色	ナデ	淡褐色	口 28	雲	1622	
1082	溝 1	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡橙褐色	口 35		601	
1083	溝 1	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色		角	609	
1084	溝 1	ナデ	淡茶褐色	ナデ	淡茶褐色	胴 30	角・雲	603	
1085	溝 1	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	1634	把手？
1086	溝 1	条痕	赤褐色	ナデ	淡褐色		角・雲	1628	
1087	溝 1	ナデ	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	596	
1088	溝 1	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 27		1620	

第 21 表　縄紋土器観察表. 17

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
1089	溝 1	巻貝条痕→ナデ	淡茶褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色	口 31	角・雲	1619	器高 36
1090	溝 1	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 28		602	
1091	溝 1	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			1623	
1092	溝 1	巻貝条痕	橙褐色	ナデ	橙褐色	口 28	角	611	
1093	溝 1	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	608	
1094	溝 1	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	ナデ	淡黄褐色		角・雲	1623	
1095	溝 1	ナデ	橙褐色	ナデ	暗褐色	口 19		585	
1096	溝 1	ナデ	赤褐色	ナデ	赤褐色	口 24	雲	1633	器高 7 加熱変色
1097	溝 1	ナデ	淡褐色	ナデ	橙褐色	底 11	角	586	
1098	溝 1	ナデ	赤褐色	ナデ	淡赤褐色	底 14	角・雲	1631	加熱変色
1099	甕棺 1	研磨　沈→RL	暗褐色	研磨	ナデ	口 44	角	1779	補修孔　底部打欠
1100	甕棺 2	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 31	角・雲	1780	波頂部 1 対
1101	甕棺 4	ナデ	淡橙褐色	二枚貝条痕→ナデ	暗茶褐色	底 9	雲	1781	
1102	炉 1	巻貝条痕→ナデ	赤褐色	巻貝条痕→ナデ	赤褐色	胴 28	角・雲	1778	土器炉
1103	炉 2	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1769	
1104	炉 2	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	底 10		1770	
1105	Pit-263（ⅦC区）	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1691	
1106	ⅦC区包含層	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色			1409	
1107	Pit-326（ⅦB区）	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	1701	
1108	ⅧD区包含層	二枚貝条痕→ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色		角	551	
1109	Pit-279（ⅧD区）	ナデ	暗褐色	二枚貝条痕	暗褐色		角	1689	
1110	Pit-263（ⅦC区）	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色		角	1682	
1111	ⅤF区包含層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1296	
1112	Pit-456（ⅥF区）	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 26		1713	
1113	ⅧD区包含層	二枚貝条痕	淡黄褐色	二枚貝条痕	淡黄褐色	口 25	角	546	
1114	ⅧD区包含層	二枚貝条痕	淡橙褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 36	角	1415	
1115	ⅧD区包含層	二枚貝条痕	淡黄褐色	二枚貝条痕	淡橙褐色	口 30		1414	
1116	ⅧD区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 32		1645	
1117	ⅧD区包含層	ナデ　RL→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色			1431	
1118	ⅥF区包含層	ナデ　沈→RL	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 34		1330	
1119	ⅥF区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1321	
1120	Pit-214（ⅤE区）	ナデ　沈→RL	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			1686	
1121	ⅤF区包含層	ナデ　沈→巻貝疑似	暗褐色	ナデ	黒褐色		角	1249	
1122	ⅤF区包含層	ナデ　沈→RL	暗褐色	ナデ	暗褐色			617	
1123	ⅤE区包含層	二枚貝条痕	淡褐色	二枚貝条痕	淡褐色	口 31	角	629	
1124	ⅤF区包含層	ナデ　RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 34	角	1264	1266 と同一
1125	Pit-209（ⅤE区）	条痕→ナデ　沈→RL	暗褐色	条痕→ナデ	暗黄褐色		角	1683	
1126	Pit-130（ⅣE区）	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	褐色		角	1675	
1127	Pit-805（ⅦE区）	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色		角	1446	
1128	ⅥF区包含層	ナデ　沈→RL	褐色	ナデ	黄橙色		角	1342	
1129	ⅦF区包含層	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1406	
1130	ⅦF区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1405	
1131	ⅥF区包含層	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	底 13	角	1318	
1132	Pit-43（ⅣF区）	ナデ　RL→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色		雲	1659	
1133	ⅤF区包含層	ナデ　沈→RL	淡黄橙褐色	ナデ	淡黄橙色	口 44	角	615	
1134	ⅣE区包含層	ナデ	茶褐色	条痕	茶褐色	口 29	角・雲	1200	
1135	ⅢF区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 35	角	543	
1136	ⅤF区包含層	ナデ	淡黄褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色	胴 34		620	
1137	ⅣF区包含層	ナデ	淡橙褐色	二枚貝条痕→ナデ	褐色		角	1239	
1138	ⅦE区包含層	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色		角	1441	
1139	ⅧD区包含層	ナデ　沈→巻貝疑似	暗黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1467	
1140	ⅧE区包含層	ナデ	淡黄白色	ナデ	褐色		角	1437	
1141	ⅧD区包含層	ナデ　沈→RL	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	—	
1142	ⅣE区包含層	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色		角	1207	
1143	ⅤF区包含層	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 30	角・雲	1246	
1144	Pit-678（ⅥE区）	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			1741	
1145	ⅤF区包含層	ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕	黒褐色		角	1258	
1146	ⅤF区包含層	条痕	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角	1277	
1147	ⅤE区包含層	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		角	628	
1148	ⅣF区包含層	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1234	
1149	ⅣF区包含層	ナデ	淡褐色	巻貝条痕	淡褐色		角	1238	
1150	ⅥG区包含層	ナデ　沈→RL	暗橙褐色	条痕	暗褐色	口 27	角・雲	621	
1151	ⅣE区包含層	ナデ	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	1219	
1152	ⅥF区包含層	ナデ　RL→沈	淡褐色	ナデ	淡褐色			1331	
1153	ⅤE区包含層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1303	
1154	ⅦE区包含層	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙色			1389	
1155	ⅣE区包含層	ナデ	淡橙色	ナデ	淡橙色			1213	
1156	ⅣE区包含層	ナデ　沈→RL	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	1209	

第 22 表　縄紋土器観察表. 18

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
1157	Ⅳ E 区包含層	ナデ　沈→RL	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			1220	
1158	Ⅵ G 区包含層	ナデ　RL→沈	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			1368	
1159	Ⅵ F 区包含層	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色		雲	1328	
1160	Ⅵ D 区包含層	ナデ	暗褐色	ナデ	明橙褐色			1375	
1161	Ⅵ G 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 34		625	
1162	Ⅵ G 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 30		1638	
1163	Ⅵ G 区包含層	ナデ　RL→沈	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			1334	
1164	Ⅵ E 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄白色	条痕→ナデ	淡黄白色			1361	1267・1218 と同一
1165	Pit-473（Ⅴ F 区）	ナデ　RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角・雲	1729	
1166	Ⅵ G 区包含層	ナデ　RL→沈	淡橙色	二枚貝条痕	暗褐色			545	
1167	Ⅵ G 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 39	角	1371	
1168	Pit-149（Ⅴ F 区）	二枚貝条痕→ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色	口 28		1673	
1169	Ⅵ F 区包含層	ナデ　刺突文→RL	明褐色	ナデ	明褐色			1344	
1170	Ⅵ F 区包含層	ナデ　RL→沈	淡橙褐色	ナデ	淡灰褐色			1335	
1171	Pit-133（Ⅴ E 区）	条痕→ナデ　RL→沈	淡橙色	条痕→ナデ	淡橙色			1642	
1172	Ⅵ G 区包含層	ナデ	暗赤褐色	ナデ	暗赤褐色		角	1374	
1173	Pit-409（Ⅵ F 区）	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色		角	1717	
1174	Pit-715（Ⅴ E 区）	ナデ	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	1748	
1175	Ⅵ F 区包含層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			1323	
1176	Pit-703（Ⅵ E 区）	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 14	角	1745	
1177	Ⅵ F 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1338	
1178	Pit-202（Ⅵ E 区）	条痕	暗灰褐色	条痕	暗灰褐色		角	1684	
1179	Ⅴ F 区包含層	巻貝条痕→ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	口 32	角	1248	
1180	Ⅳ E 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色			1198	
1181	Pit-135（Ⅴ E 区）	巻貝条痕→ナデ	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄白色	口 34	角	1691	
1182	Ⅶ D 区包含層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1396	
1183	Pit-423（Ⅵ F 区）	条痕	褐色	条痕	淡黄白色		角	1733	
1184	Ⅵ F 区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			1346	
1185	Ⅴ E 区包含層	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色		雲	1301	
1186	Ⅳ E 区包含層	ナデ　RL→沈	淡赤褐色	条痕→ナデ	淡褐色			1643	
1187	Ⅳ E 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1641	
1188	Ⅳ E 区包含層	ナデ　沈→RL	黄褐色	ナデ	黄褐色		角	1225	
1189	Ⅵ F 区包含層	ナデ　RL→沈	赤褐色	ナデ	淡褐色	胴 26	角	1317	
1190	Ⅴ F 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄褐色	ナデ	淡橙褐色			1280	
1191	Ⅳ E 区包含層	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色	胴 34	角	1775	網代圧痕
1192	Ⅳ F 区包含層	ナデ　RL→沈	淡黄橙色	ナデ	黒褐色		角	1241	
1193	Pit-423（Ⅵ F 区）	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角	1736	
1194	Pit-186（Ⅴ E 区）	ナデ　RL→沈	黄褐色	ナデ	淡黄色		角	1678	
1195	Ⅵ G 区包含層	ナデ　RL→沈	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色			1370	
1196	Ⅶ D 区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	1399	
1197	Ⅵ F 区包含層	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 30		1319	
1198	Pit-133（Ⅴ E 区）	ナデ	橙色	条痕	橙色	口 28	雲	1672	
1199	Ⅷ E 区包含層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 21		1458	赤色塗布
1200	Ⅴ F 区包含層	ナデ	褐色	条痕→ナデ	褐色	口 24	角	619	
1201	Pit-48（Ⅳ E 区）	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 28	角	1650	
1202	Ⅵ G 区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	褐色	口 15	角	622	
1203	Ⅵ G 区包含層	ナデ	淡黄灰色	ナデ	淡黄灰色			626	
1204	Pit-4（Ⅵ F 区）	ナデ　RL→沈	黒褐色	ナデ	黒褐色			1660	
1205	Pit-158（Ⅴ F 区）	ナデ	褐色	ナデ	橙褐色			171	赤色塗布
1206	Pit-427（Ⅵ F 区）	ナデ　RL→沈	褐色	ナデ	淡黄褐色	口 9		1720	
1207	Ⅵ F 区包含層	ナデ	淡黄灰色	ナデ	淡黄灰色			1329	
1208	Ⅵ F 区包含層	ナデ	暗橙色	ナデ	暗橙色		角	1365	
1209	Ⅴ F 区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			1276	
1210	Ⅴ F 区包含層	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1259	
1211	Ⅵ F 区包含層	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色			1340	
1212	Pit-299（Ⅶ D 区）	ナデ	橙色	ナデ	橙色		角	1690	
1213	Pit-455（Ⅵ F 区）	ナデ	橙色	ナデ	橙色		角	1731	
1214	Ⅵ F 区包含層	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色			1352	
1215	Pit-436（Ⅳ G 区）	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色		角	1735	
1216	Ⅵ F 区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			1345	
1217	Pit-57（Ⅳ E 区）	巻貝条痕→ナデ	黄褐色	巻貝条痕	淡褐色		角	1653	
1218	Ⅵ F 区包含層	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 31		814	
1219	Pit-449（Ⅵ G 区）	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色			1718	
1220	Pit-19（Ⅲ F 区）	ナデ	橙色	ナデ	褐色	口 25	角	544	
1221	Ⅴ F 区包含層	ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色			1281	
1222	Pit-387（Ⅴ E 区）	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	胴 33	角	1702	赤色塗布
1223	Ⅴ F 区包含層	ナデ	褐色	ナデ	褐色	胴 35	角	1282	
1224	Ⅵ F 区包含層	ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	黒褐色	胴 31		1311	

第 23 表　縄紋土器観察表. 19

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
1225	ⅤF区包含層	ナデ　沈→小斜沈→大斜沈	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 33	角	1267	
1226	ⅧE区包含層	巻貝条痕→ナデ　巻貝疑似→沈	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	胴 35	角	1950	
1227	ⅦE区包含層	研磨　沈→二枚貝疑似	橙褐色	ナデ	淡褐色		雲	1390	
1228	Pit-275（ⅧD区）	ナデ　沈→巻貝疑似	暗茶褐色	ナデ	暗茶褐色		雲	1687	赤色塗布
1229	ⅤF区包含層	ナデ　沈→RL	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		角・雲	1278	
1230	Pit-327（ⅦB区）	ナデ　巻貝疑似→沈	黄褐色	ナデ	黄褐色			1710	
1231	ⅦE区包含層	ナデ　沈→RL	褐色	ナデ	褐色		角・雲	1387	赤色塗布
1232	ⅤE区包含層	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色			637	隆帯文
1233	ⅦF区包含層	研磨　RL	淡橙褐色	二枚貝条痕→ナデ	淡橙褐色			1403	円形隆帯文　赤色塗布
1234	ⅥF区包含層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1347	隆帯文
1235	ⅦE区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角	1388	突起
1236	ⅥF区包含層	研磨　巻貝疑似→沈	橙褐色	研磨	橙褐色	口 27		1352	
1237	ⅦE区包含層	ナデ　沈→巻貝疑似	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	口 28		1384	
1238	Pit-495（ⅦE区）	巻貝条痕	褐色	ナデ	褐色	口 28		1385	
1239	Pit-406（ⅥF区）	二枚貝条痕→ナデ	暗橙色	二枚貝条痕→ナデ	淡橙色	口 32	角	1712	
1240	Pit-218（ⅦC区）	二枚貝条痕→ナデ 二枚貝刺突文	淡黄褐色	二枚貝条痕→ナデ	黄褐色	口 29	角	1393	口縁端部・隆帯文を刻む
1241	ⅧF区包含層	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1444	
1242	Pit-593（ⅧD区）	ナデ　RL→沈	黒褐色	ナデ	橙色		角	1773	
1243	ⅣE区包含層	ナデ　沈→RL	暗橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	1216	
1244	ⅥD区包含層	ナデ	黄褐色	ナデ	黄褐色			1398	
1245	ⅦD区包含層	巻貝条痕→ナデ　RL→沈	暗褐色	巻貝条痕→ナデ	橙褐色		角	1397	
1246	ⅥE区包含層	ナデ	赤褐色	ナデ	褐色			1352	
1247	ⅥF区包含層	ナデ	暗黄白色	ナデ	淡黄白色			1350	
1248	Pit-20（ⅦF区）	ナデ　巻貝疑似	橙褐色	ナデ	橙褐色			1661	
1249	ⅧE区包含層	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1438	
1250	ⅥG区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			1369	
1251	ⅤF区包含層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色		角	1283	
1252	ⅥF区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			1343	
1253	ⅥF区包含層	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色			1327	
1254	ⅣE区包含層	ナデ	褐色	ナデ	淡黄白色			1226	
1255	ⅥF区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	1333	
1256	Pit-356（ⅦF区）	ナデ	褐色	ナデ	褐色	口 14	角	—	赤色塗布
1257	Pit-24（ⅣE区）	ナデ　巻貝疑似	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 13	角	—	
1258	Pit-388（ⅥF区）	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色	口 20		1705	
1259	ⅧF区包含層	ナデ　RL→沈	黒褐色	ナデ	黒褐色			1434	
1260	Pit-307（ⅦD区）	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色		角	1707	
1261	Pit-245（ⅥG区）	ナデ　RL→沈	橙褐色	ナデ	橙褐色			1694	
1262	ⅥD区包含層	ナデ	褐色	ナデ	褐色			1376	
1263	Pit-202（ⅥE区）	ナデ　RL→沈	暗褐色	ナデ	暗褐色		角・雲	1685	
1264	ⅣE区包含層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色			1204	
1265	ⅧE区包含層	ナデ　RL→沈	黒褐色	ナデ	黒褐色			1442	
1266	ⅤF区包含層	研磨	暗黄褐色	ナデ	暗橙褐色		角	1305	
1267	ⅥD区包含層	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色		角	1379	
1268	ⅥD区包含層	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色	底 7		1399	
1269	ⅤF区包含層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 4		1284	
1270	Pit-26（ⅣE区）	研磨	暗褐色	研磨	暗褐色	口 13	雲	—	注口土器？
1271	Pit-359（ⅤF区）	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色			—	注口部
1272	ⅥD区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 32	角	1378	
1273	ⅥD区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	口 36		1383	
1274	ⅤG区包含層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色		雲	1308	
1275	ⅥF区包含層	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色			1336	
1276	ⅤF区包含層	ナデ	橙褐色	巻貝条痕	黄褐色			1251	
1277	ⅥF区包含層	ナデ	茶褐色	ナデ	茶褐色		角・雲	1354	
1278	ⅣF区包含層	巻貝条痕	橙褐色	ナデ	黄褐色	口 30	角・雲	1257	
1279	ⅣF区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 24	角	1240	
1280	ⅥF区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡黄白色	口 28	角	1320	
1281	ⅥG区包含層	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	巻貝条痕→ナデ	暗黄褐色	口 28	角	1367	
1282	ⅤF区包含層	巻貝条痕	淡灰褐色	巻貝条痕	淡灰褐色	口 30	角	1266	
1283	ⅧE区包含層	二枚貝条痕	褐色	二枚貝条痕	淡黄褐色	口 30	角	598	
1284	Pit-825（ⅣE区）	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 36		1271	
1285	ⅧD区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色		角	1433	
1286	ⅥF区包含層	条痕→ナデ	淡黄褐色	条痕→ナデ	淡黄褐色		角	1326	
1287	ⅥF区包含層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色			1355	
1288	ⅥF区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	1353	
1289	ⅧD区包含層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色		角	1411	
1290	ⅧD区包含層	ナデ	橙褐色	ナデ	黒褐色		角	1413	
1291	ⅥE区包含層	ナデ	暗淡赤黄	ナデ	褐色			1360	
1292	ⅤF区包含層	巻貝条痕	橙褐色	巻貝条痕	黒褐色		角	1272	

第 24 表　縄紋土器観察表. 20

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
1293	Pit-832（ⅤF区）	ナデ	褐色	巻貝条痕→ナデ	褐色			1247	
1294	ⅤF区包含層	巻貝条痕	淡褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色		角	1259	
1295	ⅧE区包含層	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色		角	1436	
1296	Pit-579（ⅤF区）	ナデ	褐色	ナデ	褐色	口 34		1774	
1297	ⅣE区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 35		1197	
1298	ⅥF区包含層	巻貝条痕	暗茶褐色	巻貝条痕	暗茶褐色	口 30		1357	
1299	ⅥE区包含層	巻貝条痕	暗黄褐色	巻貝条痕	褐色	口 32	角	1313	
1300	Pit-24（ⅣF区）	巻貝条痕	暗褐色	ナデ	橙褐色	胴 34	角・雲	695	
1301	Pit-693（ⅤF区）	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡黄橙色	口 34		1740	
1302	ⅤF区包含層	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 32		630	
1303	ⅥF区包含層	巻貝条痕→ナデ	茶褐色	ナデ	暗茶褐色	口 38	角	1381	
1304	ⅤF区包含層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	褐色	口 32	角	1268	
1305	ⅤF区包含層	巻貝条痕	暗褐色	巻貝条痕	暗褐色	口 29		1637	
1306	ⅤF区包含層	巻貝条痕	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	口 32	角	1635	
1307	ⅥG区包含層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗褐色	口 39	角	1372	
1308	ⅣE区包含層	巻貝条痕	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 39		1199	口縁部肥厚
1309	ⅥF区包含層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 40	角・雲	1382	器高 21
1310	ⅥF区包含層	巻貝条痕	淡灰褐色	巻貝条痕	暗褐色	口 24		1640	
1311	ⅥF区包含層	巻貝条痕	淡黄褐色	巻貝条痕	淡黄褐色	口 23		1322	
1312	ⅦF区包含層	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	巻貝条痕→ナデ	暗橙褐色	胴 34	角	—	
1313	Pit-425（ⅥD区）	ナデ	橙褐色	ナデ	橙褐色	口 15	角	1716	
1314	ⅥG区包含層	ナデ	赤褐色	ナデ	暗褐色	口 14		1639	
1315	Pit-428（ⅥG区）	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 18	雲	1719	
1316	Pit-417（ⅥF区）	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡橙褐色	口 24	角	1714	
1317	ⅥF区包含層	巻貝条痕→ナデ	淡橙色	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	口 19	角	1351	加熱変色
1318	ⅣE区包含層	ナデ	明橙色	ナデ	明橙色	口 28	角	1202	
1319	ⅣE区包含層	巻貝条痕	褐色	巻貝条痕	淡白黄色	口 34	角	1208	
1320	ⅥF区包含層	巻貝条痕	暗黄褐色	ナデ	暗褐色	口 18	角	1316	
1321	ⅥF区包含層	巻貝条痕	淡褐色	ナデ	淡褐色	口 16		1346	
1322	ⅥF区包含層	巻貝条痕	橙褐色	巻貝条痕→ナデ	淡褐色	口 21	角・雲	1312	
1323	Pit-394（ⅥF区）	巻貝条痕→ナデ	暗茶褐色	巻貝条痕→ナデ	暗茶褐色	口 26	角	1648	器高 10
1324	ⅤF区包含層	巻貝条痕	暗黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 17	角	1245	器高 10
1325	ⅥF区包含層	ナデ	暗褐色	ナデ	暗淡褐色	口 13	角	1324	
1326	ⅥF区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗褐色	口 30	角	1380	
1327	ⅤF区包含層	巻貝条痕→ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 24	雲	1288	
1328	ⅥF区包含層	ナデ	暗灰褐色	ナデ	暗灰褐色	口 26		1325	
1329	ⅧE区包含層	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色	底 10	角	1456	
1330	ⅧE区包含層	ナデ	淡黄色	ナデ	淡黄色	底 8	角	1454	
1331	ⅧD区包含層	ナデ	橙色	ナデ	褐色	底 8		1420	
1332	ⅧD区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	底 9	角	1407	
1333	ⅧD区包含層	摩滅不明	暗橙色	摩滅不明	暗橙色	底 10		1416	
1334	ⅧE区包含層	ナデ	淡白橙色	ナデ	淡白橙色	底 6		1451	
1335	ⅣE区包含層	ナデ	橙色	ナデ	橙褐色	底 7	角	1233	
1336	ⅣD区包含層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	底 9		1419	
1337	Pit-718（ⅤE区）	ナデ	黄褐色	ナデ	黄褐色	底 18	角	1753	
1338	ⅥF区包含層	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	底 14		1316	加熱変色
1339	ⅣE区包含層	ナデ	褐色	ナデ	赤褐色	底 14	角	1232	
1340	ⅥF区包含層	ナデ	淡白黄色	ナデ	淡白黄色	底 13	雲	1364	
1341	ⅣF区包含層	ナデ	橙色	条痕→ナデ	褐色	底 10	角	1242	
1342	ⅣE区包含層	ナデ	赤褐色	ナデ	橙色	底 12		1231	
1343	ⅣE区包含層	ナデ	暗黄褐色	ナデ	暗黄褐色	底 10		1229	
1344	ⅤF区包含層	条痕	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 11		1286	
1345	ⅥF区包含層	ナデ	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色	底 11	角	1349	
1346	ⅤF区包含層	巻貝条痕	淡橙色	ナデ	橙色	底 12	角・雲	1285	
1347	Pit-212（ⅤD区）	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡白黄色	底 11	角	1644	
1348	ⅤF区包含層	ナデ	淡黄橙色	ナデ	淡橙褐色	底 13		1297	
1349	Pit-583（ⅧD区）	巻貝条痕	黄褐色	ナデ	褐色	底 11		1432	
1350	ⅧE区包含層	巻貝条痕	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色	底 10	角	1452	網代圧痕
1351	ⅤF区包含層	ナデ	淡褐色	ナデ	淡褐色	底 12		293	網代圧痕
1352	ⅤF区包含層	ナデ	淡黄白色	ナデ	淡黄白色	底 10		1254	
1353	表採	ナデ　沈→巻貝疑似	褐色	ナデ	褐色		角	1758	
1354	表採	ナデ	暗茶褐色	ナデ	暗淡褐色		角	1337	
1355	表採	ナデ	褐色	ナデ	褐色			1761	
1356	表採	ナデ	褐色	ナデ	褐色		角	1762	
1357	表採	ナデ	淡黄褐色	ナデ	淡黄褐色	口 30		1765	隆帯文
1358	表採	ナデ	淡橙褐色	ナデ	淡橙褐色			1764	
1359	表採	ナデ　沈→巻貝疑似	暗橙褐色	ナデ	暗橙褐色			289	
1360	表採	ナデ　RL	灰褐色	ナデ	灰褐色		雲	531	

第 25 表　縄紋土器観察表. 21

番号	出土位置	外面特徴	外面色調	内面特徴	内面色調	径cm	胎土	登録	備　考
1361	表採	ナデ　巻貝疑似→沈	黒褐色	研磨	黒褐色		角	1759	
1362	表採	研磨	暗褐色	研磨	黒褐色	口 30	角	709	

第 26 表　石器観察表. 1

番号	出 土 位 置	器　種	石　質	長さcm	幅cm	厚さcm	重量kg	備　考
1	住1 下部 S-4	石鏃	腰岳産黒曜石	2.1	1.6	0.4	0.6	
2	住1 下部 S-6	石鏃	姫島産黒曜石	2.0	1.7	0.3	0.7	
3	住1 床面	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.2	0.3	0.5	
4	住1 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.2	0.5	0.8	
5	住1 上部	使用痕ある剝片	姫島産黒曜石	4.2	1.2	0.8	3.3	石錐でない
6	住1 上部	石鏃	サヌカイト	5.7	1.5	0.4	3.9	
7	住1 下部 S-3	スクレイパー	サヌカイト	3.3	5.8	0.5	12.8	
8	住1 上部	石錘		4.5	3.8	0.8	20.3	
9	住1 上部	石錘		4.4	3.9	1.2	23.5	
10	住1 上部	石錘		6.3	5.8	1.8	77.7	
11	住1 下部 S-1	磨製石斧	蛇紋岩	7.7	5.9	3.2	235.5	
12	住1 下部 S-1	磨製石斧	蛇紋岩	8.6	5.3	2.9	182.9	
13	住1 下部 S-7	くぼみ石		11.4	8.8	6.5	807	
14	住3 上部	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	2.1	0.3	0.7	
15	住3 上部	石鏃	腰岳産黒曜石	1.3	1.7	0.2	0.4	
16	住3 下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.8	1.8	0.8	2.9	
17	住3 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.4	1.5	0.3	0.3	
18	住3 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.3	0.3	0.4	
19	住3 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.4	0.3	0.5	
20	住3 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.6	0.4	0.8	
21	住3 上部	石鏃	サヌカイト	1.0	1.3	0.3	0.3	
22	住3 柱穴	台石	玄武岩	30.2	18.2	10.3	6.9kg	
23	住3 下部 S-3	打製石斧	結晶片岩	8.5	8.2	1.2	142.2	
24	住3 下部 S-1	打製石斧	結晶片岩	18.8	7.7	1.7	343.1	
25	住4 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.2	0.3	0.3	
26	住4 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.2	0.3	0.4	
27	住4 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.4	0.3	0.8	
28	住4 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.4	0.3	0.5	
29	住4 下部 S-16	石鏃	姫島産黒曜石	2.2	1.7	0.4	0.6	
30	住4 上部	石鏃	姫島産黒曜石	2.7	2.0	0.5	2.2	
31	住4 下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.6	1.9	0.4	1.1	
32	住4 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.4	1.8	0.3	0.8	
33	住4 下部 S-18	石鏃	サヌカイト	2.6	2.1	0.4	1.9	
34	住4 下部 S-22	石鏃	サヌカイト	2.7	1.3	0.4	0.9	
35	住4 上部	磨製石斧	蛇紋岩	5.8	4.8	1.9	69.2	
36	住4 上部	磨製石斧	蛇紋岩	11.3	6.1	1.2	126.4	
37	住4 上部	打製石斧	結晶片岩	8.1	4.2	0.7	47.4	
38	住4 下部 S-15	打製石斧	結晶片岩	8.1	4.5	1.4	63.4	
39	住4 上部	打製石斧	結晶片岩	7.9	4.4	1.1	38.5	
40	住4 上部	打製石斧	結晶片岩	6.9	4.8	1.5	77.8	側縁摩滅
41	住4 上部	打製石斧	結晶片岩	7.4	4.8	1.1	52.9	
42	住4 下部 S-12	打製石斧	結晶片岩	7.1	6.5	1.3	86.3	
43	住4 上部	打製石斧	結晶片岩	10.8	5.1	0.9	66.3	
44	住4 下部 S-6	石錘		5.5	4.9	2.2	78.4	
45	住4 上部	石錘		4.6	3.9	1.7	44.6	
46	住4 上部	石錘		5.2	4.4	1.5	46.2	
47	住4 上部	石錘		4.7	5.1	1.1	38.5	
48	住4 上部	石錘		4.5	5.1	1.3	42.9	
49	住4 上部	石錘		3.7	3.1	2.1	31.1	側面摩滅
50	住4 下部 S-11	石錘		7.2	6.4	2.1	124.9	
51	住4 上部	石錘		5.8	4.7	2.4	66.1	
52	住4 下部 S-1	石錘		6.3	4.8	2.2	81.8	
53	住4 下部 S-2	石錘		5.9	4.1	1.9	58.2	
54	住4 上部	石錘		6.2	4.8	1.8	65.1	
55	住4 下部 S-21	くぼみ石		8.9	4.9	2.3	125.3	側面抉り
56	住4 上部	くぼみ石		8.6	6.9	2.8	225.9	
57	住4 上部	くぼみ石		8.5	6.3	3.1	177.9	
58	住4 上部	くぼみ石		9.8	11.6	4.5	828.1	敲打→研磨
59	住4 上部	台石		19.3	20.2	11.1	6.1kg	
60	住4 上部 S-19	台石		21.5	11.5	5.1	1.9kg	
61	住5 1層	玦状耳飾	翡翠	3.6	2.6	0.3	4.8	淡白緑色

第 27 表　石器観察表. 2

番号	出土位置	器種	石質	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	備考
62	住5 1層	石鏃	腰岳産黒曜石	1.8	1.1	0.3	0.4	
63	住5 1層	石鏃	サヌカイト	2.2	1.5	0.3	0.7	
64	住5 2•3層	石鏃	サヌカイト	2.6	2.1	0.4	1.4	
65	住5 2•3層	石鏃	サヌカイト	2.3	1.9	0.5	1.9	
66	住5 2•3層	石鏃	姫島産黒曜石	2.2	1.6	0.4	1.4	
67	住5 1層	石鏃	姫島産黒曜石	2.7	1.2	0.3	0.5	
68	住5 2•3層	石鏃	姫島産黒曜石	2.0	1.3	0.3	0.5	
69	住5 1層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	0.9	0.2	0.4	
70	住5 1層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.9	0.4	0.6	
71	住5 2•3層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.4	0.3	0.7	
72	住5 1層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.4	0.4	0.7	
73	住5 2•3層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.6	0.3	0.6	
74	住5 1層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.4	0.4	0.9	
75	住5 4層	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.3	0.3	0.6	
76	住5 2•3層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.9	0.3	0.8	
77	住5 1層	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	1.3	0.2	0.8	
78	住5 1層	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.6	0.3	0.9	
79	住5 3層下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.7	0.3	0.7	
80	住5 3層下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.7	0.2	0.4	
81	住5 3層下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.9	0.3	0.9	
82	住5 3層下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.7	2.3	0.2	1.3	
83	住5 1層	石鏃	サヌカイト	2.1	1.4	0.4	0.9	
84	住5 1層	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.5	0.4	0.9	
85	住5 3層下部 S-19	石匙	サヌカイト	2.6	5.6	0.4	4.8	
86	住5 4層	スクレイパー	姫島産黒曜石	2.7	4.7	1.2	8.6	
87	住5 4層	使用痕ある剥片	姫島産黒曜石	3.3	2.7	0.6	6.4	
88	住5 2•3層	縦長剥片	腰岳産黒曜石	3.2	1.6	0.2	2.1	鈴桶技法
89	住5 2•3層	二次加工剥片	姫島産黒曜石	2.8	3.1	0.8	4.1	
90	住5 3層下部 S-8	石錘		3.6	2.9	1.0	11.3	
91	住5 2•3層	石錘		4.1	4.1	1.1	22.4	
92	住5 1層	石錘		4.6	4.9	1.1	26.9	
93	住5 1層	石錘		4.7	4.7	1.5	45.6	
94	住5 4層	石錘		5.1	4.7	1.2	36.8	
95	住5 3層下部	石錘		6.1	3.9	2.2	53.4	
96	住5 2•3層	石錘		5.2	4.1	1.4	35.2	
97	住5 石組炉	石錘		4.8	4.5	1.7	39.3	
98	住5 2•3層	石錘		5.0	4.9	1.7	35.7	
99	住5 1層	石錘		6.7	6.4	2.4	113.6	
100	住5 1層	石錘		6.9	4.8	1.9	78.5	
101	住5 1層	石錘		6.9	3.9	2.1	84.5	
102	住5 1層	石錘		9.6	7.6	3.3	189.7	1箇所だけ摩滅
103	住5 1層	石錘		11.3	9.1	3.3	310.6	1箇所だけ摩滅
104	住5 1層	磨製石斧	蛇紋岩	9.9	4.5	2.4	136.2	
105	住5 3層下部 S-1	磨製石斧	蛇紋岩	9.7	4.5	1.4	103.4	
106	住5 3層下部 S-6	磨製石斧	蛇紋岩	8.4	3.8	2.7	123.6	
107	住5 2•3層	磨製石斧	蛇紋岩	8.8	3.9	1.2	73.3	
108	住5 1層	磨製石斧	蛇紋岩	11.6	4.4	2.6	215.3	
109	住5 1層	磨製石斧	蛇紋岩	12.2	5.5	2.5	276.3	
110	住5 3層下部 S-14	磨製石斧	蛇紋岩	6.8	7.1	3.6	269.1	両刃
111	住5 1層	磨製石斧	蛇紋岩	8.5	2.8	2.1	50.6	
112	住5 3層下部 S-13	磨製石斧	蛇紋岩	8.9	4.1	1.6	114.1	
113	住5 1層	磨製石斧	蛇紋岩	10.3	5.2	3.1	248.9	
114	住5 1層	磨製石斧	蛇紋岩	10.3	5.1	2.9	246.7	両刃
115	住5 4層	磨製石斧	蛇紋岩	11.5	4.2	2.3	178.3	片刃
116	住5 3層下部 S-2	磨製石斧	蛇紋岩	13.2	6.1	3.1	326.1	両刃　基端部潰れ
117	住5 3層下部 S-15	磨製石斧	蛇紋岩	9.6	6.9	2.5	265.6	両刃
118	住5 2•3層	磨製石斧	蛇紋岩	7.1	4.6	1.1	56.8	基端部潰れ
119	住5 3層下部 S-4	磨製石斧	結晶片岩	11.5	3.9	1.1	79.1	片刃　基端部潰れ
120	住5 1層	打製石斧	結晶片岩	6.9	4.7	0.9	55.2	側縁摩滅
121	住5 4層	打製石斧	結晶片岩	10.1	5.1	0.8	63.1	
122	住5 3層下部 S-11	打製石斧	結晶片岩	9.3	5.1	2.2	148.7	
123	住5 1層	打製石斧	結晶片岩	11.9	5.7	1.1	109.5	側縁摩滅
124	住5 1層	打製石斧	結晶片岩	9.5	5.1	0.9	77.7	未製品
125	住5 石組炉	打製石斧	結晶片岩	9.2	4.5	0.9	60.5	部分的に研磨
126	住5 1層	打製石斧	結晶片岩	10.6	5.8	0.7	58.5	
127	住5 3層下部 S-22	打製石斧	結晶片岩	10.8	6.3	1.6	148.1	側縁摩滅
128	住5 3層下部 S-16	打製石斧	結晶片岩	10.8	5.6	1.3	108.7	
129	住5 2•3層	打製石斧	結晶片岩	14.1	6.9	1.4	157.7	側縁摩滅

第 28 表　石器観察表. 3

番号	出土位置	器種	石質	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	備考
130	住5 3層下部 S-20	打製石斧	結晶片岩	14.3	5.1	0.9	96.5	側縁摩滅
131	住5 3層下部 S-5	打製石斧	結晶片岩	15.7	3.8	1.1	90.8	刃部研磨　側縁摩滅
132	住5 3層下部 S-17	打製石斧	結晶片岩	13.9	8.8	1.9	426.4	側縁摩滅
133	住5 1層	打製石斧	結晶片岩	12.4	6.2	1.9	221.8	基端部潰れ
134	住5 1層	打製石斧	結晶片岩	8.9	4.2	0.7	45.4	基部は光沢ある摩滅
135	住5 3層下部 S-9	打製石斧	結晶片岩	13.9	5.9	1.1	130.6	側縁摩滅
136	住5 1層	打製石斧	結晶片岩	11.1	4.7	1.5	123.2	側縁摩滅
137	住5 3層下部 S-23	打製石斧？	結晶片岩	11.4	6.1	1.2	143.4	刃部は光沢ある摩滅
138	住5 1層	石庖丁？	結晶片岩	5.7	9.7	1.2	101.9	1側縁のみ摩滅
139	住5 1層	石庖丁？	結晶片岩	6.1	12.4	1.1	107.9	1側縁のみ摩滅
140	住5 2•3層	くぼみ石		9.3	8.6	3.2	224.1	側面に敲打痕
141	住5 2•3層	くぼみ石		8.3	10.2	3.5	305.8	側面に敲打痕
142	住5 2•3層	くぼみ石		11.1	8.7	4.5	597.6	
143	住5 3層下部 S-22	くぼみ石		10.6	12.4	4.5	761.1	
144	住5 1層	くぼみ石		8.1	5.0	3.1	147.1	側面抉り
145	住5 2•3層	くぼみ石		10.2	8.9	3.9	386.9	
146	住5 2•3層	磨石	玄武岩	11.1	9.6	4.5	604.5	ほぼ全面研磨
147	住5 2•3層	くぼみ石		10.6	8.6	3.4	350.2	
148	住5 2•3層	台石		31.8	23.2	7.1	10.2kg	
149	住5 2•3層	台石		35.2	28.1	8.3	15.2kg	
150	住5 3層下部	台石		27.3	20.6	6.9	4.2kg	
151	住5 4層	台石		49.2	41.3	7.4	26.6kg	
152	住5 4層	台石		45.5	33.5	8.2	19.5kg	加熱変色
153	住6 S-7	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.4	0.3	0.9	
154	住6 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.3	0.3	0.7	
155	住6 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.3	0.3	0.6	
156	住6 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.3	0.3	0.5	
157	住6 S-4	石鏃	結晶片岩？	2.2	1.3	0.3	1.1	
158	住6 上部	つまみ形石器	腰岳産黒曜石	3.3	2.1	0.7	4.2	
159	住6 S-8	スクレイパー	サヌカイト	4.1	7.5	1.3	31.7	
160	住6 S-1	磨製石斧	蛇紋岩	7.3	4.3	0.9	42.4	片刃
161	住6 周溝	石錘		3.6	3.1	0.9	12.8	
162	住6 下部	台石		28.2	22.2	20.1	15.8kg	
163	住6 下部	台石		25.9	17.2	11.3	9.6kg	
164	住6 S-2	台石		12.6	8.2	6.2	720.4	
165	住7 S-11	石鏃	腰岳産黒曜石	1.8	1.6	0.3	0.9	剝片鏃
166	住7 S-23	石鏃	サヌカイト	1.9	1.9	0.4	1.1	
167	住7 上部	石鏃	サヌカイト	2.1	2.1	0.4	1.2	
168	住7 S-10	石鏃	サヌカイト	2.3	1.5	0.3	1.1	
169	住7 上部	石鏃	サヌカイト	2.3	2.1	0.7	2.4	
170	住7 S-20	石鏃	腰岳産黒曜石	2.1	1.4	0.3	0.8	剝片鏃
171	住7 上部	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.1	0.3	0.3	
172	住7 上部	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.7	0.3	0.9	
173	住7 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.7	0.4	1.1	
174	住7 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.1	1.2	0.3	0.6	
175	住7 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.2	1.1	0.2	0.2	
176	住7 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.8	0.2	0.8	
177	住7 S-6	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.5	0.4	0.8	
178	住7 上 S-8	スクレイパー	サヌカイト	4.8	4.8	0.7	18.6	
179	住7 上部	石核	姫島産黒曜石	8.1	4.1	2.7	18.6	
180	住7 S-14	石錘		4.8	3.9	1.6	35.5	
181	住7 S-5	石錘		4.7	4.7	2.1	55.8	
182	住7 上部	石錘		5.1	4.9	1.9	50.3	
183	住7 上部	石錘		5.2	4.6	1.6	39.8	
184	住7 S-18	石錘		4.9	4.6	1.3	27.1	
185	住7 S-19	石錘		4.1	3.5	1.9	37.9	
186	住7 上部	石錘		4.6	3.7	1.7	41.6	
187	住7 S-15	石錘		5.1	5.1	1.2	43.6	
188	住7 S-7	石錘		5.8	4.9	1.1	33.1	
189	住7 S-2	石錘		6.6	3.6	3.3	102.6	
190	住7 S-1	磨製石斧	蛇紋岩	8.7	4.2	2.6	147.7	
191	住7 上部	磨製石斧	蛇紋岩	8.3	4.4	1.4	79.6	
192	住7 S-3	磨製石斧	蛇紋岩	12.9	3.1	1.2	105.2	
193	住7 下部	磨製石斧	玄武岩質	7.1	6.9	3.1	229.1	
194	住7 S-4	くぼみ石		6.7	4.2	2.1	66.7	
195	住7 上部	打製石斧	結晶片岩	5.2	5.6	0.9	41.4	
196	住7 S-12	打製石斧	結晶片岩	6.5	4.1	0.7	26.1	
197	住7 S-11	打製石斧	結晶片岩	9.8	4.9	0.9	75.7	側縁摩滅

第 29 表　石器観察表. 4

番号	出土位置	器種	石質	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	備考
198	住7 S-9	打製石斧	結晶片岩	9.1	4.9	1.9	131.3	側縁摩滅
199	住7 S-17	打製石斧	結晶片岩	11.7	5.3	0.9	96.8	側縁摩滅
200	住7 床面-	打製石斧	結晶片岩	9.8	5.1	0.9	99.9	側縁摩滅　基端部階段状剥離
201	住7 上部	台石		26.1	14.1	7.7	4.2kg	
202	住7 上部	台石		19.3	22.1	7.7	4.2kg	
203	住10 S-14	石鏃	腰岳産黒曜石	1.8	1.1	0.2	0.2	
204	住10 S-74	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.9	0.4	1.2	
205	住10 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.3	0.2	0.4	
206	住10 S-41	使用痕ある剥片	サヌカイト	6.1	6.1	1.4	36.6	
207	住10 S-52	スクレイパー	サヌカイト	5.1	7.3	1.7	50.9	
208	住10 S-70	石錘		3.1	2.8	1.2	14.7	3方向抉り
209	住10 S-8	石錘		3.3	2.9	1.1	13.3	
210	住10 S-26	石錘		4.3	3.6	1.2	25.2	
211	住10 S-40	石錘		4.2	4.1	1.3	36.1	
212	住10 S-39	石錘		5.2	5.1	1.4	41.9	
213	住10 S-67	石錘		5.6	5.3	2.2	75.1	
214	住10 S-58	石錘		5.8	4.7	1.3	35.1	
215	住10 S-下部	石錘		4.9	4.9	1.7	49.2	
216	住10 S-45	石錘		4.7	4.9	1.6	69.4	
217	住10 S-62	石錘		7.9	7.7	2.3	148.9	
218	住10 S-23	石錘		8.9	4.4	1.5	78.1	
219	住10 S-60	石錘		7.4	6.7	1.4	94.1	
220	住10 S-56	敲石		6.6	5.8	2.2	117.6	
221	住10 S-61	くぼみ石		7.8	4.1	2.7	110.1	
222	住10 S-46A	楔状石器	安山岩系	9.2	5.3	2.3	159.4	擦れた摩滅と階段状剥離
223	住10 S-46B	楔状石器	安山岩系	11.1	5.6	2.5	239.7	222と同一個体
224	住10 S-40	打製石斧	結晶片岩	6.3	4.8	0.8	34.1	
225	住10 S-17	打製石斧	結晶片岩	6.4	4.9	1.3	70.5	局部磨製
226	住10 上部	磨製石斧	片岩系	12.5	5.8	2.6	233.8	片刃
227	住10 S-15	磨製石斧	蛇紋岩	3.3	1.5	0.6	3.4	片刃
228	住10 S-76	磨石	玄武岩	10.5	11.1	3.1	540.1	
229	住10 S-51	磨石	玄武岩	7.6	8.0	1.6	121.1	
230	住10 S-75	磨石	玄武岩	6.7	6.1	2.9	220.6	くぼみ石兼用
231	住10 S-47	台石		20.8	12.1	4.1	1.2kg	
232	住10 床面	台石		48.5	38.1	12.6	42.4kg	
233	住10 床面	台石		54.8	32.5	10.1	27.9kg	
234	住12 床面	スクレイパー	サヌカイト	3.2	7.5	1.1	23.1	
235	住12 S-1	石鏃	腰岳産黒曜石	2.1	1.3	0.3	0.6	
236	住12 床面	石鏃	腰岳産黒曜石	2.2	1.4	0.3	0.8	
237	住12 S-53	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.4	0.3	0.8	
238	住12 S-6	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.6	0.2	0.4	
239	住12 S-2	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.3	0.2	0.3	
240	住12 S-7	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.2	0.2	0.4	
241	住12 S-3	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.3	0.3	0.3	
242	住12 S-9	石錘		4.3	4.0	1.1	32.9	
243	住12 S-50	石錘		5.3	3.8	1.6	50.7	
244	住12 S-36	石錘		5.3	5.5	1.9	53.9	
245	住12 S-32	石錘		5.2	5.2	2.2	67.2	
246	住12 S-57	石錘		8.2	6.6	2.1	129.5	
247	住12 S-2	石錘		9.3	5.7	1.6	101.9	
248	住12 S-55	石錘		6.2	5.2	1.9	73.6	
249	住12 S-11	打製石斧	結晶片岩	6.1	6.1	0.7	42.9	
250	住12 S-7	打製石斧	結晶片岩	8.3	3.2	0.7	35.5	側縁摩滅
251	住12 S-48	打製石斧	結晶片岩	9.5	5.3	1.3	104.2	側縁摩滅
252	住12 S-6	打製石斧	結晶片岩	6.5	6.3	0.9	53.7	
253	住12 S-9	打製石斧	結晶片岩	7.1	3.9	1.1	53.5	磨製石斧？
254	住12 S-49	くぼみ石	玄武岩	7.7	8.9	4.4	375.8	
255	住12 S-27	磨製石斧	蛇紋岩	8.3	3.5	0.9	60.2	
256	住12 S-4	砥石？	玄武岩	6.4	2.4	2.5	66.2	
257	住9～12	石鏃	姫島産黒曜石	1.2	1.2	0.2	0.3	
258	住9～12	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.2	0.3	0.4	
259	住9～12	縦長剥片	腰岳産黒曜石	5.1	1.7	0.6	4.3	鈴桶技法
260	住9～12	使用痕ある剥片	姫島産黒曜石	3.6	4.9	0.7	14.7	
261	住9～12	磨製石斧	蛇紋岩	8.7	4.8	2.5	123.3	未製品
262	土坑1 下部	石鏃	腰岳産黒曜石	1.6	1.3	0.2	0.3	剥片鏃
263	土坑1 下部	石鏃	腰岳産黒曜石	2.3	1.6	0.3	0.6	
264	土坑1 上部	石鏃	サヌカイト	2.2	1.6	0.3	2.1	
265	土坑1 上部	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.6	0.3	0.7	

第 30 表 石器観察表. 5

番号	出土位置	器種	石質	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	備考
266	土坑 1 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.2	0.2	0.4	
267	土坑 1 下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.7	1.2	0.3	0.8	
268	土坑 1 上部	石鏃	姫島産黒曜石	2.8	1.8	0.5	1.9	
269	土坑 1 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.5	0.3	0.6	
270	土坑 1 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.6	0.3	0.6	
271	土坑 1 下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.5	1.9	0.5	1.8	
272	土坑 1 下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.5	1.2	0.3	0.6	
273	土坑 1 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.2	0.2	0.3	
274	土坑 1 上部	磨製石斧	蛇紋岩	11.9	5.1	2.7	235.8	
275	土坑 1 下部	磨製石斧	蛇紋岩	9.4	5.3	2.1	159.1	
276	土坑 1 上部	打製石斧	結晶片岩	7.9	6.2	1.1	108.6	
277	土坑 1 上部	打製石斧	結晶片岩	8.2	5.2	0.9	65.2	側縁摩滅
278	土坑 1 下部	石錘		3.8	3.6	2.4	37.1	
279	土坑 1 上部	くぼみ石	玄武岩質	10.4	7.6	3.9	366.6	
280	土坑 2 上部	石鏃	サヌカイト	1.9	1.2	0.3	0.7	
281	土坑 2 上部	石鏃	姫島産黒曜石	2.2	1.5	0.4	1.5	
282	土坑 2 下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.5	1.6	0.3	0.8	
283	土坑 2 上部	石錘		6.3	5.6	2.6	93.8	
284	土坑 2 上部	磨石		13.3	16.1	8.1	2.4kg	
285	土坑 2 上部	くぼみ石		10.9	11.3	5.7	981.6	
286	土坑 2 下部	台石		25.7	23.4	8.9	8.1kg	
287	土坑 3	石鏃	姫島産黒曜石	3.5	1.9	0.5	2.4	
288	土坑 3	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.3	0.3	0.7	
289	土坑 4 下部	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	1.3	0.3	1.1	
290	土坑 5	石鏃	姫島産黒曜石	2.5	1.4	0.4	1.2	
291	土坑 4	使用痕ある剥片	姫島産黒曜石	7.4	1.7	0.8	8.3	
292	土坑 4	打製石斧	結晶片岩	11.7	7.1	1.3	167.2	基端部擦れ摩滅
293	土坑 3	くぼみ石		8.8	5.9	2.8	177.8	
294	土坑 4	石錘		5.1	4.2	1.9	67.2	
295	土坑 5	台石	砂岩	50.4	37.2	17.2	60.4kg	
296	土坑 6 下部	石鏃	サヌカイト	2.1	1.2	0.3	0.6	
297	土坑 6 上部	石鏃	サヌカイト	2.0	2.1	0.3	0.6	
298	土坑 6 下部	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.2	0.3	0.3	
299	土坑 6 上部	石錘		4.4	4.6	1.1	31.6	
300	土坑 6 下部	磨製石斧	蛇紋岩	8.0	5.2	1.4	117.5	片刃
301	土坑 6 下部	磨製石斧	蛇紋岩	9.2	6.1	3.1	286.3	両刃
302	土坑 6 上部	台石	砂岩	37.9	29.3	13.9	19.8kg	
303	溝 1	磨製石斧	蛇紋岩	7.2	4.6	1.1	55.2	片刃
304	溝 1	磨製石斧	蛇紋岩	10.4	6.5	3.3	342.4	
305	溝 1	磨石		7.3	4.1	2.4	113.6	側面抉り
306	溝 1	くぼみ石		14.2	9.7	5.1	854.7	
307	甕棺 1	スクレイパー？	結晶片岩	7.2	9.3	1.3	111.4	
308	ⅦD区包含層	石鏃	腰岳産黒曜石	1.3	1.2	0.3	0.3	
309	ⅧE区包含層	石鏃	腰岳産黒曜石	1.5	1.4	0.3	0.5	
310	S-1（ⅥF区包含層）	石鏃	腰岳産黒曜石	1.3	1.5	0.3	0.4	
311	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.3	0.3	0.3	
312	ⅤE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.2	0.3	0.3	
313	ⅤE区包含層	石鏃	腰岳産黒曜石	2.4	1.3	0.3	1.1	
314	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.5	0.2	0.3	
315	Pit-113（ⅤE区）	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.6	0.3	0.5	
316	S-42（ⅤF区包含層）	石鏃	腰岳産黒曜石	2.1	1.2	0.3	0.6	
317	ⅦD区包含層	石鏃	腰岳産黒曜石	1.9	1.4	0.3	0.7	
318	S-22（ⅤF区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.5	0.3	0.3	
319	ⅤE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.3	0.3	0.5	
320	ⅤE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.5	0.3	0.6	
321	ⅤE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.1	0.3	0.6	
322	ⅤE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.9	0.3	0.7	
323	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.3	0.3	0.6	
324	S-4（ⅤF区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	1.4	0.9	0.2	0.3	
325	S-37（ⅤF区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.5	0.3	0.4	
326	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.3	0.3	0.6	
327	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.5	0.3	0.6	
328	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.3	0.3	0.6	
329	ⅣE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.9	0.3	0.6	
330	ⅣE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.1	0.3	0.4	
331	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.2	0.3	0.4	
332	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.3	0.5	0.8	
333	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.3	0.3	0.5	

第 31 表　石器観察表. 6

番号	出土位置	器種	石質	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	備考
334	ⅤF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	0.8	0.4	0.4	
335	Pit-140（ⅣE区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.2	0.9	0.3	0.3	
336	ⅦD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.4	0.3	0.3	
337	S-38（E区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.9	0.4	0.6	
338	Pit-125（ⅤD区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	1.1	0.2	0.4	
339	ⅧD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.1	0.3	0.4	
340	ⅣF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.3	0.3	0.4	
341	ⅦE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.5	0.3	0.7	
342	Pit-9（ⅤE）区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.2	1.4	0.3	0.9	
343	Pit-113（ⅥD区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.4	1.6	0.3	1.1	
344	ⅧD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	1.3	0.3	0.9	
345	ⅧD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.4	0.5	1.2	
346	ⅦC区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	1.4	0.3	0.9	
347	ⅥE区包含層	石鏃	腰岳産黒曜石	2.4	1.1	0.3	0.5	
348	ⅦD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.1	0.5	1.1	
349	ⅥE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.3	0.3	0.5	
350	ⅦD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.3	0.2	0.3	
351	ⅥE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.3	0.2	0.4	
352	ⅦD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.2	0.2	0.4	
353	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.2	0.4	0.9	
354	ⅥD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.9	0.4	1.2	
355	ⅦE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.1	0.3	0.4	
356	ⅤE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.1	1.1	0.2	0.2	
357	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.5	0.3	0.5	
358	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.5	1.4	0.3	0.6	
359	Pit-274（ⅧD区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.3	0.3	0.8	
360	ⅦD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.6	0.3	0.6	
361	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.5	0.3	0.5	
362	ⅦE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.4	0.3	0.5	
363	ⅥE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.4	0.3	0.4	
364	ⅥD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.2	1.7	0.4	1.3	
365	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.5	0.4	1.2	
366	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.2	0.3	0.9	
367	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.5	0.3	0.8	
368	ⅤE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.4	0.2	0.5	
369	ⅥD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.2	0.3	0.5	
370	S-39（ⅤE区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	1.9	1.3	0.4	0.7	
371	ⅥE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	1.5	0.6	0.6	
372	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.9	0.3	1.1	
373	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.5	1.7	0.3	0.7	
374	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.3	0.3	0.8	
375	ⅥC区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.6	1.2	0.3	0.9	
376	S-8（ⅤF区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.4	1.5	0.4	0.8	
377	Pit-252（ⅧD区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.6	1.3	0.3	0.8	
378	ⅧD区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.7	1.4	0.3	1.2	
379	ⅣE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	1.4	0.5	1.4	
380	ⅧE区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.9	1.6	0.3	1.1	
381	Pit-250（ⅧD区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	1.4	0.3	0.8	
382	S-5（ⅤF区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.2	1.1	0.3	0.5	
383	ⅥB区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.2	2.1	0.3	0.9	
384	S-14（ⅤF区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.7	2.1	0.8	2.8	
385	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	3.4	2.3	0.6	3.6	
386	Pit-15（ⅤE区包含層）	石鏃	姫島産黒曜石	2.3	2.2	0.4	1.8	
387	ⅦF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	3.2	1.8	0.5	3.3	
388	ⅥF区包含層	石鏃	姫島産黒曜石	2.8	1.9	0.7	3.2	
389	ⅤF区包含層	石鏃	サヌカイト	1.5	1.4	0.2	0.2	
390	ⅤF区包含層	石鏃	サヌカイト	1.3	1.4	0.3	0.4	
391	ⅤF区包含層	石鏃	サヌカイト	1.5	1.3	0.3	0.5	
392	ⅦD区包含層	石鏃	サヌカイト	1.7	1.8	0.3	0.5	
393	ⅧE区包含層	石鏃	サヌカイト	1.6	1.2	0.4	0.9	
394	ⅤE区包含層	石鏃	サヌカイト	1.6	1.2	0.3	0.5	
395	Pit-117（ⅥD区包含層）	石鏃	サヌカイト	1.9	1.1	0.3	0.7	
396	Pit-9（ⅤE区包含層）	石鏃	サヌカイト	2.1	1.5	0.3	0.8	
397	ⅥF区包含層	石鏃	サヌカイト	2.1	1.4	0.3	0.9	
398	Pit-337（ⅤE区包含層）	石鏃	サヌカイト	2.1	1.8	0.4	1.2	
399	Pit-17（ⅤE区包含層）	石鏃	サヌカイト	2.3	1.4	0.2	0.6	
400	ⅥF区包含層	石鏃	サヌカイト	2.4	1.3	0.4	1.0	
401	ⅤF区包含層	石鏃	サヌカイト	2.7	1.8	0.3	1.2	

第 32 表　石器観察表. 7

番号	出土位置	器種	石質	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	備考
402	S-16（ⅤF区包含層）	石鏃	サヌカイト	2.5	1.7	0.5	1.2	
403	ⅢD区包含層	石鏃	サヌカイト	3.3	2.2	0.3	1.9	
404	ⅧE区包含層	楔形石器	姫島産黒曜石	2.2	1.6	0.6	2.9	
405	ⅤE区包含層	石錐	姫島産黒曜石	4.0	1.7	0.8	5.2	
406	Pit-692（ⅥE区包含層）	二次加工ある剥片	姫島産黒曜石	4.8	2.9	0.8	13.2	
407	ⅥG区包含層	スクレイパー	姫島産黒曜石	5.8	2.1	0.9	8.9	
408	Pit-302（ⅧD区包含層）	二次加工ある剥片	姫島産黒曜石	3.3	1.1	0.3	1.3	
409	ⅥE区包含層	使用痕ある剥片	腰岳産黒曜石	8.1	3.1	0.8	21.1	
410	Pit-424（ⅥF区包含層）		姫島産黒曜石	4.5	1.7	0.8	7.4	
411	ⅤE区包含層	石核	姫島産黒曜石	5.1	2.3	1.3	15.1	
412	ⅥE区包含層	スクレイパー	サヌカイト	3.6	7.2	0.9	18.6	
413	ⅥF区包含層	スクレイパー	サヌカイト	5.7	7.6	1.4	73.1	
414	Pit-48（ⅤE区包含層）	スクレイパー	サヌカイト	3.7	4.1	0.8	10.8	
415	ⅥG区包含層	有溝石錘		5.5	3.7	1.3	35.6	
416	ⅧD区包含層	石錘		8.7	4.2	1.4	55.6	
417	ⅥD区包含層	石錘		8.2	3.3	2.3	63.4	
418	ⅥF区包含層	石錘		7.6	5.1	1.8	99.8	
419	Pit-50（ⅣE区包含層）	石錘		7.3	5.2	0.9	50.7	
420	ⅧD区包含層	石錘		4.5	3.9	1.5	31.7	
421	Pit-2（ⅥF区包含層）	石錘		4.4	3.4	1.5	39.2	
422	ⅥF区包含層	石錘		4.1	3.9	1.1	29.8	
423	ⅧD区包含層	石錘		3.4	3.1	1.6	21.7	
424	Pit-139（ⅣF区包含層）	石錘		4.2	1.8	1.1	18.1	
425	ⅦF区包含層	石錘		6.5	3.6	1.2	41.6	
426	Pit-105（ⅥE区包含層）	石錘		5.8	4.3	1.1	37.7	
427	ⅧD区包含層	石錘		4.7	5.1	1.9	70.3	
428	Pit-43（ⅣE区包含層）	石錘		4.6	4.2	1.7	37.2	
429	ⅦE区包含層	石錘		5.5	4.8	1.4	47.4	
430	ⅥF区包含層	石錘		5.5	4.7	1.6	68.6	
431	ⅧD区包含層	石錘		6.3	4.5	2.0	73.1	
432	ⅤF区包含層	石錘		7.1	5.7	3.1	156.8	
433	ⅥE区包含層	磨製石斧	蛇紋岩	8.7	1.8	0.8	22.2	片刃
434	ⅤD区包含層	磨製石斧	蛇紋岩	10.2	2.3	1.2	48.6	片刃
435	ⅥE区包含層	磨製石斧	蛇紋岩	12.2	3.8	2.5	195.8	
436	ⅥG区包含層	磨製石斧	蛇紋岩	4.6	4.3	0.8	25.1	片刃
437	ⅧE区包含層	磨製石斧	蛇紋岩	11.0	3.8	1.4	73.1	
438	ⅤF区包含層	磨製石斧	蛇紋岩	11.2	4.8	1.3	116.1	片刃
439	ⅥE区包含層	磨製石斧	蛇紋岩	10.8	3.8	1.5	99.6	片刃
440	Pit-584（ⅧD区包含層）	磨製石斧	蛇紋岩	11.7	4.6	2.5	146.1	未製品？
441	ⅧE区包含層	磨製石斧	玄武岩質	10.7	4.4	2.6	164.7	
442	ⅤD区包含層	磨製石斧	蛇紋岩	11.3	5.2	2.1	217.7	
443	ⅤF区包含層	打製石斧	結晶片岩	10.8	4.8	1.1	75.4	
444	ⅤD区包含層	打製石斧	結晶片岩	10.4	5.1	1.1	78.9	側縁摩滅
445	ⅤF区包含層	打製石斧	結晶片岩	9.2	5.4	0.9	90.7	側縁摩滅
446	ⅧD区包含層	打製石斧	結晶片岩	16.1	6.2	0.8	116.1	側縁摩滅
447	ⅥF区包含層	打製石斧	結晶片岩	15.7	6.1	1.4	185.5	側縁摩滅
448	ⅧD区包含層	打製石斧	結晶片岩	10.7	8.1	1.2	143.3	
449	ⅥD区包含層	打製石斧	結晶片岩	7.4	4.6	0.8	61.6	
450	ⅣD区包含層	打製石斧	結晶片岩	11.5	7.2	1.3	146.1	
451	Pit-23（ⅤF区包含層）	打製石斧	結晶片岩	9.4	5.2	1.4	108.1	側縁摩滅
452	ⅤE区包含層	打製石斧	結晶片岩	18.3	4.5	1.5	190.1	側縁摩滅　刃部研磨
453	ⅤF区包含層	くぼみ石		9.6	5.7	2.3	155.3	
454	ⅣE区包含層	敲石		5.6	5.9	5.8	191.2	
455	ⅢD区包含層	くぼみ石		6.7	6.8	4.1	221.3	
456	ⅤF区包含層	くぼみ石		9.8	9.9	3.5	377.6	
457	Pit-184（ⅤF区包含層）	台石		34.5	22.4	4.1	5.4kg	
458	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.2	1.3	0.3	0.4	
459	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	1.3	0.2	0.4	
460	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.3	0.9	0.2	0.2	
461	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.4	0.3	0.5	
462	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.6	1.2	0.3	0.4	
463	表採	石鏃	腰岳産黒曜石	2.1	1.2	0.3	0.7	
464	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.1	0.3	0.6	
465	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.4	0.3	0.7	
466	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.7	1.5	0.4	0.9	
467	表採	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.5	0.2	0.6	
468	表採	石鏃	姫島産黒曜石	2.1	1.3	0.4	0.8	
469	表採	石鏃	姫島産黒曜石	1.8	1.6	0.3	0.6	

第 33 表　石器観察表. 8

番号	出土位置	器種	石質	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	備考
470	表採	石鏃	サヌカイト	1.2	1.6	0.3	0.6	
471	表採	石鏃	サヌカイト	1.7	1.9	0.3	0.5	
472	表採	石鏃	結晶片岩	2.9	2.1	0.4	1.8	
473	表採	剝片	姫島産黒曜石	4.9	2.4	0.4	4.8	
474	表採	石錘		5.2	5.8	1.1	42.1	
475	表採	石錘		3.6	3.3	1.7	21.4	
476	表採	台石		9.1	12.1	3.1	523.8	
477	表採	台石		23.3	16.8	6.6	2.6kg	
478	表採	磨製石斧	蛇紋岩	4.6	4.9	1.9	72.3	
479	表採	磨製石斧	蛇紋岩	9.6	5.5	2.5	183.2	
480	表採	打製石斧	結晶片岩	10.7	6.2	1.9	172.2	側縁摩滅
481	表採	打製石斧	結晶片岩	12.2	5.6	2.1	191.4	
482	表採	打製石斧	結晶片岩	10.1	5.1	0.7	57.8	
483	表採	打製石斧	結晶片岩	13.1	7.2	1.3	213.5	側縁摩滅
484	表採	打製石斧	結晶片岩	12.8	5.9	1.3	169.1	側縁摩滅
485	表採	台石		50.1	52.8	14.6	36.3kg	

第 34 表　土製円盤観察表. 1

番号	登録	出土地点	縦cm	横cm	厚さcm	重量g	備考
1	18A	ⅧD区包含層	4.2	4.2	0.9	17.7	
2	275	ⅧD区包含層	4.0	4.3	0.8	17.1	福田 K2 式
3	235	ⅥF区包含層	3.5	3.9	1.0	14.7	沈線文→RL
4	359	Pit-133	3.6	3.3	0.8	16.3	穿孔中途
5	72	住5 2層	4.9	4.9	1.0	28.7	
6	366	Pit-285	3.4	3.4	0.7	12.2	
7	36	住5 床面	4.0	4.6	0.8	17.0	
8	221	ⅥF区包含層	3.8	3.8	1.0	16.1	
9	52	住5 1層	5.0	5.1	1.0	30.3	
10	12A	住7	4.6	5.0	0.7	20.9	巻貝疑似縄紋
11	272	ⅧD区包含層	3.1	2.8	0.8	8.3	
12	367	Pit-285	3.8	3.7	0.5	10.5	
13	187	Pit-122	5.3	5.9	1.0	34.4	
14	78	住5 1層	4.2	4.1	1.0	27.9	沈線文→RL
15	8	住1	4.6	4.0	0.9	17.9	
16	152	住7	4.1	3.7	1.0	17.4	
17	213	ⅥG区包含層	5.5	5.8	1.0	41.6	
18	9	住1	3.3	3.7	0.9	11.4	
19	3	住1	3.8	4.2	1.1	20.3	
20	7	住1	4.3	5.1	1.0	23.8	
21	1	住1	5.0	5.3	1.2	34.8	
22	4	住1	5.6	4.6	1.0	36.9	
23	16	住3	6.8	7.0	0.9	43.0	
24	14	住3	4.5	4.7	1.2	26.7	
25	15	住3	4.2	4.3	0.8	19.8	
26	43	住3	4.7	4.5	0.9	19.5	
27	13	住3	4.2	4.4	1.0	22.0	
28	17	住4	5.0	5.1	1.0	28.5	
29	18	住4	3.9	4.6	0.6	12.7	
30	20	住4	4.3	3.8	1.1	18.1	
31	19	住4	4.4	4.8	1.1	25.0	
32	22	住4	2.6	3.0	0.7	5.7	
33	85	住5 1層	4.7	4.7	0.7	21.5	
34	57	住5 1層	4.6	3.8	0.8	17.8	
35	54	住5 1層	5.5	5.8	1.3	52.0	
36	53	住5 1層	4.3	4.0	0.8	16.9	
37	82	住5 1層	3.8	3.6	0.8	12.2	
38	84	住5 1層	4.5	4.2	0.8	18.1	
39	62	住5 2・3層	4.8	5.2	0.8	21.5	
40	68	住5 2・3層	5.0	4.0	0.8	17.2	
41	76	住5 2・3層	5.1	5.5	0.9	42.9	
42	55	住5 2・3層	5.1	5.1	1.1	34.1	
43	31	住5 2・3層	4.8	5.0	0.9	27.4	
44	38	住5 2・3層	4.4	4.6	0.8	20.8	
45	89	住5 3層下部	5.2	5.1	0.9	26.8	
46	64	住5 3層下部	5.3	5.4	0.8	25.8	
47	50	住5 3層下部	4.9	5.2	1.2	31.6	

第 35 表　土製円盤観察表. 2

番号	登録	出　土　地　点	縦cm	横cm	厚さcm	重量g	備　　考
48	35	住5 3層下部	4.8	5.4	1.0	33.8	
49	74	住5 3層下部	5.5	5.3	0.9	29.2	
50	51	住5 4層	4.5	4.6	1.1	24.5	
51	93	住5 4層	4.4	4.6	1.2	23.7	
52	34	住5 床面	4.8	4.7	0.8	22.2	
53	67	住5 床面	5.0	4.6	0.9	28.6	
54	59	住5 床面	4.9	4.1	1.2	29.7	
55	56	住5 床面	4.4	4.2	0.9	19.6	
56	161	住6	4.8	3.9	0.8	19.0	
57	109	住6	3.2	3.8	1.1	16.4	
58	132	住6	3.5	3.3	0.9	12.4	
59	112	住7	3.6	3.4	0.8	12.6	
60	113	住7	3.2	3.1	0.9	10.6	
61	141	住7	3.3	3.5	0.7	10.2	
62	142	住7	3.5	3.4	0.8	11.6	
63	150	住7	4.5	4.3	1.0	24.6	
64	140	住7	4.5	4.9	1.0	24.3	
65	111	住7	4.7	4.7	0.8	26.2	
66	114	住7	4.8	4.1	1.1	23.7	
67	143	住7	4.2	4.5	0.6	15.6	
68	154	住7	4.4	4.3	0.8	18.7	
69	10	住10	4.9	4.8	1.0	25.5	
70	166	住10	4.2	4.8	0.9	20.4	
71	12	住10	5.3	5.4	0.9	28.1	
72	184	住10	5.2	5.0	0.8	31.3	
73	164	住10	4.2	4.7	0.8	19.2	
74	181	住10	4.1	4.2	0.8	13.1	穿孔中途
75	127	土坑4	4.3	4.0	1.0	23.6	
76	319	土坑1	4.2	4.0	0.8	16.2	
77	389	土坑6	4.6	4.3	0.8	20.7	
78	315	土坑1	4.9	5.0	0.8	21.7	
79	322	土坑3	5.0	4.4	0.7	18.5	
80	126	土坑4	5.6	5.5	1.1	37.9	
81	337	溝1	4.4	4.6	0.7	16.2	
82	328	土坑6	4.1	4.2	0.7	15.2	
83	347	溝1	3.9	4.0	0.8	13.1	
84	346	溝1	3.9	3.6	1.1	18.9	
85	329	土坑6	3.8	4.1	0.7	13.0	
86	345	溝1	3.0	2.6	1.1	8.2	
87	363	土坑1	2.7	2.4	0.6	4.8	穿孔中途
88	253	Pit-274	2.8	2.8	0.5	4.6	
89	361	Ⅷ D区包含層	3.0	3.0	0.7	7.0	
90	237	Pit-256	2.8	2.7	0.5	4.8	
91	268	Ⅶ D区包含層	3.5	3.3	0.6	9.3	
92	260	Ⅷ D区包含層	3.3	3.3	0.7	11.6	
93	193	Ⅳ E区包含層	3.6	3.4	0.6	9.0	
94	296	Ⅷ E区包含層	3.9	3.6	0.9	14.3	
95	192	Ⅳ E区包含層	3.9	3.9	0.8	14.1	
96	286	Ⅷ D区包含層	4.1	4.1	0.8	16.4	
97	324	Ⅶ E区包含層	4.2	4.2	0.6	11.2	
98	277	Ⅷ D区包含層	3.8	3.9	0.7	11.6	
99	288	Ⅷ E区包含層	3.6	3.6	0.6	8.8	
100	120	Pit-287	3.1	3.4	0.8	9.5	
101	270	Ⅷ D区包含層	3.7	3.4	0.5	7.7	
102	273	Ⅷ D区包含層	4.3	4.6	0.6	14.5	
103	118	Ⅴ F区包含層	3.9	4.0	1.0	21.3	
104	225	Ⅵ F区包含層	5.1	4.5	0.9	25.4	
105	228	Ⅵ F区包含層	5.0	5.2	1.1	32.7	
106	117	Ⅶ D区包含層	5.1	5.3	0.8	24.3	
107	290	Ⅷ E区包含層	4.7	4.9	1.1	26.2	
		以下は図面なし					
108	37	住5 1層	4.7	4.4	0.8	19.6	
109	60	住5 1層	5.2	5.1	0.7	19.4	
110	70	住5 1層	3.3	2.8	0.7	7.9	
111	80	住5 1層	4.8	3.9	0.8	20.0	
112	81	住5 1層	3.5	3.0	0.7	9.0	
113	91	住5 1層	4.9	4.8	0.9	24.1	
114	96	住5 1層	4.5	4.6	0.8	21.6	

第 36 表　土製円盤観察表. 3

番号	登録	出土地点	縦cm	横cm	厚さcm	重量g	備考
115	108	住5 1層	5.5	4.9	1.1	37.2	
116	24	住5 2•3層	5.9	5.3	0.8	33.6	
117	25	住5 2•3層	3.5	4.2	0.7	12.8	
118	26	住5 2•3層	5.2	5.0	1.0	29.8	
119	27	住5 2•3層	4.6	5.3	1.1	28.8	
120	29	住5 2•3層	5.3	4.6	0.9	23.3	
121	33	住5 2•3層	4.5	4.3	0.4	11.6	
122	39	住5 2•3層	3.6	3.9	0.9	17.3	
123	41	住5 2•3層	3.8	4.4	0.9	17.5	
124	42	住5 2•3層	4.8	5.0	0.8	17.8	
125	45	住5 2•3層	4.6	3.9	0.9	18.7	
126	47	住5 2•3層	5.9	6.2	1.0	37.8	
127	48	住5 2•3層	3.7	4.6	0.8	16.7	
128	58	住5 2•3層	6.9	5.5	0.7	27.8	
129	61	住5 2•3層	4.5	4.8	1.2	31.0	
130	65	住5 2•3層	4.9	4.6	1.2	28.0	
131	66	住5 2•3層	3.5	3.6	0.9	13.8	
132	73	住5 2•3層	5.0	4.3	1.1	23.1	
133	77	住5 2•3層	4.8	5.5	1.2	23.5	
134	79	住5 2•3層	4.1	4.5	0.8	18.7	
135	87	住5 2•3層	3.3	3.6	0.8	10.5	
136	88	住5 2•3層	4.2	4.3	0.9	19.3	
137	94	住5 2•3層	3.8	3.3	0.7	10.7	
138	95	住5 2•3層	5.4	5.4	1.2	40.2	
139	97	住5 2•3層	3.9	3.6	0.8	14.4	
140	98	住5 2•3層	5.1	5.6	0.7	22.0	
141	99	住5 2•3層	3.7	3.6	0.9	15.3	
142	101	住5 2•3層	4.7	4.6	0.9	24.2	
143	105	住5 2•3層	5.7	5.4	0.8	32.6	
144	106	住5 2•3層	4.0	3.8	0.8	13.0	
145	107	住5 2•3層	3.3	3.4	0.6	8.6	
146	49	住5 3層下部	5.5	4.8	1.0	31.7	
147	104	住5 3層下部	4.5	4.4	1.0	24.7	
148	71	住5 4層	5.4	5.4	1.0	40.0	
149	75	住5 4層	5.3	3.8	1.0	26.3	
150	86	住5 4層	4.4	4.5	1.1	24.0	
151	23	住5 床面	4.1	4.2	1.0	20.7	
152	46	住5 床面	7.0	6.3	0.7	41.8	
153	90	住5 床面	4.4	3.8	1.0	20.3	
154	63	住5 内溝	4.4	4.9	0.8	19.2	
155	133	住6	8.4	4.4	0.7	19.3	
156	83	住7	4.0	4.0	1.1	18.7	
157	136	住7	4.6	3.4	0.7	15.1	
158	137	住7	3.3	3.0	0.6	7.4	
159	139	住7	3.0	2.8	0.9	9.6	
160	144	住7	4.7	4.0	0.9	20.9	
161	145	住7	3.2	3.9	0.7	13.2	
162	147	住7	4.4	4.0	1.1	21.3	
163	148	住7	4.8	4.8	0.9	25.3	
164	153	住7	4.0	4.1	1.2	23.5	
165	155	住7	4.5	4.0	0.9	23.6	
166	157	住7	3.7	3.5	0.8	13.7	
167	159	住7	3.1	2.8	0.6	5.7	
168	160	住7	3.8	3.6	0.7	12.4	
169	11	住10	3.4	3.4	0.6	9.3	
170	165	住10	4.3	4.2	0.7	14.9	
171	167	住10	4.5	4.9	0.7	21.3	
172	168	住10	3.6	3.6	0.8	11.1	
173	172	住10	3.4	3.6	0.7	10.0	
174	173	住10	5.4	5.2	0.9	35.2	
175	176	住10	3.3	3.8	1.0	12.9	
176	177	住10	2.9	3.2	0.6	6.4	
177	178	住10	3.7	3.8	1.1	19.7	
178	179	住10	3.4	3.4	0.8	9.8	
179	348	溝1	4.1	3.9	0.9	17.2	
180	388	土坑1	4.4	4.9	1.1	26.1	
181	325	土坑6	6.1	5.5	0.9	38.1	
182	121	Pit-287	4.1	3.7	0.7	12.4	

第 37 表　土製円盤観察表. 4

番号	登録	出　土　地　点	縦cm	横cm	厚さcm	重量g	備　　考
183	122	Pit-263	3.0	2.9	0.7	7.7	
184	124	Pit-289	4.3	4.2	0.6	15.7	
185	125	Pit-289	3.9	4.2	1.0	19.5	
186	128	Pit-263	3.8	3.3	0.8	12.7	
187	129	Pit-287	3.9	3.8	0.8	13.1	
188	130	Pit-289	2.9	3.3	0.9	12.4	
189	131	Pit-263	4.4	4.3	0.7	15.8	
190	149	Pit-55	3.8	4.4	0.9	18.0	
191	351	Pit-5	4.1	3.4	0.8	11.6	
192	354	Pit-34	4.7	4.5	0.7	18.4	
193	356	Pit-48	4.4	4.0	1.1	22.7	
194	357	Pit-109	3.8	4.0	0.9	17.5	
195	364	Pit-275	3.3	3.5	0.6	8.9	
196	365	Pit-284	3.7	3.3	0.8	10.5	
197	368	Pit-315	4.3	3.8	0.8	14.5	
198	369	Pit-327	3.1	3.1	0.8	8.5	
199	370	Pit-565	3.8	3.5	0.8	13.2	
200	371	Pit-566	4.1	4.0	0.7	13.1	
201	372	Pit-634	4.0	3.6	0.9	15.9	
202	21	VIF区包含層	3.5	3.9	0.6	9.5	
203	115	VIF区包含層	4.9	4.8	0.9	29.3	
204	119	VIID区包含層	3.6	3.7	0.9	12.8	
205	123	VIID区包含層	4.2	3.4	0.6	12.2	
206	162	VIID区包含層	4.6	4.5	0.8	19.3	
207	194	IVE区包含層	3.9	4.3	1.1	21.8	
208	196	VE区包含層	6.0	5.7	1.3	50.7	
209	197	VE区包含層	4.1	3.8	1.0	22.2	
210	198	VE区包含層	5.1	4.9	0.8	34.7	
211	199	VE区包含層	4.4	5.1	0.9	26.2	
212	200	VE区包含層	5.4	5.2	0.9	31.8	
213	201	VE区包含層	3.8	3.1	0.8	13.5	
214	202	VF区包含層	3.6	4.1	0.8	14.1	
215	203	VF区包含層	3.6	3.6	1.1	15.2	
216	204	VF区包含層	2.4	2.5	1.0	6.2	
217	207	VID区包含層	4.5	4.3	0.9	27.3	
218	209	VIG区包含層	4.7	5.4	0.8	22.8	
219	210	VIG区包含層	3.7	4.1	0.9	19.0	
220	212	VIG区包含層	4.4	5.0	1.1	32.1	
221	214	VIG区包含層	4.8	5.5	0.9	29.5	
222	216	VIF区包含層	4.0	4.0	0.8	15.5	
223	217	VIF区包含層	3.1	3.0	0.7	8.7	
224	218	VIF区包含層	4.8	4.7	1.1	24.0	
225	220	VIF区包含層	5.0	4.6	0.9	24.9	
226	224	VIF区包含層	5.2	5.8	1.1	37.1	
227	227	VIF区包含層	4.8	4.4	0.7	21.4	
228	229	VIF区包含層	4.4	4.0	0.7	18.5	
229	230	VIF区包含層	4.2	5.0	0.8	23.6	
230	231	VIF区包含層	4.2	3.5	0.9	16.0	
231	233	VIF区包含層	4.8	4.7	0.9	25.7	
232	234	VIF区包含層	4.3	5.1	0.8	21.6	
233	236	VIIE区包含層	3.4	3.0	0.8	9.8	
234	238	VIID区包含層	3.8	4.0	0.7	12.9	
235	239	VIID区包含層	4.8	4.1	0.8	17.5	
236	240	VIID区包含層	3.3	3.0	0.8	10.2	
237	244	VIIE区包含層	3.7	3.8	0.6	10.6	
238	245	VIIE区包含層	4.3	4.6	0.8	20.0	
239	246	VIIE区包含層	3.2	2.8	0.8	8.4	
240	247	VIID区包含層	4.0	3.8	0.8	13.4	
241	248	VIID区包含層	3.5	3.7	0.6	12.0	
242	249	VIID区包含層	4.9	5.0	1.0	29.5	
243	250	VIID区包含層	3.7	3.7	1.0	17.6	
244	251	VIID区包含層	4.8	4.2	0.9	19.0	
245	254	VIID区包含層	3.9	4.1	0.8	15.5	
246	256	VIID区包含層	4.7	4.2	1.0	21.4	
247	257	VIID区包含層	3.1	3.4	0.6	9.1	
248	261	VIID区包含層	2.9	3.0	0.8	8.0	
249	263	VIID区包含層	4.1	4.2	1.0	20.6	
250	264	VIID区包含層	4.0	3.4	0.8	12.4	

第 38 表　土製円盤観察表. 5

番号	登録	出土地点	縦cm	横cm	厚さcm	重量g	備考
251	265	Ⅷ D区包含層	4.0	3.3	0.8	11.7	
252	271	Ⅷ D区包含層	3.9	3.4	0.7	13.9	
253	274	Ⅷ D区包含層	4.0	4.0	0.7	14.0	
254	276	Ⅷ E区包含層	4.2	4.4	0.7	16.3	
255	278	Ⅷ E区包含層	4.0	3.9	0.7	14.2	
256	279	Ⅷ E区包含層	2.6	2.6	0.8	5.3	
257	280	Ⅷ E区包含層	4.5	5.0	0.6	14.5	
258	281	Ⅷ E区包含層	3.3	3.3	0.6	8.6	
259	282	Ⅷ E区包含層	3.6	3.1	0.6	7.6	
260	283	Ⅷ E区包含層	3.8	3.7	0.6	11.8	
261	284	Ⅷ D区包含層	3.8	4.0	0.7	12.4	
262	285	Ⅷ D区包含層	5.2	4.3	0.9	24.7	
263	287	Ⅷ C区包含層	4.1	4.3	0.7	14.0	
264	289	Ⅷ E区包含層	3.2	3.4	0.7	8.1	
265	291	Ⅷ E区包含層	4.8	3.4	0.7	12.2	
266	292	Ⅷ E区包含層	3.7	4.5	0.9	15.8	
267	294	Ⅷ E区包含層	3.1	3.1	0.6	5.4	
268	295	Ⅷ E区包含層	3.5	3.5	0.9	11.7	
269	297	Ⅷ E区包含層	3.8	4.0	0.5	10.5	
270	298	Ⅷ E区包含層	4.3	4.0	1.0	17.5	
271	300	Ⅷ E区包含層	3.1	3.4	1.0	10.8	
272	301	Ⅷ E区包含層	3.6	3.7	1.0	12.0	
273	302	Ⅷ E区包含層	3.2	3.4	0.8	10.0	
274	303	Ⅷ E区包含層	3.8	3.6	0.8	12.7	
275	307	Ⅷ E区包含層	3.9	3.6	0.7	13.7	
276	311	Ⅷ E区包含層	2.9	2.6	0.5	5.0	
277	312	Ⅷ E区包含層	4.1	3.6	1.0	18.9	
278	313	Ⅷ E区包含層	4.6	5.1	0.5	18.9	
279	314	Ⅷ E区包含層	4.3	4.1	0.8	18.3	
280	323	Ⅷ E区包含層	3.6	3.7	0.7	12.6	
281	333	Ⅷ E区包含層	3.8	3.7	0.7	12.9	
282	116	表採	3.4	3.9	1.0	14.4	
283	331	表採	4.6	4.6	0.7	18.0	
284	352	表採	4.4	4.5	0.7	16.1	
285	376	表採	3.4	3.8	0.8	12.7	
286	379	表採	3.1	3.2	0.9	9.0	
287	380	表採	3.5	3.6	0.9	14.5	
288	381	表採	3.6	3.6	1.1	15.4	
289	382	表採	3.6	3.6	0.5	7.3	
290	383	表採	4.1	3.3	0.8	12.0	
291	384	表採	4.5	5.0	1.0	24.5	
292	385	表採	4.2	3.8	0.9	15.6	

第 39 表　弥生土器観察表. 1

挿図番号	器種	時　期	出　土　地	口 径	器 高	①胴径 ②底径	胎　土	色　調	調　整	備　考
1	甕	中期前半	A区1号土坑	30.0R			細砂多 雲母、角閃石	黄茶褐色	マメツ	煤付着、二次加熱
2	甕	中期前半		28.4R			細砂多 雲母	黄茶褐色	外）ヨコナデ 内）ヨコナデ、マメツ	内面口縁部炭化物付着
3	甕	中期前半		22.4R			細砂多 角閃石、 赤褐色粒	黄褐色	マメツ	二次加熱
4	甕	中期前半					細砂多	茶褐色	ヨコナデ	二次加熱
5	甕	中 期 末					細砂多、 赤褐色粒	灰黄色	ヨコナデ	
6	甕	中期前半				② 7.0R	細砂多 赤褐色粒、 雲母、角閃石	黄茶褐色	外）ハケ目、ヨコナデ、ナデ 内）マメツ、工具痕	二次加熱、煤、赤変
7	壺	中期前半				② 8.0R	細砂多 赤褐色粒	黄茶褐色	外）マメツ 内）ミガキ、ナデ	二次加熱
8	甕	後期初頭	7号土坑	26.6R		①25.0R	細砂多 雲母、 赤褐色粒	外）黒灰褐色 橙褐色 内）灰黄褐色 暗灰褐色	外）ハケ目、マメツ 内）ナデ	二次加熱、煤、赤変
9	甕	中 期 末	8号土坑	23.8		①21.4	細砂多 雲母、角閃石 赤褐色粒	外）淡褐灰色 橙黄色 内）黄灰色 暗灰色	外）タテハケ目、ナデ、 マメツ、指圧痕 内）ナデ、マメツ	二次加熱、赤変炭化物付着
10	甕	中 期 末				①31.0R	細小砂 雲母、角閃石 赤褐色粒	外）赤褐色 内）灰黄褐色	外）ヨコミガキ、突帯3本、丹塗 内）ナデ	炭化物
11	甕	中期前半	2号土壙墓				砂 赤褐色粒、 雲母	外）灰黄褐色 内）暗黄茶褐色	ナデ	

第 40 表　弥生土器観察表. 2

挿図番号	器種	時期	出土地	口径	器高	①胴径 ②底径	胎土	色調	調整	備考
12	高杯	中期前半	2号土壙墓				小砂多 角閃石、雲母	外）黄橙色 内）黄橙色 灰黄褐色	外）マメツ、ミガキ 内）シボリ痕	
13	鉢	中期前半	2号土壙墓	11.8R			赤褐色粒、 雲母	灰黄褐色	外）ミガキ 内）ミガキ	煤
14	壺	中期前半	VI-C 4・5包含層				砂粒、雲母、角閃石、赤褐色粒	外）灰黄褐色 内）暗灰色	外）ヨコナデ、沉線 内）ヨコナデ	
15	甕	中期初頭	VI-E 13上面				小砂粒、角閃石、赤褐色粒	灰黄褐色 茶色	マメツ	内面にコゲ付着
16	甕	中期末	VI-C 4・5包含層				角閃石、赤褐色粒、雲母	白黄茶色	外）マメツ、ヨコナデ 内）マメツ	
17	甕	中期末	VI-D包含層				砂粒少、角閃石、赤褐色粒、石英	外）暗灰黄褐色 内）白黄茶色	ヨコナデ	
18	甕	後期初頭	VI-D包含層				小砂多、 雲母、石英	外）灰黄色 茶褐色 内）暗灰黄色 茶褐色	ヨコナデ	丹塗りの可能性あり
19	甕	中期末	VI-C 4・5包含層	26.6R			粗砂、赤褐色粒、黒色粒	白黄褐色	マメツ	
20	甕	中期末	VI-D包含層	23.8			砂粒少、石英、赤褐色粒	白黄褐色	外）突帯、丹塗 内）ナデ	
21	壺	中期末	排土			② 6.6	粗砂、角閃石、赤褐色粒	白黄茶色 灰色	丹塗 マメツ	内面、黄褐色茶色の付着物

中村石丸遺跡　図版

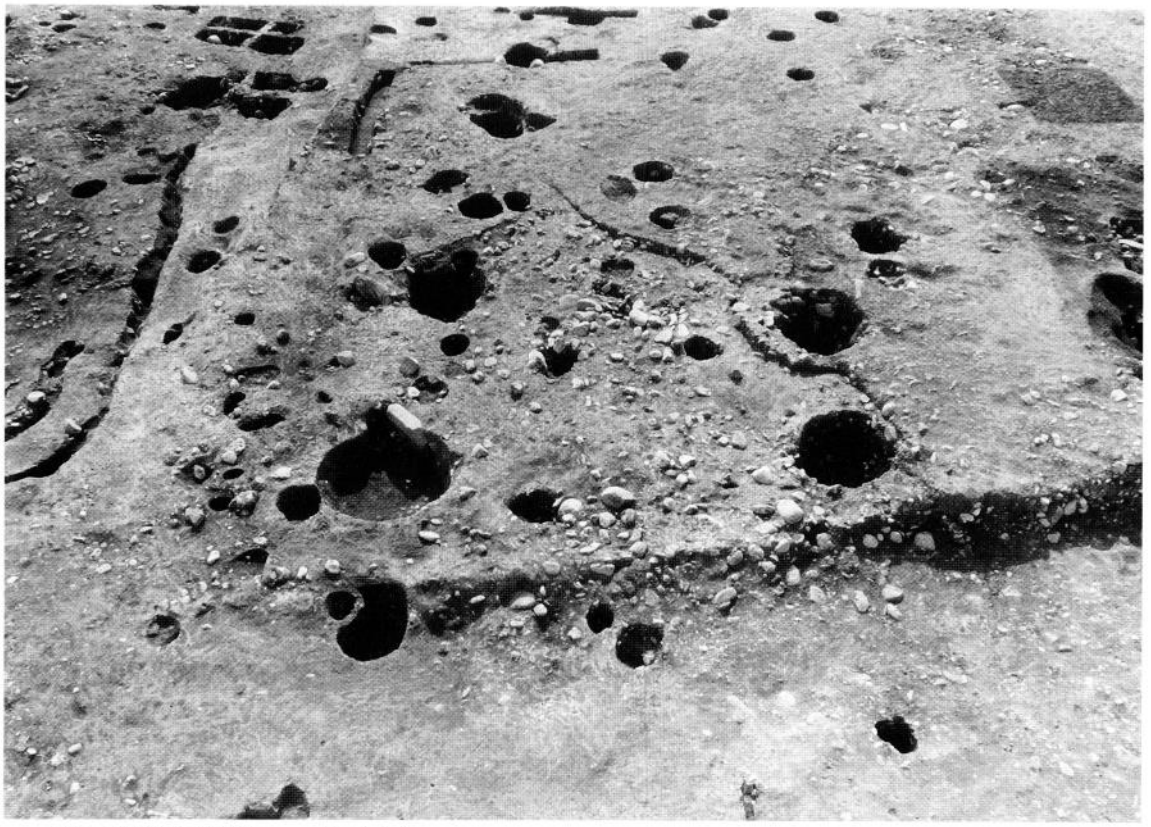
(1) 中村石丸遺跡全景．1（南東から）

(2) 中村石丸遺跡全景．2（南西から）

図版 2

(1) 中村石丸遺跡全景．3（北東から）

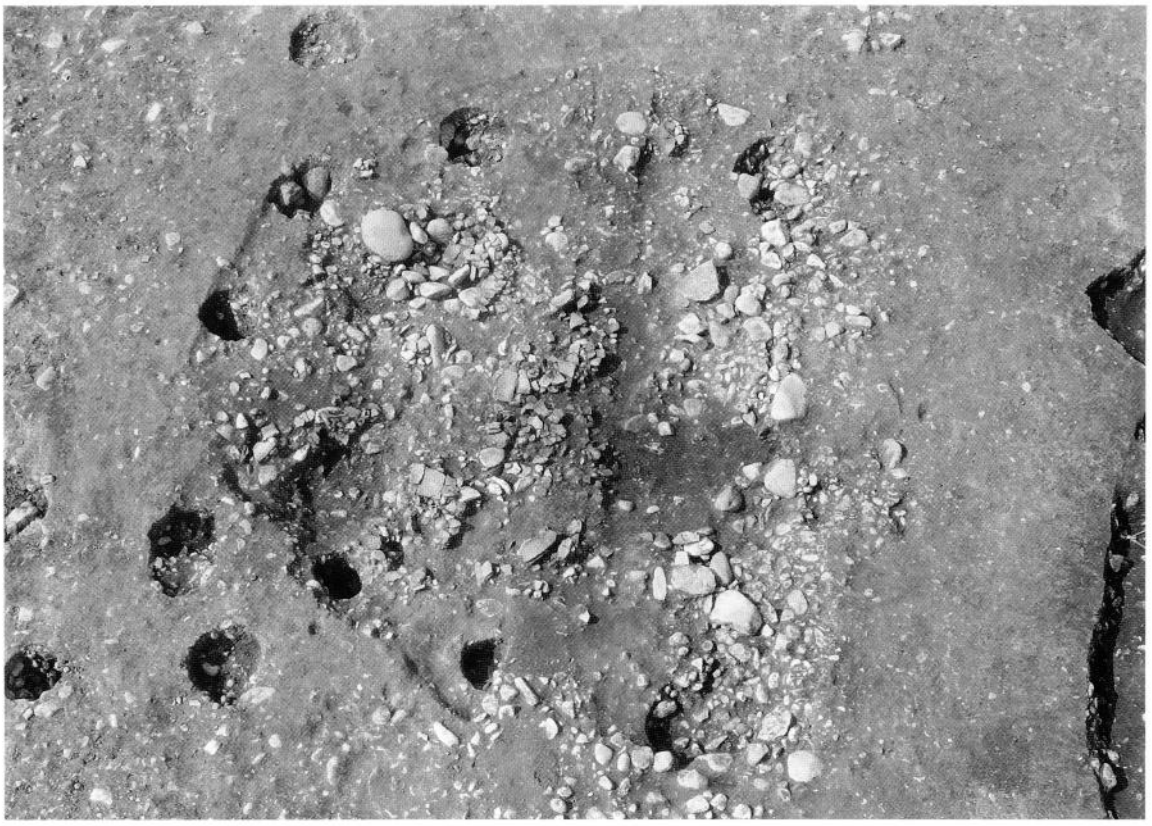
(2) 中村石丸遺跡全景．4（真上から）



(1) 1号竪穴住居跡．1（東から）

(2) 1号竪穴住居跡．2（北西から）

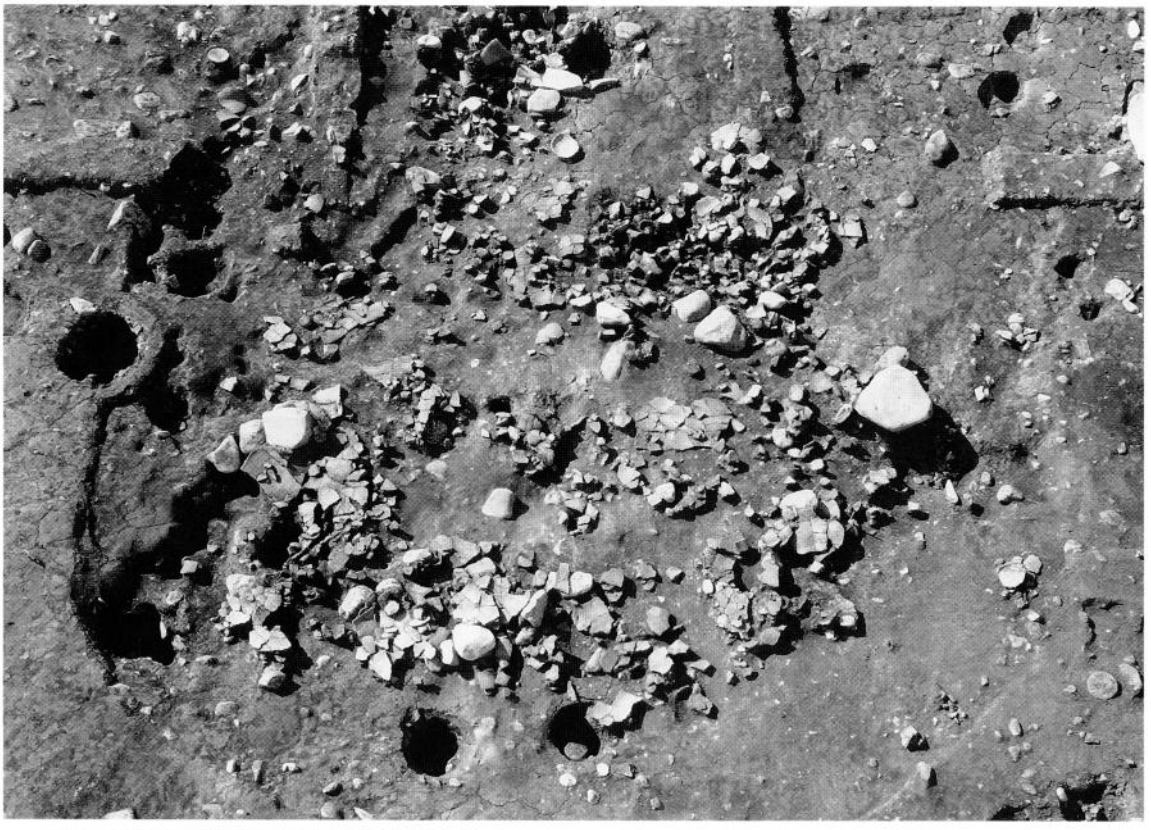
図版 4



(1) 3号竪穴住居跡（南東から）

(2) 3号竪穴住居跡炉跡（北から）

(1) 4号竪穴住居跡遺物出土状態（東から）

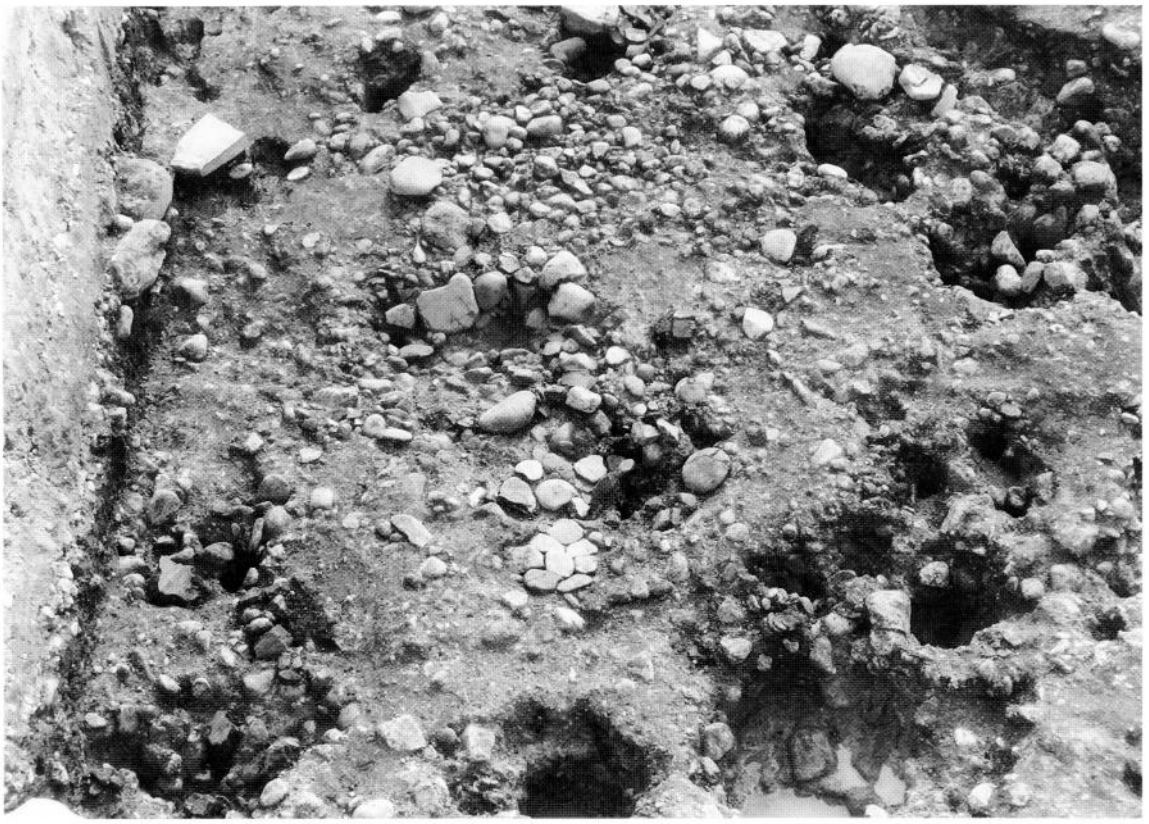


(2) 4号竪穴住居跡完掘状態（東から）

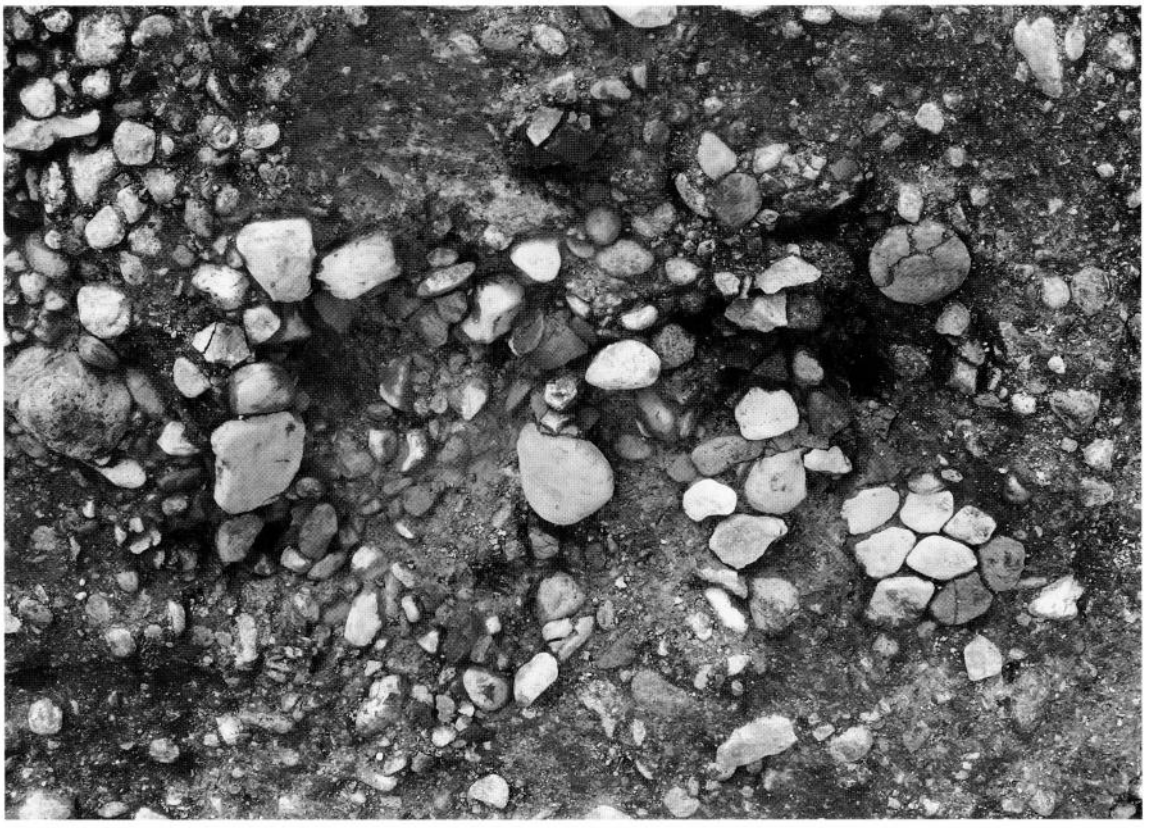
図版 6

（1）5号竪穴住居跡遺物出土状態（北から）

（2）5号竪穴住居跡完掘状態（北から）

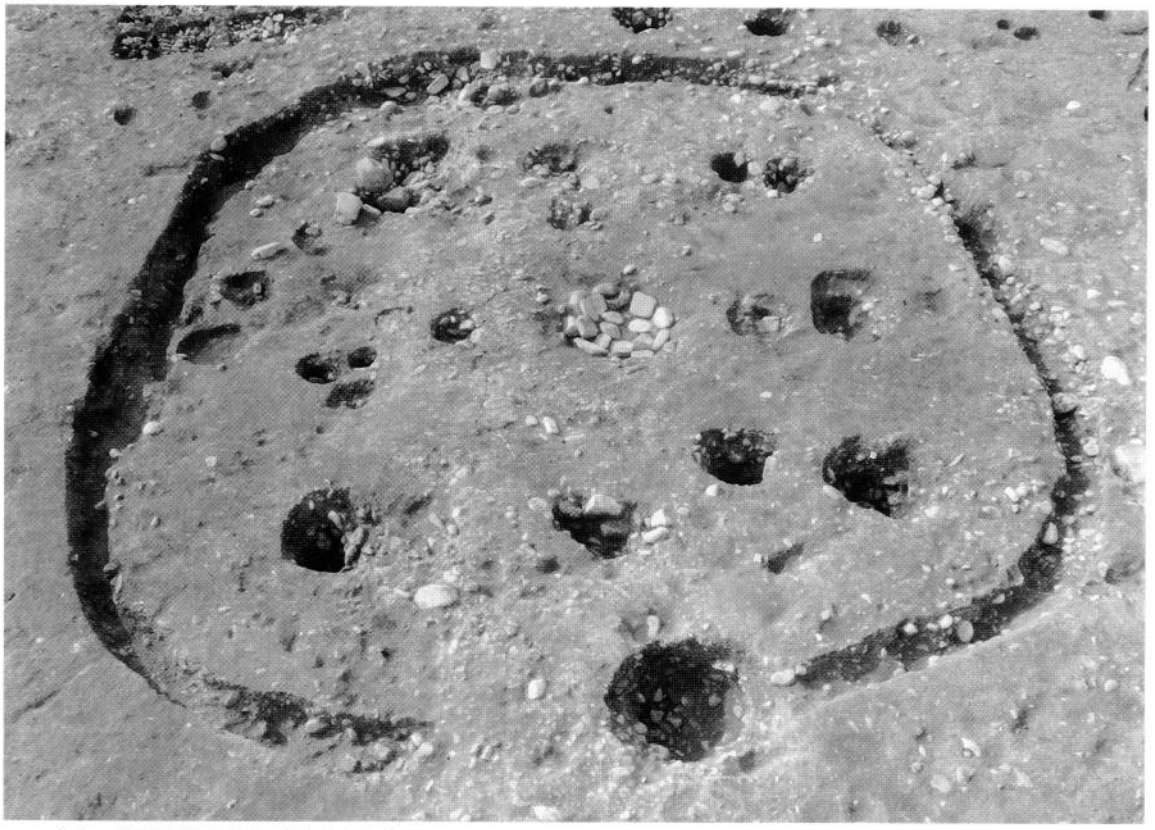


(1) 5号竪穴住居跡炉跡．1（北から）



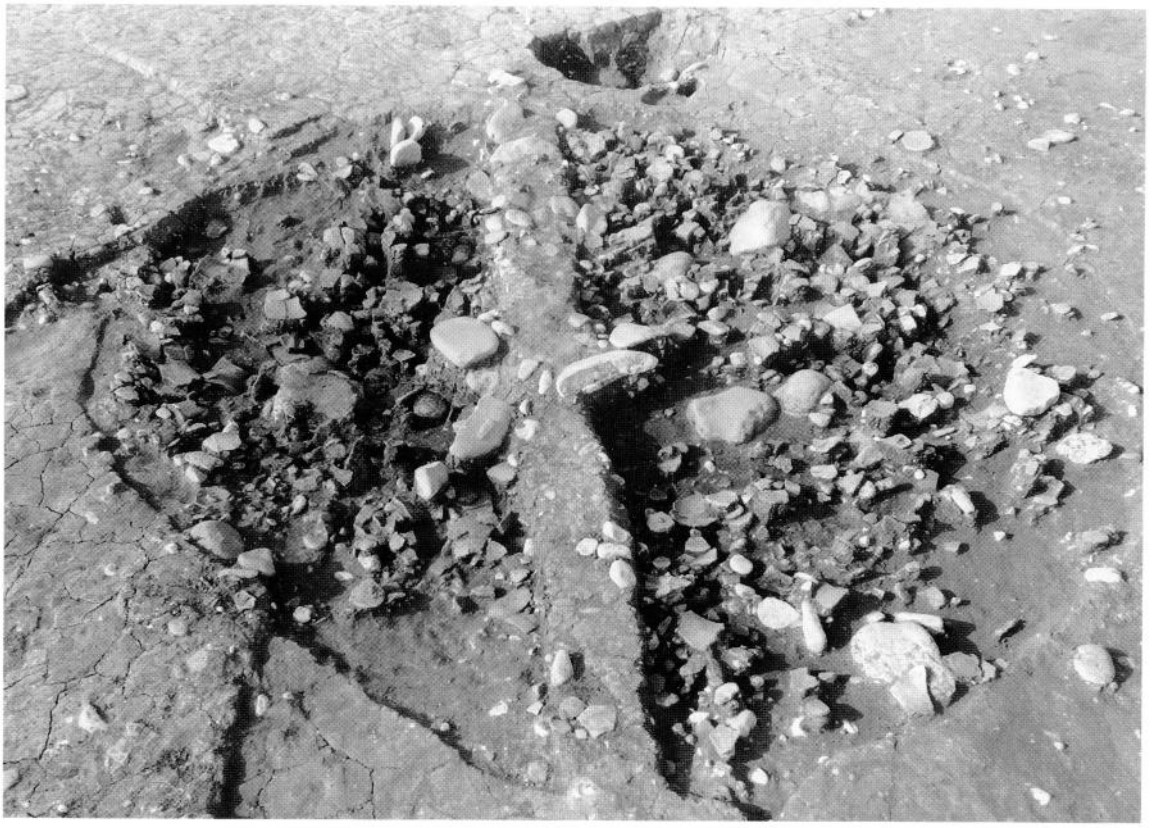
(2) 5号竪穴住居跡炉跡．2（南西から）

図版 8

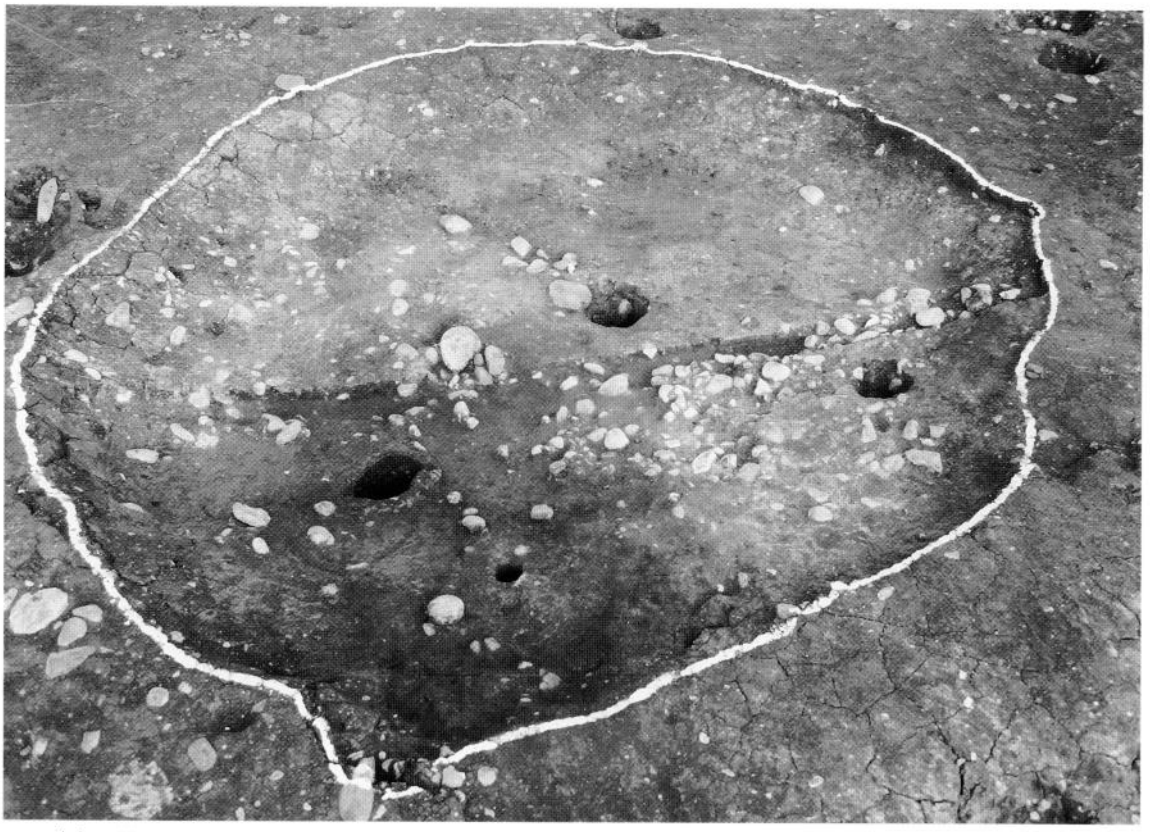


（1）6号竪穴住居跡（北東から）

（2）6号竪穴住居跡炉跡（西から）

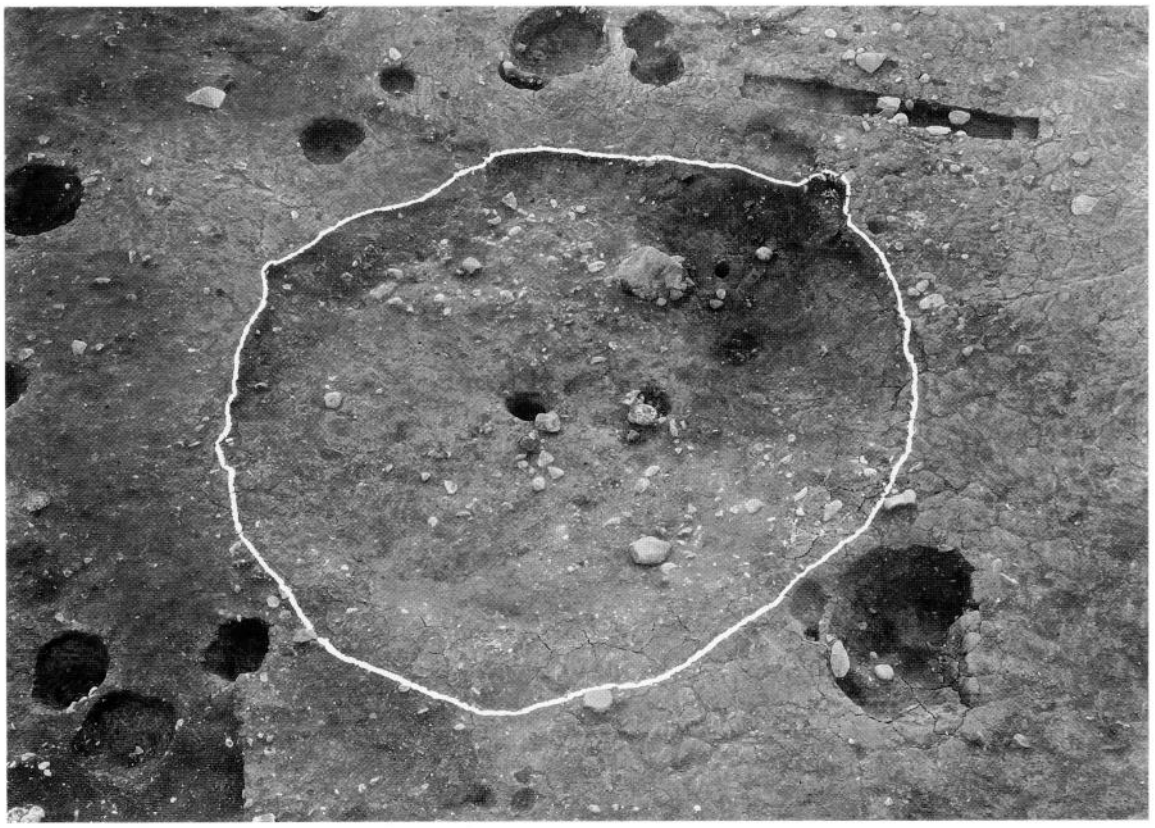


(1) 7号竪穴住居跡遺物出土状態（北西から）

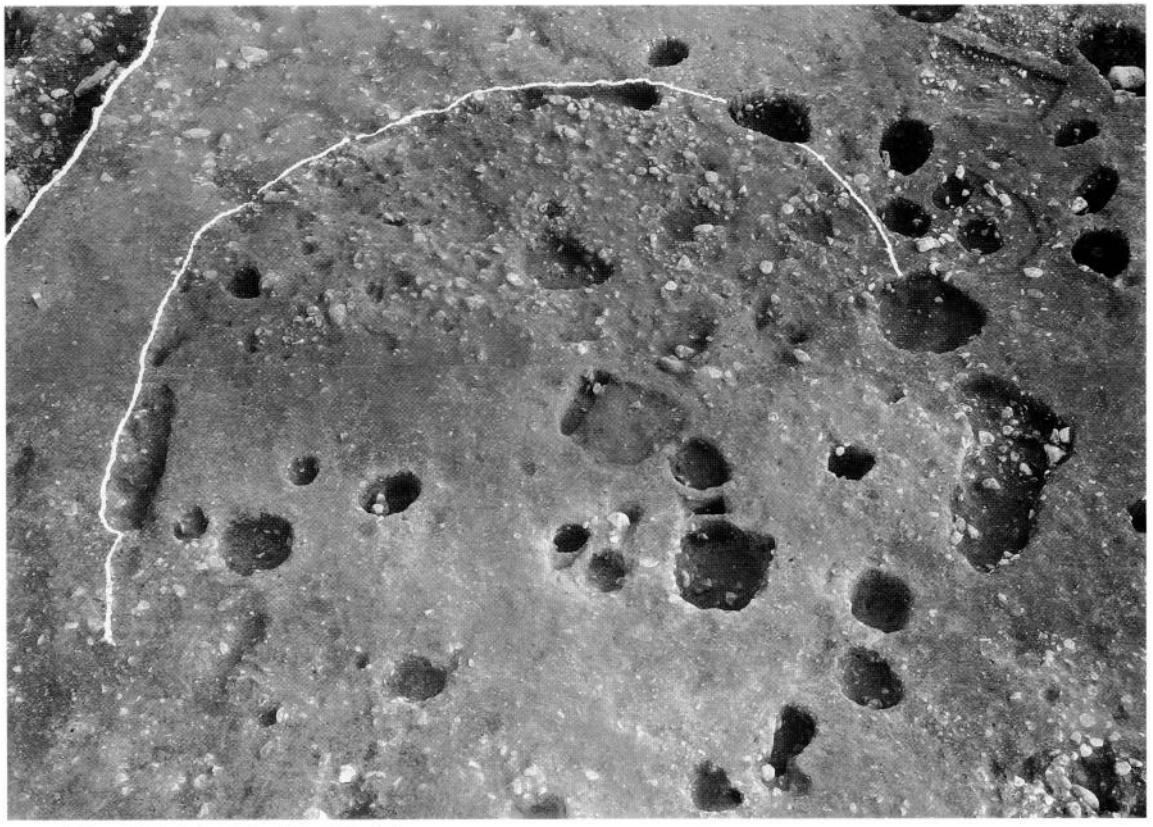


(2) 7号竪穴住居跡完掘状態（南西から）

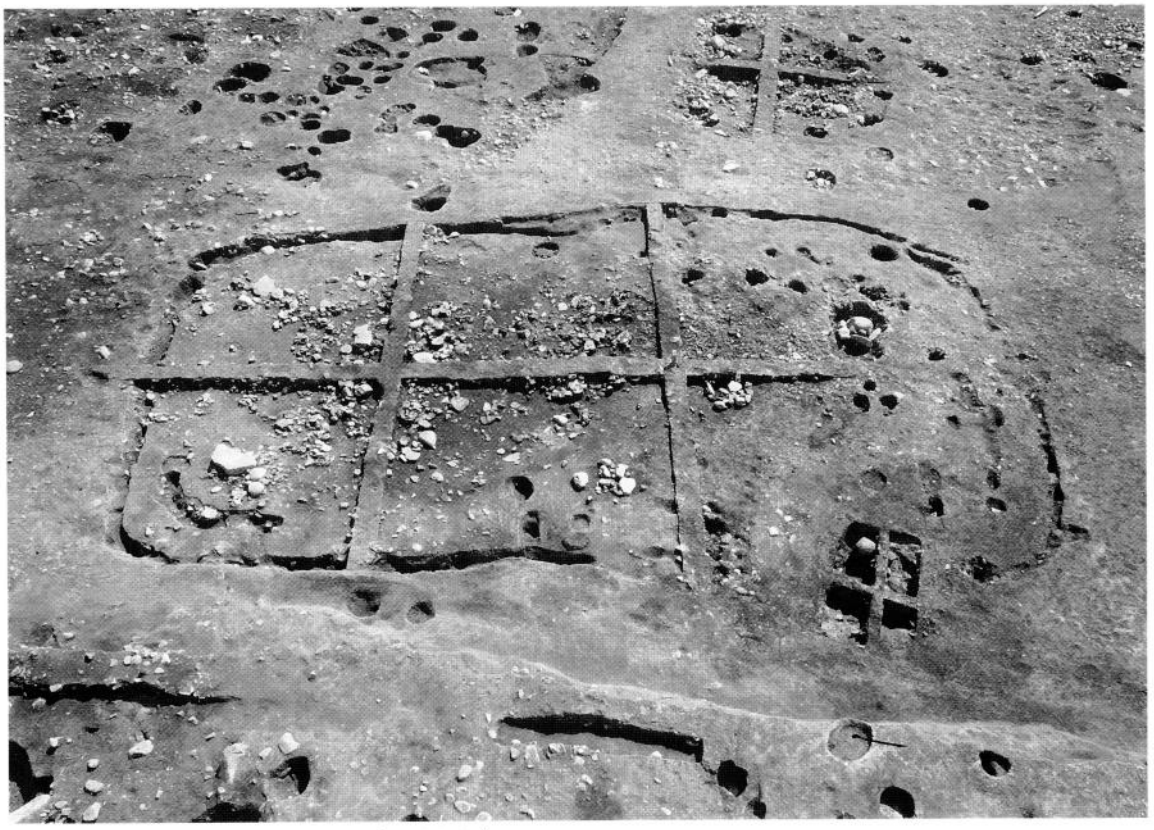
図版 10



(1) 7号竪穴住居跡完掘状態（北から）



(2) 8号竪穴住居跡（北西から）



(1) 9～12号竪穴住居跡．1（北西から）

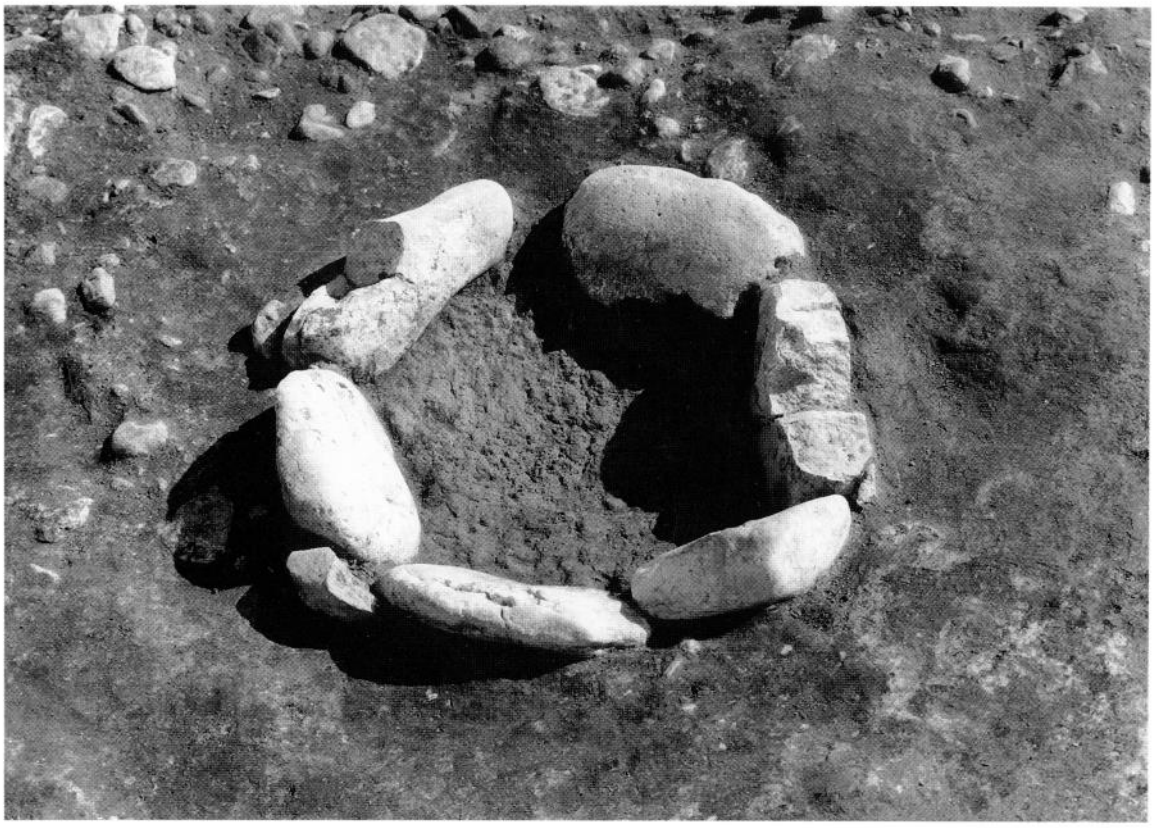
(2) 9～12号竪穴住居跡．2（北西から）

(1) 9～12号竪穴住居跡．3（北西から）

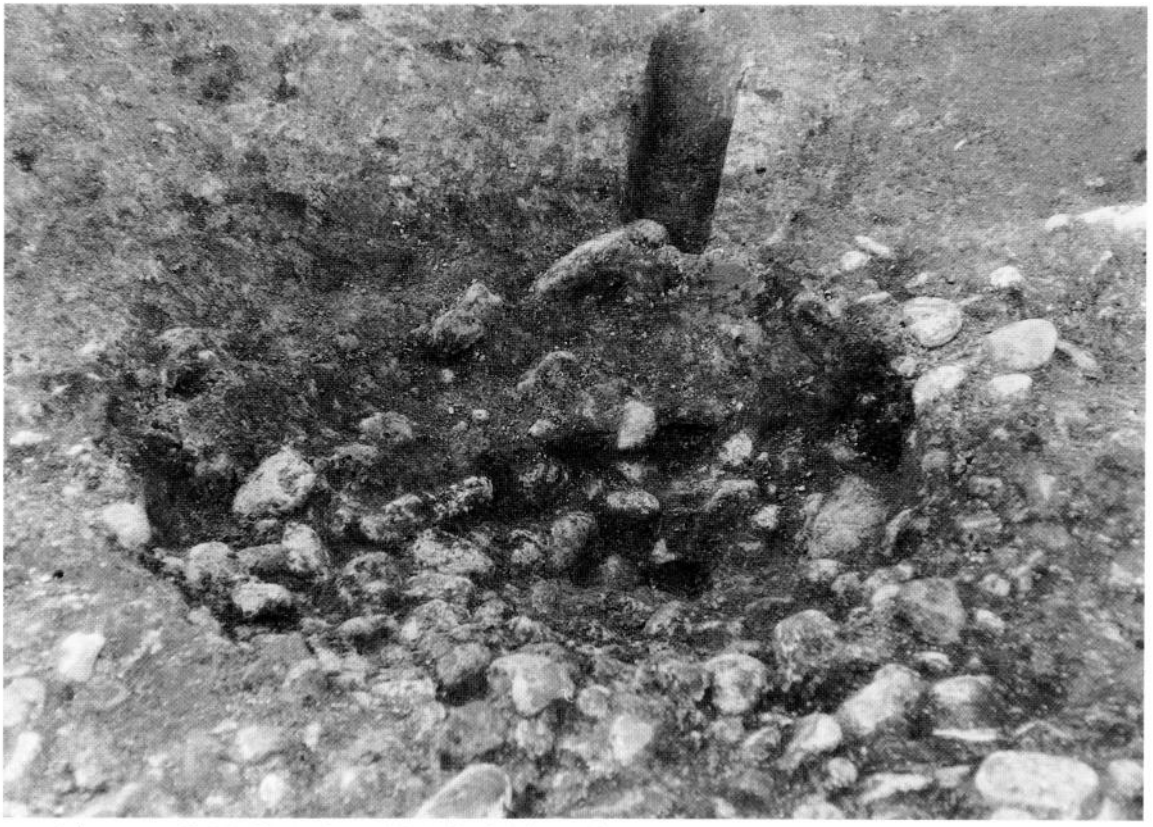
(2) 9～12号竪穴住居跡完掘状態（北西から）

（1）9号竪穴住居跡炉跡（南西から）

（2）10号竪穴住居跡炉跡（南東から）



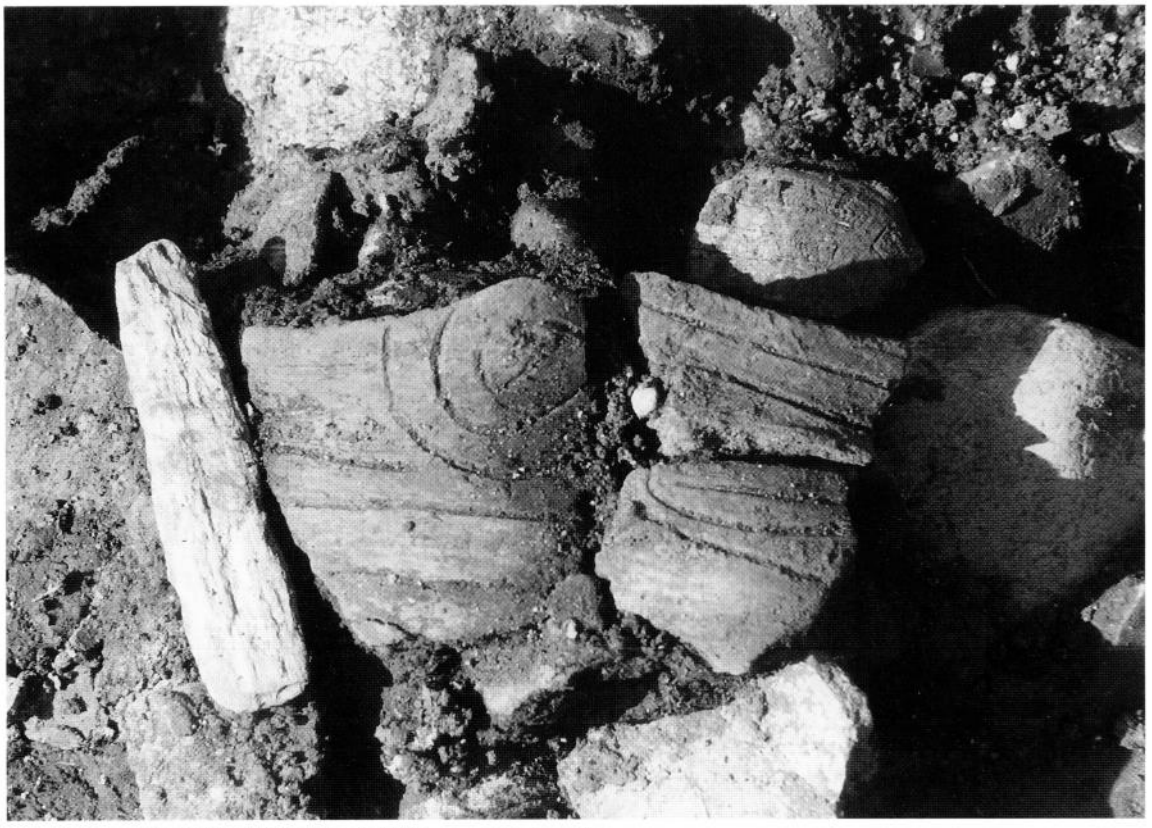
(1) 12号竪穴住居跡炉跡（西から）



(2) 11・12号竪穴住居跡炉跡完掘状態（南東から）

(1) 10号竪穴住居跡遺物出土状態．1（北西から）

(2) 10号竪穴住居跡遺物出土状態．2（東から）



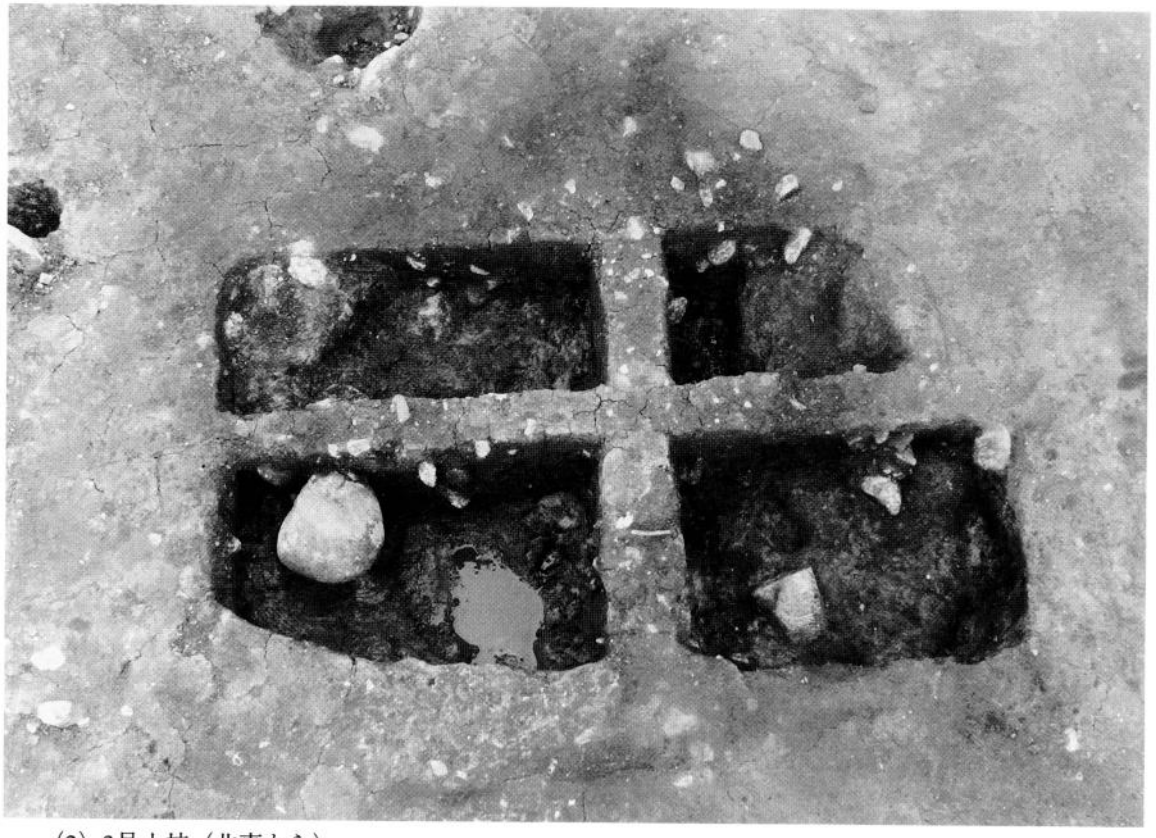
(1) 10号竪穴住居跡遺物出土状態．3（北西から）

(2) 10号竪穴住居跡遺物出土状態．4（南から）

(1) 1・6号土坑遺物出土状態（西から）

(2) 1・6号土坑完掘状態（北東から）

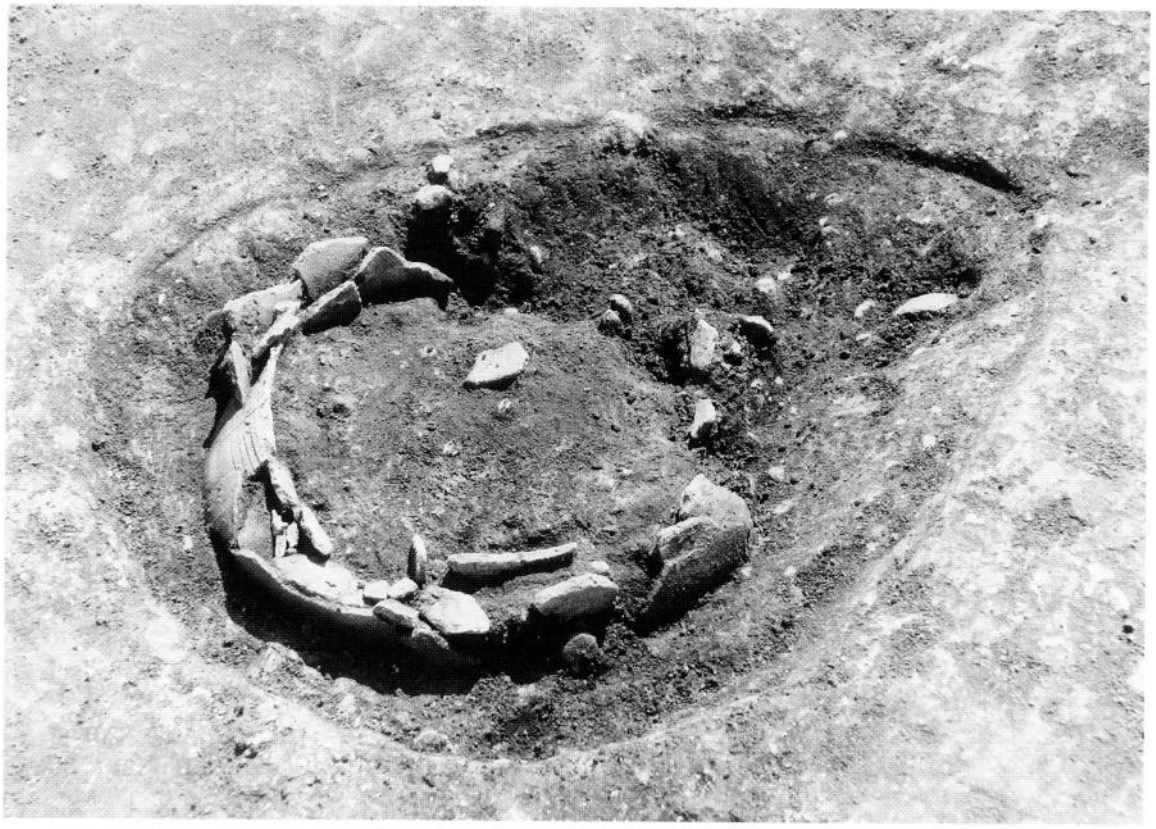
(1) 2号土坑（北西から）



(2) 3号土坑（北東から）

(1) 5号土坑．1（南東から）

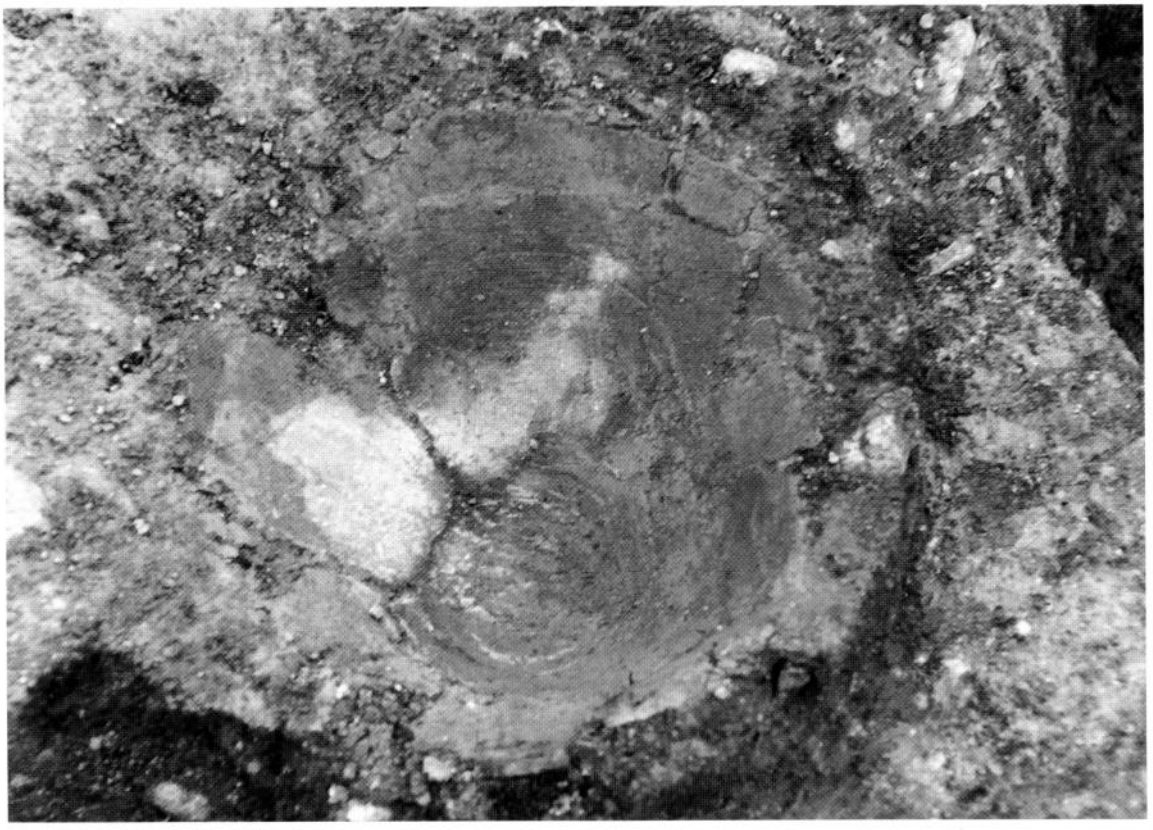
(2) 5号土坑．2（北東から）



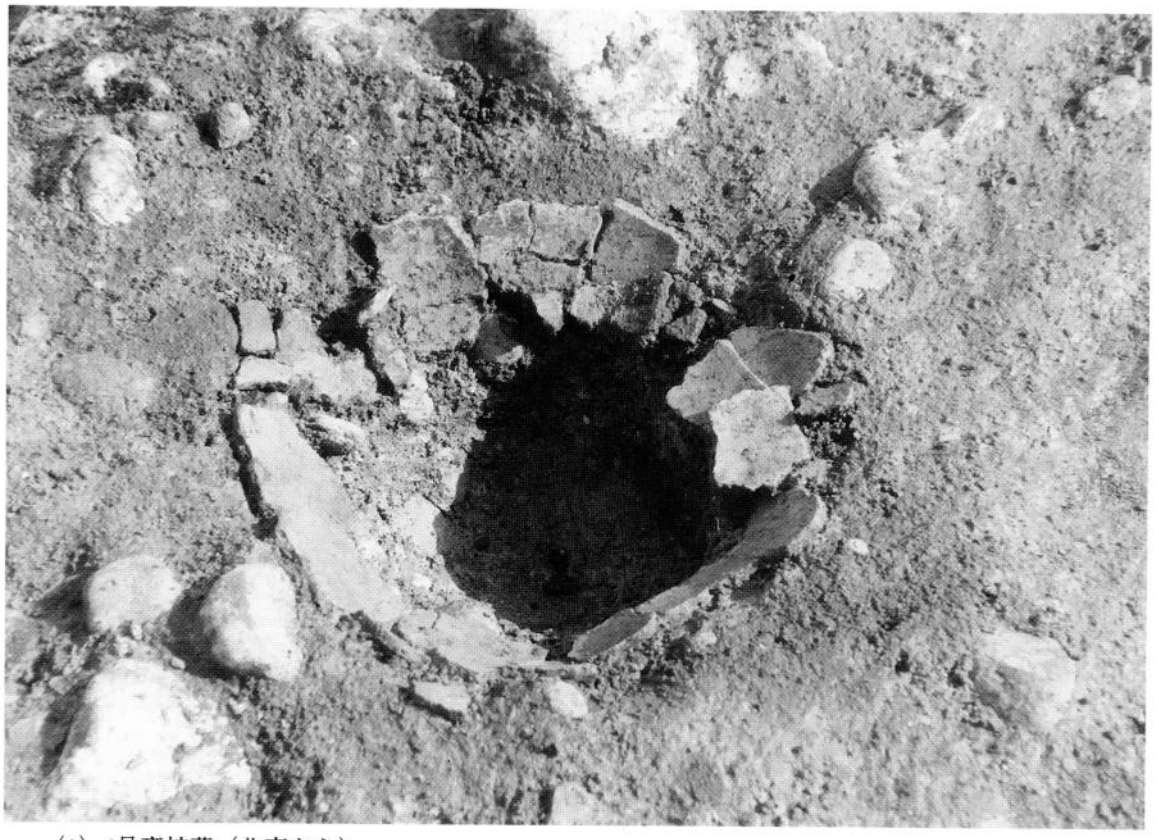
(1) 1号甕棺墓．1（南東から）

(2) 1号甕棺墓．2（東から）

(1) 2号甕棺墓（南西から）

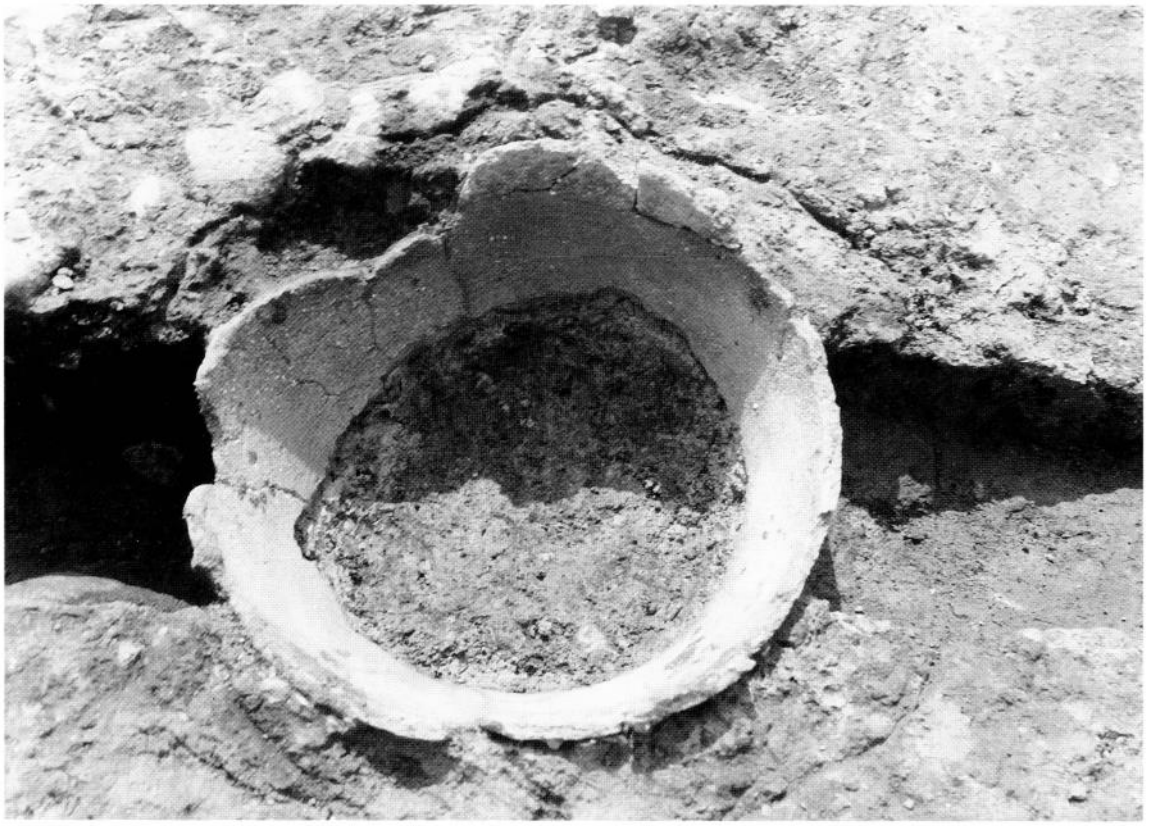


(2) 3号甕棺墓（南から）

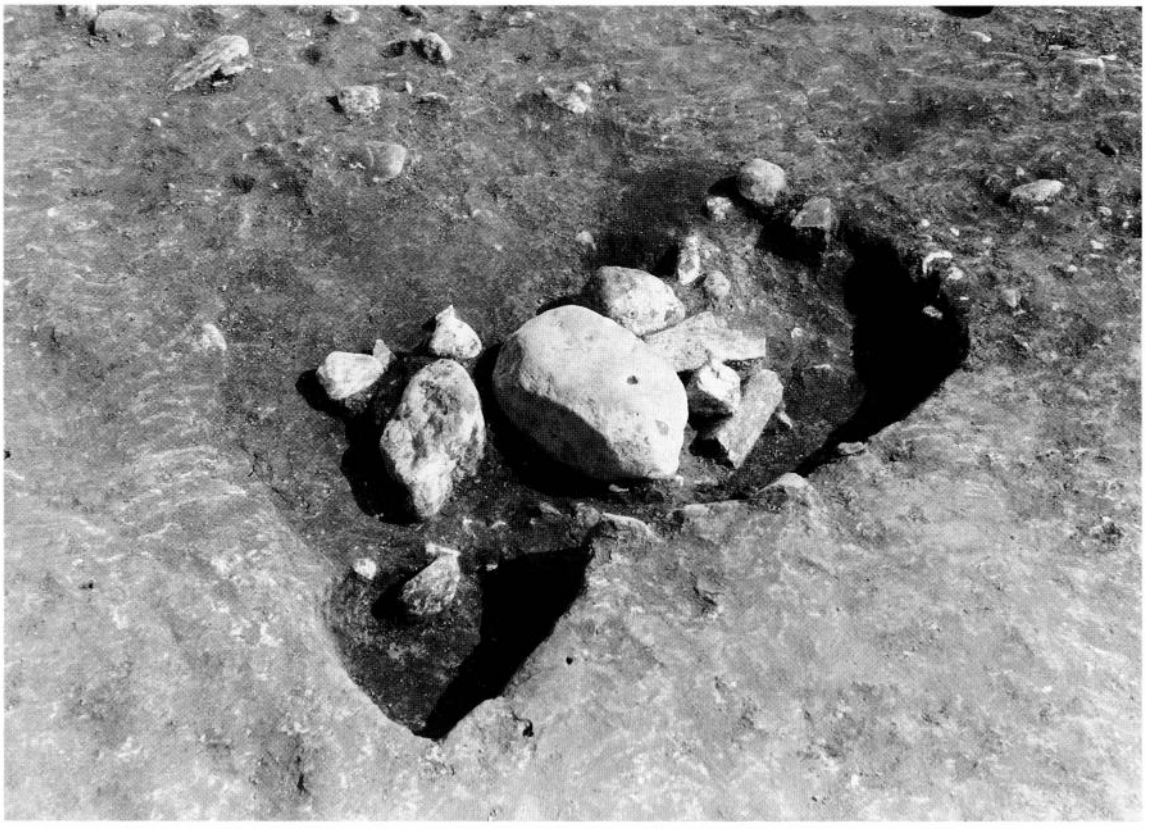


(1) 4号甕棺墓（北東から）

(2) 1号溝遺物出土状態（北から）



(1) 1号炉跡（南東から）



(2) 2号炉跡（北から）

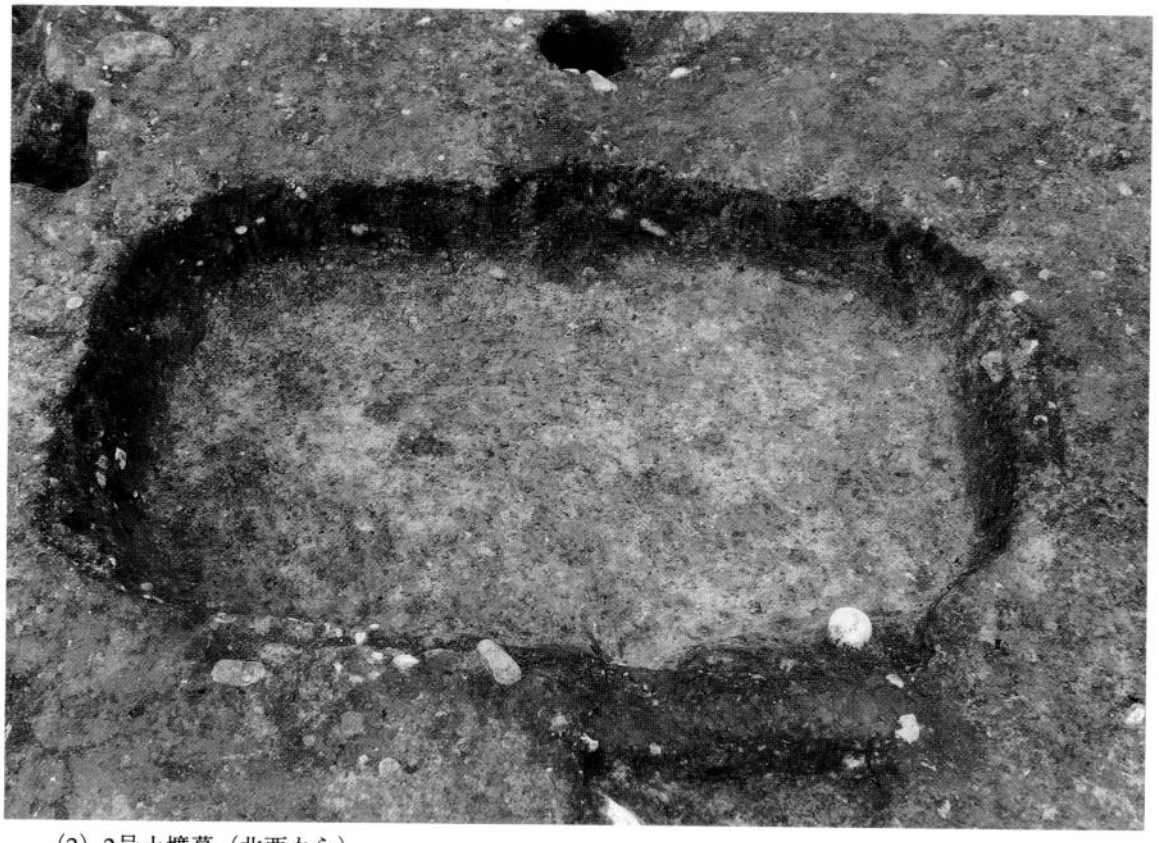
(1) ピット356（南西から）

(2) ピット714（南西から）

(1) 7号土坑（北西から）

(2) 8号土坑（南東から）

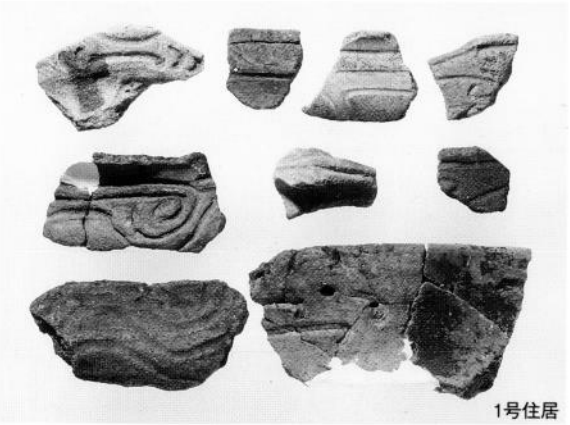
(1) 1号土壙墓（北東から）

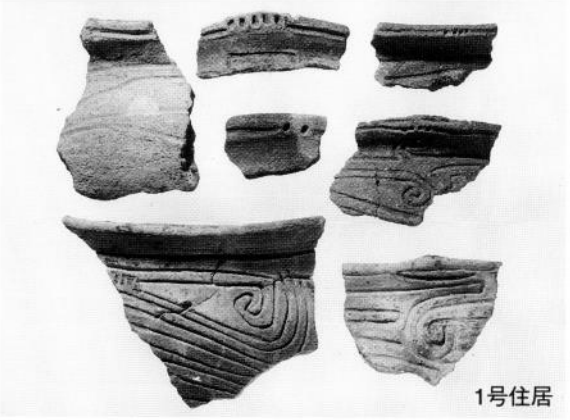


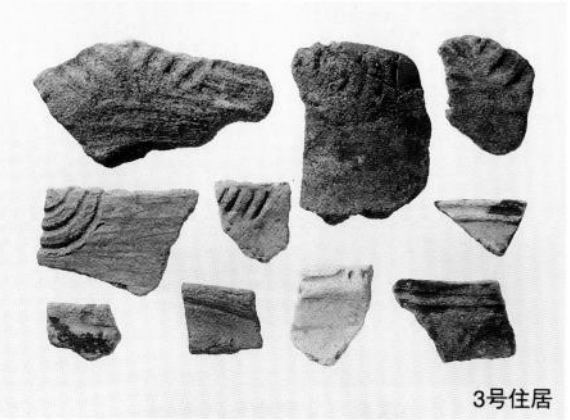
(2) 2号土壙墓（北西から）

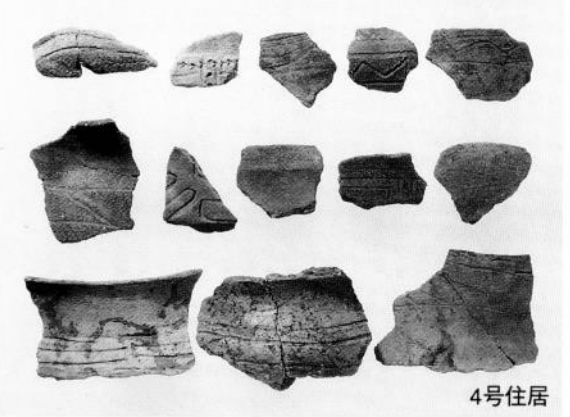
(1) 3号土壙墓（北東から）

(2) 発掘調査風景（北から）

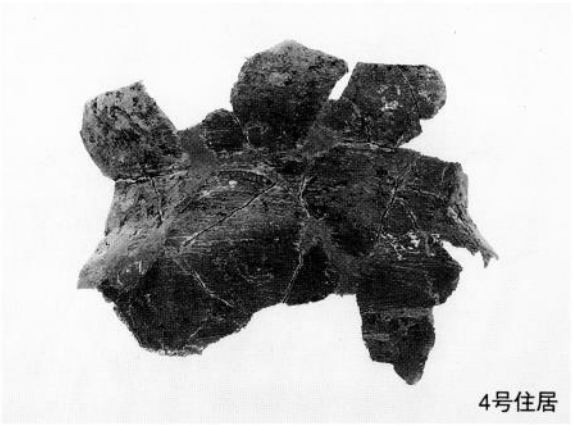


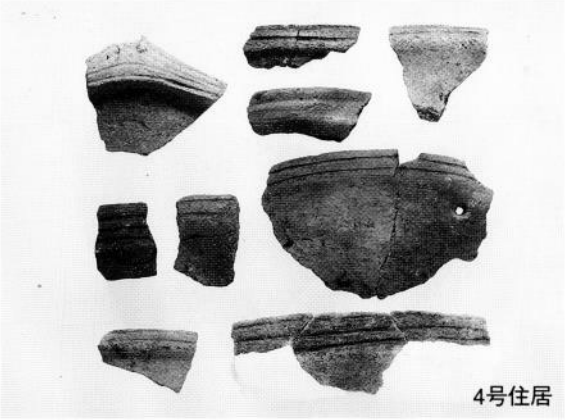


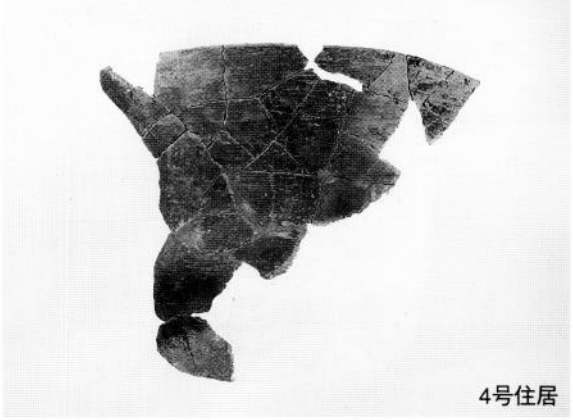


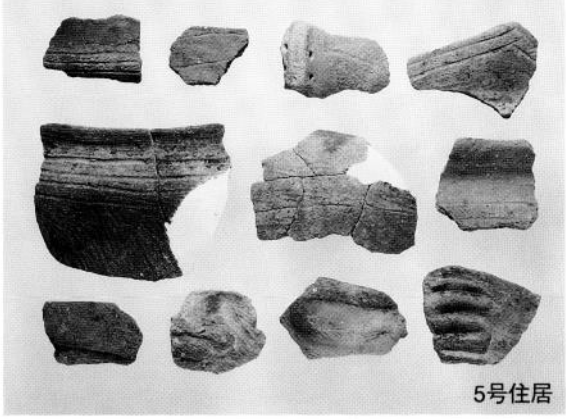


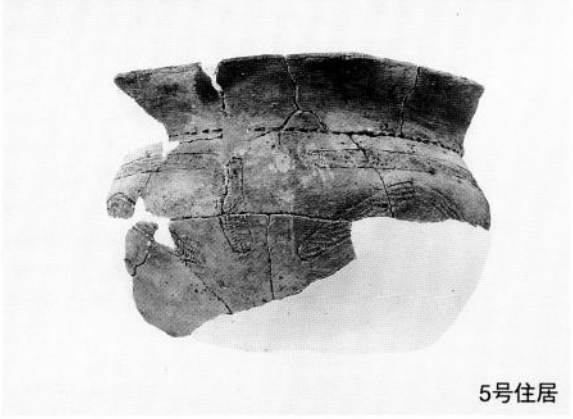
1・3・4号竪穴住居跡出土土器

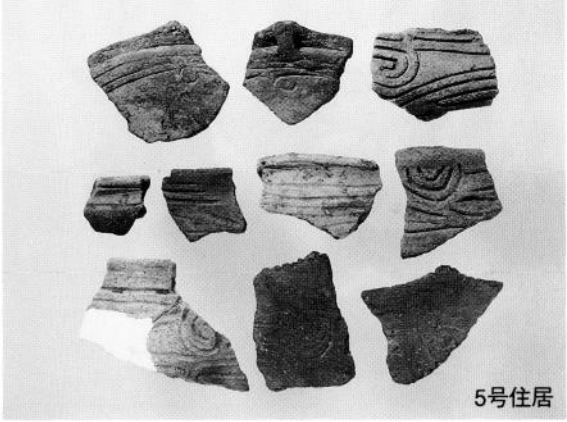




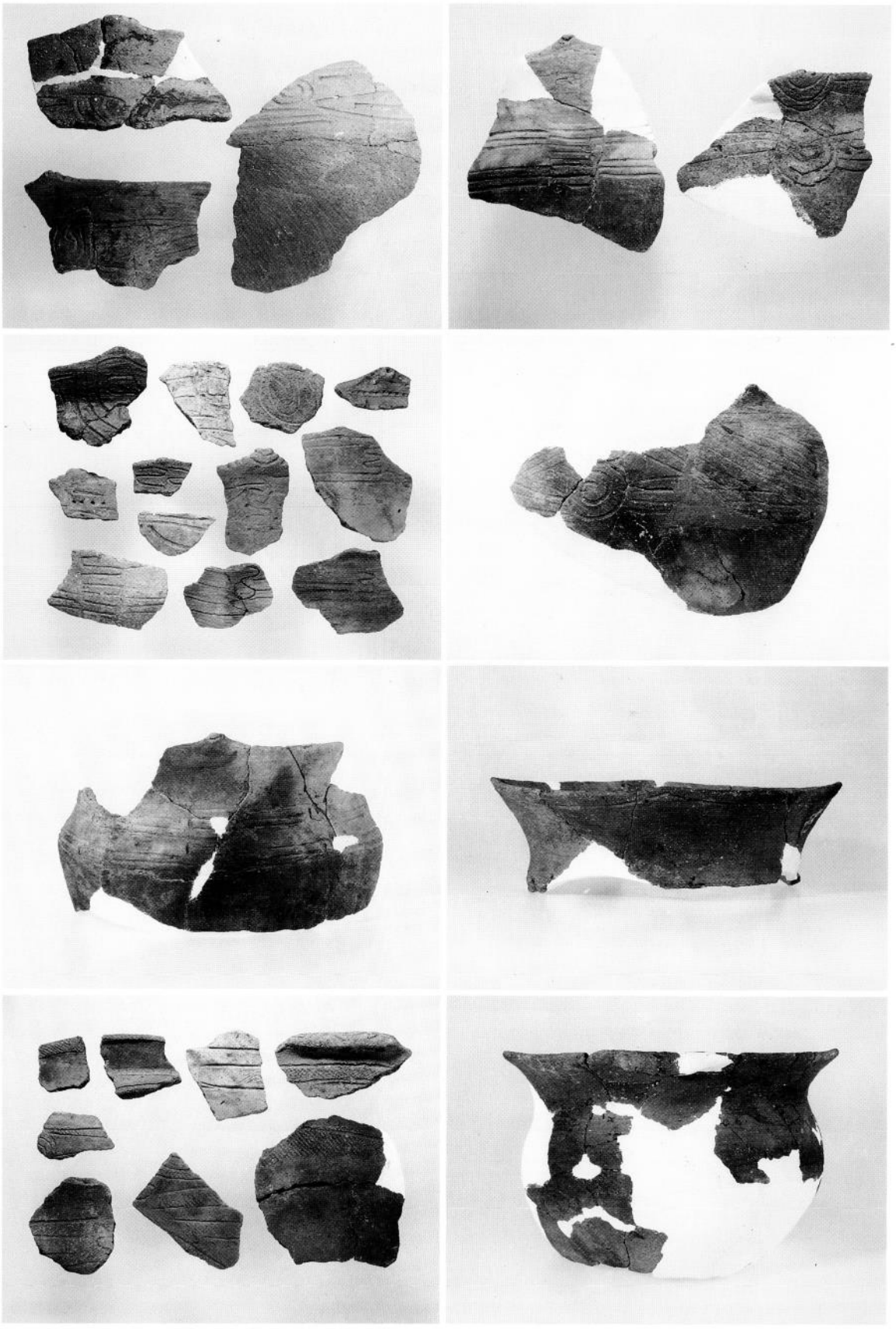




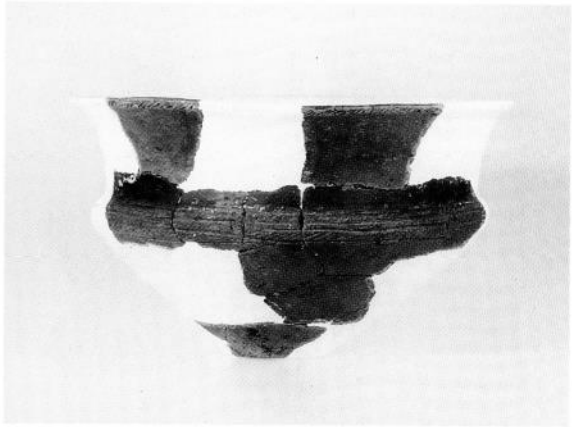
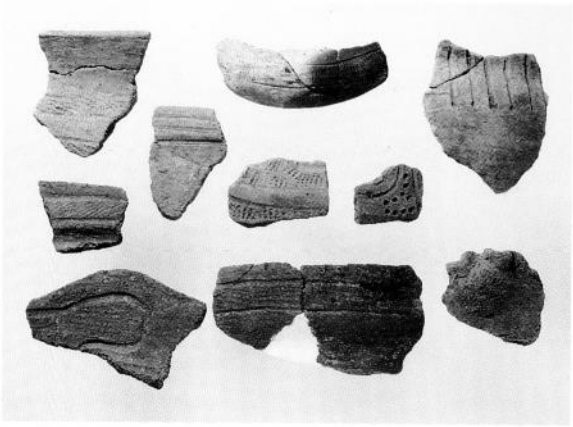
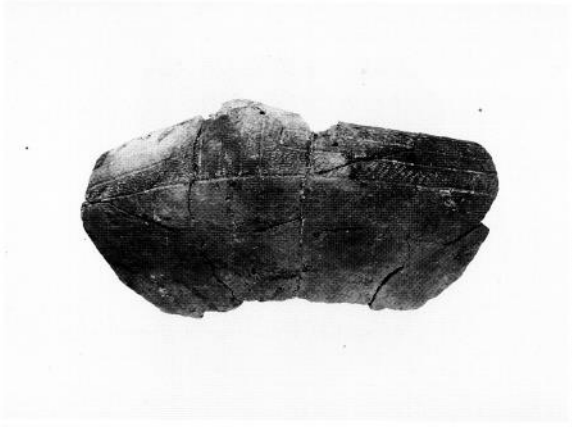
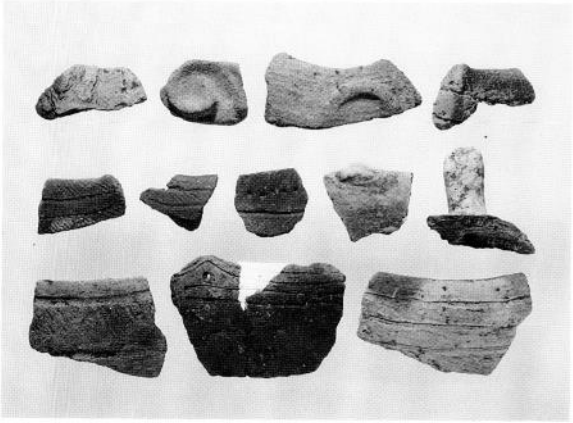


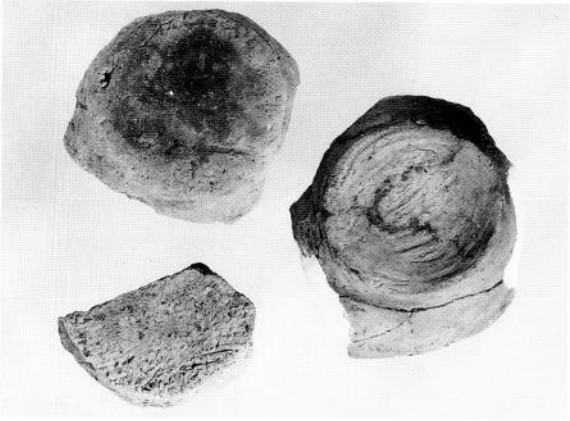
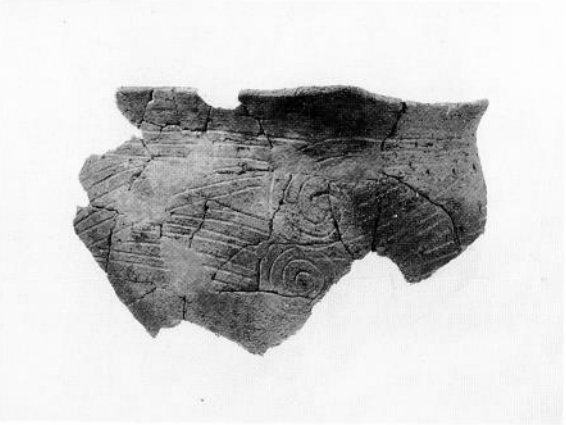


4・5号竪穴住居跡出土土器

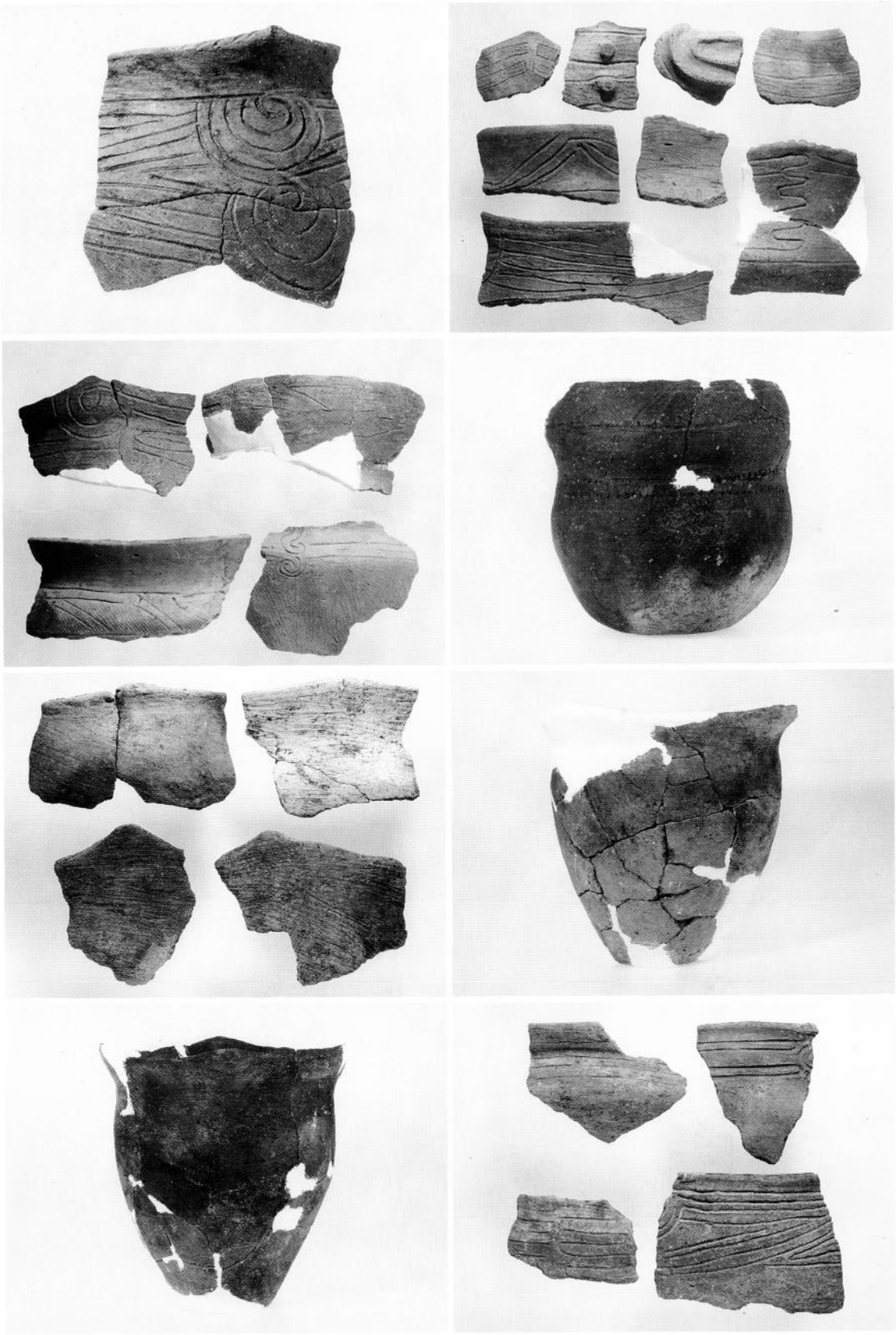


5号竪穴住居跡出土土器・1

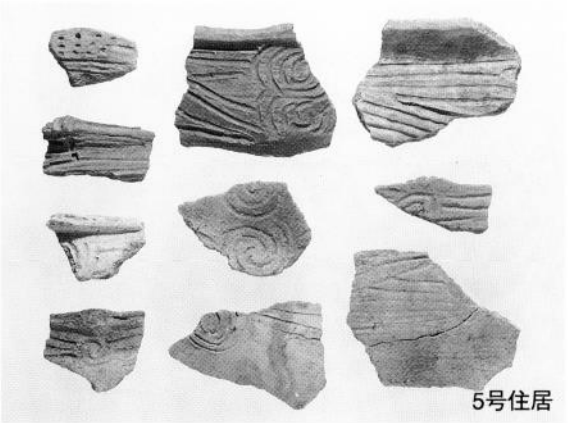





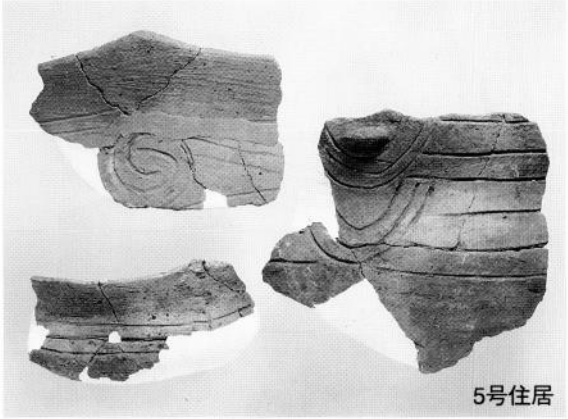



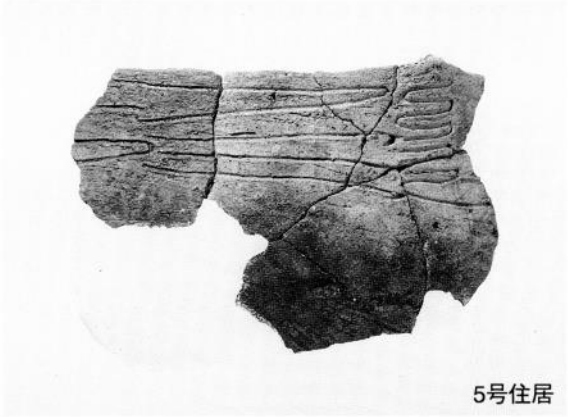
5号竪穴住居跡出土土器・2

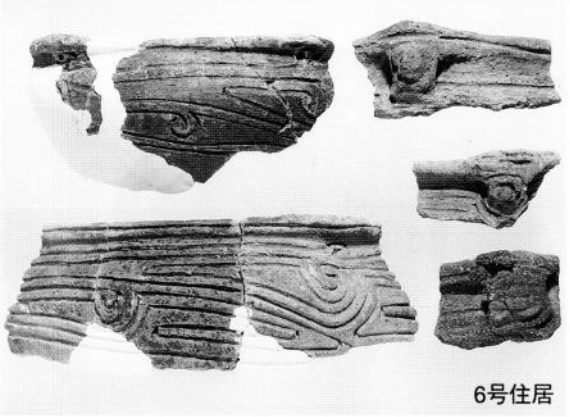


5号竪穴住居跡出土土器・3

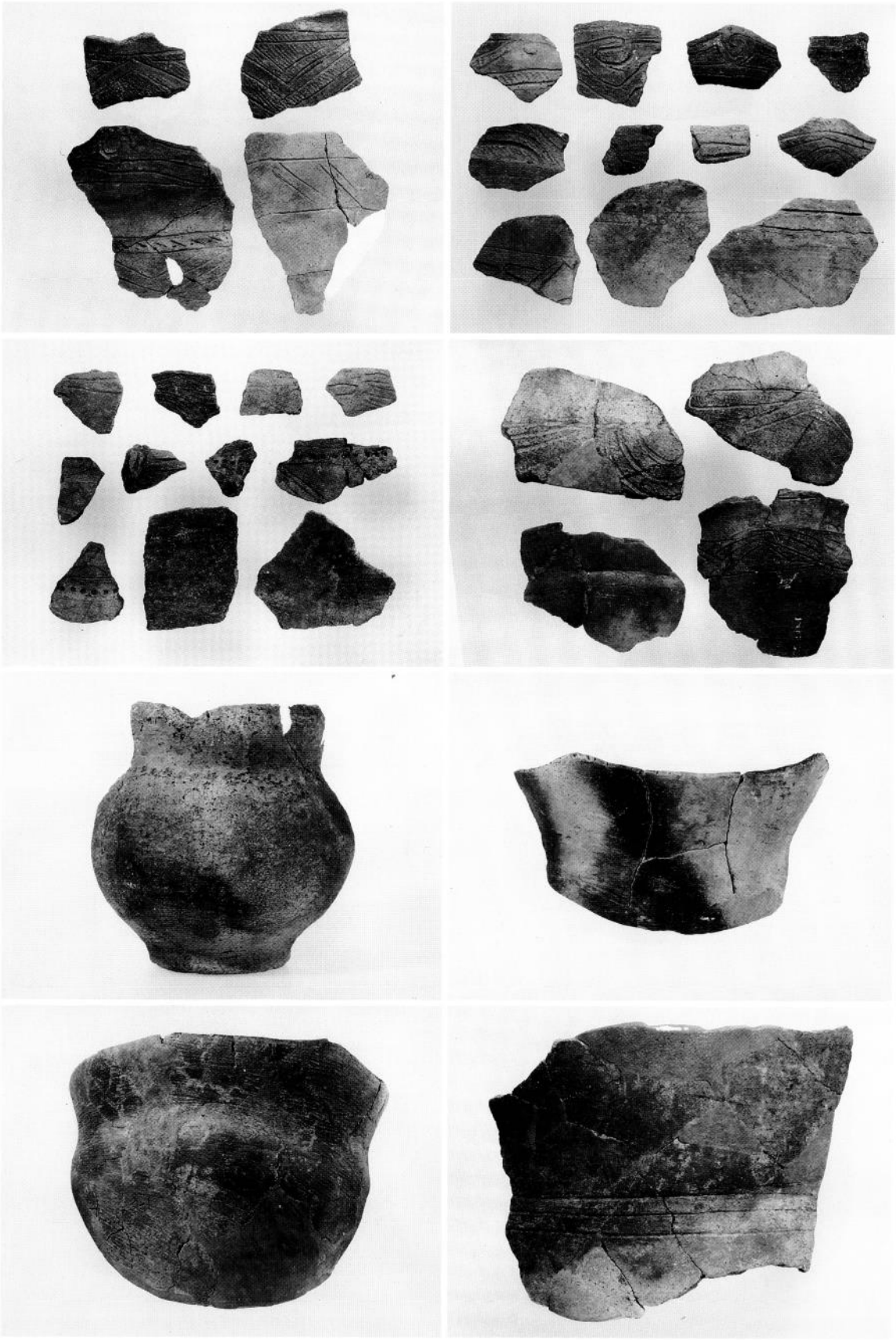




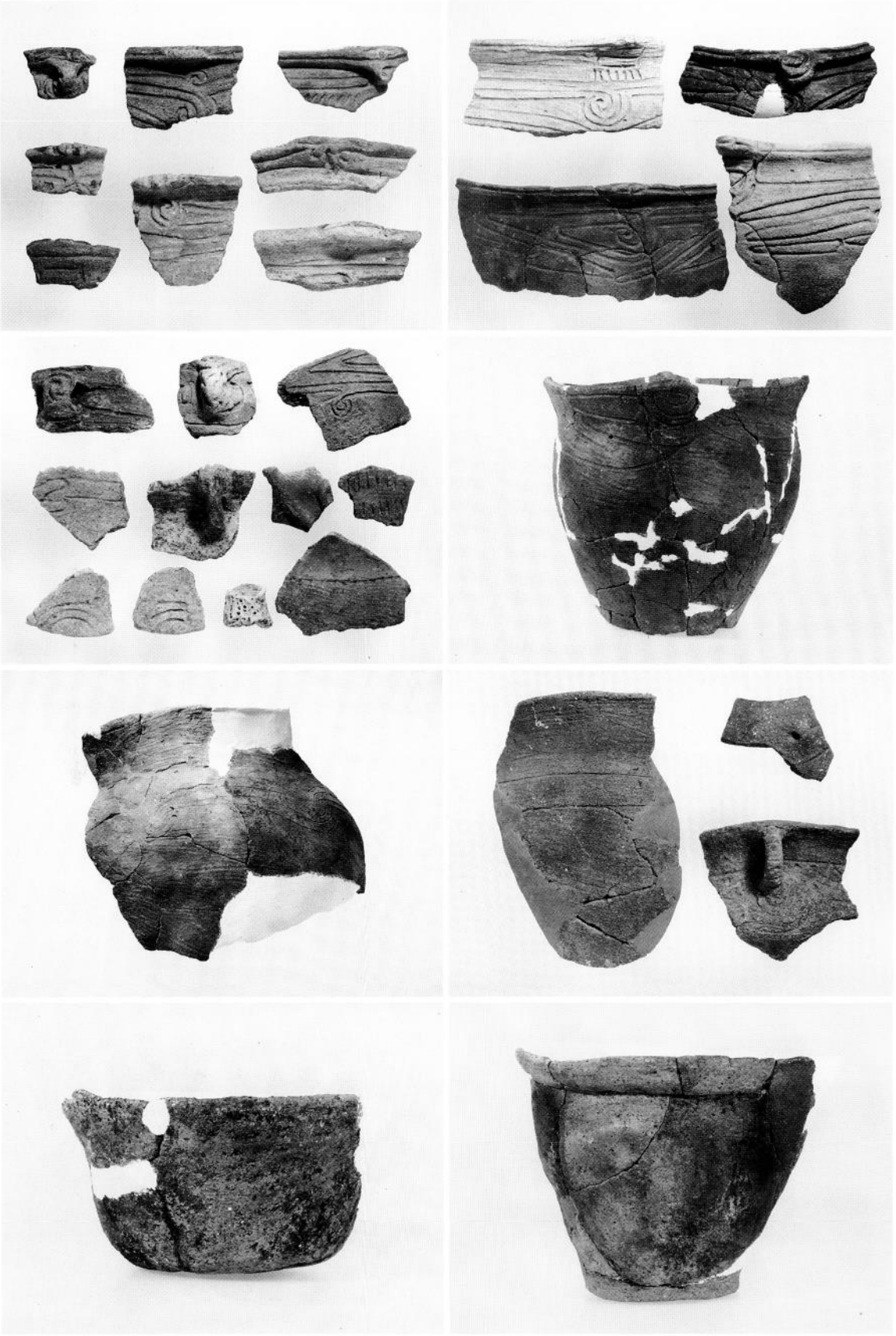




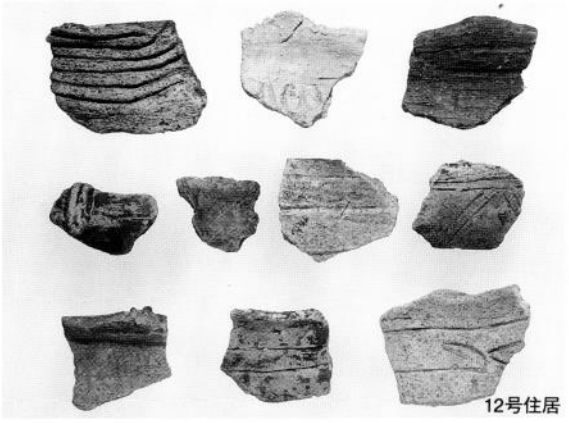
5・6号竪穴住居跡出土土器

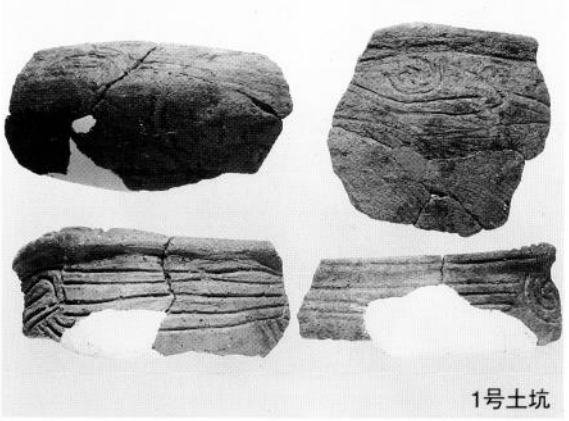


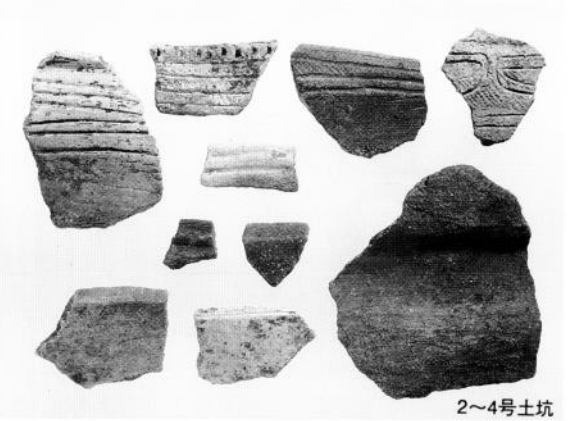
7号竪穴住居跡出土土器



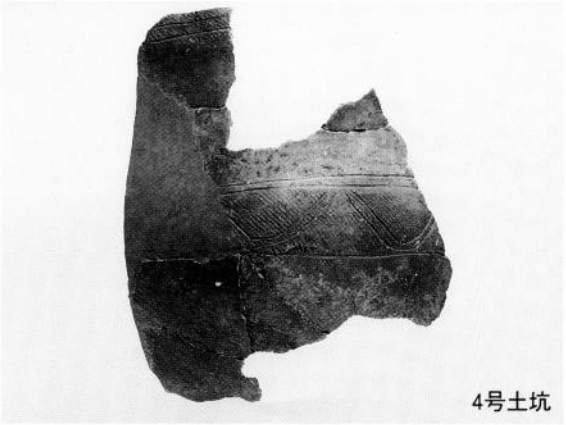
10号竪穴住居跡出土土器

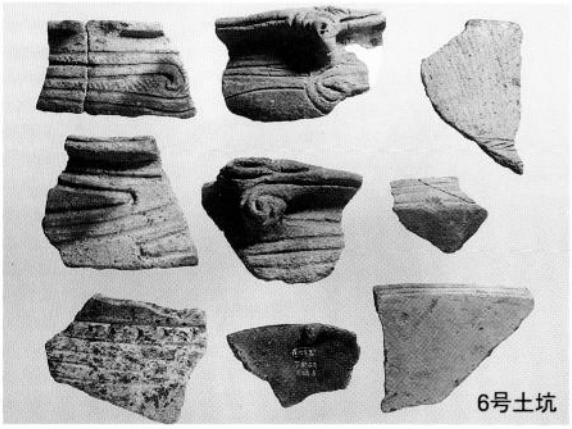


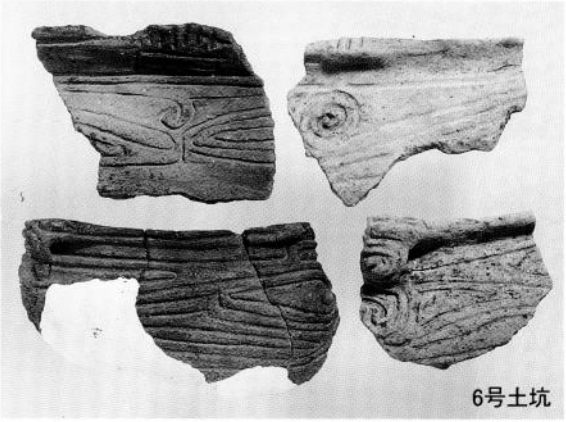


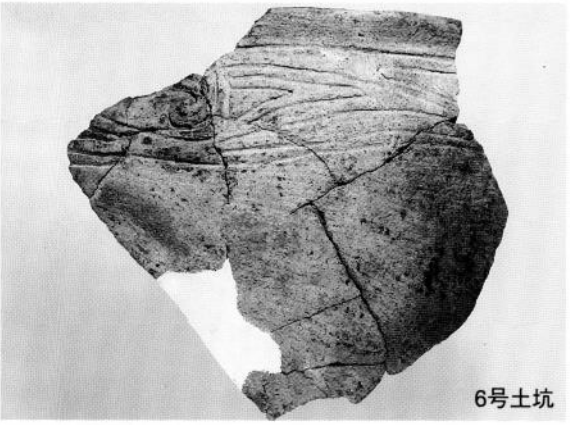


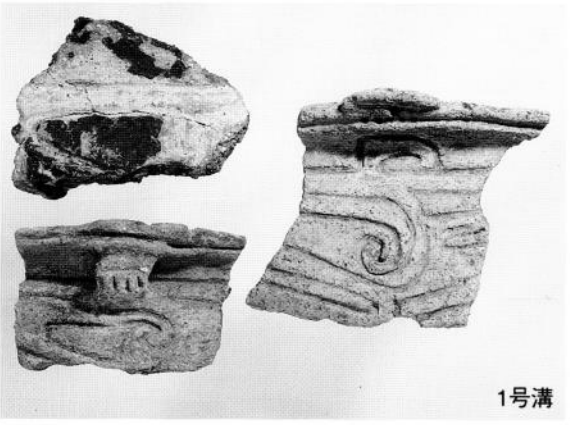
10・12号竪穴住居跡および1～4号土坑出土土器



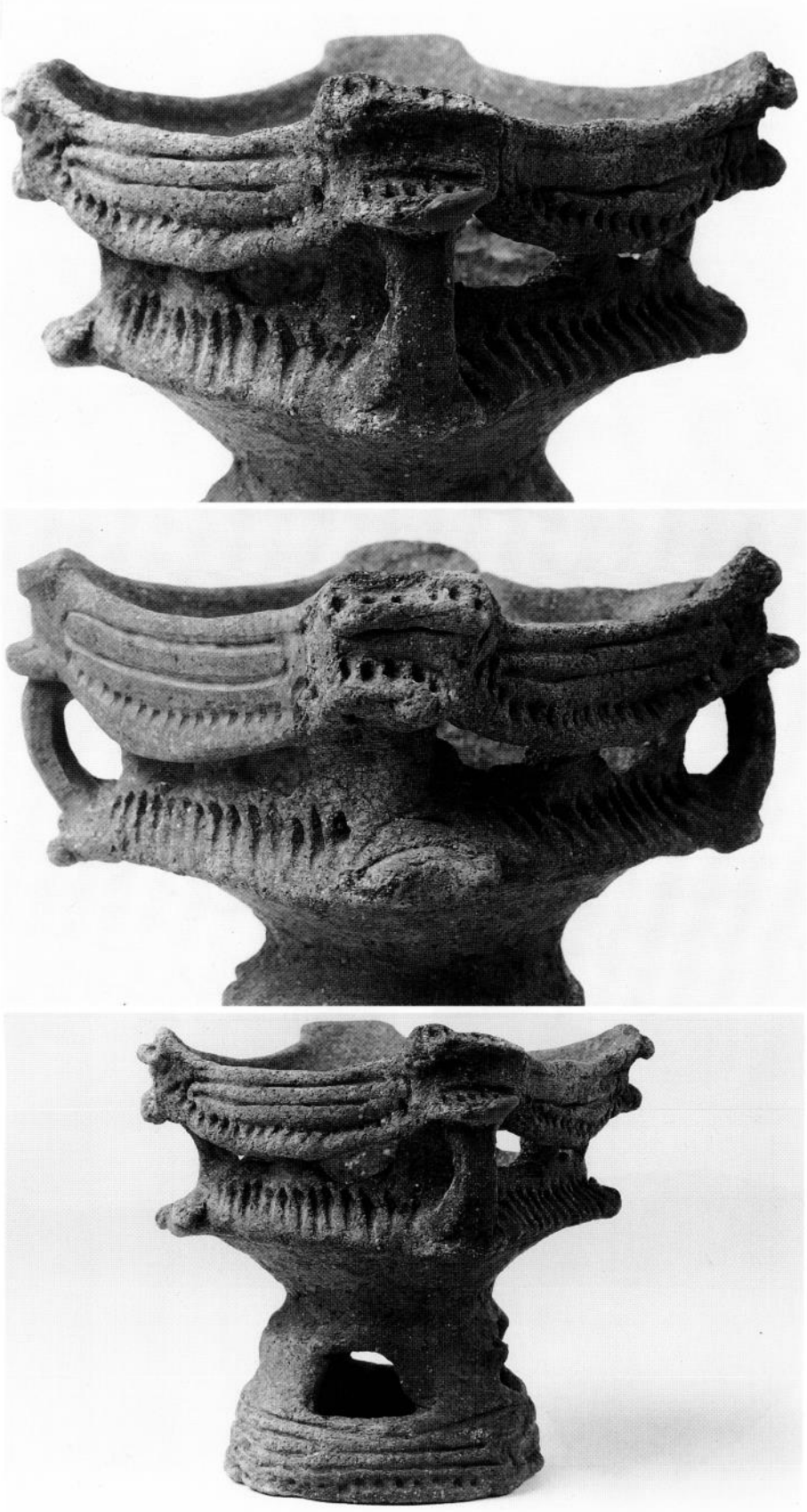




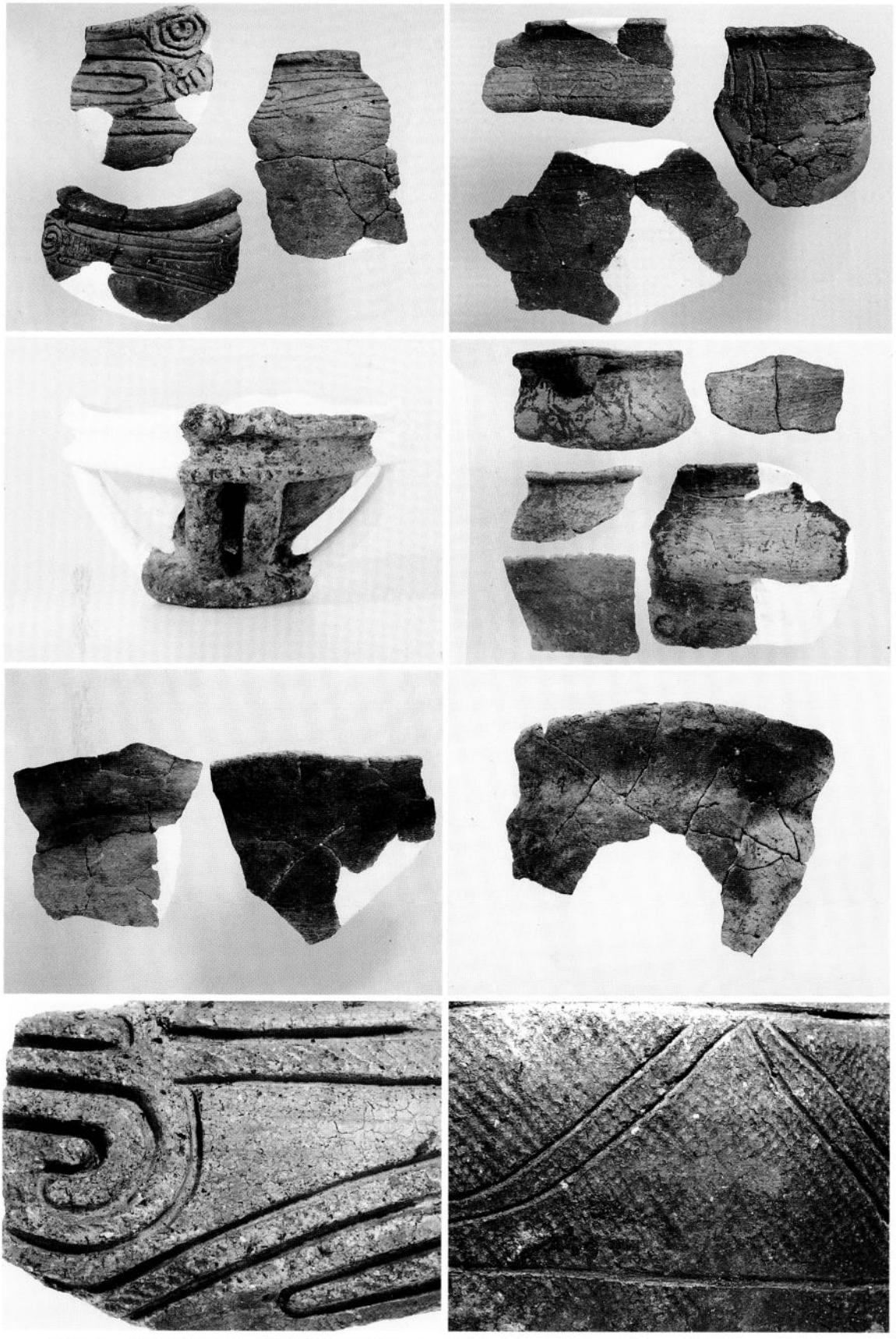




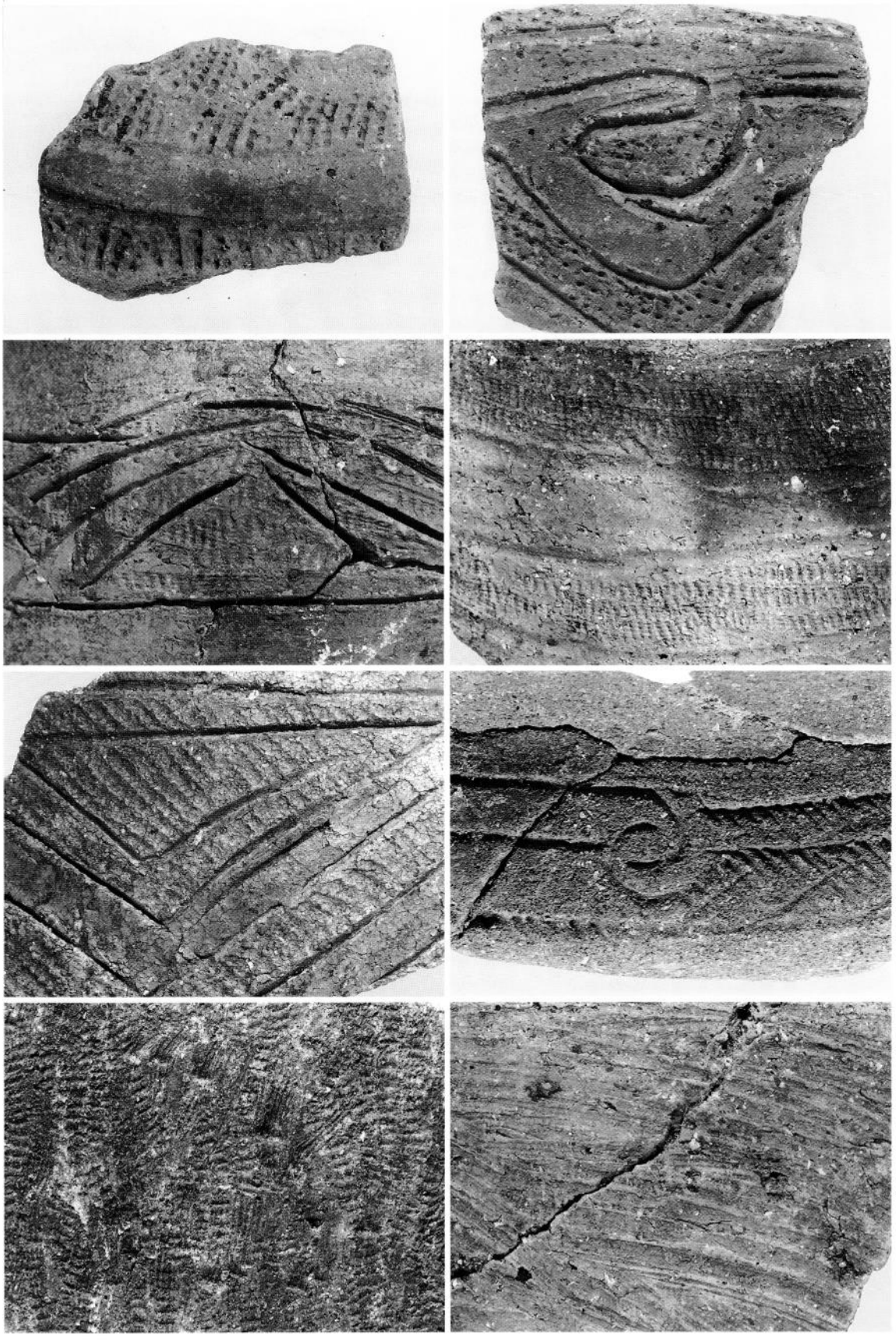
4・6号土坑および1号溝・1号甕棺墓出土土器



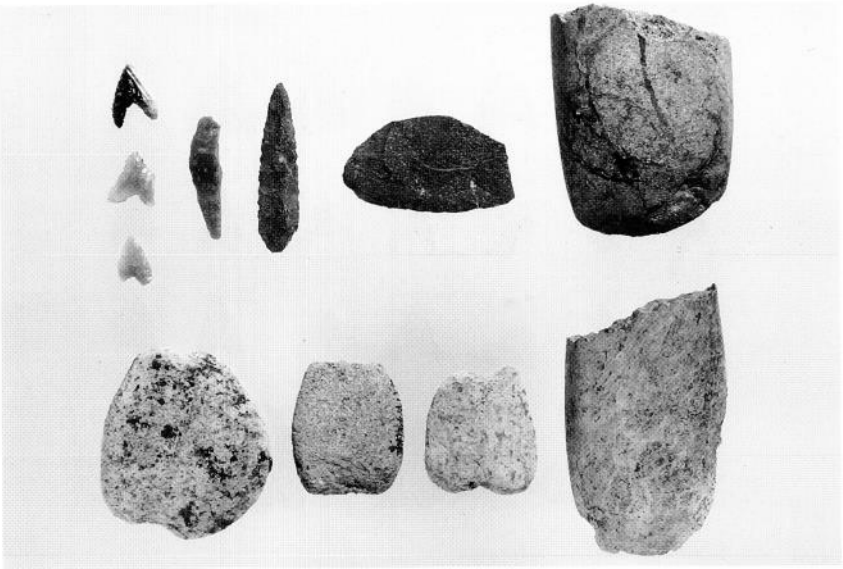
ピット356出土異形高坏



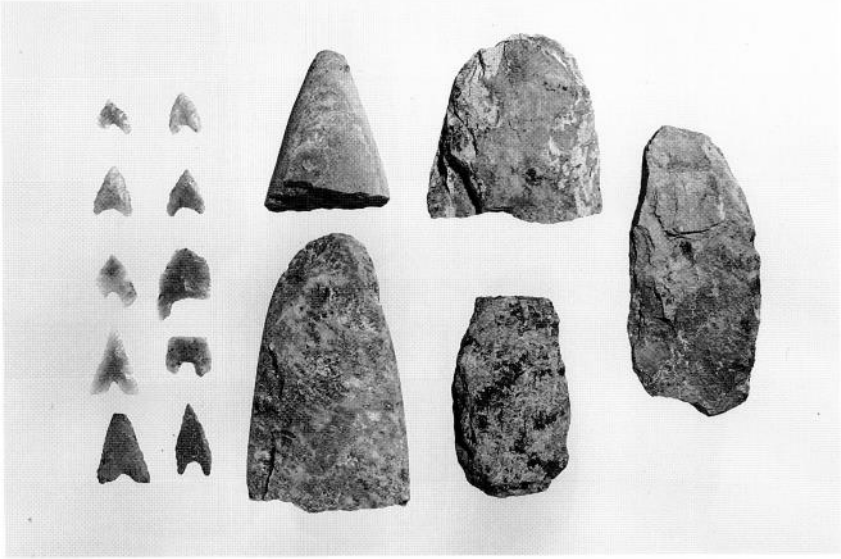
ピット・包含層出土土器および各種文様．1



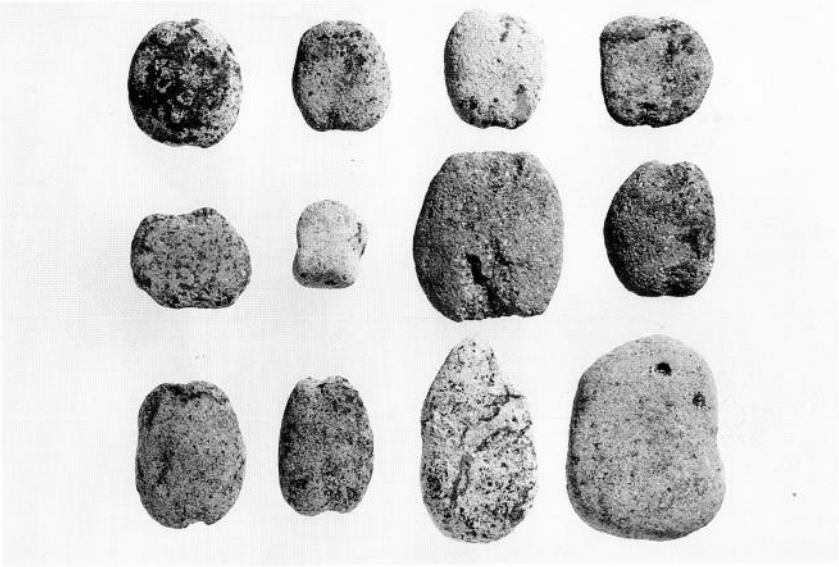
各種文様．2



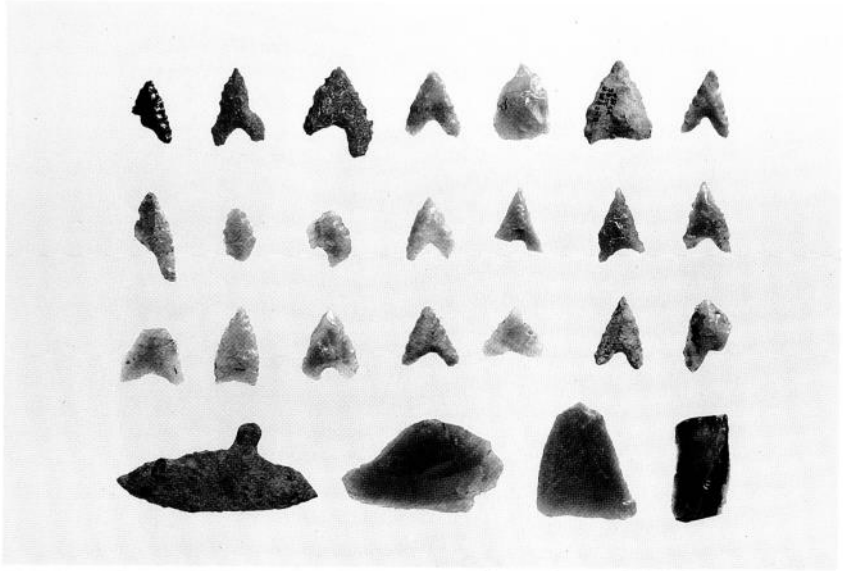
(1) 1号竪穴住居跡
出土石器



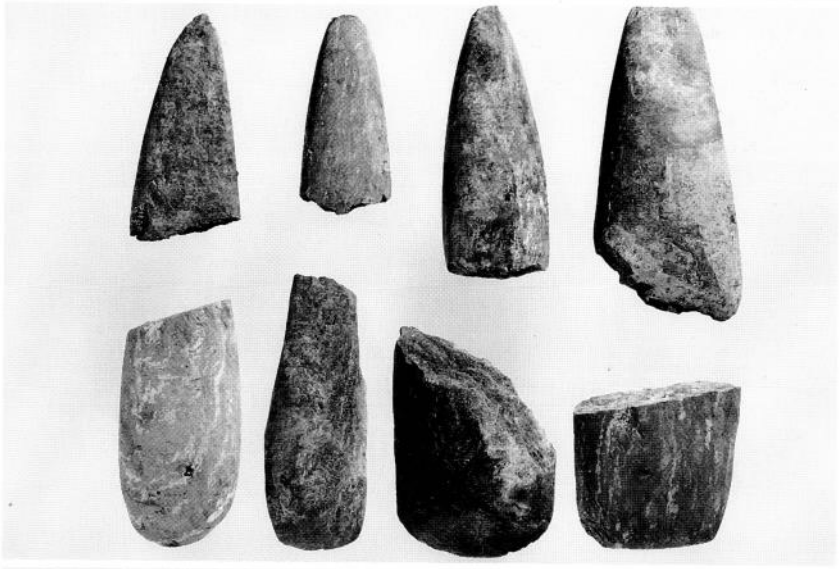
(2) 4号竪穴住居跡
出土石器．1



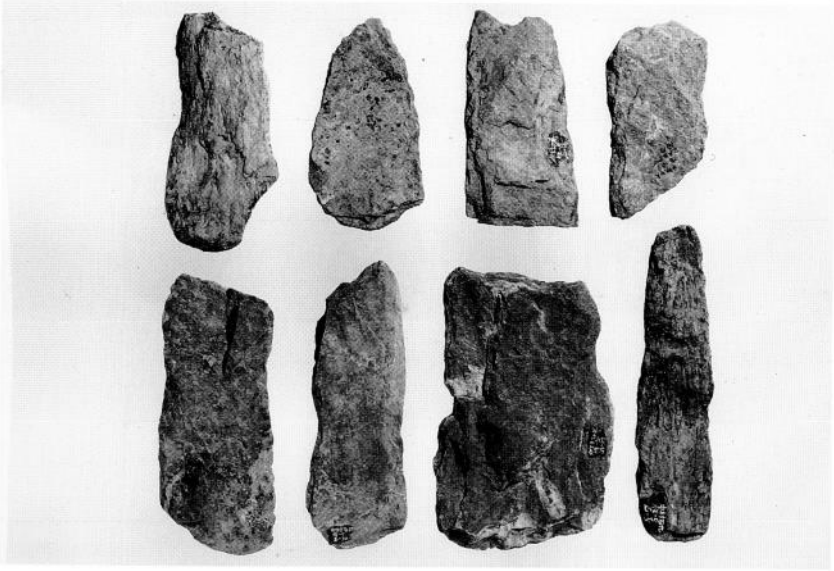
(3) 4号竪穴住居跡
出土石器．2



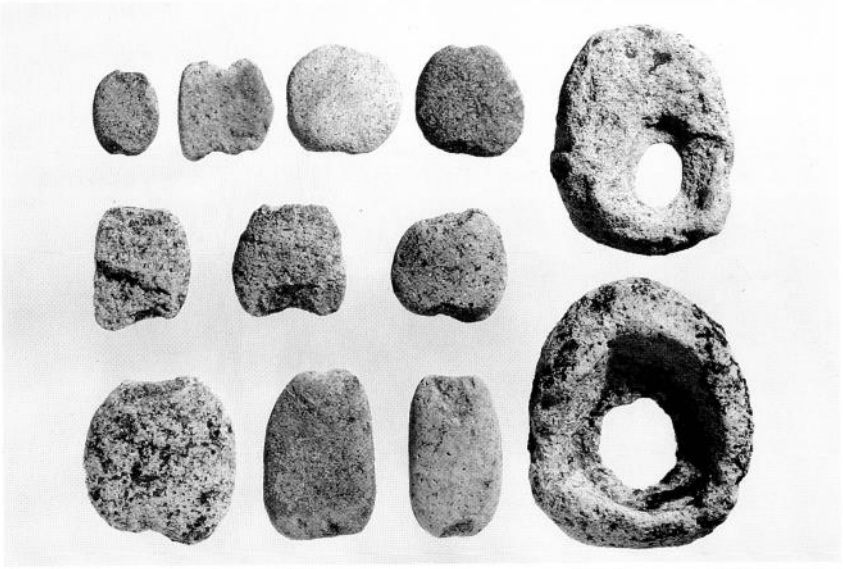
(1) 5号竪穴住居跡
出土石器．1



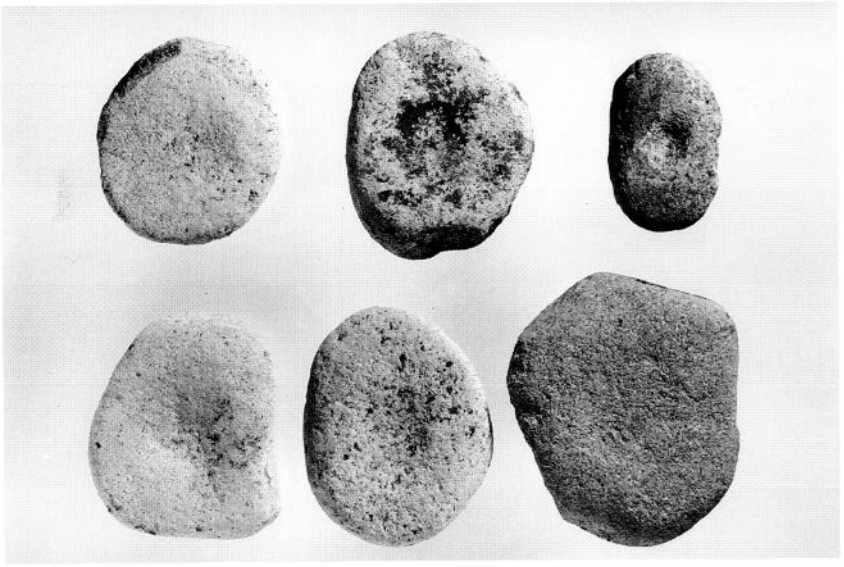
(2) 5号竪穴住居跡
出土石器．2



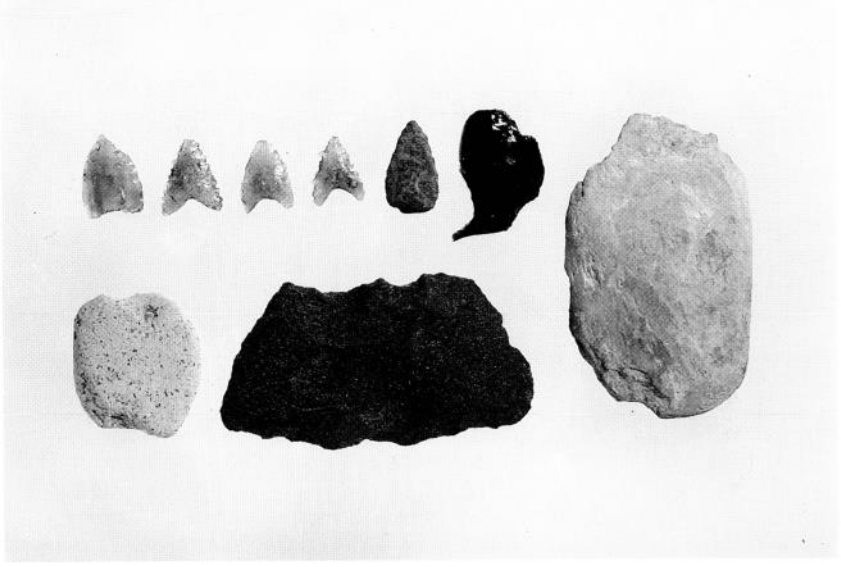
(3) 5号竪穴住居跡
出土石器．3



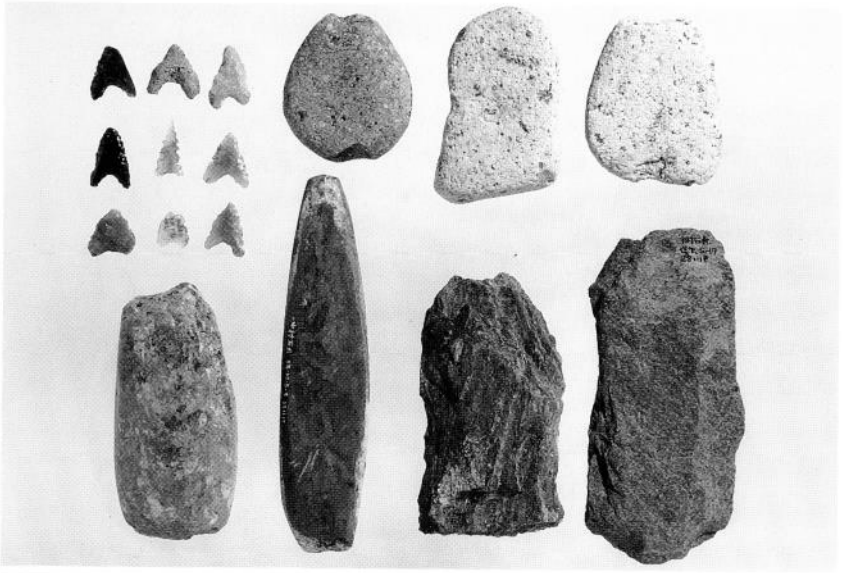
(1) 5号竪穴住居跡
出土石器．4



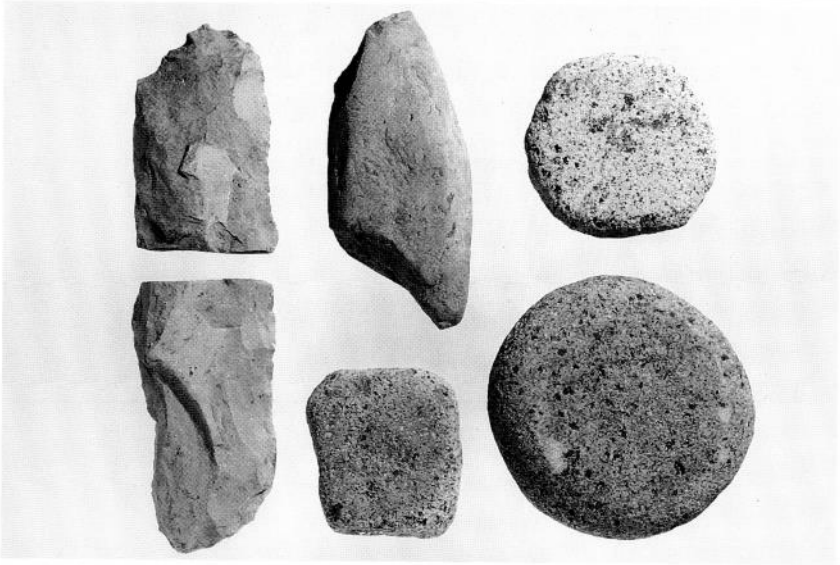
(2) 5号竪穴住居跡
出土石器．5



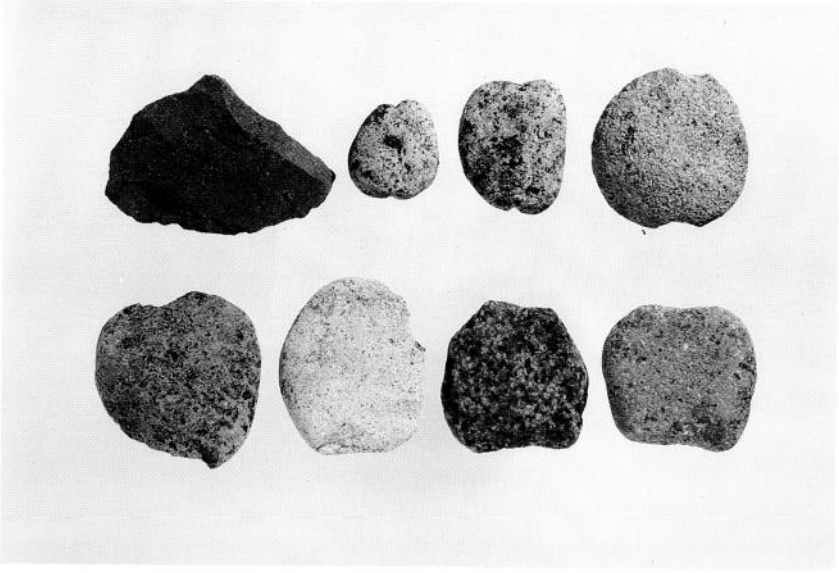
(3) 6号竪穴住居跡
出土石器



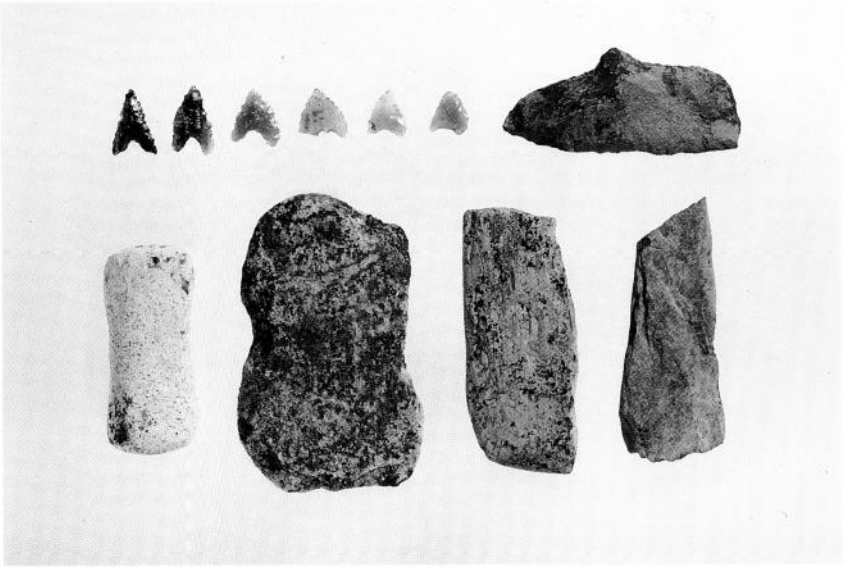
(1) 7号竪穴住居跡
出土石器



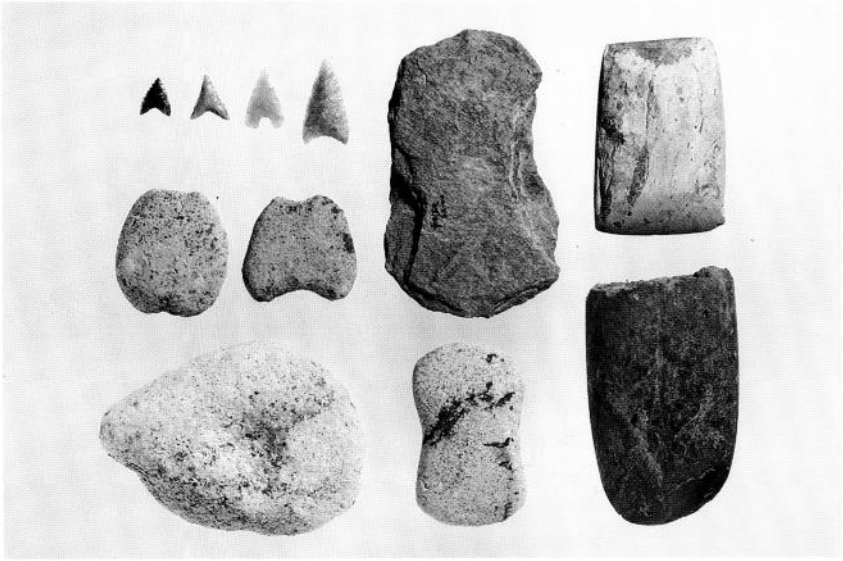
(2) 10号竪穴住居跡
出土石器．1



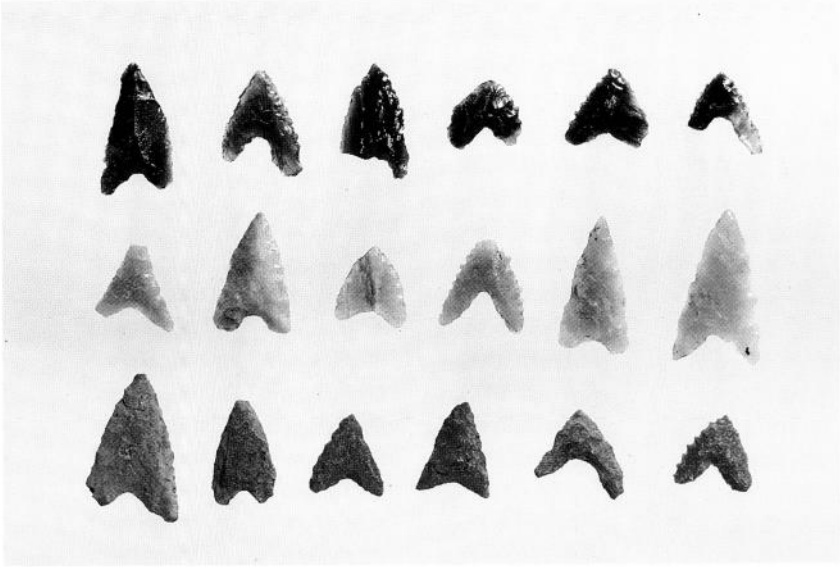
(3) 10号竪穴住居跡
出土石器．2



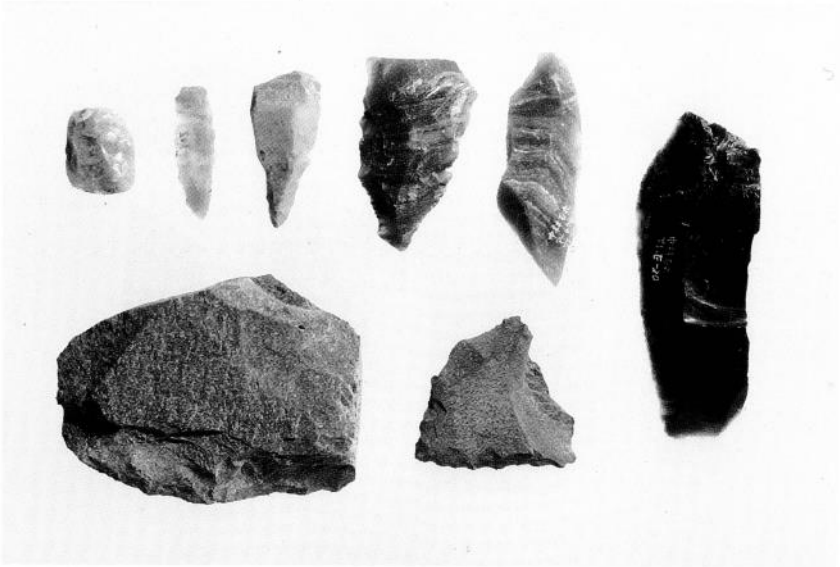
(1) 12号竪穴住居跡
出土石器



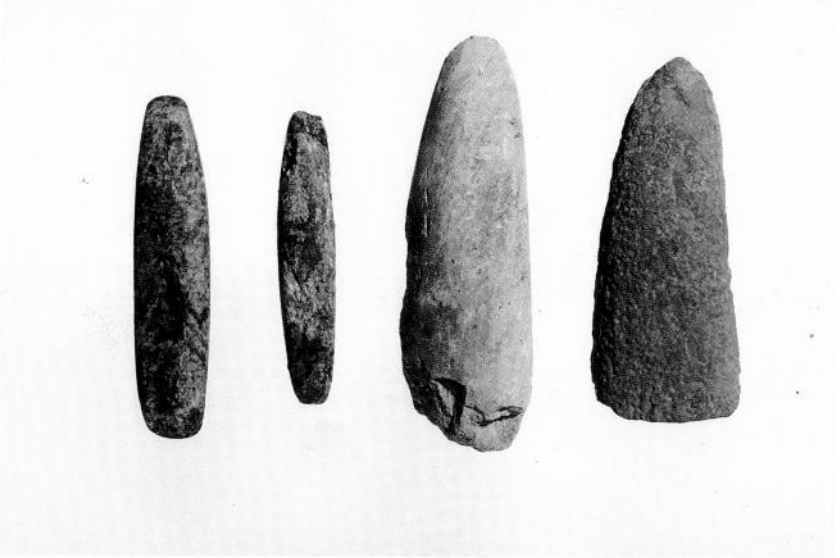
(2) 1号溝出土石器



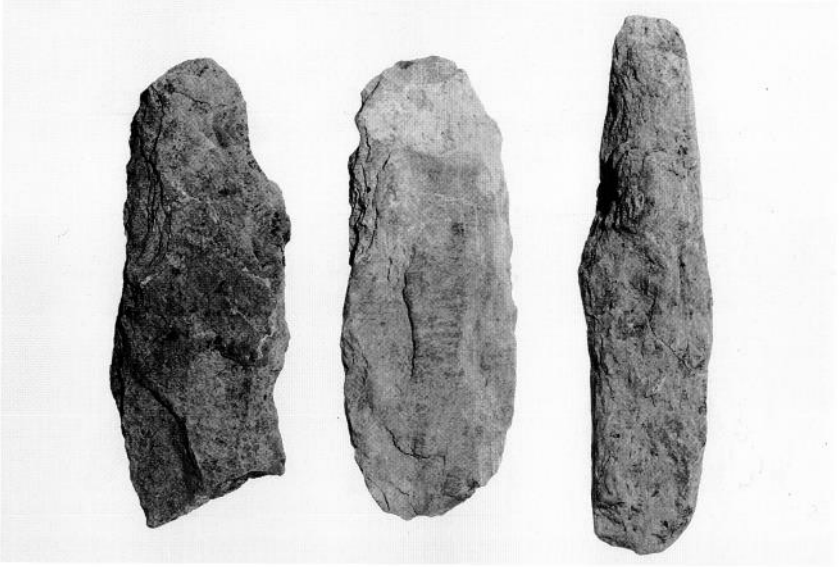
(3) ピット包含層出土
石器．1



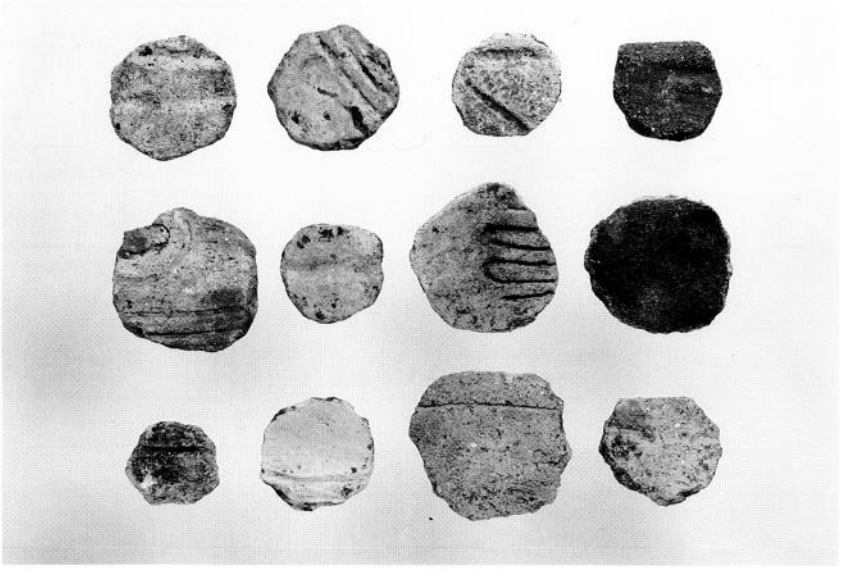
(1) ピット包含層
出土石器．2



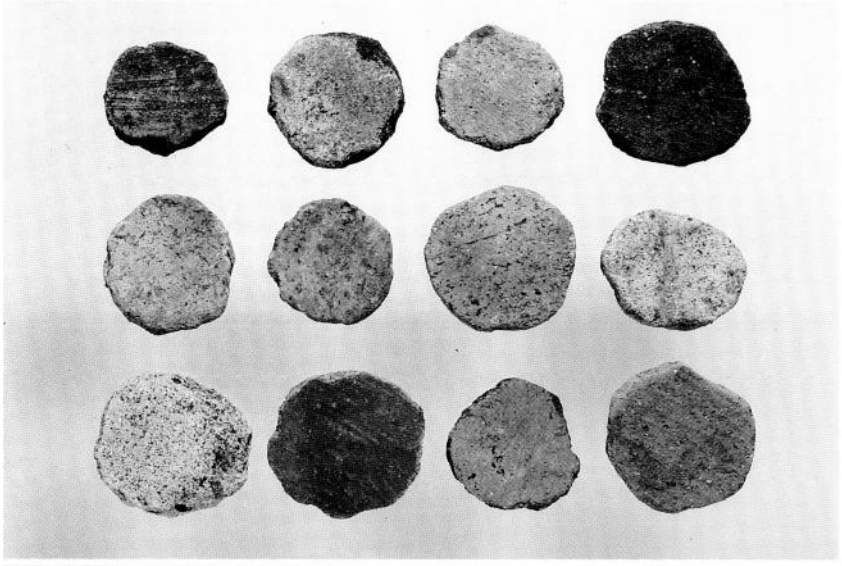
(2) ピット包含層
出土石器．3



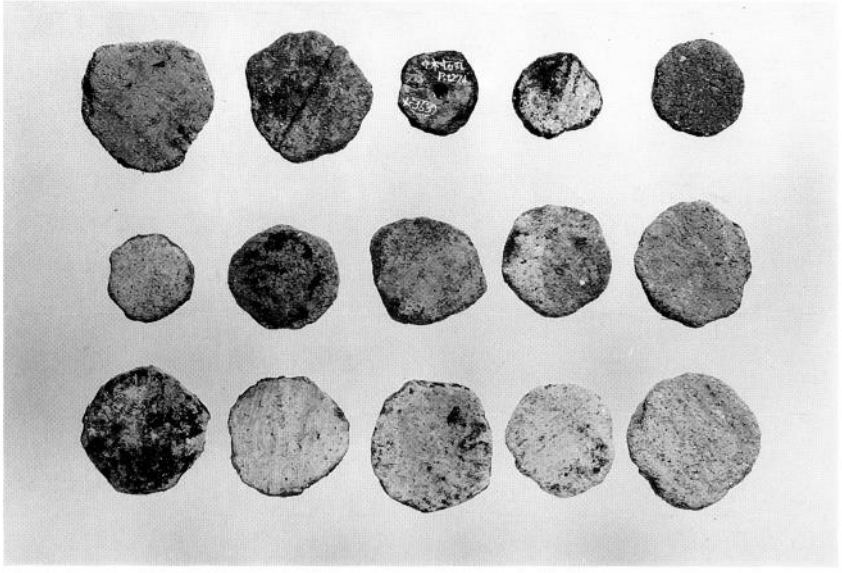
(3) ピット包含層
出土石器．4



(1) 土製円盤．1



(2) 土製円盤．2



(3) 土製円盤．3

(1) 中村石丸遺跡出土弥生土器

(2) 中村石丸A遺跡全景．1（北西から）

(1) 中村石丸A遺跡全景．2（北東から）

(2) 中村石丸A遺跡石組遺構（北西から）

黒峰尾10号墳

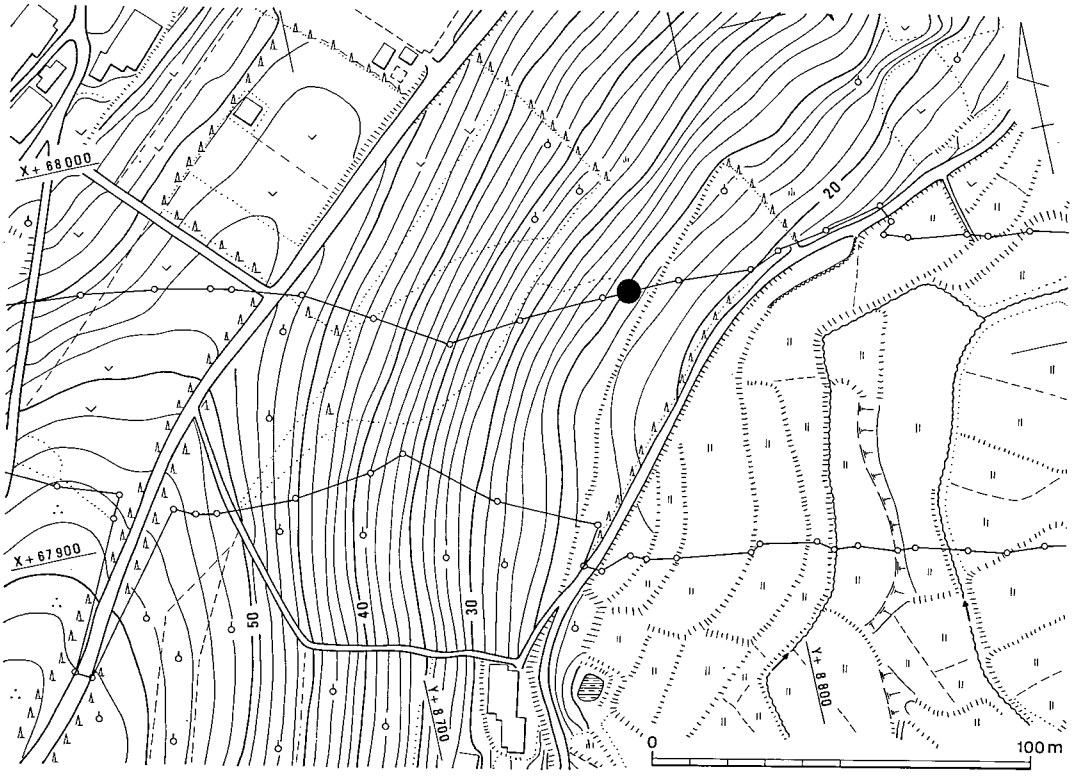
付　黒峰尾10号墳

1．はじめに

黒峰尾10号墳の調査は、一般国道10号線椎田道路建設に伴い、昭和62年５月から６月にかけて実施したもので、椎田道路関係の埋蔵文化財調査地点名で言えば、第9-B地点にあたる。

この調査は、周辺に古墳群が存在することや分布調査の時点で古墳状の高まりが確認されたことから、路線内約5000㎡を全面発掘した（図版50、第316図）。しかし、後世の果樹園造成などにより古墳は完全に破壊されたようで、調査できたのは１基のみであった（図版50、第316～317図）。ところで、古墳自体は、墳裾部分のみが路線内にあるため、建設省北九州工事事務所、豊前市教育委員会、福岡県教育委員会及び古墳主体部分の地権者を交えて協議を行い、本墳主体部分の保存を前提にして、主体部の石室内部調査及び周溝確認のためトレンチ調査を行うこととした。

この古墳の調査は、福岡県教育庁指導第二部文化課の柳田康雄、緒方泉が担当し、日高正幸



第 316 図 黒峰尾10号墳と周辺地形図（1/2,000）

の援助を得た。

さて、黒峰尾10号墳（この古墳は、「福岡県遺跡等分布地図（豊前市・築上郡編）」所載の「黒峰尾10号墳＝遺跡番号150019」に対応する。）は、周防灘に向かって舌状に伸びる丘陵南側斜面に立地する県指定文化財の黒部古墳群（昭和53、54年度調査）[1]、鵜ノ迫古墳群と同じ丘陵上の南西側、約400m谷奥部へはいったところに位置していて、閉塞石の上部が開口しているものの、円墳が完存状態であった。地元の方によると、丘陵南側斜面は、果樹園造成等で段々状に開墾した際、かなりの古墳を破壊したという。また、黒峰尾古墳群は、現在でも本墳と同一等高線上の東側には、破壊墳が数基、さらに東側の紅葉ヶ丘公園内の4基が残存しており、丘陵先端部に位置する鵜ノ迫古墳群、黒部古墳群とは墓域を異にするグループと推定される。

2．遺構と遺物

(1) 位置と現状（図版50～51、第317図）

本墳は、丘陵南側斜面下方、標高30mのところに立地している。古墳前面は杉植林地、後面は幅3m、深さ2mの山道が走っているものの、墳丘は円形でほぼ完存状態にある。東側同一等高線上には隣接して数基の破壊墳が存在し、共に一つの単位集団を形成していたと思われる。

(2) 墳　丘（図版51、第318～319図）

墳形と周溝　本墳は、先述したように周辺が果樹園等の開墾のため段々状に削平されているにも関わらず、墳丘の遺存状態が極めて良く、傾斜角14度の丘陵南側の傾斜面に構築される。

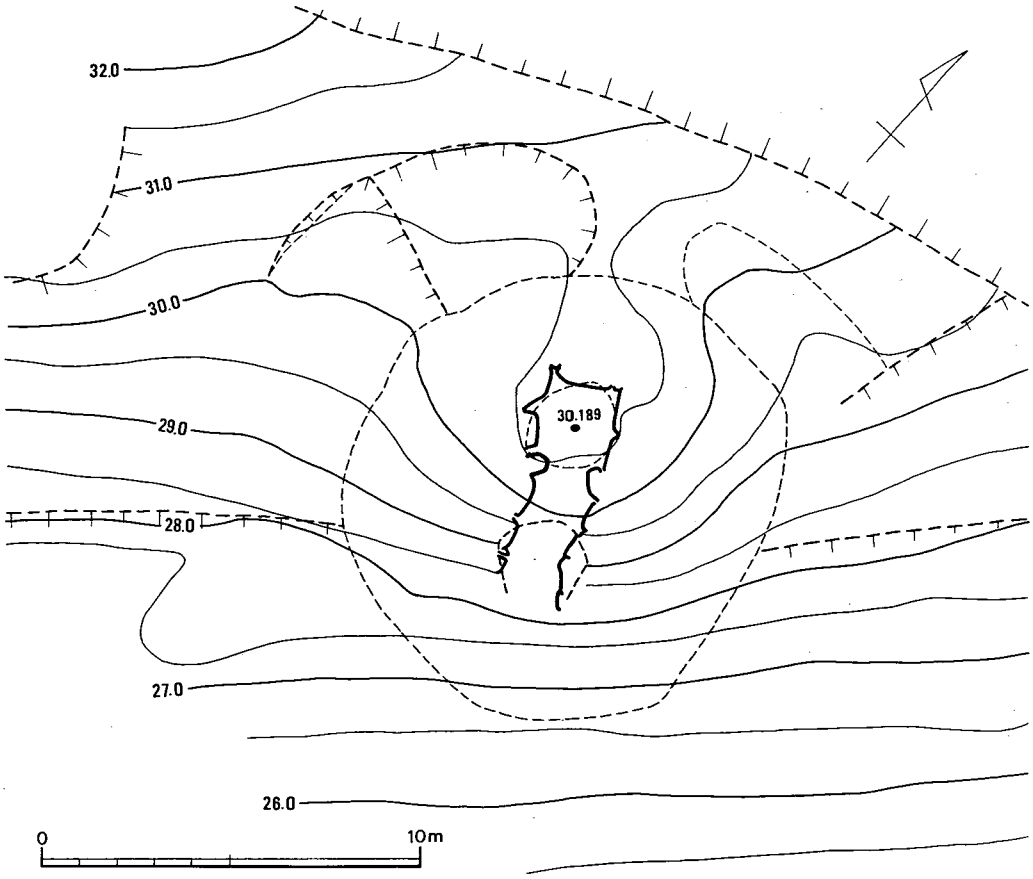
墳丘及び周溝の調査はトレンチ調査のみであったが、古墳構築における地山整形は、古墳後側の傾斜面を半周する馬蹄形状地割区画の確保・掘削とその内側の墳丘基底面の整地という2つの作業から成り立っていると推定される。

馬蹄形地割区画は、傾斜角14度の古墳後側傾斜面を上端（標高29.5m、石室中心から5m）にして、石室中心横断面上付近まで傾斜面を掘削している。

したがって、墳丘基底面は、後面から前面へ標高29.5mから標高29mの範囲でテラス状に削り出され、石室中心横断面上ではほぼ水平（標高29m）になる。

墳形は、平板測量による墳裾形態および各トレンチ断面図から判断せざるを得ないが、直径約15mを測る円墳であったと推定される。

墳　丘　墳丘は地山整形面を基底面として盛り土を行っている。墳丘は盛り土流失はあるも



第 317 図 黒峰尾10号墳地形測量図（1/200）

ののほぼ原形を保っていると思われる。

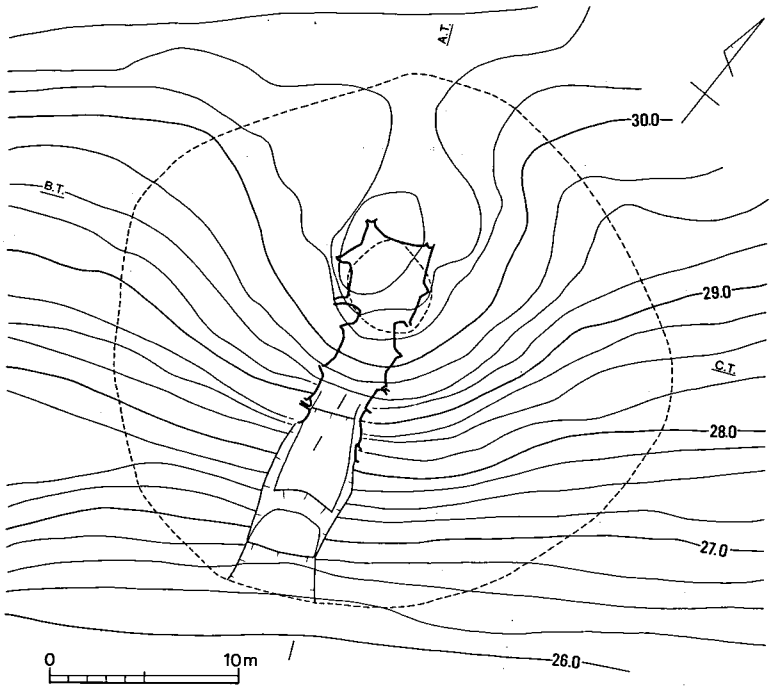
墳丘形成過程は、大きく３段階に分かれる。第１段階は、石室構築の腰石の裏込め的なものである。第２段階は石室壁石の積み上げに合わせての墳丘形成である。第３段階は天井部の被覆と墳丘の整形に係わるものである。

第１段階は、墓壙内の腰石設置後、一層ずつ叩き締めながら墓壙上端まで埋める。

第２段階は、腰石上部への壁石積み上げに伴い少しずつ盛り上げていくが、第１段階に比べさほど突き固めることなく盛り土を行っている。

第３段階は、天井石架構後、墳丘全体の整形作業を行い、円墳に仕上げるようである。

墳丘遺存高は、石室奥壁側で床面から2.47ｍを測る。



第 318 図 黒峰尾10号墳地山整形図（1/200）

(3) 主体部（図版50～53、第318～320図）

本墳の埋葬施設は、主軸をN-22°-W にとり、丘陵南側傾斜面を谷へ向かって等高線にほぼ直角に開口する複室の両袖式横穴式石室である。前室入り口に閉塞施設を有する。

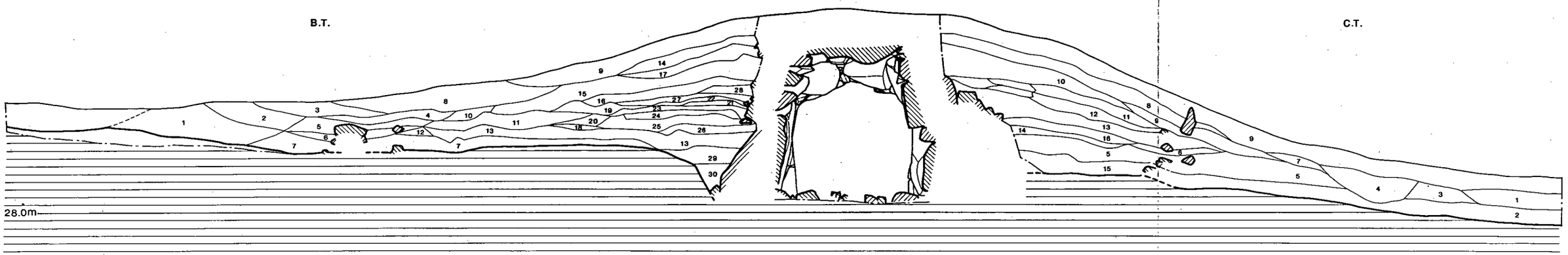
石室は略正方形の玄室とそれを小ぶりにした前室からなり、続いて「ハ」の字に小さく開く羨道、さらに長く伸びる墓道を連接している。玄室奥壁から羨道入り口までは5.9mを測る。

石室を構築する石材は、安山岩の転石を使用している。

閉塞施設　前門部に閉塞施設が存在する。転石を積み上げて閉塞するものであるが、現状はその上部が開口し、現存高0.7mである。

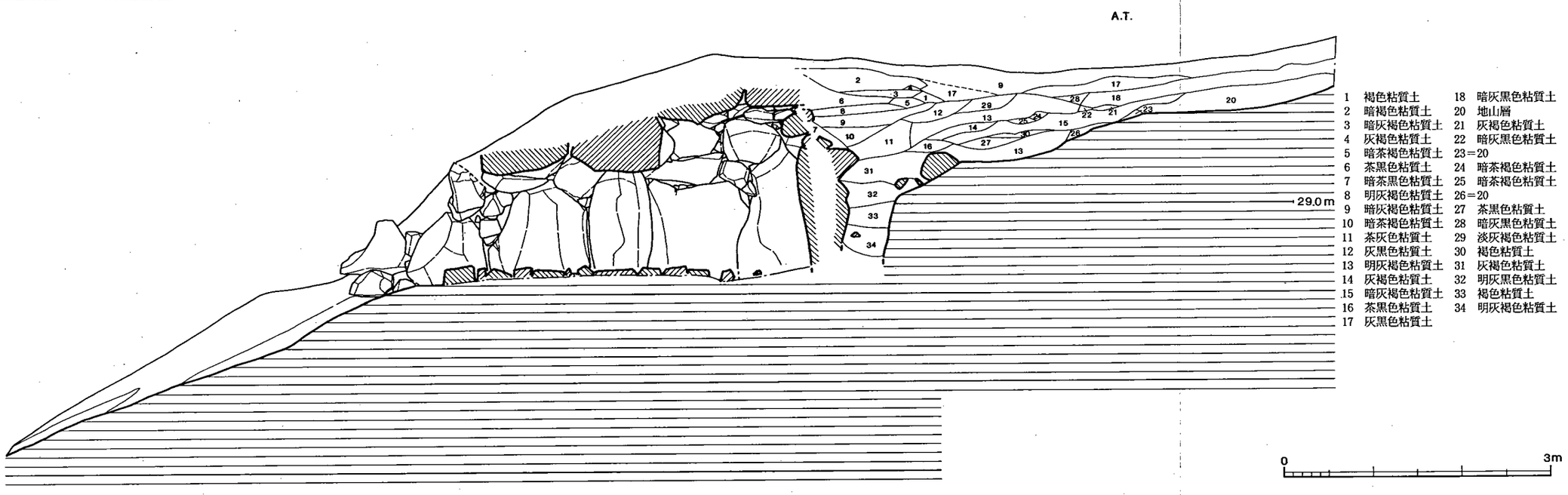
閉塞施設の位置は、前室側で奥壁中央から3.05m、羨道側で奥壁中央から4.3mあり、その間1.25mを測る。上部下部とも使用する石の大きさに差がない。

石　室　石室は玄室と前室の複室構造を成している。玄室は長2～2.1m、幅1.75mの略正方形プランである。腰石は奥壁で1石（幅1.5m、高さ1.5m程）を据え、その上に高さ30cm程の壁石を1段積み上げると天井石に達する。左右側壁では各2石の腰石を使用している。左側石では、大きさの異なる腰石の上部に1～2段の側石をやや持ち送って積み上げると天井石に



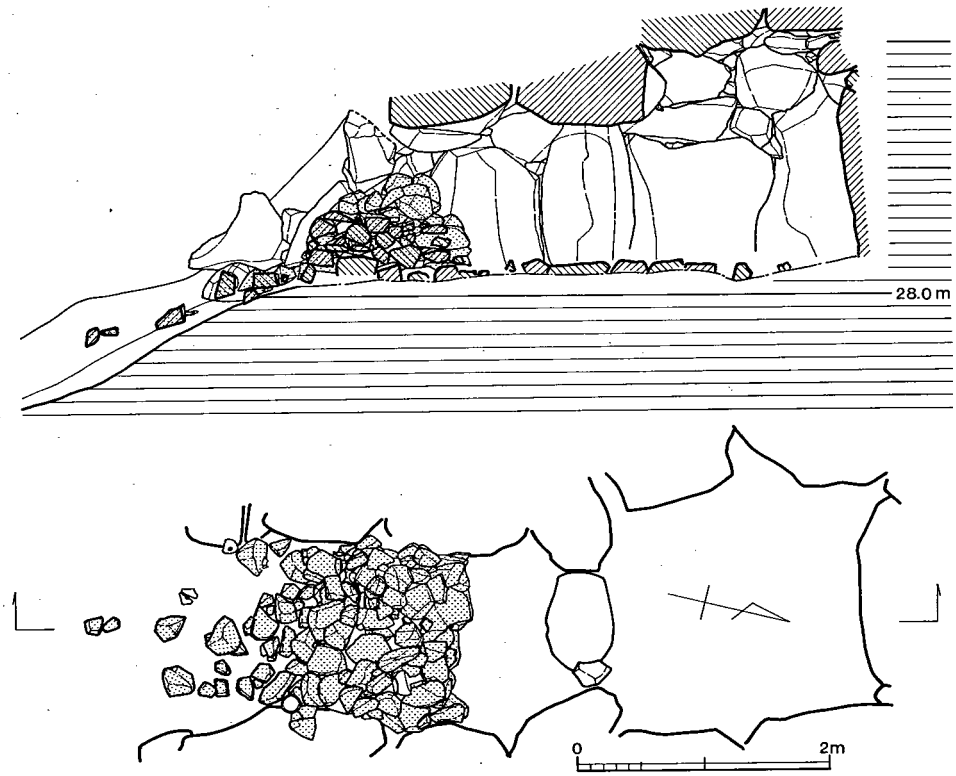
1 暗灰黒色粘質土
2 暗灰黒色粘質土
3 灰黒色粘質土
4 明茶灰色粘質土
5 茶灰色粘質土
6 茶黒色粘質土
7 暗灰褐色粘質土
8 灰黒色粘質土
9 暗茶褐色粘質土
10 ＝9
11 明灰褐色粘質土
12 明茶褐色粘質土
13 暗茶黒色粘質土
14 茶褐色粘質土
15 灰褐色粘質土
16 灰褐色粘質土
17 灰褐色粘質土
18 褐色粘質土
19 暗茶黒色粘質土
20 茶黒色粘質土
21 茶黒色粘質土
22 灰褐色粘質土
23 褐色粘質土
24 暗茶褐色粘質土
25 灰褐色粘質土
26 褐色粘質土
27 茶褐色粘質土
28 灰褐色粘質土
29 明茶黒色粘質土
30 茶黒色粘質土

1 灰黒色粘質土
2 灰褐色粘質土
3 暗灰黒色粘質土
4 茶黒色粘質土
5 暗茶黒色粘質土
（あまりしまっていない）
6 褐色粘質土
（地山層の礫片を含む）
7 灰褐色粘質土
8 灰黒色粘質土
9 暗灰褐色粘質土
10＝9
11 明灰褐色粘質土
12 明茶黒色粘質土
13 茶黒色粘質土
14 褐色粘質土
15＝2
16 明灰褐色粘質土



1 褐色粘質土
2 暗褐色粘質土
3 暗灰褐色粘質土
4 灰褐色粘質土
5 暗茶褐色粘質土
6 茶黒色粘質土
7 暗茶黒色粘質土
8 明灰褐色粘質土
9 暗灰褐色粘質土
10 暗茶褐色粘質土
11 茶灰色粘質土
12 灰黒色粘質土
13 明灰褐色粘質土
14 灰褐色粘質土
15 暗灰褐色粘質土
16 茶黒色粘質土
17 灰黒色粘質土
18 暗灰黒色粘質土
20 地山層
21 灰褐色粘質土
22 暗灰黒色粘質土
23＝20
24 暗茶褐色粘質土
25 暗茶褐色粘質土
26＝20
27 茶黒色粘質土
28 暗灰黒色粘質土
29 淡灰褐色粘質土
30 褐色粘質土
31 灰褐色粘質土
32 明灰黒色粘質土
33 褐色粘質土
34 明灰褐色粘質土

第 319 図 黒峰尾10号墳墳丘土層図（1/60）



第 320 図 黒峰尾10号墳閉塞石実測図（1/60）

達する。天井石は２石を架構している。床面から天井石までの高さは1.85mを測る。

玄門部は、左袖が右袖に比べ発達している。左袖幅0.49m、右袖幅0.4m、玄門幅0.93m、玄門高1.1mを測り、框石が一石置かれる。

床面は奥壁付近がかなり荒らされ、敷石が原位置になかった。

前室は、前面の袖の発達がほとんど見られず形骸化した無袖状態にある。しかし、閉塞施設の存在や玄門部框石前面の整然とした床石の存在、さらmには天井石の存在から、この施設を前室とした。前室は幅1.5m、長さ1.37m、高さ1.1mを測り、また前門部は４石の框石を並べ、幅1.37mを測る。

羨　道　前門部に連接して、左側に１石、右側に２石をやや「ハ」の字に開いて配置する。幅1.4m、長さ0.5～1.4mを測る。前室・羨道は玄室主軸から南西にやや振れている。

墓　道　墓道は、羨道部に連接して5m程伸びている。

墓　壙　墓壙は、墳丘を完全に除去することなく、玄室中心の左右側壁、奥壁側に設定したトレンチでの観察であったため、その全容は把握できないが左右幅4.5m、深さ1.25mを測る。

(4) 出土遺物

黒峰尾10号墳の出土遺物は、閉塞施設内及び墓道から8世紀前半代の杯蓋、杯身を検出した。その他、斜面上などで土製品、石製品を表採した。

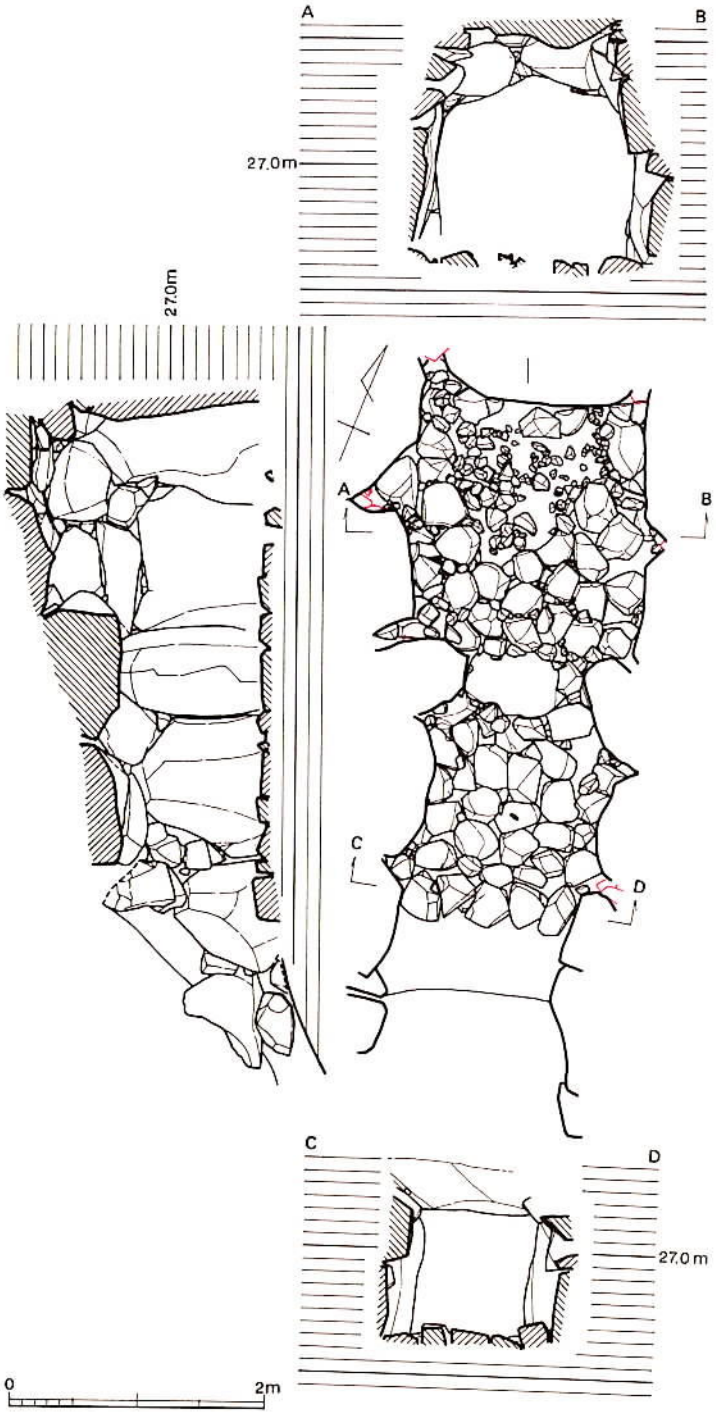
土 器

(図版54・55、第322図)

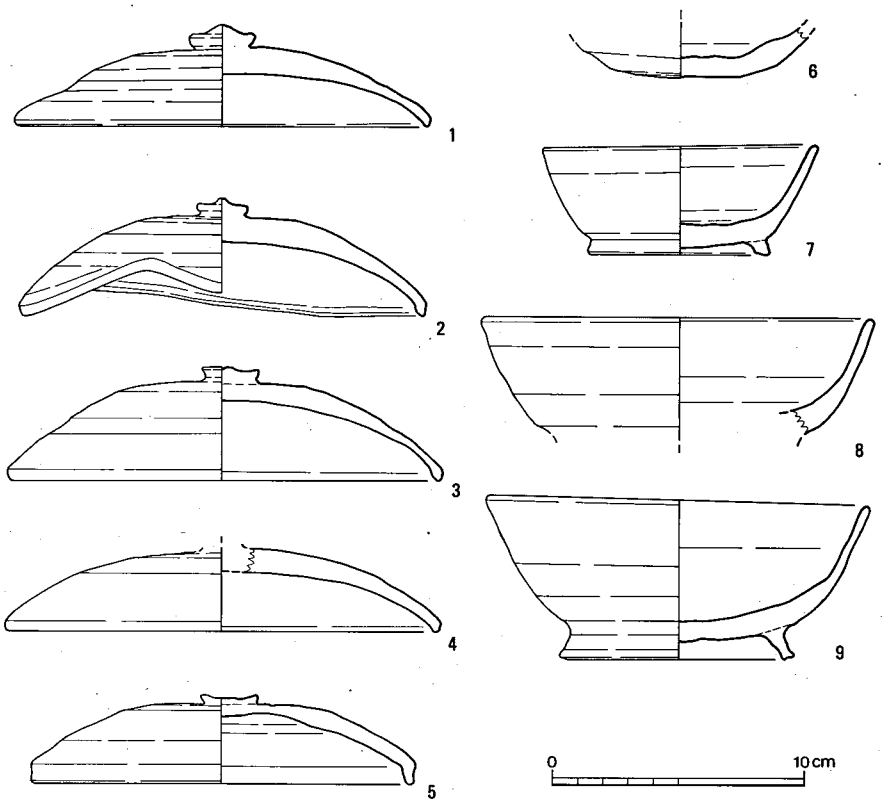
杯蓋(1) 閉塞施設内出土。口縁部は内面にかえりがなく、端部が丸みを持ち若干内側に肥厚する。頂部はボタン状でやや先端をつまみ上げる。天井部はやや平坦になる。口径16.6cm、器高4.1cmを測る。

杯蓋(2) 閉塞施設内出土。口縁部が焼け歪んでいる。口縁部は内面にかえりがなく、端部が丸みを持ち若干内側に肥厚する。頂部はボタン状でやや先端をつまみ上げる。

杯蓋(3) 閉塞施設内出土。口縁部は内面にかえりがなく、端部が丸みを持ち若干内側に肥厚する。頂部はボタン状でやや先端をつまみ上げる。天井部は丸みを持つ。口径15.4cm、器高4.5cmを測る。



第 321 図 黒峰尾10号墳石室実測図 (1/60)



第 322 図 黒峰尾10号墳出土土器実測図（1/3）

杯蓋(4)　墓道出土。口縁部は内面にかえりがなく、端部が丸みを持ち若干内側に肥厚する。頂部は欠けている。口径17.3cmを測る。

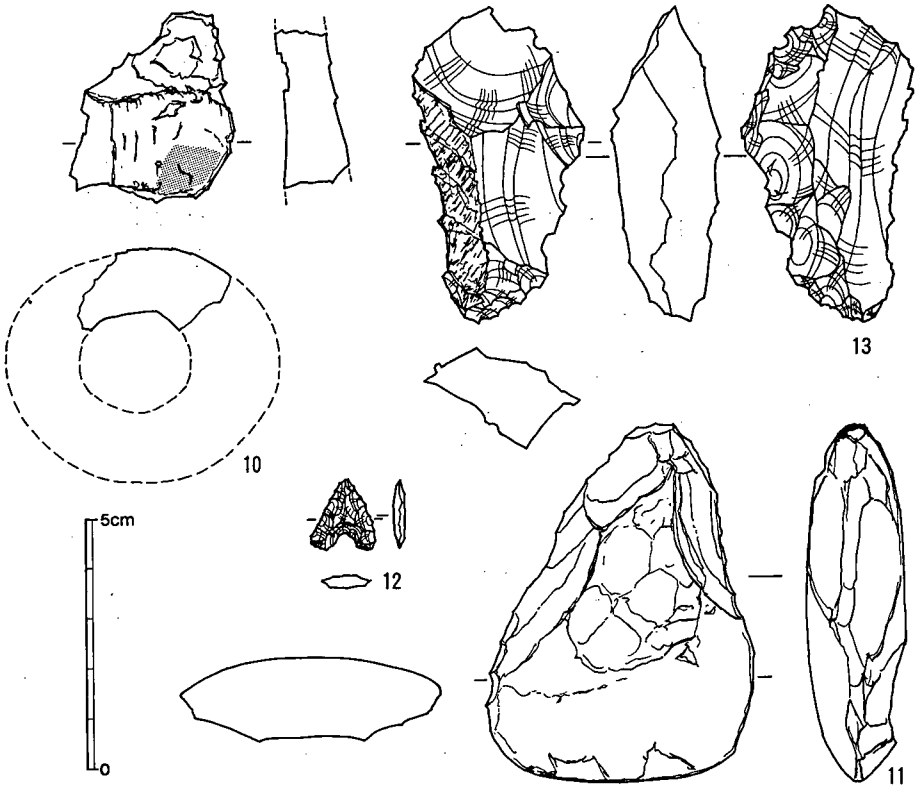
杯蓋(5)　閉塞施設内出土。口縁部は内面にかえりがなく、端部が丸みを持ち、やや直立気味に立ち上がる。頂部はボタン状でやや偏平である。天井部は丸みを持つ。口径15cm、器高3.4cmを測る。

平瓶(6)　閉塞施設内出土。平瓶の底部片である。

杯身(7)　墓道出土。小型の身である。底部と体部の境の稜線が余り明瞭でないが、体部は斜め外方に直線的に立ち上がる。端部は丸みを持つ。高台はやや外方に広がる短いものである。口径10.9cm、器高4.3cm、底径７cmを測る。

杯身(8)　墓道出土。高台が欠けている。口径15.6cmを測る。

杯身(9)　閉塞施設内出土。底部と体部の境の稜線が余り明瞭でないが、体部は斜め外方に直線的に立ち上がる。端部は丸みを持つ。高台は「ハ」の字に大きく開き、内側が地に着き、外側が跳ね上がった状態になる。口径15.2cm、器高6.3cm、底径9.4cmを測る。



第 323 図 黒峰尾10号墳出土土製品・石製品実測図（2/3）

土製品（図版55、第323図）

用途不明土製品(10)　墓道左側出土。フイゴの羽口？。断面は丸みを帯び、表面をへら削りするようである。重さ14ｇ。

石製品（図版55、第323図）

磨製石斧(11)　調査区内最上段表採。破損資料で、残存刃部幅4.3cm、残存長7.2cm、重さ81ｇ。

打製石鏃(12)　調査区内表採。姫島産黒曜石で、小型の完型品。長さ1.4cm、幅1.3cm、重さ0.3ｇ。

石　核(13)　墓道前面出土。腰岳産黒曜石で、長さ6.5cm、重さ27ｇ。

3．おわりに

以上のように、黒峰尾10号墳の調査では、1基のみの調査で周辺にある黒峰尾古墳群相互の関係を把握する調査はなされなかった。そのため、10号墳における観察をまとめておわりとしたい。

まず、出土した遺物から黒峰尾10号墳の築造時期及び最終埋葬時期を考えてみたい。
先述したように閉塞施設上部の開口から盗掘があったことが判断され、そのため石室内部からの出土遺物はなかった。しかし、閉塞施設内及び墓道部分からは土器を検出した。これらは8世紀前半代のものであった。これは、最終埋葬の時期が8世紀前半代まで下がることを意味している。

また、玄室の大きさが長さ、幅共2m以内に収まることや石室構造などから、築上地域における終末期群集墳の一形態を見せるもので、その築造時期は周辺の古墳と比較して6世紀後半頃と推定される。

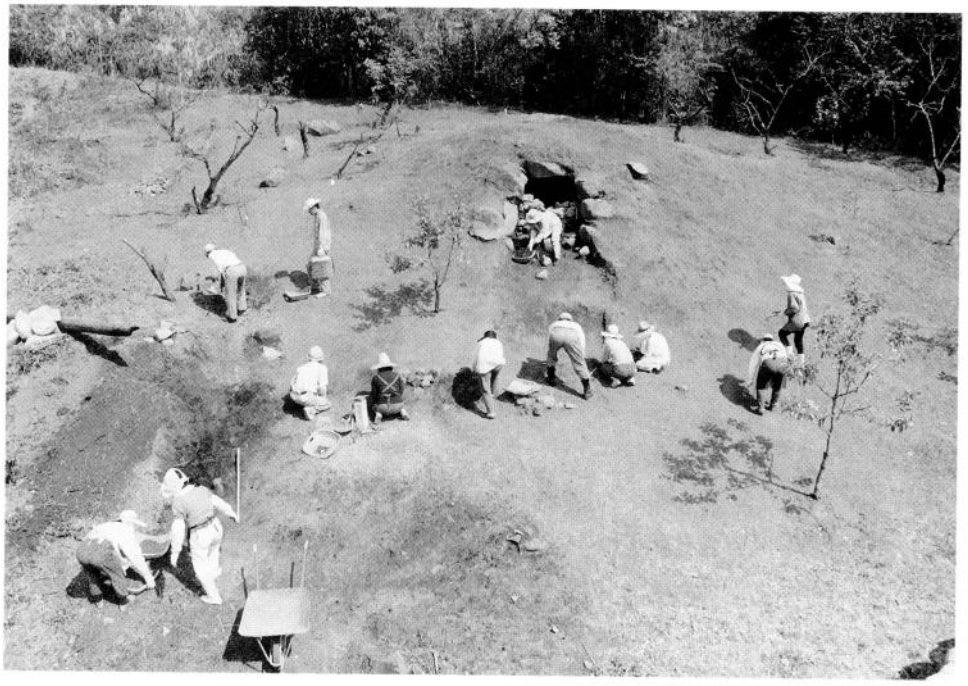
こうして、黒峰尾10号墳は、6世紀後半の初葬から8世紀前半の最終埋葬まで、何回かの追葬を重ねながら、筆者が先述した築上地域の終末期群集墳の墓域再編過程[2]における第3の画期に位置する古墳であることが看取できる。

つまり、当地域の終末期群集墳は第3の画期をもってその役割を終焉させ、畿内ヤマト政権による中央－地方一元化支配体制が一気に確立されていくのである。

（注）

1 「黒部古墳群」玄洋開発株式会社、1979年

2 「石堂中後ヶ谷古墳群・菜切古墳群・頭無古墳群」椎田バイパス関係埋蔵文化財調査報告第2集、 1990年

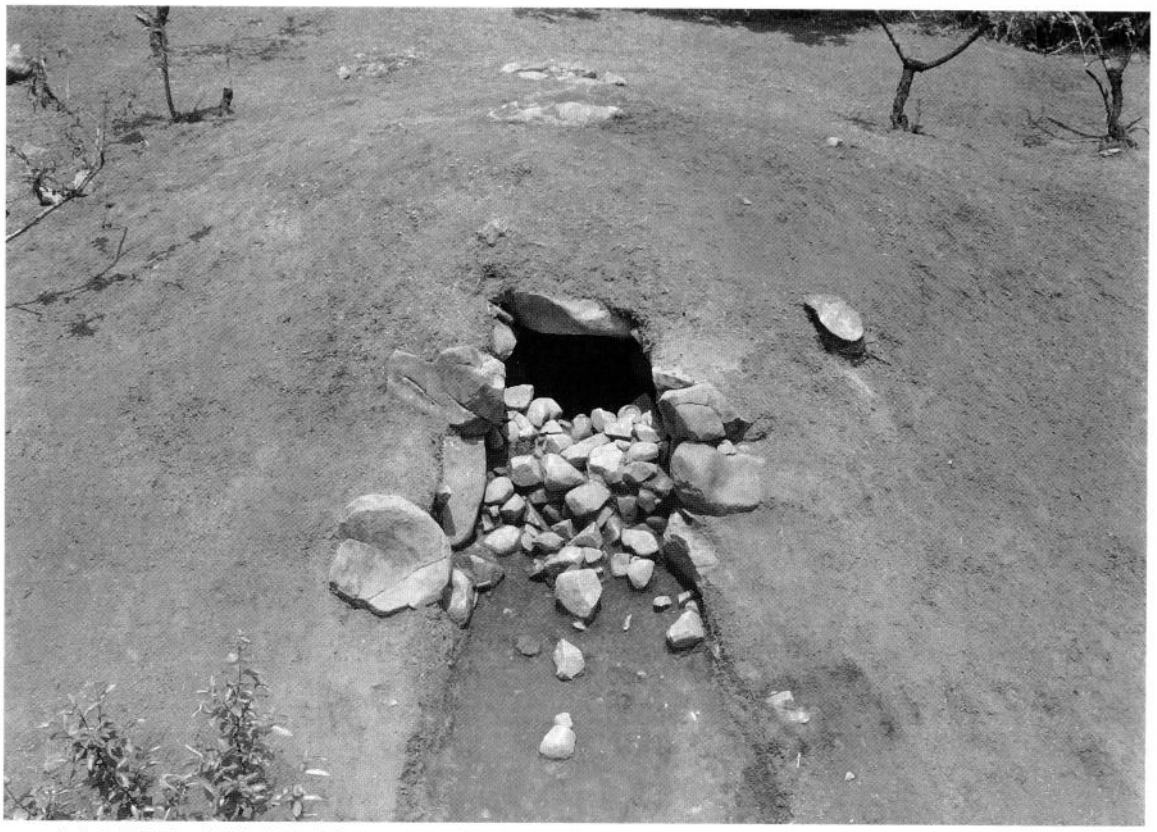


第 324 図 黒峰尾10号墳発掘調査風景

黒峰尾10号墳　図版

(1) 黒峰尾10号墳調査区全景（南から）

(2) 黒峰尾10号墳全景（南から、閉塞石除去前）

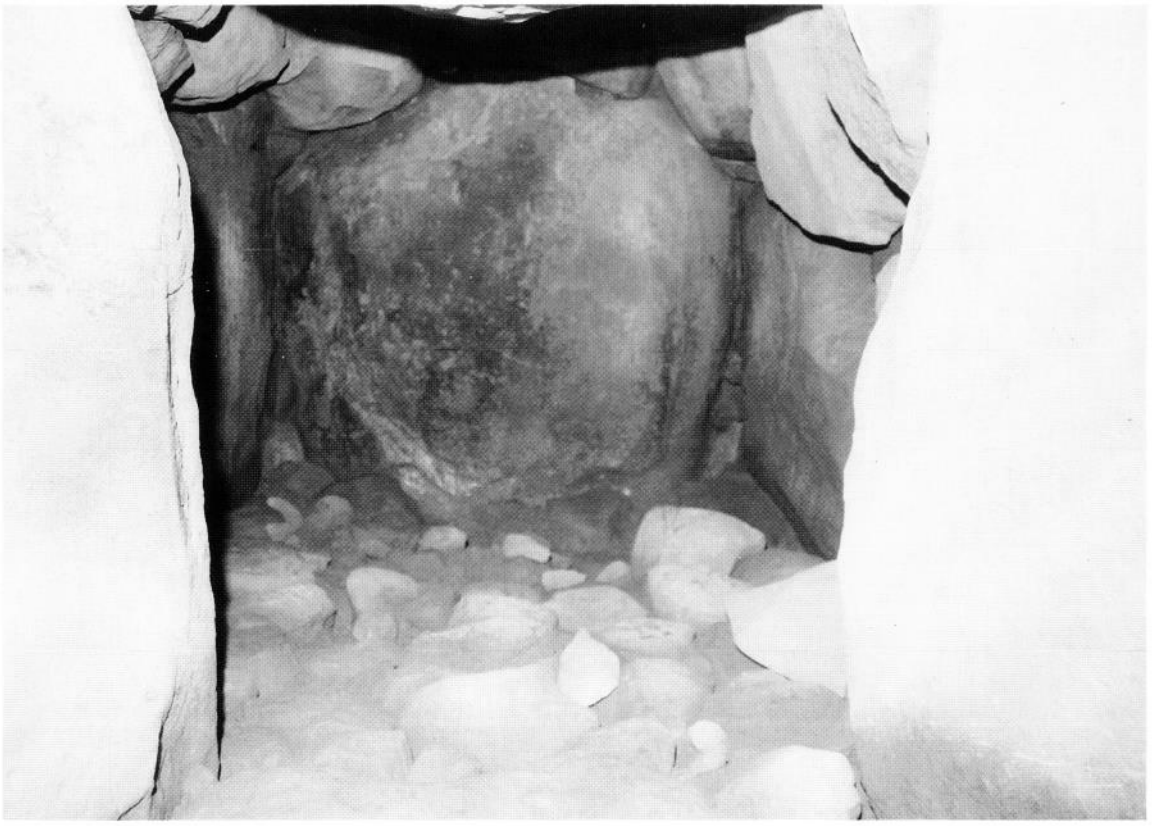


(1) 黒峰尾10号墳近景（南から、閉塞石除去前）

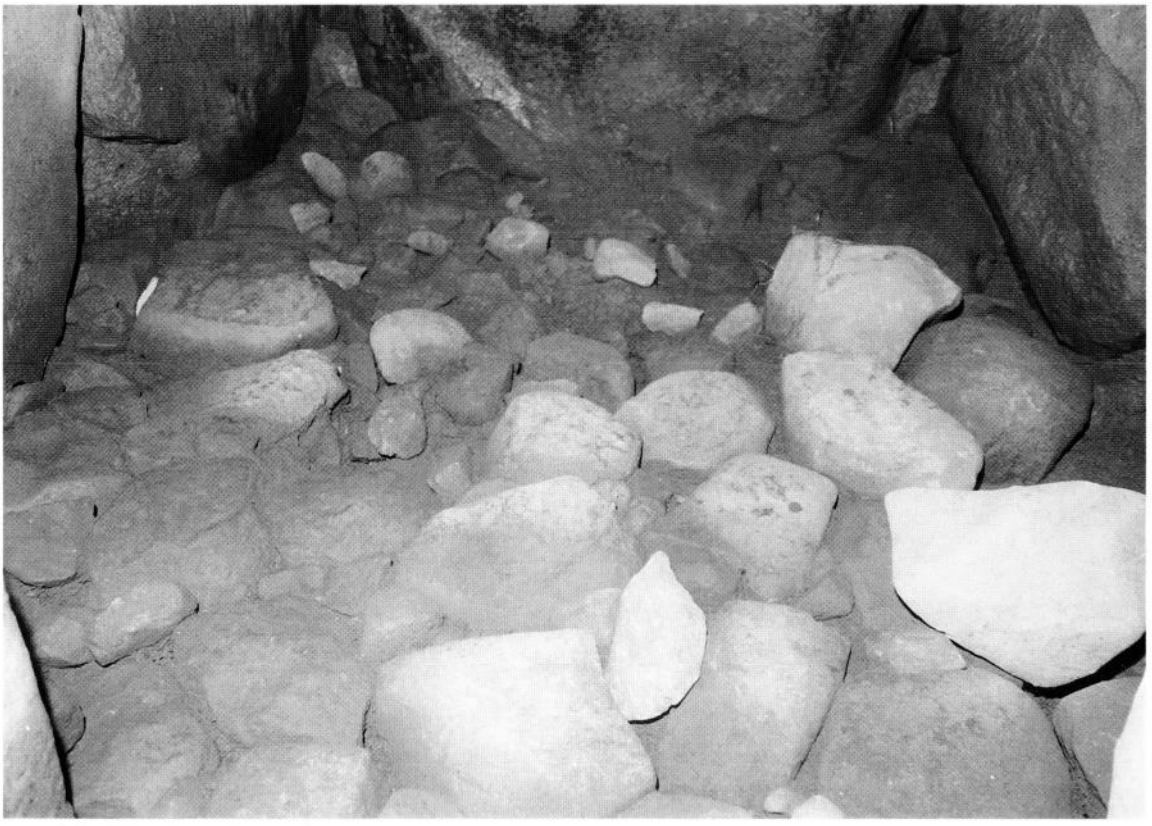
(2) 黒峰尾10号墳全景（南から、閉塞石除去後）

(1) 黒峰尾10号墳近景（正面から、閉塞石除後）

(2) 黒峰尾10号墳前室（玄室から、閉塞石除去後）

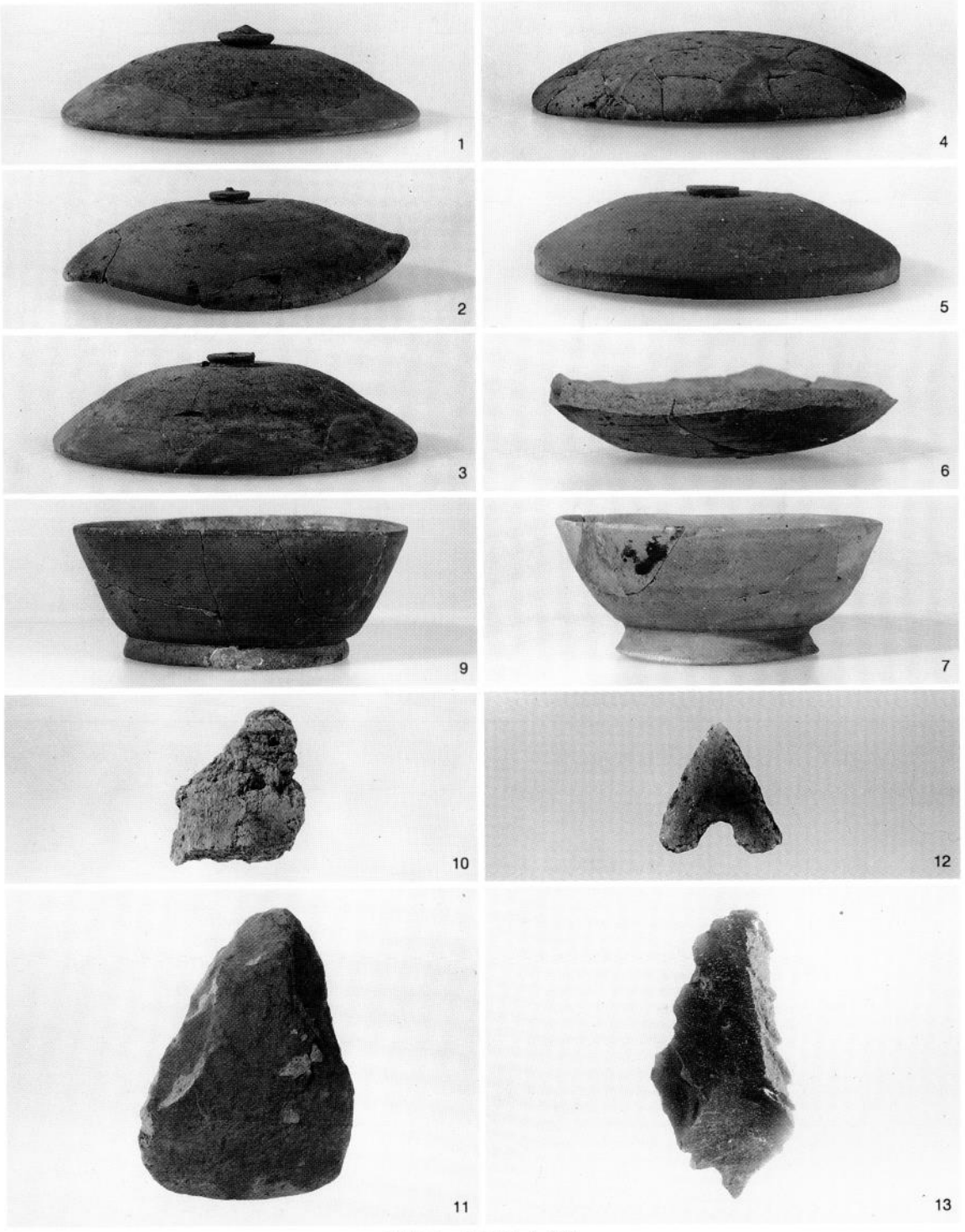


(1) 黒峰尾10号墳玄室奥壁



(2) 黒峰尾10号墳玄室床面

黒峰尾10号墳出土土器検出状況



黒峰尾10号墳出土遺物

報告書抄録

ふ り が な	なかむらいしまるいせき
書　　名	中村石丸遺跡
副 書 名	福岡県豊前市大字中村字石丸所在縄紋時代遺跡の調査
巻　　次	
シ リ ー ズ 名	一般国道10号線　椎田道跡関係埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第8集
編 著 者 名	水ノ江　和同
編 集 機 関	福岡県教育委員会
所　在　地	〒812　福岡県福岡市博多区東公園7－7　　TEL（092）651－1111
発 行 年 月 日	西暦1996年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所　在　地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
中村石丸（なかむらいしまる）	福岡県豊前市大字中村字石丸93-4・94-1・95-4番地	40214	150161	33°37′00″	131°04′50″	19880816 ～ 19881220	3,008㎡	道路（一般国道10号線椎田道路）建設に伴う事前調査
中村石丸A（なかむらいしまるえい）	同 124-1～3番地	40214	150161	33°37′00″	131°04′50″	19880722 ～ 19880816	142㎡	
黒峰尾10号墳（くろみねお　ごうふん）	福岡県豊前市大字松江字灰の木	40214	150019	33°36′30″	131°05′40″	19870501 ～ 19870606	5,000㎡	

所収遺跡名	種　別	主な時代	主　な　遺　構	主　な　遺　物	特　記　事　項
中村石丸	集落 墓地	縄紋後期	竪穴住居跡　11軒 土坑　6基 甕棺墓　4基 炉跡　2基 溝　1本	縄紋後期土器 縄紋後期石器 異形高坏	縄紋後期土器を中心にパンケース300箱の遺物が出土。異形高坏のほかに火葬骨の入った甕棺墓が注目される。
		弥生中期	土坑　2基 土壙墓　3基	弥生土器	土壙墓と土坑のみで住居なし。丹塗土器
中村石丸A	散布地	縄紋 奈良 中世以降	包含層 包含層 包含層	縄紋土器・石器 須恵器 陶磁器	
黒峰尾10号墳	古墳	古墳後期	横穴式石室の径15m円墳	須恵器	6世紀後半～8世紀前半まで使用されている

福岡県行政資料

分類番号	JH	所属コード	2133051
登録年度	7	登録番号	7

一般国道10号線 椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第8集

中村石丸遺跡

福岡県豊前市大字中村字石丸所在縄紋時代遺跡の調査

平成8年3月31日

発行　福岡県教育委員会
〒812　福岡市博多区東公園7番7号
電話（092）651-1111

印刷　株式会社　川島弘文社
〒812　福岡市東区箱崎ふ頭6丁目4番4号